

# 講談社現代新書 二〇二三年一〇月

下段の数字は二〇二三年一〇月現在の定価(税込)ですが、変わる場合がございますのでご了承ください。マークの作品は電子版配信中です。

書名  
サブタイトル

著者名

内容

定価

ISBN

2  
光源氏の一生

池田弥三郎

日本最高の文学『源氏物語』を多年研究した著者が、光源氏の一生に焦点をあてて再編成し、その世界を現代にあますところなく再現。源氏物語入門として最適の書。

946

4-06-115402-8

13  
論語

貝塚茂樹

現代に生きる中国の知恵

わたしたちの血肉となる人生指針の名言集『論語』を新しい視点で解釈し、その今日的意義を平易に解説。堅苦しい従来の註釈と異なる自由な立場で註釈した書。

770



4-06-115413-3

27  
禅のすすめ

佐藤幸治

禅は科学性と宗教性をあわせもつ宗教以上のものだと主張する著者が、心理学者の立場から、その科学性と宗教性を解明し、だれにもできる禅の方法を示した。

902

4-06-115427-3

66  
哲学のすすめ

岩崎武雄

根本的なことから「考える」ことの重要性を説いたユニークな哲学入門。生きる上での原理である哲学をさらに深め、より良く生きるための指針となる一冊。

924

4-06-115466-4

78 大学でいかに学ぶか

増田四郎

理論と現実のかけ橋となれ！ 苦難にみちた学究の道歩んだ著者が、その体験を語りつつ、大学・学生の諸問題を分析し、学生本来のあり方を提言する。

924

4-06-115478-8

86 愛に生きる

才能は生まれつきではない

鈴木鎮一

才能は育てられるもの——この強固な信念で、独特の教育法を実践し、江藤俊哉氏・諏訪根自子氏らを育てた著者が語る、迫力ある体験的才能教育論。

990

4-06-115486-9

105 タテ社会の人間関係

単一社会の理論

中根千枝

感情的なタテのつながりを基盤とした日本の社会の人間関係を分析し、社会構造に関する独自の理論を展開。現代の人間関係に貴重な示唆を与える大ロングセラー。

924

4-06-115505-9

135 日蓮

その生涯と思想

久保田正文

多くの信者を獲得した創価学会、立正佼成会、その源流——日蓮宗。本書は日蓮の人間像を描き、現代に生き続け、影響を与え続ける日蓮思想の本質を追究する。

924

4-06-115535-0

159 弁証法はどういう科学か

三浦つとむ

哲学の遺産としてでなく、科学的な研究の武器として弁証法をとらえ、その核心を身近な話題を例に解説。社会主義国の指導者をもつ理論的な誤りも鋭く指摘する。

1,100

4-06-115559-8

<p>285</p> <p>正しく考えるために</p> <p>岩崎武雄</p> <p>990</p> <p>4-06-115685-3</p> <p>思想混迷の現代にあつて、みずからの頭で考え、みずからの足で立つにはどうしたらいいのか。本書は、考える基礎となる精神のあり方、論理をやさしく明快に説いた。</p>	<p>258</p> <p>日本人の論理構造</p> <p>板坂 元</p> <p>836</p> <p>4-06-115658-6</p> <p>「やはり」「せめて」など、一見筋の通らない日本語独特のことはを外国語と比較検討しながら、そこに流れる日本人の論理や心理を浮き彫りにする。</p>	<p>240</p> <p>生きることと考えること</p> <p>森 有正</p> <p>924</p> <p>4-06-115640-3</p> <p>思想界にユニークな位置を占める著者が、自己の生い立ちから青春時代、パリでの感覚のめざめと深まりなどを語り、生きること、考えることの本質をとらえる。</p>	<p>217</p> <p>道元入門</p> <p>生<small>の</small>充<small>実</small>を求<small>め</small>るた<small>め</small>に</p> <p>秋月龍珉</p> <p>880</p> <p>4-06-115617-9</p> <p>所詮人生は孤独なのだと悟った時、人はなにによつて生きればいいのか。偉大な覚者・道元の生涯と、その珠玉の言葉を解説しながら、禅の核心に迫る。</p>	<p>180</p> <p>美しい日本の私</p> <p>その序説</p> <p>川端康成</p> <p>サイデンステッカー</p> <p>英訳併載</p> <p>著！</p> <p>ノーベル文学賞受賞記念講演の全文とその英訳文を併載。「日本の心」と「日本人の美意識」を、川端氏独自の文体と美しいことばで綴る全日本人必読の名著！</p> <p>836</p> <p>4-06-115580-6</p>
---	--	--	--	--

293

## 日本人の意識構造

風土・歴史・社会

会田雄次

日本人とはいったいどういう民族なのか。その独得の発想や行動様式の基盤、不思議な人間関係など、意識構造の根源を西欧文化との対比の中で鋭く追究した話題の日本文化論。

990

4-06-115693-4

297

## 本はどう読むか

清水幾太郎

本はどのように読めばいいのか。本の選び方、メモのとり方、洋書の読み方に至るまで、豊富な読書経験からあみだした工夫を明かし、マス・メディア時代の読書の意義を考察する。

924



4-06-115697-7

300

## 適応の条件

日本的連続の思考

中根千枝

日本人の屈折した異文化対応を分析し、そこに投影された〈タテ〉の原理による人間関係と、ウチからソトへの〈連続〉の思考を解明しつつ、国際化時代の日本人の適応条件を考察する。

946



4-06-115700-0

324

## 美について

今道友信

美とは何か。ひとはいかにして美と出会い、どのようにして美を受け入れてきたのか。最高の美とはいかなるものなのか。本書は芸術の種々相を見すえつつ、美の本質を究めた名著。

990

4-06-115724-8

327

## 考える技術・書く技術

板坂 元

すぐれた論文やレポートに必要なのは文章技術だけではない。ユニークな発想法や情報整理、構成力や説得術が必須の条件である。楽しいアイデアにみちた知的実用書。

990

4-06-115727-2

<p>553</p> <p><b>創造の方法学</b></p> <p>高根正昭</p> <p>924 </p> <p>4-06-145553-2</p>	<p>501</p> <p><b>ニーチェとの対話</b> ツアラトウストラ私評</p> <p>西尾幹二</p> <p>946</p> <p>4-06-145501-X</p>	<p>444</p> <p><b>出雲神話</b></p> <p>松前 健</p> <p>836</p> <p>4-06-115844-9</p>	<p>436</p> <p><b>知的生活の方法</b></p> <p>渡部昇一</p> <p>946 </p> <p>4-06-115836-8</p>	<p>350</p> <p><b>経済学はむずかしくない</b> 第2版</p> <p>都留重人</p> <p>836</p> <p>4-06-115750-7</p>
---	--	---	--	--

現代経済のカラクリは、複雑怪奇にみえる。しかし、経済は人間のもつとも基本的活動であることに変わりはない。だれにでもわかる経済学をめざして、本書は身近な例で解説する。

日常生活のさわがしさのなかで、自分の時間をつくり、データを整理し、それをオリジナルな発想に結びつけてゆくには、どんな方法が可能か？ 内面の充実を楽しむ知的生活のためのヒントを提示。

国引き、八岐大蛇、国譲りなど、日本神話のなかで出雲の果たす役割は大きい。記紀、風土記、神賀詞などの文献資料をおし、著者独自の巫覡祭祀説によって出雲神話の実像を明らかにした意欲作。

「われわれは《幸福》を發明した、といって末人はまばたきをする」——現代の退廃を鋭く予言したニーチェの言葉と著者との対話を通じて、現代の誤れる平等観、精神の墮落に根源的問いを発する。

情報洪水のなかで、知的創造はいかにしたら可能なのだろうか。「何を知るか」でなく「いかに知るか」という問題解決のための方法を、著者みずからの体験をおして提示した画期的な書。

<p>648</p> <p>実社会との出会い 働くということ</p> <p>黒井千次</p> <p>人は何のために働くのか、何をやりたいのか。何かをなしたげた時に味わう手応え、自己実現への欲求こそ、労働の本質である。会社勤め十五年の体験をふりかえり、働くことの意味と意義を考える。</p> <p>990</p> <p>4-06-145648-2</p>	<p>620</p> <p>時刻表ひとり旅</p> <p>宮脇俊三</p> <p>時刻表は見るものではない。(読む)ものだ！ 熱烈なる愛読者とその楽しみ方と、数字の羅列の裏に隠された真実をこっそり伝授する。鉄道にゆられて、ふらりと旅に出たくなる。</p> <p>〔解説・原武史〕</p> <p>990</p> <p>4-06-145620-2</p>	<p>606</p> <p>「般若心経」を読む</p> <p>紀野一義</p> <p>「般若心経」はいう。この世に存在するすべてのものは実体がない。ゆえに迷いも苦しみも、老いも死もなく永遠の安らぎが得られる、と。人生の様々な悩みを通して、「般若心経」の真髓に迫る。</p> <p>924</p> <p>4-06-145606-7</p>	<p>590</p> <p>家族関係を考える</p> <p>河合隼雄</p> <p>いま家庭は、従うべきモデルを失い、不幸な歪みを生じている。父・母・子それぞれが自立した人間として個性的に生きるための拠点としての家庭のあり方を、豊富な実例から模索する。</p> <p>902</p> <p>4-06-145590-7</p>	<p>587</p> <p>文章構成法</p> <p>樺島忠夫</p> <p>何を書けばよいかわからない時、どうするか。主題のみつけ方、トピックの生かし方など、内容作りから表現まで、システムティックに文章を作りあげていくノウハウを豊富な実例と体験をもとに公開。</p> <p>902</p> <p>4-06-145587-7</p>
--	---	--	--	--

<p>722</p> <p>「知」のソフトウエア 情報のインプット&amp;アウトプット</p> <p>立花 隆</p> <p>多様なメディアが発信する膨大な情報を、いかに収集・整理・活用するか。情報の真偽を吟味・加工し、創造的なアウトプットを生み出すコツは何か。ジャーナリズムの鬼才が明かす知的生産の現場学。</p> <p>990</p> <p>4-06-145722-5</p>	<p>706</p> <p>ジョークとトリック 頭を柔かくする発想</p> <p>織田正吉</p> <p>笑いによって固定観念のワクを心地よくこわすジョークは、知性を刺激するアイデアにみちた、古今東西の知恵の結晶だ。イソップから、アリスのシャレ、物名、折句をとおし、自由な発想法を教える。</p> <p>946</p> <p>4-06-145706-3</p>	<p>698</p> <p>神と仏 日本人の宗教観</p> <p>山折哲雄</p> <p>神と仏を同時に信じるとは？ 肉体からの靈魂の救済をめざす神道。心身一如の状態を理想とする仏教。対照的な二つの宗教はいつも日本人の生活と共にある。民族的アイデンティティに迫った力作。</p> <p>990</p> <p>4-06-145698-9</p>	<p>676</p> <p>酒の話</p> <p>小泉武夫</p> <p>人類誕生以来もつとも親しい友として酒はいつも身近にあった。一杯のビール、一壺のワインから社会や文化は生まれ、変わってきた。飲み方、うまさの秘密、酒の生理学など、おもしろ酒読本。</p> <p>946</p> <p>4-06-145676-8</p>	<p>667</p> <p>いのち 生命ある すべてのものに</p> <p>マザー・テレサ</p> <p>「貧しい人びとに背を向けなくてください。その人たちはイエスご自身なのですから」。現代の聖母マザー・テレサが、自身の祈りの言葉を織りまぜつつ、すべての世代の人びとに生命の尊さを訴える。</p> <p>924</p> <p>4-06-145667-9</p>
---	--	---	---	--

725

## リーダーシップの心理学

国分康孝

組織としての目標達成、集団内の調和、メンバー各  
自の個性と能力の發揮のために、リーダーは何をな  
すべきか。機能と人間性のバランスのとれた、自  
他を生かす人間関係のあり方を考察する。

924

4-06-145725-X

824

## 森田療法

岩井 寛

心に潜む不安や葛藤を「異物」として排除するの  
ではなく、「あるがまま」に受け入れ、「目的本位」の  
行動によってすこやかな自己実現をめざす森田療法  
の理論と実践法をわかりやすく説いた入門書。

924



4-06-148824-4

834

## ユダヤ人

上田和夫

国を失いながらも、二千年にわたって民族性を維持  
してきたユダヤ人。マルクス、アインシュタインら  
優秀な人物を輩出したが、なぜこれほど嫌われね  
ばならなかったのか、その秘密を解説する。

990

4-06-148834-1

871

## 言葉と無意識

丸山圭三郎

現代思想の問いは言葉の問題に収斂する。世界を分  
節し文化を形成する「言葉」は、無意識の深みでど  
のように流動しているか。光の輝きと闇の豊饒が混  
交する無限の領域を探索する、知的冒険の書。

990



4-06-148871-6

898

## はじめての構造主義

橋爪大三郎

レヴィ・ストロースの発想と方法の背景に見えてく  
るソシュール言語学やモースの贈与論、そして数学  
にたどれる「構造」のルーツ。現代思想の原点に齒  
切れよく迫る、「本当によくわかる」入門書。

990



4-06-148898-8

<p>959</p> <p><b>東インド会社</b>  <small>巨大商業資本の盛衰</small></p> <p>浅田 實</p> <p>990</p> <p>4-06-148959-3</p> <p>東方の夢、胡椒がシナモンが茶が、ロンドン庶民の食卓に到達した。「楽園」の物資を運ぶ東インド会社は、世界をヨーロッパに収斂させる。貿易を牛耳り、インドを支配した一大海商企業の盛衰を読む。</p>	<p>958</p> <p><b>英語の歴史</b></p> <p>中尾俊夫</p> <p>924</p> <p>4-06-148958-5</p> <p>一人称を「I」と書き、口語でIt's me というのはなぜ？ ノルマンの征服とフランス語の流入、18世紀の学校文法の完成など、文法・発音・語形・語彙がいかに変化してきたかを豊富な例とともに解説。</p>	<p>934</p> <p><b>大英帝国</b>  <small>最盛期イギリスの社会史</small></p> <p>長島伸一</p> <p>880</p> <p>4-06-148934-8</p> <p>地球の四分の一を支配し、世界の工場として君臨した大英帝国。植民地支配のしくみ、レジャー、マスコミなど大衆社会の登場、繁栄が生んだ貧困などを通して、帝国の実態と衰亡の因をさぐる力作。</p>	<p>921</p> <p><b>現代思想を読む事典</b></p> <p>今村仁司編</p> <p>2,420</p> <p>4-06-148921-6</p> <p>大いなる物語が崩れ、実体が宙吊りされたいま、思索するための有効な言葉は何か。二十世紀の現実と根源的に対決する思想の言葉を取り上げ、現代思想の問題意識の多面体を解きあかす。</p>	<p>916</p> <p><b>哲学入門 一步前</b>  <small>モノからコトへ</small></p> <p>廣松 涉</p> <p>990</p> <p>4-06-148916-X</p> <p>世界は何から出来ているのか？ 旧来の実体(モノ)主義的世界像と「主観」客観」図式による認識論は、何がどう誤っているのか？ 量子論や戯曲をモデルに素描する、事(コト)的世界観への第一歩。</p>
---	---	---	--	---

<p>1001</p> <p>今こそマルクスを 読み返す</p> <p>廣松 渉</p> <p>マルクスは人間や社会をどう把え、『資本論』で何を言っているのか？ 資本主義社会の未来像をどう展望していたのか？ 二十世紀世界の根幹思想を、現在の視点で発展的に、平易な言葉で説き直す。</p> <p>1,100 電</p> <p>4-06-149001-X</p>	<p>987</p> <p>はじめての中国語</p> <p>相原 茂</p> <p>ことばは音。独特な発声法「声調」のコツや「ピンイン」の読み方、書き方は？ 基本文法とひとこと会話をマスターして、五千年の（ことば）の世界を知る。中国語への軽妙で明快な第一歩。</p> <p>946 電</p> <p>4-06-148987-9</p>	<p>977</p> <p>哲学の歴史</p> <p>新田義弘</p> <p>哲学は何を問題にしてきたか</p> <p>現代思想の鋭く根底的な問いは、西欧の歴大な知の集積から生まれた。私とは何か？ 他者と言語と世界の迷路をどう切り拓くか？ 哲学が二五〇〇年、問い続けた主題を、現代哲学の視点で捉え直す。</p> <p>924</p> <p>4-06-148977-1</p>	<p>971</p> <p>文化大革命</p> <p>矢吹 晋</p> <p>「造反有理」から「批林批孔」「四人組」まで、当時の中国はまさに混乱のるつぼであった。社会主義における変革とは何か。毛沢東のかかげた夢と現実を検証しつつ、文化大革命の真相を抉り出す。</p> <p>946 電</p> <p>4-06-148971-2</p>	<p>968</p> <p>ローマはなぜ滅んだか</p> <p>弓削 達</p> <p>全世界から巨富を集め、繁栄の限りをつくしたローマ帝国。食卓をにぎわす珍鳥・珍魚。文学に、スポーツに進出する「自由な女」。文化となった愛欲。「永遠」をうたわれた巨大文明の興亡に学ぶ。</p> <p>990</p> <p>4-06-148968-2</p>
---	---	---	---	--

<p>1025</p> <p>J・S・バッハ</p> <p>磯山 雅</p> <p>眠れぬ夜にゴルトベルク変奏曲。謎をはらんだフーガの技法。最高傑作マタイ受難曲。平易と優美の時代に抗い、生と死の問題を見つめ続けた最後の音楽職人。名盤案内も備えた決定版バッハ入門。</p> <p>990</p> <p>4-06-149025-7</p>	<p>1020</p> <p>アイデンティティの心理学</p> <p>鑑<small>ミナト</small></p> <p>幹八郎</p> <p>「自分」とはいったい何者か？ これまで何をしてきたのか？ 何のために生きているのか？ 生涯に幾度か訪れる自己喪失や自己崩壊の危機を乗り越え、本当の「自分」に出会う方途を探る。</p> <p>990</p> <p>4-06-149020-6</p>	<p>1019</p> <p>動物裁判</p> <p>西欧中世・正義のコスモス</p> <p>池上俊一</p> <p>法廷に立つブタ、破門されるミミズ……中世ヨーロッパに広くみられた動物裁判。自然への感受性の変化、法の正義の誕生などに言及しつつ、革命的転換点となった中世に迫る「新しい歴史学」の旅。</p> <p>946</p> <p>電</p> <p>4-06-149019-2</p>	<p>1017</p> <p>ハプスブルク家</p> <p>江村 洋</p> <p>キリスト教を心とするなら、ハプスブルク家は背骨である。それ抜きには成り立たないヨーロッパという身体のコ。一三世紀から二〇世紀まで七〇〇年に亘って勢力を保ち続けた名門王朝の歴史を探る。</p> <p>946</p> <p>電</p> <p>4-06-149017-6</p>	<p>1007</p> <p>日本の風景・ 西欧の景観</p> <p>オギユスタン・ペルク 篠田勝英<small>ニ</small>訳</p> <p>ヨーロッパ近代が生んだ風景という観念と、たえず視線が移動する日本特有の空間性。欧化とジャポニスム、そして近代景観論の解体を見つづ、ポスト・モダンの風景<small>ニ</small>（「造景の時代」）を予見する力作。</p> <p>990</p> <p>4-06-149007-9</p>
---	--	--	--	---

<p>1085</p> <p>アラブとイスラエル</p> <p>高橋和夫</p> <p>946</p> <p>4-06-149085-0</p> <p>パレスチナ問題の構図</p>	<p>1080</p> <p>ユダヤ人とドイツ</p> <p>大澤武男</p> <p>946</p> <p>4-06-149080-X</p>	<p>1073</p> <p>はじめてのドイツ語</p> <p>福本義憲</p> <p>880</p> <p>4-06-149073-7</p>	<p>1044</p> <p>〈自己発見〉の心理学</p> <p>国分康孝</p> <p>990</p> <p>4-06-149044-3</p>	<p>1027</p> <p>「からだ」と「ことば」の レッスン</p> <p>竹内敏晴</p> <p>924</p> <p>4-06-149027-3</p>
--	---	--	---	--

自分に気づき・他者に出会う

竹内敏晴

気づかぬうちからだが歪み、心が閉ざされ、生き生きとしたことばを失っている現代人。ゆたかで円滑な人間関係をとりもどし、いのちのよみがえりをめざす「竹内レッスン」のエッセンスを紹介。

〈自己発見〉の心理学

国分康孝

悩みの壁・絶望の奈落に自分を縛りつける「ねばならぬ」の思い込み。なぜ「ねばならない」のか。ピリフの非合理性を暴くことがブレイク・スルーのはじまり。解放のための「自己発見」のすすめ。

はじめてのドイツ語

福本義憲

綴りと発音のシステム、名詞と冠詞・形容詞の対応、単語や文章のもつ堅固で自在な「枠構造」。ほどよい文法秩序に示される明快な言葉、ドイツ語の性格を平易に解きほぐす。

ユダヤ人とドイツ

大澤武男

分裂状態が長かった「後進国」ドイツは、放浪の民ユダヤ人の財力・国際性を必要とした。依存しつつ反発しあった両者の特別な緊張関係を歴史的に検証し、過去の直視と克服がいかに可能かを模索する。

アラブとイスラエル

高橋和夫

宿命の地「カナン（パレスチナ）」を舞台にくり返された流血の抗争。宗教や民族対立、石油資源をめぐる思惑、難民問題など、複雑にもつれた中東問題を国際政治のダイナミズムの中に位置づけ解明する。

<p>1126</p> <p>「気」で観る人体 経絡とツボのネットワーク</p> <p>池上正治</p> <p>「気」の発生するポイントとしてのツボ。五臓六腑を結んで「気」が流れるコースとしての経脈と絡脈。驚異の精密さで体系化された中国医学による人体観を平易に解説し、その効用を見直す書。</p> <p>990</p> <p>4-06-149126-1</p>	<p>1123</p> <p>はじめてのインド哲学</p> <p>立川武蔵</p> <p>自己と全宇宙との合一をめざし、三〇〇〇年の「聖なる」思索を重ねたインド。ヴェーダ、ウパニシャッドから仏教、タントリズムにいたる、壮大にして精緻な精神のドラマを、一卷に凝縮する。</p> <p>990</p> <p>4-06-149123-7</p>	<p>1111</p> <p>ヴェネツィア 水上の迷宮都市</p> <p>陣内秀信</p> <p>内海に浮かぶ「アドリア海の花嫁」ヴェネツィア。四季折々の呼吸がたちのぼる大運河。路地歩きに感じる街の体温。人の世の光と闇を彩る祝祭。足で識り、五感でつかむ、水の都への道案内。</p> <p>946</p> <p>4-06-149111-3</p>	<p>1097</p> <p>オスマン帝国 イスラム世界の「柔らかい専制」</p> <p>鈴木 董</p> <p>西欧人の見た「残酷な征服者」は、西欧を凌駕する先進国の王だった。羊飼いの大臣になれる開放的な社会。ユダヤ難民を受容した宗教的寛容性。多民族の超大国を支えた「柔らかい専制」の秘密に迫る。</p> <p>946</p> <p>4-06-149097-4</p>	<p>1088</p> <p>ヨーロッパ「近代」の終焉</p> <p>山本雅男</p> <p>合理主義、ヒューマニズム、科学への信頼などと、「近代」を支えた価値のゆらぎの中でヨーロッパはどこに向かうのか？ 歴史の批判的な読み直しを通して新たな座標軸をさぐる。</p> <p>880</p> <p>4-06-149088-5</p>
--	---	--	---	---

<p>1163</p> <p>「孫子」を読む</p> <p>浅野裕一</p> <p>人間心理を見つめ、「必ず勝つ」方法を追求しつづけた孫子。勝算の分析、無勢で多勢に勝つ方法、リーダーに迫る五つの罠など、しなやかな知と逆転の発想にみちた「最古最高の用兵理論」を読む。</p> <p>836</p> <p>4-06-149163-6</p>	<p>1151</p> <p>ハプスブルク家の女たち</p> <p>江村 洋</p> <p>初恋を成就した女帝の意志。その娘たちの歩んだ人生の明暗。貴賤結婚の苦難に耐えた大公妃たち。政治にまで及んだ、皇帝をめぐる嫁・姑の確執……。ハプスブルク帝国史を彩る、皇妃・皇女の群像。</p> <p>946</p> <p>電</p> <p>4-06-149151-2</p>	<p>1150</p> <p>「欲望」と資本主義</p> <p>終りなき拡張の論理</p> <p>佐伯啓思</p> <p>資本主義の駆動力は何なのか。豊かさの果て、新たなフロンティアはどこに求められるのか。差異・距離が生み出す人間の「欲望」の観点から、エンドレスな拡張運動の文明的、歴史的な意味を探る。</p> <p>990</p> <p>電</p> <p>4-06-149150-4</p>	<p>1145</p> <p>冤罪<small>えんざい</small>はこうして作られる</p> <p>小田中聰樹</p> <p>無実の者が、ある日突然に「犯人」にされる。警察はなぜ「犯人」を作り出すのか。裁判官はなぜウソを見抜けないのか。今も冤罪を生み続けている、日本の刑事司法の構造的欠陥をえぐる。</p> <p>990</p> <p>電</p> <p>4-06-149145-8</p>	<p>1141</p> <p>安楽死と尊厳死</p> <p>医療の中の生と死</p> <p>保阪正康</p> <p>「安らかに死ぬ権利」とは何か。「人間としての尊厳」を失わない死とは。やがて確実にやってくる死をどう受容したらよいのかを、読者と一緒を考える一冊。脳死、高齢化社会との関連も具体的に言及。</p> <p>902</p> <p>4-06-149141-5</p>
--	--	--	---	--

<p>1239</p> <p><b>武士道とエロス</b></p> <p>氏家幹人</p> <p>「武士道の華」とささえいわれた男同士の恋の道、衆道。念者と若衆、義兄弟など、江戸の世に咲いた恋と絆はなぜ逸脱した性となったのか。斬新な視点で「男の性」の変容をたどり、男性史を書きかえる。</p> <p>946 電</p> <p>4-06-149239-X</p>	<p>1231</p> <p><b>キング牧師とマルコムX</b></p> <p>上坂 昇</p> <p>「夢のキング」「悪夢のマルコム」といわれた六〇年代黒人運動の二大カリスマ。彼らが遺したものは何だったのか。対照的な二人の天才指導者の足跡と思想を通して、現代アメリカを問い直す。</p> <p>990 電</p> <p>4-06-149231-4</p>	<p>1210</p> <p><b>イスラームとは何か</b></p> <p>その宗教・社会・文化</p> <p>小杉 泰</p> <p>文明の空白を衝いて下った最後の啓示。クルアーンが語る、神と使徒と共同体の根本原理と、その実践。法学・神学・神秘主義と、諸分派の歴史。イスラーム理解が拓く、現代世界への新たな視点。</p> <p>1,100</p> <p>4-06-149210-1</p>	<p>1200</p> <p><b>外国語としての日本語</b></p> <p>その教え方・学び方</p> <p>佐々木瑞枝</p> <p>ふだん何気なく使っている日本語の意外な横顔。独得のアクセントや敬語、微妙な表現・言葉の使い分けなど、視点を変えたと見えてくる面白さと難しさ。留学生教育を通して語る日本語再発見の書。</p> <p>968</p> <p>4-06-149200-4</p>	<p>1183</p> <p><b>はじめてのスペイン語</b></p> <p>東谷 穎人</p> <p>明快な発音と、歯切れよいリズム——スペイン語は日本人の味方。直説法・接続法の使い分けや再帰動詞で語る、豊かなニュアンス。日常生活を彩る慣用表現。「神と話すことば」の世界へようこそ。</p> <p>946</p> <p>4-06-149183-0</p>
--	---	--	--	---

<p>1252</p> <p>ユダヤ国際財閥の興亡</p> <p><b>ロスチャイルド家</b></p> <p>横山三四郎</p> <p>世界を牛耳る国際財閥の疾風怒濤の二〇〇年。紋章に刻まれた言葉は協調・完全・勤勉。家訓は「語るなかれ」。一族の結束と連係で、金融はもとよりダイヤモンド、ワインまで操る巨大パワーを描く。</p> <p>924</p> <p>4-06-149252-7</p>	<p>1249</p> <p><b>ヒトラーとユダヤ人</b></p> <p>大澤武男</p> <p>追放、大量虐殺、絶滅……ヒトラーの異常な反ユダヤ主義はいかに生まれ、実行されたのか。青春期に芽ばえ、世界大戦への過程で、極限にまで行きついた「狂気」の原因と推移を事実在即し検証する。</p> <p>990</p> <p>4-06-149249-7</p>	<p>1248</p> <p>現代思想の原点</p> <p><b>20世紀言語学入門</b></p> <p>加賀野井秀一</p> <p>言語に潜む「構造」の発見が野心的な構造言語学、さらには破壊的な構造主義を生む。ソシュールからプラグ学派を経て全世界に広がった知のビッグバン。言語学革命の核心と巨大な影響に迫る。</p> <p>836</p> <p>4-06-149248-9</p>	<p>1247</p> <p>意味と認識のしくみ</p> <p><b>メタファー思考</b></p> <p>瀬戸賢一</p> <p>世界を分節し、意味をつかむために、メタファーは不可欠である。「目玉焼き」「人生のたそがれ」など日常言語に含まれる思考・認識手段としてのメタファーを考察、人間的意味形成のしくみを探る。</p> <p>924</p> <p>4-06-149247-0</p>	<p>1241</p> <p>実感が語る心理学</p> <p><b>心のメッセージを聴く</b></p> <p>池見陽</p> <p>心の実感を素直に感じとり、心の内側から発信されるメッセージに耳を傾けると、新たな自己の発見と成長が可能になる。重く停滞した心を開くフォークシングの技法を心理臨床の現場から解説。</p> <p>968</p> <p>4-06-149241-1</p>
--	--	--	---	---

<p>1278</p> <p>ラカンの精神分析</p> <p>新宮一成</p> <p>1,100 電</p> <p>4-06-149278-0</p>	<p>1275</p> <p>自分をどう表現するか</p> <p>パフォーマンス学入門</p> <p>佐藤綾子</p> <p>836</p> <p>4-06-149275-6</p>	<p>1265</p> <p>七三一部隊</p> <p>生物兵器犯罪の真実</p> <p>常石敬一</p> <p>924 電</p> <p>4-06-149265-9</p>	<p>1262</p> <p>「世間」とは何か</p> <p>阿部謹也</p> <p>990 電</p> <p>4-06-149262-4</p>	<p>1258</p> <p>身分差別社会の真実</p> <p>新書・江戸時代②</p> <p>斎藤洋一 大石慎三郎</p> <p>924</p> <p>4-06-149258-6</p>
---	---	---	---	--

医学にも心理学にも吸収されない純粹な「精神分析」の確立を目指しパリ・フロイト派を立ち上げたラカン。「対象<sup>a</sup>は黄金数である」という晩年の言葉を手がかりに、ラカン思想の根源に迫る。

表現されない実力や心はないも同じ。どうやれば相手の信頼や愛情をかちえ、より豊かな人間関係を築けるか？言葉・表情・身ぶりなどの具体例を豊富にあげて、魅力的な自己表現を追究する。

日本は大陸で何をしたのか？軍医中将石井四郎と医学者たちが研究の名で行った人体実験と細菌戦の、凄惨で拙劣な実態。残された資料を駆使して迫る、もう一つの戦争犯罪。戦後はまだ終わらない。

古代から現代まで、日本人の生き方を支配してきた「世間」とは何なのか。兼好、西鶴、漱石などの文学を通して、西洋の「社会」と「個人」を追究してきた歴史家の視点から、その本質を捉え直す。

身分とは何か？誰が差別されたのか？被差別民の起源とは？社会全体を差別が覆った時代を検証し、社会から「排除」されていた「えた・ひにん」などとされた人々の実像を実証的に考証する。

<p>1289</p> <p><b>軽症うつ病</b> 〔ゆううつ〕の精神病理</p> <p>笠原 嘉</p> <p>生真面目で心やさしい人々をおそうゆううつ、不安おつくう感。軽症化しつつ増えている現代的気分障害、つまり「ひとりで起こる」タイプのおうつ病、その対処法と立ち直りの道筋を明快に説く。</p> <p>990 ☎</p> <p>4-06-149289-6</p>	<p>1287</p> <p><b>写真美術館へようこそ</b> 〈サントリー学芸賞受賞〉</p> <p>飯沢耕太郎</p> <p>まなざしの芸術、写真は何をどのように表現してきたのか。古今東西の名作・快作を集めた、紙上美術館へご案内。美術館仕立ての構成で、写真の魅力と本質を縦横無尽に語り尽くす本格的写真入門。</p> <p>946</p> <p>4-06-149287-X</p>	<p>1286</p> <p><b>哲学の謎</b></p> <p>野矢茂樹</p> <p>時とは流れているのだろうか。私が見ている木は本当にそこにあるのか？ 私が見てもこの世はなくならないとなぜ言えるのか。他者、意味、行為、自由など根本問題を対話篇の形で問いなおす。</p> <p>968 ☎</p> <p>4-06-149286-1</p>	<p>1283</p> <p><b>イギリス王室物語</b></p> <p>小林章夫</p> <p>千年の伝統をもち、今も華麗に輝くイギリス王室。「残虐非道」のヘンリー八世、自信家の処女王エリザベス一世、快楽の王子ジョージ四世など、大英帝国の栄光を築いてきた強烈な個性たちを描く。</p> <p>880</p> <p>4-06-149283-7</p>	<p>1282</p> <p><b>戦うハプスブルク家</b> 近代の序章としての三十年戦争</p> <p>菊池良生</p> <p>中世的秩序をゆるがし、新たな国家システムを生み出すことになった長期抗争において、ハプスブルク家は敗北に敗北を重ねた。同家の普遍帝国理念はむなしくついで、「近代」の扉がこじ開けられた。</p> <p>990</p> <p>4-06-149282-9</p>
--	--	--	--	---

<p>1307</p> <p>世界経営の時代</p> <p><b>モンゴル帝国の興亡(下)</b></p> <p>杉山正明</p> <p>南宋を倒し、イスラムと結んだ巨大帝国は、陸と海を結ぶ壮大な軍事・行政・経済ネットワークを作り上げる。しかしそこには、内紛・天災・新興勢力の影が……。大きくなりすぎた国家を迎えた結末とは？</p> <p>1,100</p> <p>4-06-149307-8</p>	<p>1306</p> <p>軍事拡大の時代</p> <p><b>モンゴル帝国の興亡(上)</b></p> <p>杉山正明</p> <p>世界史はモンゴルの登場を待っていた——。チンギス・カンの即位とともに興った草原の遊牧国家がユーラシアを縦横に席捲し、大陸の東西を結ぶ。初代チンギスからクビライの奪権までの帝国史。</p> <p>946</p> <p>4-06-149306-X</p>	<p>1301</p> <p><b>〈子ども〉のための哲学</b></p> <p>永井 均</p> <p>自分ひとり裸一貫で哲学することのすすめ。なぜ僕は存在するのか。なぜ悪いことをしてはいけないのか。この二つの大問題に答えはあるか。脳に汗して考え、自分の答えを見つけるプロセスを語る。</p> <p>924</p> <p>4-06-149301-9</p>	<p>1293</p> <p>過去はどこへ行ったのか</p> <p><b>「時間」を哲学する</b></p> <p>中島義道</p> <p>現在は過去へと流れ去り、やがて未来が現在を補充する——時間理解の前提にこのフィクションを置く限り、過去・未来の正体は見えてこない。いつも現在であるという視点から時間の秘密を解く。</p> <p>924</p> <p>4-06-149293-4</p>	<p>1292</p> <p><b>日光東照宮の謎</b></p> <p>高藤晴俊</p> <p>絢爛豪華たる日光東照宮は徳川家康を「神」と祀る。なぜ日光の地なのか。東照大権現とはいかなる神か。創建にまつわる謎に挑み、五千を超える彫刻・絵画群が表象する壮大なコスモロジーを解読。</p> <p>946</p> <p>4-06-149292-6</p>
--	--	---	---	---

<p>1348</p> <p><b>自殺の心理学</b></p> <p>高橋祥友</p> <p>誰もが一度は考える自殺。決行する人と思いとどま る人の差はどこにあるか？ 自殺者の発するサイン とは？ いじめ、家族環境、うつ病などの具体例を 基に、世代別の予防・治療法を説く。</p> <p>990</p> <p>4-06-149348-5</p>	<p>1328</p> <p><b>「複雑系」とは何か</b></p> <p>吉永良正</p> <p>21世紀を解く最大のキーワード「複雑系」。生命・自 然・物質・社会・経済。あらゆる事象を取りこみ展 開していく新たな「知」のパラダイムとは何か。最 先端科学の現場に誘う恰好の入門書。</p> <p>990</p> <p>4-06-149328-0</p>	<p>1322</p> <p><b>藤原氏千年</b></p> <p>隴谷 寿</p> <p>始祖鎌足から不比等、良房らをへて道長に至り、つ いに満天に輝く望月となつた藤原一族。貴族の時代 をきらびやかに飾つた彼らの権謀、栄華、零落、伝 統……を、今に伝わる千年の歴史から描き出す。</p> <p>924</p> <p>4-06-149322-1</p>	<p>1321</p> <p><b>聖書vs.世界史</b> キリスト教的歴史観とは何か</p> <p>岡崎勝世</p> <p>天地創造から六千年で人類は終末を迎えると聖書は いう。ではアダムとエヴァよりも古いエジプトや中 国の歴史はどうなるのか。聖書と現実の世界史の整 合性を求めて揺れ続けた西欧知識人の系譜。</p> <p>1,100 電</p> <p>4-06-149321-3</p>	<p>1315</p> <p><b>じぶん・この不思議な存在</b></p> <p>鷺田清一</p> <p>わたしって誰？ じぶんって何？ じぶん固有のもの のみずからの内側に求めたとき、答えと見えたも のは幻影のように消え去る。視点を換え、他者との 関係のなかでじぶんがどんな形をとるかを考察。</p> <p>924 電</p> <p>4-06-149315-9</p>
---	--	---	--	--

<p>1376</p> <p>子どものトラウマ</p> <p>西澤 哲</p> <p>880 電</p> <p>4-06-149376-0</p>	<p>1372</p> <p>〈むなしさ〉の心理学 なぜ満たされないのか</p> <p>諸富祥彦</p> <p>836</p> <p>4-06-149372-8</p>	<p>1358</p> <p>「教養」とは何か</p> <p>阿部謹也</p> <p>924 電</p> <p>4-06-149358-2</p>	<p>1357</p> <p>新しいヘーゲル</p> <p>長谷川 宏</p> <p>924 電</p> <p>4-06-149357-4</p>	<p>1353</p> <p>はじめてのラテン語</p> <p>大西英文</p> <p>1,100 電</p> <p>4-06-149353-1</p>
---	--	---	---	--

身体（からだ）の傷は治つても心の傷は消えない。人格を、ときには人生さえ支配してしまふトラウマとは何か。第一線での臨床活動をふまえて子どもの虐待をとらえなおし、傷ついた子と親の心の回復を説く。

モノがあふれ情報がとびかう現代社会でなぜか満たされず、感じてしまふむなしさ。なぜだろうか。その原因をていねいに探り、「生きる意味」を実感できる生き方への道筋を明快にさし示す。

哲学のすべてを修めた後に、現実社会で靴直しや陶工の仕事につく——西欧中世の学問のあり方や、公共性としての「世間」に関する歴史的洞察から、誰もが身につけうる教養の可能性をさぐる。

ヘーゲルはむずかしいか？ そんなことはない、と著者は断言する。弁証法をひまわりの生長を例に説明し、『精神現象学』は教養小説と対比しながら論じる。ヘーゲルの思考を実感できる入門書。

ローマ帝国の犬もニューヨークの犬も、唸るときは同じ「r r r r r……」。ラテン語は今なお欧米諸語の中にこんなにも生きている。難解なイメージを払拭し、ABCから文法まで明快に解く入門決定版！

<p>1401</p> <p><b>これがニーチェだ</b></p> <p>永井 均</p> <p>990 電</p> <p>4-06-149401-5</p>	<p>1396</p> <p><b>はじめてのイタリア語</b></p> <p>郡 史郎</p> <p>924 電</p> <p>4-06-149396-5</p>	<p>1394</p> <p><b>参勤交代</b></p> <p>山本博文</p> <p>836</p> <p>4-06-149394-9</p>	<p>1383</p> <p><b>カントの人間学</b></p> <p>中島義道</p> <p>990</p> <p>4-06-149383-3</p>	<p>1379</p> <p><b>白村江</b> はくせんこう 古代東アジア大戦の謎</p> <p>遠山美都男</p> <p>946</p> <p>4-06-149379-5</p>
--	--	--	---	--

哲学とは主張ではない。徹頭徹尾、問うことなのだ。神の死を宣告し、道徳を批判した哲学者が設定した真に深い問いとは何か。三つのニーチェ空間という新しい視点からその本質を鮮やかに解く。

恐るべき動詞活用も最低必要なのは3パターン18通り——苦手意識を克服する平易な文法解釈と、実践的な日常会話、興味を誘う語源の数々。初心者も安心の発音指導で今日から使える実践的入門書。

他藩領内を通行する時の礼儀とは？ 幕府役人と本陣が重なったらどうなる？ 出発を延期することは可能か？ 先例を守り、面子を気にしながら約三年にわたり行われた参勤交代の実像に迫る。

カントは人間と人の世をどう見ていたか。緻密な哲学体系を作りあげた理論家は、一方で人間観察の鋭い眼を持つ。「気難しい哲学者」の内側に、矛盾に満ちた人間の普遍性を洞察するまなざしを読む。

海水みな赤し——唐・新羅連合軍の前に、倭国の百濟救援作戦は打ち碎かれた。各王権の内幕、決戦の真相とは？ 日本の国家形成途上に起こった壮大なパワーゲームを検証し、通説を覆す力作！

<p>1436</p> <p>古事記と日本書紀 〔天皇神話〕の歴史</p> <p>神野志隆光</p> <p>古事記と日本書紀は、同じ古代の神話を語った二種類の書物なのではない。イザナキ・イザナミや天の岩屋などおなじみの話を日本人はいかに受けとめてきたのか。清新でオリジナルな思想史の試み。</p> <p>946</p> <p>4-06-149436-8</p>	<p>1432</p> <p>江戸の性風俗 笑いと情死のエロス</p> <p>氏家幹人</p> <p>「肌を許す」とはどういうことだったのか。春画の効用、高貴な人々の性、男同士の絆、心中死体への眼差し、色と恋のゆくえ。豊富な史料を自在にひもとき、「性」の営みから語る江戸の精神史。</p> <p>792</p> <p>4-06-149432-5</p>	<p>1422</p> <p>演劇入門</p> <p>平田オリザ</p> <p>「俳優に必要な能力とは？ 演劇界をリードする作・演出家が、戯曲の構造から演技・演出論まで平易に教える、画期的な入門書！」</p> <p>924</p> <p>978-4-06-149422-0</p>	<p>1420</p> <p>無限論の教室</p> <p>野矢茂樹</p> <p>アキレスは亀に追いつけない！ 自然数1、2、3……と偶数2、4、6……は同数ある!? 無限の世界では、なぜこんな奇妙なことが起こるのだろうか。軽やかな笑いにのせて贈る異色の哲学講義。</p> <p>946</p> <p>4-06-149420-1</p>	<p>1414</p> <p>謎とき日本近現代史</p> <p>野島博之</p> <p>我々は近現代をどれほど知っているか。明治維新の性格、満州事変、太平洋戦争の経緯、高度経済成長の秘密など、「若者」も「大人」も意外に知らない近現代の構造変化を「歴史」として捉え直す。</p> <p>990</p> <p>4-06-149414-7</p>
--	--	--	--	--

<p>1454</p> <p>スポーツとは何か</p> <p>玉木正之</p> <p>990</p> <p>4-06-149454-6</p>	<p>1448</p> <p>日本人のしつけは 衰退したか</p> <p>「教育する家族」のゆくえ</p> <p>広田照幸</p> <p>924</p> <p>4-06-149448-1</p>	<p>1446</p> <p>南イタリアへ！ 地中海都市と文化の旅</p> <p>陣内秀信</p> <p>990</p> <p>4-06-149446-5</p>	<p>1442</p> <p>メデイチ家</p> <p>森田義之</p> <p>1,320</p> <p>4-06-149442-2</p>	<p>1439</p> <p>「心」とは意識のことか。意識プラス無意識か。では意識とは何なのか。脳科学の進歩につれ拡散していく心の全体像に「錯誤」を手がかりとしてスリリングに迫る。科学の最前線と社会を切り結ぶ名著。</p> <p>〈意識〉とは何だろうか</p> <p>下條信輔</p> <p>1,034</p> <p>4-06-149439-2</p>
---	---	---	--	--

<p>1470</p> <p>中世シチリア王国</p> <p>高山 博</p> <p>924</p> <p>4-06-149470-8</p> <p>ヨーロッパ、ビザンツ、イスラムという全く異なる三文化が交差し栄えた謎の地中海王国。ノルマン人の王が築き上げ十二世紀ルネサンスの舞台となったシチリアを通し、中世ヨーロッパを読み直す。</p>	<p>1469</p> <p>ヒンドウー教</p> <p>インド三〇〇〇年の生き方考え方</p> <p>K・M・セーン 中川正生 訳</p> <p>990</p> <p>4-06-149469-4</p> <p>知識、行為、信愛——これらが「神」にいたる三つの道である。豊かな多様性と途方もない包摂力をもって引き継がれてきたインド人の聖なる思索と理想の生活法、日々の実践の姿を簡明に解説する。</p>	<p>1468</p> <p>国語のできる子どもを育てる</p> <p>工藤 順一</p> <p>990</p> <p>4-06-149468-6</p> <p>本の面白さを知らない、作文が書けない子どもたち——その「失語」的状况の中で読むこと、書くことを親や教師はどう教えたらいいか？ 本当の国語力を引き出すための実践的教育法を提示する。</p>	<p>1466</p> <p>ゲーデルの哲学</p> <p>不完全性定理と神の存在論</p> <p>高橋昌一郎</p> <p>990</p> <p>4-06-149466-X</p> <p>「あなたが矛盾しないことを、あなたは証明できない」——不完全性定理を証明した希代の天才ゲーデル。パズル形式で難解な定理を解説し、晩年とりくんだ神の存在証明にもはじめてふみこんだ決定版。</p>	<p>1465</p> <p>トランスパーソナル心理学入門</p> <p>人生のメッセージを聴く</p> <p>諸富祥彦</p> <p>990</p> <p>4-06-149465-1</p> <p>ほんとうの自分とは、ほんとうの生き方とは。今の自分を含みつつ真実の自己へと「越えて」ゆく方法を探り、個を「越えた」豊かなつながりを志向する、目覚めと自己変革のためのガイドブック。</p>
---	--	--	---	---

<p>1501</p> <p><b>アメリカ文学のレッスン</b></p> <p>柴田元幸</p> <p>924</p> <p>4-06-149501-1</p>	<p>1500</p> <p><b>科学の現在を問う</b></p> <p>村上陽一郎</p> <p>814</p> <p>4-06-149500-3</p>	<p>1488</p> <p><b>日本の公安警察</b></p> <p>青木理</p> <p>990</p> <p>4-06-149488-0</p>	<p>1486</p> <p><b>エリザベス一世</b></p> <p>大英帝国の幕あけ</p> <p>青木道彦</p> <p>946</p> <p>4-06-149486-4</p>	<p>1485</p> <p><b>知の編集術</b></p> <p>発想・思考を生み出す技法</p> <p>松岡正剛</p> <p>990</p> <p>4-06-149485-6</p>
---	---	--	---	---

ポー、メルヴィルから、オースター、パワーズまで、アメリカ文学のおもしろさを、「食べる」「破滅」など人生の鍵言葉に託して語る。引用はすべて柴田訳による、待望の本格的講義。

科学と技術の発達は、人間を幸福にしたか？ 先端医療・IT化社会から理科教育の問題点まで、われわれをとり巻く様々なテーマを、科学史の第一人者が論ずる。現代人必読の書。

オウム・革マル派との「隠された戦い」とは？ 監視・尾行・盗聴・スパイ養成の実践法は？ 戦後の歴史、ベールに包まれた組織と人員、秘密部隊「サクラ」「チヨダ」などを解説する、衝撃の一冊！

来襲するスペイン無敵艦隊を破り、小国イギリスを世界帝国にする基礎を固めた処女王エリザベス。華麗にして勇猛、巧みな政治手腕をもつ彼女の実像と、それを生み出した転換期の西欧世界を語る。

膨大な情報を使いこなすヒントは「方法」にあり！ 映画や俳句、マンガなどユニークな題材を駆使した実践レッスンに学ぶ、連想・要約・推理の技法。考える力が自然に身につく「知の実用」決定版。

<p>1560</p> <p><b>神道の逆襲</b>  <small>〈サントリー学芸賞受賞〉</small></p> <p>菅野覚明</p> <p>968  </p> <p>4-06-149560-7</p>	<p>1544</p> <p><b>倫理という力</b></p> <p>前田英樹</p> <p>902</p> <p>4-06-149544-5</p>	<p>1542</p> <p><b>自由はどこまで可能か</b>  <small>リバタリアニズム入門</small></p> <p>森村 進</p> <p>924</p> <p>4-06-149542-9</p>	<p>1540</p> <p><b>戦争を記憶する</b>  <small>広島・ホロコーストと現在</small></p> <p>藤原帰一</p> <p>946  </p> <p>4-06-149540-2</p>	<p>1511</p> <p><b>優生学と人間社会</b>  <small>生命科学の世紀はどこへ向かうのか</small></p> <p>市野川容孝  米本昌平  松原洋子  棚島次郎</p> <p>1,100</p> <p>4-06-149511-9</p>
---	--	---	---	--

日本人は神さまとどのようにつきあってきたのだろうか。古事記、日本書紀の解釈を通じてつくりあげた世界観とは？ 古代から近世に至る神道の歴史に新たな見通しを与えた画期的論考。

「してはいけないこと」がある。「人様」という考え方は重要である。信じられないような犯罪が横行するいまこそ、「よりよく生きる」という人間が本来持っている力の再生を理論的に提唱する。

裁判は民営化できる、国債はなくせる、課税は最小限でいい、婚姻・相続制度に法はいらない!! 自己所有権をキーワードに、国家の存在意義を問い直し、真に自由な社会の可能性を探る注目の思想。

絶対平和を願う広島と、絶対悪に立ち向かう責任を問うホロコーストの記憶の違いとは。なぜ反戦思想が生まれ、一方でいまナショナリズムが台頭するのか。戦争を語るこの本質を真摯に問い直す。

優生学はナチズムか。戦後日本の優生政策の内実は。科学の発展や「自己決定」の考え方は、新たな優生学をもたらすか。歴史の再検討を通して従来の定説を書きかえ、遺伝子技術時代の視座を示す。

<p>1586</p> <p>自己物語の心理学</p> <p>〈ほんとうの自分〉の つくり方</p> <p>榎本博明</p> <p>「自分って何？」と自問しても、その答は得られない。それは聞き手との語り合いの中から浮かび上がってくる。自己を他者に物語る中で〈自分〉を見つめ直し、たしかかな生き方をつかむ方法を説く。</p> <p>946</p> <p>4-06-149586-0</p>	<p>1585</p> <p>フロイト思想の キーワード</p> <p>小此木啓吾</p> <p>エディプス・コンプレックスはいかにして発見されたか。夢解釈の理論と方法の確立の経緯は。「精神分析の父」としての知的考察から、知られざる私生活まで、これ一冊でフロイトのすべてがわかる！</p> <p>1,320</p> <p>4-06-149585-2</p>	<p>1582</p> <p>7つの哲学物語</p> <p>ロボットの心</p> <p>柴田正良</p> <p>ロボットだって、心は持てるのだ！ 誰もが驚く結論はたして可能か。脳科学と心と哲学の最先端理論を紹介しつつ、感情、道徳、機械といった今日の大問題にきりこむ、スリリングな7章。</p> <p>1,034</p> <p>4-06-149582-8</p>	<p>1575</p> <p>動物化する。ポストモダン</p> <p>東 浩紀</p> <p>オタクから見た日本社会</p> <p>気鋭の批評家による画期的な現代日本文化論！ オタク系文化のいまの担い手は一九八〇年前後生まれの第三世代。物語消費からデータベース消費へ。「動物化」したオタクが文化状況を劇的に変える。</p> <p>924</p> <p>電</p> <p>4-06-149575-5</p>	<p>1572</p> <p>ユダヤ人とローマ帝国</p> <p>大澤武男</p> <p>ユダヤ人はなぜ放浪の民となったのか。ナチスによるホロコーストにまでいたる迫害の根底には何があるのか。民族の悲劇的な運命を決定づけたローマ皇帝と古代キリスト教会指導者たちの意図とは。</p> <p>946</p> <p>4-06-149572-0</p>
---	--	--	--	---

<p>1600</p> <p><b>ハイデガーII 存在神秘の哲学</b></p> <p>古東哲明</p> <p>〈在る〉とはどのようなことか。いったいなぜ、私たちは〈在る〉のだろう。二〇世紀最大の哲学者とも言われるハイデガーの難解な思索を日常のレベルで解説しつつ、人間の根本問題に迫る意欲作。</p> <p>1,100</p> <p>4-06-149600-X</p>	<p>1599</p> <p><b>戦争の日本近現代史</b> 東大式レッスン! 征韓論から太平洋戦争まで</p> <p>加藤陽子</p> <p>日本はなぜ太平洋戦争に突入していったのか? 国家はどんな理屈で開戦への道筋をつくり、国民はどんな感覚で参戦を納得したのか。明治維新以降の「戦争の論理」を解明した画期的日本論、全九講。</p> <p>1,100</p> <p>電</p> <p>4-06-149599-2</p>	<p>1596</p> <p><b>失敗を生かす仕事術</b></p> <p>畑村洋太郎</p> <p>よい仕事をするためには失敗は避けられない。必ず起こる失敗を真正面から捉え、創造的に働くためのヒント。今日の成功が明日の失敗に変わる大激動期の現代にいちばん必要とされる知の技術を説く。</p> <p>792</p> <p>電</p> <p>4-06-149596-8</p>	<p>1588</p> <p><b>現代アラブの社会思想</b> 〈大佛次郎論壇賞受賞〉 終末論とイスラーム主義</p> <p>池内 恵</p> <p>アラブの内面を、どう理解するか。彼らにとってイスラームとは何か。なぜ今、終末論ブームなのか。気鋭の研究者が学術書からヒットソングまで涉猟し、苦難の歴史と現在を描き出した力作。</p> <p>880</p> <p>電</p> <p>4-06-149588-7</p>	<p>1587</p> <p><b>傭兵の二千年史</b></p> <p>菊池良生</p> <p>世界で二番目に古い職業と言われる傭兵。古代ギリシアから中世を経て国王の軍隊の中核に。フランス革命後、「国民軍」が誕生するまでヨーロッパの歴史を動かしてきた多くの傭兵たちの活躍を描く。</p> <p>990</p> <p>電</p> <p>4-06-149587-9</p>
---	---	--	--	---

<p>1627</p> <p><b>インタビュー術!</b></p> <p>永江 朗</p> <p>インタビューは危ない。読み方を知らないと情報に騙される。されど、インタビューは楽しい。スリリングな現場体験と名インタビュアーの技に学び、話を引き出して書く方法と味わい方を大公開!</p> <p>990 電</p> <p>4-06-149627-1</p>	<p>1624</p> <p><b>企業を高めるブランド戦略</b></p> <p>田中 洋</p> <p>商品名にすぎないブランドを育成し、強力な「資産」にして企業の信用と価値を高める——ブランドをマーケティングの中心にすえ、市場競争の中で優位に立つための戦略的思考法を具体的に説く。</p> <p>990</p> <p>4-06-149624-7</p>	<p>1620</p> <p><b>相手に「伝わる」話し方</b></p> <p>ぼくはこんなことを考えながら話してきた</p> <p>池上 彰</p> <p>聞く人の心に届くように話すとは!? NHKの報道記者として、キャスターとして、人気番組「週刊こどもニュース」で……。放送現場での体験を通じて得た、池上流「自分の言葉」を話す方法論。</p> <p>990 電</p> <p>4-06-149620-4</p>	<p>1618</p> <p><b>まちがいだらけの日本語文法</b></p> <p>町田 健</p> <p>「太郎は泳ぎが上手だ」の主語は何か。「らしい」と「ようだ」はどう使い分けるべきか。「学校文法」の過ちをただし、練習問題を解くことで「読み、書き、話す」技術を向上させる新しい文法書。</p> <p>880</p> <p>4-06-149618-2</p>	<p>1609</p> <p><b>一神教の誕生</b></p> <p>ユダヤ教からキリスト教へ</p> <p>加藤 隆</p> <p>世界最古の一神教であるユダヤ教の成立の過程と、ユダヤ教からのちに世界宗教となるキリスト教が派生していった経過を丹念に探る。人と神とのスリリングな関係を鋭い神学者が鋭く問い直す。</p> <p>1,034 電</p> <p>4-06-149609-3</p>
---	---	--	---	--

<p>1656</p> <p>上司と部下の人間学</p> <p><b>コーチングの技術</b></p> <p>菅原裕子</p> <p>990</p> <p>4-06-149656-5</p>	<p>1653</p> <p><b>これがビートルズだ</b></p> <p>中山康樹</p> <p>1,078</p> <p>4-06-149653-0</p>	<p>1641</p> <p><b>ゼロからわかる経済の基本</b></p> <p>野口 旭</p> <p>990</p> <p>4-06-149641-7</p>	<p>1638</p> <p><b>時間は実在するか</b></p> <p>入不二基義</p> <p>1,100</p> <p>4-06-149638-7</p>	<p>1635</p> <p><b>これが現象学だ</b></p> <p>谷 徹</p> <p>1,012</p> <p>4-06-149635-2</p>
---	---	--	---	--

現代思想の大きな潮流をなす現象学とは、そもそも何なのか。空虚になった学問の危機を克服するために創始したフッサールの思考によりつつ、経験から出発して世界に至る道筋を示した最良の入門書。

飛ぶ矢のパラドックスでは、飛ぶ矢は静止していることになってしまふ。はたして時間は流れているのか。マクタガートの非実在性の証明を検証しながら、過去・現在・未来の罨に挑んだ快著！

デフレはなぜ起きるのか、構造改革のどこが問題なのか、説明できますか？ 不良債権、金融危機、失業と中高年の自殺……「専門家」や政府まかせではいられない経済問題。読めば必ずわかる超入門！

ジョンの才能が最も発揮されたアルバムは？ 最新のビートルズ研究で判明した事実とは？ 初めて聴くなら、どのアルバムがいいのか？ 名バラードから超実験作まで揃った音楽の魅力を解剖する。

もともとスポーツのコーチ技術から生まれたコーチングは、上司と部下など、組織の人間関係を構築し、業績をあげる必須アイテム。ビジネスだけでなく、親子、教師と生徒などへの応用も含めて紹介。

<p>1680</p> <p>鉄道ひとつばなし</p> <p>原 武史</p> <p>人々を運び、歴史を動かしてきた鉄道。日本の近現代の歩みと地域差、日本人の時間意識と時刻表の關係、駅名の東西比較、痴漢発生の条件……鉄道の見方が変わる珠玉の76話。これであなとも鉄道通!</p> <p>880</p> <p>電</p> <p>4-06-149680-8</p>	<p>1679</p> <p>子どもに教えたくなる算数</p> <p>栗田哲也</p> <p>選び抜かれた良問を対話形式で解きながら、算数の本質と面白さをわかりやすく解説。これを読めばお父さんの算数アレギーもなくなり、思わず手ほどきしたくなる。子どもも伸びる。画期的虎の巻!</p> <p>880</p> <p>4-06-149679-4</p>	<p>1675</p> <p>ウイトゲンシユタインは こう考えた</p> <p>鬼界彰夫</p> <p>哲学的思考の全軌跡1912-1951</p> <p>魅力的な文体で人気が高いが難解。そんなウイトゲンシユタインの錯綜した思考を整理し、前期の『論理哲学論考』から後期『哲学探究』の最晩年まで、全テキストを統一的に読み通した画期的労作。</p> <p>1,430</p> <p>4-06-149675-1</p>	<p>1673</p> <p>神聖ローマ帝国</p> <p>菊池良生</p> <p>そもそもなぜ「神聖」にして「ローマ」なのか。古代ローマ帝国再興という見果てぬ夢を追い、そしてついに分裂状態にいたったのはなぜなのか。ローマ教皇に愛され、憎まれた帝国の実態に迫る。</p> <p>990</p> <p>電</p> <p>4-06-149673-5</p>	<p>1667</p> <p>悪女入門</p> <p>フラム・ファタル恋愛論</p> <p>鹿島 茂</p> <p>男を破滅させるために運命が送りどけた……そんな女が確実に存在する。魔性の魅力の秘密とは何か。宿命の恋の条件とは……。フランス文学の傑作から読み解く、恋愛の本質、そして小説の悦楽。</p> <p>990</p> <p>4-06-149667-0</p>
--	---	--	--	---

<p>1706</p> <p>新しいリハビリテーション 大川弥生</p> <p>人間「復権」への挑戦</p> <p>車いすがなくても、自分の足で生活できる！ 病気で体が不自由になると車いす生活、という常識は誤りだ。障害があっても具体的な生活目的を持ち、それを実現する、最新のリハビリ学を紹介する。</p> <p>990</p> <p>4-06-149706-5</p>	<p>1705</p> <p>魔女とカルトのドイツ史 浜本隆志</p> <p>ヒトラー・カルト誕生の根底には、キリスト教文化に抑圧されてきたゲルマン文化の噴出があった。ユダヤ人狩りから魔女狩り、笛吹き男の役割など、連続と続くカルト発生のメカニズムを読み解く。</p> <p>968</p> <p>4-06-149705-7</p>	<p>1701</p> <p>はじめての言語学 黒田龍之助</p> <p>《美しい日本語》とは？ 「外国語を知りたい」「日本語を深めたい」……ことばに興味のあるすべての人に贈る、「にぎやかな言語学」への招待。</p> <p>946</p> <p>4-06-149701-4</p>	<p>1700</p> <p>核兵器のしくみ 山田克哉</p> <p>ウラン爆弾、プルトニウム爆弾、水素爆弾……途方もないエネルギーはどのように生まれるのか？ 核分裂・核融合の原理から放射能の恐怖まで、現代人が知っておくべき核の知識をゼロから解説する。</p> <p>946</p> <p>4-06-149700-6</p>	<p>1687</p> <p>世界史とヨーロッパ 岡崎勝世</p> <p>ヨーロッパは「世界史」をどう記述してきたか。古代ギリシア人の世界と時間、宗教改革や自然科学に揺れるキリスト教的歴史観、非西欧世界への眼差しの変化……西欧的世界観を問い直す問題作！</p> <p>1,100</p> <p>4-06-149687-5</p>
--	---	--	--	--

<p>1723</p> <p><b>演技と演出</b></p> <p>平田オリザ</p> <p>台詞を自然体で話すコツとは。観客の想像力をいかに広げるか。俳優になる条件とは。宝塚や『ガラスの仮面』と現代演劇では、どう違うのか——演劇界をリードする気鋭による『演劇入門』第二弾。</p> <p>946 電</p> <p>4-06-149723-5</p>	<p>1719</p> <p><b>「しきり」の文化論</b></p> <p>柏木 博</p> <p>人間の意識が「しきり」を生み、「しきり」が人間の意識を形作る。聖と俗、公と私、家庭内、さまざまな視点から人間と「しきり」の奥深い関係に迫る興味尽きない刺激的な文化論。</p> <p>880 電</p> <p>4-06-149719-7</p>	<p>1712</p> <p><b>宗教改革の真実</b></p> <p>カトリックとプロテスタントの社会史</p> <p>永田 諒一</p> <p>ルターの「論題貼り出し伝説」はウソだった!? 聖職者が結婚し、キリストの像が破壊され、法王が悪魔に描かれた中世末期。民衆はなぜカトリックへの反逆を支持したのか、大転換期の諸相を描く。</p> <p>924</p> <p>4-06-149712-X</p>	<p>1708</p> <p><b>きむら式 童話のつくり方</b></p> <p>木村 裕一</p> <p>明日から童話を書けるすべてが詰まった一冊。『あらしのよるに』他ミリオンセラーを何度も放った童話作家が、明確で行き届いた文章マニュアル、作家として成功する方法、思わすうなる童話論を伝授。</p> <p>924</p> <p>4-06-149708-1</p>	<p>1707</p> <p><b>参謀本部と陸軍大学校</b></p> <p>黒野 耐</p> <p>大東亜戦争敗戦の真因は組織作りと教育の失敗にあった。権力争いの道具となつて有名無実化した参謀本部と、現実に即さない教育方針から無能な参謀を輩出した陸軍大学校。その絶望的な内実に迫る。</p> <p>924 電</p> <p>4-06-149707-3</p>
--	--	--	---	---

<p>1749</p> <p><b>自由とは何か</b></p> <p>「自己責任論」から「理由なき殺人」まで</p> <p>佐伯啓思</p> <p>さまざまなか場面使われるようになった「自己責任」という言葉、少年犯罪から戦争の大義まで、現代社会の抱える病の多くは、自由の問題に起因する。自由の本質に鋭く切り込む著者渾身の論考！</p> <p>1,100 電</p> <p>4-06-149749-9</p>	<p>1746</p> <p><b>中国の大盗賊・完全版</b></p> <p>高島俊男</p> <p>名著と評価の高い旧版から削除されていた幻の原稿百五十枚を完全に復元。毛沢東を最後の盗賊皇帝ととらえ、共産党の中国の本質を明かす。劉邦から現代まで、中国の歴史を痛快につづる完全版。</p> <p>1,100 電</p> <p>4-06-149746-4</p>	<p>1745</p> <p><b>私・今・そして神</b> 開關の哲学</p> <p>永井 均</p> <p>《私》が《今》いるとはどういうことか。カント、ウイトゲンシュタイン、ライプニッツなどを自在に横断しながら、自分の言葉で徹底的に哲学する会心の傑作。ここから「本当の哲学」が始まる！</p> <p>946 電</p> <p>978-4-06-149745-0</p>	<p>1741</p> <p><b>武士道の逆襲</b></p> <p>菅野覚明</p> <p>ブームになった新渡戸「武士道」は明治の産物であって真の武士道ではない。「甲陽軍鑑」「葉隠」など本来の武士の思想を広く検証し、近代の所産である「大和魂」や「国民道徳」との違いを明らかにする。</p> <p>968 電</p> <p>4-06-149741-3</p>	<p>1738</p> <p><b>大人のための文章教室</b></p> <p>清水義範</p> <p>依頼書、企画書、報告書、お詫びの手紙、随筆、紀行文……きちんと書きたい人へ必携の一冊！ テンマルの打ち方から今すぐ使える裏技まで、オリジナル例文満載、面白いから身につく必勝上達法。</p> <p>924 電</p> <p>4-06-149738-3</p>
--	---	---	--	--

<p>1765</p> <p><b>科学する麻雀</b></p> <p>とつげき東北</p> <p>裏スジは危険ではない。手変わりを待つな。ベタオリには法則がある——膨大なデータと数式が切り開く無知の闇。根拠なき俗説を覆し、麻雀の「答え」に果敢に迫る本邦初の「勝つための」理論書！</p> <p>990 電</p> <p>4-06-149765-0</p>	<p>1763</p> <p><b>ソシユールと言語学</b></p> <p>町田 健</p> <p>コトバはなぜ通じるのか</p> <p>ソシユールという水源に発した構造主義言語学。その基本的な考え方は？ ソシユール以後、それはどう受け継がれ、展開してきたか。コトバの謎に挑んだ巨人たちの知的営為を平易に解説する。</p> <p>924 電</p> <p>4-06-149763-4</p>	<p>1761</p> <p><b>中国文明の歴史</b></p> <p>岡田英弘</p> <p>中国とはどんな意味か。いつ誕生したのか。民族の変遷、王朝の栄枯盛衰、領土の拡大を軸に、中国の歴史をわかりやすく教える。もともとコンパクトで平易な中国史の入門書として好評。</p> <p>1,100 電</p> <p>4-06-149761-8</p>	<p>1759</p> <p><b>文系のための数学教室</b></p> <p>小島寛之</p> <p>数式は「眺め方」さえわかればこわくない。棒グラフで読む積分・微分からブラックIIシヨールズの公式まで、読んでびっくり、わかって楽しい最新数学入門講座。知らずに生きるのはもつたいない！</p> <p>990 電</p> <p>4-06-149759-6</p>	<p>1755</p> <p><b>仏教発見！</b></p> <p>西山 厚</p> <p>お釈迦さまは何をさとしたのか？ 「縁起」と「慈悲」のほんとうの意味とは？ 長年、生の仏教美術にふれてきた博物館の名物学芸員が、思わず誰かに話したくなる仏教の真髄を語りつくす。</p> <p>946</p> <p>4-06-149755-3</p>
--	--	--	---	--

<p>1797</p> <p>「特攻」と日本人</p> <p>保阪正康</p> <p>肉体を兵器に変えて、四千名余の命が散った。彼らは犬死にか？ それとも戦後の繁栄をつくった英霊か？ 特攻隊員が残した日記・手紙を読み解き、軍部の作戦を検証して、昭和史最大の悲劇に迫る。</p> <p>946 電</p> <p>4-06-149797-9</p>	<p>1787</p> <p>人生に意味はあるか</p> <p>諸富祥彦</p> <p>生の実感が得られない、漠然とした空虚感に苛まれる、心のブレイキが利かない——人気カウンセラーが、文学からスピリチュアリティの名著を足がかりに、〈生きる目的〉の見つけかたを説く。</p> <p>1,100 電</p> <p>4-06-149787-1</p>	<p>1786</p> <p>数学的思考法 説明力を鍛えるヒント</p> <p>芳沢光雄</p> <p>大学生はなぜ分数計算ができなくなったのか？ 論理的説明力が低下している理由は？ 「条件反射丸暗記」計算は捨て、試行錯誤で発想力を養おう！ ヒント満載、「本当に考えるためのレッスン」。</p> <p>924 電</p> <p>4-06-149786-3</p>	<p>1783</p> <p>スピノザの世界 神あるいは自然</p> <p>上野 修</p> <p>神が唯一絶対の実体であるとして汎神論を説いた一七世紀の哲学者スピノザ。彼が本当に考えたことは何か。なぜ、神にも人間にも自由な意志はないのか。平明にして深い、類例をみない入門書！</p> <p>924 電</p> <p>4-06-149783-9</p>	<p>1769</p> <p>まんがパレスチナ問題</p> <p>山井教雄</p> <p>なぜアラブとイスラエルは争うの？ 宗教って何？ 民族って何？ パレスチナの少年アリとユダヤの少年ニツシム、そしてエルサレムの猫。二人と一匹が旧約聖書の時代から続く大問題をガイドする。</p> <p>990 電</p> <p>4-06-149769-3</p>
--	--	---	--	--

1811	1810	1809	1808	1805
<p data-bbox="218 168 260 553"><b>歴史を学ぶということ</b></p> <p data-bbox="218 651 260 781">入江 昭</p> <p data-bbox="177 805 301 1357">軍国少年として終戦を迎え、高校卒業後、貨物船で渡米——シカゴ大、ハーヴァード大で長年教鞭をとってきた歴史家は、いかに歴史と出会ったのか。現代をどう見ているか。最良の歴史入門書！</p> <p data-bbox="215 1373 263 1398">814</p> <p data-bbox="225 1403 252 1430">電</p> <p data-bbox="187 1430 291 1450">4-06-149811-8</p>	<p data-bbox="363 168 405 591"><b>わが子に教える作文教室</b></p> <p data-bbox="363 651 405 781">清水義範</p> <p data-bbox="322 805 446 1357">父よ母よ、作文の「星一徹」たれ！こうすれば必ず上手になるという熱血指導術を、楽しい例文つきで紹介。見本からユーモアのある作文まで、実は親もうまくなる名講座。子どもの心が躍ります！</p> <p data-bbox="360 1373 408 1398">792</p> <p data-bbox="370 1403 397 1430">電</p> <p data-bbox="332 1430 436 1450">4-06-149810-X</p>	<p data-bbox="511 168 553 513"><b>畑村式「わかる」技術</b></p> <p data-bbox="511 610 553 781">畑村洋太郎</p> <p data-bbox="470 805 594 1357">「わかる」ことから創造も始まる！『失敗学』『直観でわかる数学』などで人気の著者が、「なぜわかるのか、わからないのか」から始まり、知的生産をアツプさせるための手法を具体的に解説する。</p> <p data-bbox="508 1373 556 1398">990</p> <p data-bbox="519 1403 545 1430">電</p> <p data-bbox="480 1430 584 1450">4-06-149809-6</p>	<p data-bbox="656 168 698 477"><b>ジャズの名盤入門</b></p> <p data-bbox="656 651 698 781">中山康樹</p> <p data-bbox="615 805 739 1357">BGM代わりに聴き流しては分らない、名盤ならではの魅力とは何か？スリリングな怒濤のライヴからリリカルなピアノトリオまで、今なお刺激的な必聴盤を50枚紹介するディスクガイド。</p> <p data-bbox="653 1373 701 1398">924</p> <p data-bbox="664 1403 691 1430">電</p> <p data-bbox="625 1430 729 1450">4-06-149808-8</p>	<p data-bbox="798 168 840 477"><b>人類進化の700万年</b></p> <p data-bbox="767 168 798 461">書き換えられる「ヒトの起源」</p> <p data-bbox="798 651 840 781">三井 誠</p> <p data-bbox="757 805 881 1357">「人類の歴史500万年」と言われていたのは昔の話。最古の人類からネアンデルタール人、現生人類の謎まで。最新の研究成果をもとに見えてきた私たちの祖先の姿をわかりやすく説き明かす。</p> <p data-bbox="795 1373 843 1398">990</p> <p data-bbox="806 1403 832 1430">電</p> <p data-bbox="767 1430 871 1450">4-06-149805-3</p>

<p>1840</p> <p><b>算数・数学が得意になる本</b></p> <p>芳沢光雄</p> <p>「分数で割る」って、どういうこと？ マイナスかけるマイナスはなぜプラス？ つまずいても大丈夫！ 「くり上がり・くり下がり」から微積分の考え方まで、こうすればわかる数学的思考力育成法。</p> <p>990 電</p> <p>4-06-149840-1</p>	<p>1839</p> <p><b>読む哲学事典</b></p> <p>田島正樹</p> <p>「本質と時間、愛と暴力、こと私……。対にした項目から思いがけなく見えてくる、日常の言葉と哲学用語が織りなす概念のネットワーク。一流の哲学思考の精髓を軽妙な文章で「読んで愉しむ」事典。</p> <p>880 電</p> <p>4-06-149839-8</p>	<p>1837</p> <p><b>若者殺しの時代</b></p> <p>堀井憲一郎</p> <p>クリスマスはいつから恋人たちのものになったのか？ 若者がわりを食う社会の起源は？ すべての謎は80年代にあった！ ずんずん調査のホレイ博士が日本の若者の曲がり角をユニークな視点で探る。</p> <p>770 電</p> <p>4-06-149837-1</p>	<p>1827</p> <p><b>他人を見下す若者たち</b></p> <p>速水敏彦</p> <p>自分に甘く、他人に厳しい。すぐにイラつき、キレる。自分に非があっても謝らない——若者たちの感情とやる気を変化したのは、なぜか？ 「自分以外はバカ」の時代を読み解く、現代人必読の書。</p> <p>990 電</p> <p>4-06-149827-4</p>	<p>1813</p> <p><b>はじめての〈超ひも理論〉</b></p> <p>川合 光</p> <p>宇宙・力・時間の謎を解く</p> <p>時間も空間も1個のひもから始まった！ クオークの正体は何か。重力はいかに説明されたか。「究極の物理理論」を第一線研究者がわかりやすく解説。常識を覆す「サイクリック宇宙」試論も収録！</p> <p>880</p> <p>4-06-149813-4</p>
---	---	--	--	--

1841  
知ってる古文の  
知らない魅力

鈴木健一

「春はあけほの」祇園精舎の鐘の声」。誰でも知って  
いる有名な一節にこんな意味があったとは……。古  
典という大河からすくい上げられたことばの未知な  
る魅力を示し、読むことの快楽に誘う一冊。

924  
電

4-06-149841-X

1844  
「関係の空気」「場の空気」

冷泉彰彦

一対一では必要なのに、集団で発生すると、個人へ  
の圧力となる「空気」。日本社会の大きな特徴でもあ  
る空気の問題を、日本語の流通の問題と絡めて論じ、  
各方面から大きな反響を呼んだ話題書。

924  
電

4-06-149844-4

1849  
系統樹思考の世界  
すべてはツリーとともに

三中信宏

進化するのは生物だけじゃない。ことば、音楽、車  
……万物には祖先から子孫への系譜の流れがある。  
では、いかにして失われた過去の由来関係を推定す  
るか？ その考え方と方法論を平易に解説。

1,100  
電

4-06-149849-5

1861  
〈勝負脳〉の鍛え方

林 成之

あなたがいままで負けていたのは、脳の使い方が悪  
かったからだ。すぐにあきらめる、勉強しても成果  
が出ない……。スポーツにビジネスに勉強に勝てない  
脳を、臨床医の第一人者が劇的に変える快著！

902  
電

4-06-149861-4

1862  
「普通がいい」という病

泉谷閑示

いつの間にか「○○しなくちゃいけない」といった  
思い込みに捕らわれていませんか？ 私たちに刷り  
込まれている「常識」を疑い、もっと自分らしく生  
きるための十のヒントを精神科医が示す。

1,012  
電

4-06-149862-2

<p>1883</p> <p>動物化するポストモダン②</p> <p>ゲーム的リアリズムの誕生 東 浩紀</p> <p>現代日本の物語の想像力の行方とは？ オタクを中心として大量に消費されているライトノベル、ゲーム等の作品分析を通じて、ポストモダン社会の生をも見通す。文芸批評に新たな地平を切り拓いた快著。</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-149883-9</p>	<p>1881</p> <p>ゲノムでよみとく生命誌講座</p> <p>「生きている」を見つめる医療 中村桂子 山岸 敦</p> <p>「私が生きていく」とはどういうことか。生まれ、育ち、暮らし、老い、死ぬ。かけがえない自分の生命を通して考える他の人々や生物とのつながり。豊かな人生の手がかりと医療の理想がここにある。</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-149881-5</p>	<p>1867</p> <p>空間 時間 そして世界</p> <p>現代建築に関する16章 五十嵐太郎</p> <p>この百年、建築家は住むこと、建てることの意味を問いつづけてきた。歴史、素材、そして空間に彼らがいかに挑んだか。世界を理解し未来へとつなげようと試みる試みを十六のキーワードから読みとく。</p> <p>946</p> <p>4-06-149867-3</p>	<p>1866</p> <p>欲ばり過ぎる ニッポンの教育 苅谷剛彦 増田ユリヤ</p> <p>「学力世界」で注目されるフィンランドの教育を解剖してみると、「教育格差」「学習資本主義の出現」「相对評価でいいのか」など、教育改革以前の、親の不安、学校の困惑など問題点が見えてくる！</p> <p>880 電</p> <p>4-06-149866-5</p>	<p>1865</p> <p>老いるということ 黒井千次</p> <p>人間にとって老いとは何か。老いどのような向き合うべきか。そして老いによって拓かれるより深い領域の可能性とは何か。文芸・映画・演劇等を題材に「老いる」ことの意味を真摯に綴る人生論。</p> <p>880 電</p> <p>4-06-149865-7</p>
---	---	---	---	---

<p>1900</p> <p>日中戦争</p> <p>殲滅戦から消耗戦へ</p> <p>小林英夫</p> <p>日中戦争とは、日本の殲滅戦略と中国の消耗戦略の激突だった！ 日中両国民の思いが綴られた新史料を手掛かりに、当時の庶民、軍人、文化人らが見た戦争を活写し、日本軍敗北の原因を探る一冊。</p> <p>836</p> <p>電</p> <p>978-4-06-287900-2</p>	<p>1892</p> <p>近江から日本史を読み直す</p> <p>今谷 明</p> <p>信長、比叡山、近江商人……。時代を動かしたのは、この地が秘めたエネルギーだった。東西日本の接点として古くから政治や経済、文化の要衝であった「湖国」から歴史の核心に迫る、異色の日本通史。</p> <p>990</p> <p>電</p> <p>978-4-06-149892-1</p>	<p>1891</p> <p>生物と無生物のあいだ</p> <p>福岡伸一</p> <p>「生きている」とはどういうことか？ 分子生物学がたどりついた地平を、歴史の闇に沈んだ科学者たちの思考と自身の研究遍歴から平易につづる。ペー지를めぐる手にとまらない極上の科学ミステリー。</p> <p>968</p> <p>978-4-06-149891-4</p>	<p>1890</p> <p>「天才」の育て方</p> <p>五嶋 節</p> <p>「生きていく」とは？ 子どもに敬意をもって、我慢する心と継続する力を！ 世界的ヴァイオリニストの姉・みどりと弟・龍を育てた母が、音楽論から「いじめ」までを語り尽くす「体当たり教育論」。</p> <p>924</p> <p>電</p> <p>978-4-06-149890-7</p>	<p>1888</p> <p>50年前の憲法大論争</p> <p>保阪正康 監修</p> <p>昭和三十一年三月十六日、衆議院内閣委員会公聴会で展開された白熱の議論の記録。神川彦松・中村哲・戒能通孝の三碩学の公述と、石橋政嗣・飛鳥田一雄・辻政信ら八人の質問はいまこそ必読である。</p> <p>858</p> <p>電</p> <p>978-4-06-149888-4</p>
---	--	---	--	--

<p>1924</p> <p><b>東京裁判</b></p> <p>〈サントリー学芸賞受賞〉</p> <p>日暮吉延</p> <p>イデオロギーを排し、徹底的な実証と醒めた認識で法廷内外の「事実」を追ってみる。するとあの裁判が「国際政治」の産物以上のものではないとわかってくる。戦後を呪縛する長年の論争に終止符を打つ。</p> <p>1,210 電</p> <p>978-4-06-287924-8</p>	<p>1922</p> <p><b>発達障害の子どもたち</b></p> <p>杉山登志郎</p> <p>言葉が幼い、落ち着きがない、情緒が不安定。そだちが遅れる子どもに対して治療や養護をどう進めるか。ADHD、アスペルガー、自閉症など、子どもと向き合ってきた第一人者がやさしく教える。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-280040-2</p>	<p>1921</p> <p><b>モテたい理由</b></p> <p>男の受難・女の業</p> <p>赤坂真理</p> <p>女性誌はなぜ「モテ」を大合唱するのか？ その先に幸せはあるのか？ 蔓延する自分語りの文法から恋愛至上主義とオタクの関係まで、みんなで無理してみんなが息苦しい男女の今を鮮やかにえぐる！</p> <p>792 電</p> <p>978-4-06-287921-7</p>	<p>1918</p> <p><b>日本人はなぜキツネにだまされなくなったのか</b></p> <p>内山 節</p> <p>転機は1965年だった——。そのとき私たち日本人の精神世界にどんな変化が起こり、何を失ったのか。森を歩き山里に暮らす哲学者が、日本各地で得た証言から、「みえなくなった」歴史を問い直す。</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-287918-7</p>	<p>1904</p> <p><b>八幡神と神仏習合</b></p> <p>達<sup>つひ</sup> 日出典</p> <p>八幡神はもともと新羅からやってきた渡来神だった。九州宇佐の地を中心にして勢力を広げ、やがては日本の神仏習合を主導、天皇家とも関わりの深い神の秘密を丹念な調査をもとに明らかにする。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-287904-0</p>
---	---	---	---	---

<p>1936</p> <p>かけがえのない人間</p> <p>上田紀行</p> <p>自分は情けない人間でない。社会から見捨てられた交換可能な消耗品「使い捨て」ではなく「かけがえのない人間」だ、と自ら引き受けた時に人の行動は確実に変化します。人生の宝に出会う感動の書。</p> <p>946 電</p> <p>978-4-06-287936-1</p>	<p>1935</p> <p>中学入試国語のルール</p> <p>石原千秋</p> <p>入試で点差が開くのは何ととっても国語。でも大丈夫。この16のルールさえ押さえておけば、解くのは簡単！本書のページをめくれば、子どもと志望校の相性までわかるはず。損はさせません。</p> <p>924</p> <p>978-4-06-287935-4</p>	<p>1932</p> <p>都市計画の世界史</p> <p>日端康雄</p> <p>「自然は神が創り、都市は人間が造った」。古代エジプト・メソポタミアから21世紀の巨大都市まで。人類が都市に注ぎ込んできた思想と技術の軌跡を辿り、現代の「都市の時代」に生かせる知恵を探る。</p> <p>1,320 電</p> <p>978-4-06-287932-3</p>	<p>1926</p> <p>なぜ社員同士で協力できないのか 不機嫌な職場</p> <p>高橋克徳 河合太介 永田稔 渡部幹</p> <p>何となくいつもイライラ・ギスギス……。そんな職場になつていませんか？多くの会社で陥っている「負の構造」を明らかにし、その解決法をグループなどの実例で明らかにする。会社活性化に必須の書。</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-287926-2</p>	<p>1925</p> <p>数学でつまずくのはなぜか</p> <p>小島寛之</p> <p>マイナス×マイナスはなぜプラス？証明問題はどうしてややこしい約束事ばかりなのか？学校教育の落とし穴から抜け出すまったくユニークな数学伝授法を大公開。数学的センスは誰のなかにもある！</p> <p>1,056 電</p> <p>978-4-06-287925-5</p>
---	---	--	--	---

<p>1949</p> <p>見えないアメリカ 保守とリベラルのあいだ</p> <p>渡辺将人</p> <p>スタバ好きはリベラル!? アメリカ人はみんなワシントンが大嫌い!? 暮らしの中に息づいた政治性の起源を、気鋭の政治学者が選挙現場での経験から探る。誰も知らないアメリカ発見の旅へようこそ!</p> <p>990</p> <p>978-4-06-287949-1</p>	<p>1948</p> <p>可能性・不確定性・不完全性 理性の限界</p> <p>高橋昌一郎</p> <p>我々が信じる合理的選択、科学的認識、論理的思考は、絶対的なものではない! 世界の根源に関わる事象と密接に関連する人間の「理性の限界」と可能性をダイアレクト形式で平易に描く論理学入門書。</p> <p>1,100</p> <p>978-4-06-287948-4</p>	<p>1947</p> <p>落語の国から のぞいてみれば</p> <p>堀井憲一郎</p> <p>個性をやたら重視するムード、恋愛こそすべてという圧力、死んだらおしまいと言えない空気……いまの世の中はどこか息苦しくないか? 落語のなかに生きる人々の姿から、近代人のおかしさを撃つ!</p> <p>814</p> <p>978-4-06-287947-7</p>	<p>1943</p> <p>なぜ日本人は 学ばなくなったのか</p> <p>齋藤 孝</p> <p>勉強嫌いの、読書量の不足、敬意の喪失など萎縮する若者が「できる」大人になるためにはどうするか。自己形成を軸とした根源的な問いを語り合う「心の習慣」など、教育力を取り戻すための画期的考察。</p> <p>924</p> <p>978-4-06-287943-9</p>	<p>1940</p> <p>調べる技術・書く技術</p> <p>野村 進</p> <p>これがプロの知的生産術だ! テーマ選び、資料収集法、質問の作り方から、インタビュウの実際、原稿執筆のコツまで——第一線のジャーナリストがすべて明かす。レポート作成などに役立つと好評。</p> <p>990</p> <p>978-4-06-287940-8</p>
--	---	---	--	--

<p>1962</p> <p>親子という病</p> <p>香山リカ</p> <p>親が子の幸せを願う思いは無償なのか。子が親を慕う気持ちに偽りはないのか。頻発する親殺し、母親礼賛、中年反抗期、子どもの虐待死、べったり母娘など深まる親子の病理の背景に潜む問題点とは――。</p> <p>770</p> <p>☎</p> <p>978-4-06-287962-0</p>	<p>1961</p> <p>国際正義の論理</p> <p>押村 高</p> <p>「国家の主権」と「人間の安全保障」が拮抗する時代にあって、古くて新しい問いに真正面から立ち向かい、真の文明間対話を模索する一冊。</p> <p>880</p> <p>978-4-06-287961-3</p>	<p>1960</p> <p>女装と日本人</p> <p>三橋順子</p> <p>正義とは唯一のものか、それとも複数存在するのか!? 「国家の主権」と「人間の安全保障」が拮抗する時代にあって、古くて新しい問いに真正面から立ち向かい、真の文明間対話を模索する一冊。</p> <p>1,320</p> <p>☎</p> <p>978-4-06-287960-6</p>	<p>1958</p> <p>早稲田と慶応 名門私大の栄光と影</p> <p>橋木俊詔 なほまき</p> <p>なぜ早慶出身の首相が増えたのか？ 卒業生が実業界で活躍する理由とは？ 帝国大学の後塵を拝していた両校はなぜ躍進したのか？ 一貫教育、研究水準など名門私大を徹底解剖し、その戦略を明かす。</p> <p>880</p> <p>☎</p> <p>978-4-06-287958-3</p>	<p>1950</p> <p>「昭和」を点検する</p> <p>保阪正康 半藤一利</p> <p>なぜ、あの無謀な戦争に突入していったのか？ 五つのありふれた言葉が日本人の弱点をあぶり出す。昭和史研究の第一人者が、いまの時代にどうしても語っておきたかったことを凝縮した珠玉の対論。</p> <p>792</p> <p>978-4-06-287950-7</p>
---	--	--	---	--

1978	1977	1970	1966	1965
<p data-bbox="142 167 222 397"><b>思考停止社会</b> 「遵守」に蝕まれる日本</p> <p data-bbox="181 646 222 782">郷原信郎</p> <p data-bbox="137 803 264 1356">いまや「遵守」の害は法令だけではなく、社会規範にまで及んでいる。食の「偽装」に隠された真実、「年金改ざん」問題の嘘、裁判員制度の迷走など、社会システムを脅かすそのメカニズムを解明する。</p> <p data-bbox="176 1372 227 1429">924 電</p> <p data-bbox="132 1429 269 1450">978-4-06-287978-1</p>	<p data-bbox="326 167 367 474"><b>天皇陛下の全仕事</b></p> <p data-bbox="326 646 367 782">山本雅人</p> <p data-bbox="284 803 411 1356">天皇陛下は毎日どんな仕事をどのように行われているのか？ 天皇・皇后両陛下下の「平成流スタイル」とは？ 素朴な疑問にこたえて、元宮内記者がわかりやすく解説。皇室報道が倍おもしろくなる！</p> <p data-bbox="323 1372 375 1429">990 電</p> <p data-bbox="279 1429 416 1450">978-4-06-287977-4</p>	<p data-bbox="471 167 512 438"><b>ビートルズの謎</b></p> <p data-bbox="471 646 512 782">中山康樹</p> <p data-bbox="429 803 556 1356">新資料や証言で、ビートルズの伝説は日々更新されている！ 「レイモンド・ジョーンズ」は実在したか？ 発禁ジャケットはなぜ生まれたか。解散の真相とは？ 音楽ファン必読のスリリングな書。</p> <p data-bbox="468 1372 520 1429">990 電</p> <p data-bbox="424 1429 561 1450">978-4-06-287970-5</p>	<p data-bbox="616 167 657 397"><b>〈満洲〉の歴史</b></p> <p data-bbox="616 646 657 782">小林英夫</p> <p data-bbox="574 803 701 1356">第一人者によるこれまでになかった満洲入門書。17世紀〜19世紀の「清朝封禁の地」から、20世紀の満洲国の実態まで、日本にとって満洲とは何だったのかを真摯に問う、新しい視点の中国東北史。</p> <p data-bbox="613 1372 665 1404">1,034</p> <p data-bbox="569 1429 706 1450">978-4-06-287966-8</p>	<p data-bbox="761 167 802 438"><b>創価学会の研究</b></p> <p data-bbox="761 646 802 782">玉野和志</p> <p data-bbox="720 803 846 1356">勤行、教学、折伏、財務。学会員の日常とは。なぜ非学会員は学会を嫌うのか。他の宗教と何が違うか。保守化・巨大化した組織の行方は。社会学者が実像に迫って書いた、批判でも賞賛でもない学会論。</p> <p data-bbox="758 1372 810 1429">880 電</p> <p data-bbox="714 1429 851 1450">978-4-06-287965-1</p>

1988	1984	1982	1981	1979
<p data-bbox="215 167 260 573"><b>入門 哲学としての仏教</b></p> <p data-bbox="218 646 256 781">竹村牧男</p> <p data-bbox="174 803 301 1356">仏教とはかくもモダンな思想だったのか！ 実体を否定する縁起と無我。意識下の世界を究明する唯識思想。絶対現在の時間論——。現代哲学を先取りした思想の本質を、第一人者が解き明かす入門書。</p> <p data-bbox="215 1373 260 1398">990</p> <p data-bbox="225 1401 249 1425">☎</p> <p data-bbox="169 1430 305 1450">978-4-06-287988-0</p>	<p data-bbox="365 167 410 399"><b>いじめの構造</b></p> <p data-bbox="329 167 358 415">なぜ人が怪物になるのか</p> <p data-bbox="365 646 404 781">内藤朝雄</p> <p data-bbox="322 803 449 1356">学校や社会からこの苦しみが消えない原因とは？ 「いじめの秩序のメカニズム」癒しとしての「いじめ」とは？ 「いじめ研究」の第一人者として知られる著者が、問題の本質を明らかにし、解決の道を探る。</p> <p data-bbox="353 1373 422 1398">1,034</p> <p data-bbox="370 1401 394 1425">☎</p> <p data-bbox="318 1430 453 1450">978-4-06-287984-2</p>	<p data-bbox="510 167 555 513"><b>皇軍兵士の日常生活</b></p> <p data-bbox="513 618 552 781">一ノ瀬俊也</p> <p data-bbox="470 803 597 1356">アジア・太平洋戦争は本当に日本社会を公平化したのか？ 昇進につきまとう学歴の壁、応召手当をめぐる格差、食糧をめぐる将校と兵士の違い——。戦争に翻弄された兵士と家族の群像を描き出す。</p> <p data-bbox="500 1373 568 1398">1,100</p> <p data-bbox="518 1401 541 1425">☎</p> <p data-bbox="465 1430 600 1450">978-4-06-287982-8</p>	<p data-bbox="660 167 705 589"><b>日本語論理トレーニング</b></p> <p data-bbox="664 646 702 773">中井浩一</p> <p data-bbox="619 167 736 406">正しく読み、深く考える</p> <p data-bbox="619 803 746 1356">「論理」は日常のあらゆることばや文章の中にあり、思考力とは論理の運用能力に他ならない。学校国語では身につかない論理力を鍛えるための、国語専門塾塾長の著者によるシンプルで実践的な訓練法。</p> <p data-bbox="660 1373 705 1398">990</p> <p data-bbox="668 1401 692 1425">☎</p> <p data-bbox="615 1430 751 1450">978-4-06-287981-1</p>	<p data-bbox="809 167 853 282"><b>回復力</b></p> <p data-bbox="772 167 801 326">失敗からの復活</p> <p data-bbox="809 610 847 781">畑村洋太郎</p> <p data-bbox="768 803 896 1356">人は誰でも失敗する。失敗すれば誰でも落ち込む。でも本当に大切なのはそこからだ。誰もが持っている回復力を信じ、待つことができれば、必ず壁は乗り越えられる。そのためのコツを第一人者が示す。</p> <p data-bbox="809 1373 853 1398">902</p> <p data-bbox="816 1401 840 1425">☎</p> <p data-bbox="760 1430 896 1450">978-4-06-287979-8</p>

2004	2003	2000	1996	1992
<p data-bbox="181 170 222 787">はじめての言語ゲーム 橋爪大三郎</p> <p data-bbox="139 803 264 1356">世界のあらゆるふるまいを説明しつくそうとしたヴィトゲンシュタインの言語ゲーム論は、いかに生まれ、どんな思想なのか？ 名著『はじめての構造主義』著者による、あたらしい哲学入門！</p> <p data-bbox="181 1372 222 1429">990 電</p> <p data-bbox="134 1429 269 1453">978-4-06-288004-6</p>	<p data-bbox="326 170 367 787">わかりやすく〈伝える〉技術 池上 彰</p> <p data-bbox="284 803 409 1356">会議やプレゼンの前に必読！ ニュース解説で人気の著者が、テレビの現場での経験から学んだテクニクを紹介。話の組み立て方、聞き手の引き付け方、図解法、文章上達術など、使えるヒント満載。</p> <p data-bbox="326 1372 367 1429">946 電</p> <p data-bbox="279 1429 414 1453">978-4-06-288003-9</p>	<p data-bbox="471 170 512 787">世界は分けてもわからない 福岡伸一</p> <p data-bbox="429 803 554 1356">生命に「部分」はあるか？ なぜ存在しない境界線を私たちは見てしまうのか？ 脳が持つ厄介な認識の癖をえぐり、生命の本質を捉え直す。至福の読書体験を約束する福岡ハカセの科学ミステリー。</p> <p data-bbox="471 1372 512 1429">1,100</p> <p data-bbox="424 1429 559 1453">978-4-06-288000-8</p>	<p data-bbox="606 170 647 787">今こそアーレントを 読み直す 仲正昌樹</p> <p data-bbox="564 803 688 1356">政治哲学者、ハンナ・アーレントが再び注目を集めている。閉塞した時代だからこそ、全体主義を疑い、人間の本性・公共性を探るアーレント的思考が現代社会を救う。「精神の生活」を考察する試み。</p> <p data-bbox="606 1372 647 1429">990 電</p> <p data-bbox="559 1429 694 1453">978-4-06-287996-5</p>	<p data-bbox="761 170 802 787">経済成長という病 退化に生きる、我ら 平川克美</p> <p data-bbox="720 803 844 1356">不安におびえ、崩れゆく時代の中で、いま何を考えなければならないのか。ビジネスの現場と思想を往還しながら、表層的な経済分析や処方箋を越えて、私たちの思考に取り憑いた幻想と真摯に向き合う。</p> <p data-bbox="761 1372 802 1429">814 電</p> <p data-bbox="714 1429 849 1453">978-4-06-287992-7</p>

<p>2009</p> <p><b>ニッポンの思想</b></p> <p>佐々木 敦</p> <p>80年代、浅田彰・中沢新一が登場した衝撃、柄谷行人・蓮實重彦の思想、90年代における福田和也・大塚英志・宮台真司の存在感、ゼロ年代に大きな影響を与えた東浩紀。思想と批評がこの一冊でわかる。</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-288009-1</p>	<p>2008</p> <p><b>関係する女 所有する男</b></p> <p>斎藤 環</p> <p>「斎藤環さんの見方で物事を考えると、実にいろいろなことがわかってくる。私は、この本から鍵を貰って、新しい扉を開けた気がした」(桐野夏生)。男女の違いという難問に精神科医が挑んだ快著!</p> <p>1,012 電</p> <p>978-4-06-288008-4</p>	<p>2007</p> <p><b>落語論</b></p> <p>堀井憲一郎</p> <p>なぜ同じ噺を繰り返し聴いても飽きないのか? うまいと下手の分かれ目はどこにあるか? 観客もまた落語の一部!? よくある誤解をひっくり返し、落語の真髓をえぐり出す。全落語ファン必読の書。</p> <p>792 電</p> <p>978-4-06-288007-7</p>	<p>2006</p> <p><b>「空気」と「世間」</b></p> <p>鴻上尚史</p> <p>なぜか逆らえない場の「空気」。その正体を探っていくと見えてきたのが、崩れかけた「世間」の姿だった。我々を取り巻く「空気」と「世間」を知り、息苦しい日本を生きていくための、方法を示す。</p> <p>1,012 電</p> <p>978-4-06-288006-0</p>	<p>2005</p> <p><b>カペー朝</b> フランス王朝史 1</p> <p>佐藤賢一</p> <p>始祖は凡庸な男。強力な敵に周りを囲まれながら、どうやって小さな王家はローマ教皇や神聖ローマ皇帝と並ぶヨーロッパの実力者に成り上がっていったのか? その軌跡を直木賞作家が鮮やかに描く。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288005-3</p>
--	--	--	--	---

2023	2016	2014	2013	2010
<p data-bbox="142 167 174 329">人の心を映す鏡</p> <p data-bbox="179 167 225 475"><b>ロボットとは何か</b></p> <p data-bbox="179 646 220 784">石黒 浩</p> <p data-bbox="137 800 267 1360">「なぜ私は人型ロボットを作るのか」。自分がモデルのアンドロイド、ロボット演劇など、世界が注目する「人間酷似型ロボット」の第一人者が、その研究と「人間とは？」という問いの軌跡を綴る快著。</p> <p data-bbox="179 1369 225 1433">924 電</p> <p data-bbox="132 1433 272 1450">978-4-06-288023-7</p>	<p data-bbox="327 167 373 516"><b>職場は感情で変わる</b></p> <p data-bbox="327 646 368 784">高橋克徳</p> <p data-bbox="285 800 415 1360">ベストセラー『不機嫌な職場』の解決編登場！ 自分たちの感情の「連鎖」に注目することから、良い職場・組織づくりは始まる。それぞれの職場・組織に合った連鎖を生み出す方法を具体的に解説する。</p> <p data-bbox="327 1369 373 1433">990 電</p> <p data-bbox="280 1433 420 1450">978-4-06-288016-9</p>	<p data-bbox="441 167 519 524">なぜヒトは万物を「種」に分けるのか <b>分類思考の世界</b></p> <p data-bbox="477 646 519 784">三中信宏</p> <p data-bbox="436 800 565 1360">この世の森羅万象を体系化して理解しようとするとき、私たちは名前をつけ、分類する。しかしそこには長年、生物学者たちを苦しめ続ける超難問が潜んでいた。人間の「知」の根源に迫る渾身の論考。</p> <p data-bbox="462 1369 534 1433">1,100 電</p> <p data-bbox="425 1433 565 1450">978-4-06-288014-5</p>	<p data-bbox="622 167 669 516"><b>日本語という外国語</b></p> <p data-bbox="622 646 664 784">荒川洋平</p> <p data-bbox="581 800 710 1360">日本語は世界の中で見るとどんな言語なのか？ 日本語教育では、日本語だけを使って、読み書き、文法などをどう教えるのか？ 実際の授業を紹介しながら、日本人の知らない「日本語の個性」を語る。</p> <p data-bbox="622 1369 669 1433">990 電</p> <p data-bbox="570 1433 710 1450">978-4-06-288013-8</p>	<p data-bbox="767 167 814 784"><b>日本銀行は信用できるか</b> 岩田規久男</p> <p data-bbox="726 800 855 1360">日本経済最悪のシナリオ、デフレが進行している。中央銀行である日銀にはガバナンスが存在せず、金融政策の達成目標も曖昧なままだ。内需も外需も総崩れの現在、政府と日銀ヘインフレ目標設定を提言。</p> <p data-bbox="767 1369 814 1433">792 電</p> <p data-bbox="715 1433 855 1450">978-4-06-288010-7</p>

2031	2030	2029	2027	2025
<p data-bbox="215 167 260 467"><b>明治維新</b> 1858-1881</p> <p data-bbox="199 646 277 784">坂野潤治 大野健一</p> <p data-bbox="174 805 303 1357">途上国ニッポンはなぜ一等国になれたのか？「富国強兵」と「公議輿論」。幕末維新期、複数の国家目標を成就に導いた「柔構造」モデルとは？ 世界史上希有な「武士の革命」を捉えなおす一冊。</p> <p data-bbox="215 1373 260 1430">990 電</p> <p data-bbox="166 1430 303 1450">978-4-06-288031-2</p>	<p data-bbox="363 167 408 399"><b>がんを生きる</b></p> <p data-bbox="363 610 408 784">佐々木常雄</p> <p data-bbox="322 805 451 1357">主治医から余命を告げられたら、どうすればいいか。告知、治療、緩和の現在とは。最後まで希望をもって生き抜くためには——2000名を担当した名医が、患者と家族にやさしく問いかける。</p> <p data-bbox="363 1373 408 1430">924 電</p> <p data-bbox="311 1430 456 1450">978-4-06-288030-5</p>	<p data-bbox="487 167 576 475"><b>決定版 一億人の俳句入門</b></p> <p data-bbox="513 610 558 784">長谷川 權</p> <p data-bbox="472 805 601 1357">「五・七・五」「切れ」「季語」等、俳句にまつわる約束を、芭蕉らの名句を挙げて明快に解説。約束の理由がわかれば自在に詠める。初心者から上級者まで必読の書。この一冊でああなたの句が変わる！</p> <p data-bbox="513 1373 558 1430">946 電</p> <p data-bbox="456 1430 601 1450">978-4-06-288029-9</p>	<p data-bbox="632 167 721 475"><b>地アタマを鍛える 知的勉強法</b></p> <p data-bbox="658 646 703 784">齋藤 孝</p> <p data-bbox="617 805 746 1357">『論語』の教え、目次勉強法、参考書の選び方、勉強時の呼吸法、本番で力を発揮するコツなど、抜群の「字ぶ力」の身につけ方を伝授。勉強ギライだった著者が、勉強法を工夫することで体得した独自の学習法。</p> <p data-bbox="658 1373 703 1430">792 電</p> <p data-bbox="601 1430 746 1450">978-4-06-288027-5</p>	<p data-bbox="772 167 850 483"><b>まんが 現代史</b> アメリカが戦争をやめない理由</p> <p data-bbox="803 646 848 784">山井教雄</p> <p data-bbox="762 805 891 1357">ヤルタ会談からベルリンの壁、ベトナム戦争、ソ連崩壊、9・11からイラク戦争、オバマの登場まで。「米国と戦争」を軸に、知っておきたい激動の二〇世紀から二一世紀の歴史を絵と文でやさしく解説。</p> <p data-bbox="803 1373 848 1430">858 電</p> <p data-bbox="746 1430 903 1450">978-4-06-288025-1</p>

<p>2050</p> <p>超解読！ はじめての ヘーゲル『精神現象学』</p> <p>竹田青嗣 西 研</p> <p>知の巨人が捉えた近代のありようとは？ 欲望の本質とは？ 哲学史上、最重要かつ最難解な書物をおなじみのコンビがわかりやすく解読。予備知識なしに重要哲学書がわかる「超解読」シリーズ第1弾！</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-288050-3</p>	<p>2048</p> <p>不可測性・不確実性・不可知性 知性の限界</p> <p>高橋昌一郎</p> <p>「言語」「予測」「思考」の限界と可能性に迫る。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288048-0</p>	<p>2040</p> <p>中世を道から読む</p> <p>齋藤慎一</p> <p>大好評『理性の限界』の著者による熱く楽しい哲学ディベート第2弾。本書ではウイトゲンシュタインらの論を紹介しつつ、人間の知的営為の基本である中世の交通・兵站と情報網、地域の実態に迫る。</p> <p>814 電</p> <p>978-4-06-288040-4</p>	<p>2036</p> <p>決算書はここだけ読め！</p> <p>前川修満</p> <p>乱世を生き抜かんとする武将たちの最大の敵、それは自然現象だった。積雪や険峻な峠、河川の増水。往來を制する者だけが勝利をおさめる。知られざる中世の交通・兵站と情報網、地域の実態に迫る。</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-288036-7</p>	<p>2033</p> <p>新編 日本語誤用・慣用小辞典</p> <p>国広哲弥</p> <p>「誤用は変化の波頭」。言語学（意味論）の権威が豊富な実例を材料に誤用・慣用・正用を判定。ベストセラーとなった旧版（正・続）の内容を精選し、新項目を追加。あなたの日本語は大丈夫？</p> <p>858 電</p> <p>978-4-06-288033-6</p>
---	---	--	---	---

<p>2068</p> <p><b>財政危機と社会保障</b></p> <p>鈴木 亘</p> <p>日本の財政危機はどのくらい深刻か、医療・介護は成長産業なのか、少子高齢化・人口減少の影響とは何か、待機児童問題はなぜ解決しないのか。借金大国日本で、安心して暮らすための社会保障入門。</p> <p>836 ☎</p> <p>978-4-06-288068-8</p>	<p>2067</p> <p><b>日本料理の贅沢</b></p> <p>神田裕行</p> <p>世界中でも日本料理にしかない贅沢な醍醐味——。『ミシュランガイド東京』で連続三つ星を取っている名店「かんだ」の主人が、生きた素材との対話を通して会得した日本料理の本質と可能性を語る。</p> <p>990 ☎</p> <p>978-4-06-288067-1</p>	<p>2064</p> <p><b>決算書はここだけ読め！</b> キャッシュフロー計算書編</p> <p>前川修満</p> <p>デフレ時代の経営でいちばん大事なこと、それは「現金の流れ」を押さえ、会社の現状をつかむことだ。決算書を「読む」立場に徹し、企業の血の巡りを素早く、正確に知る方法をわかりやすく伝授。</p> <p>946 ☎</p> <p>978-4-06-288064-0</p>	<p>2055</p> <p><b>世界の野菜を旅する</b></p> <p>玉村豊男</p> <p>イギリスで教えられたレタスの活造りとは？ 中東で供された驚きのナス料理とは？ 野菜がもつ物語を知れば、さらに美味しく食べられる。世界各国の野菜の起源、伝播、栽培、料理を紹介する。</p> <p>990 ☎</p> <p>978-4-06-288055-8</p>	<p>2053</p> <p><b>〈中東〉の考え方</b></p> <p>酒井啓子</p> <p>パレスチナ問題、オイルマネー、イランの動向、イスラーム主義の台頭、メディアとアイデンティティ。複雑な中東情勢を、近現代史、国際経済、国際政治に位置づけてわかりやすく説く入門書。</p> <p>946 ☎</p> <p>978-4-06-288053-4</p>
--	--	--	--	--

<p>2085</p> <p><b>言葉と脳と心</b></p> <p>失語症とは何か</p> <p>山鳥 重</p> <p>脳の損傷が重篤な言語障害を引き起こすことはわかっている。だがそもそも〈思い〉はどのような心で〈像〉を結び〈言葉〉として発せられるのか。失語症研究の第一人者が考えてきた「言葉とは何か」。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288085-5</p>	<p>2081</p> <p><b>はじめてのポルトガル語</b></p> <p>浜岡 究</p> <p>実際にコミュニケーションをとるために必要な文法や単語を体系立てて解説。丁寧な発音指導に、ポルトガル語圏での文法・発音の違い、文化・慣習まで紹介した実践的入門書の登場！</p> <p>946 電</p> <p>978-4-06-288081-7</p>	<p>2079</p> <p><b>認知症と長寿社会</b></p> <p>笑顔のまま</p> <p>信濃毎日新聞 取材班</p> <p>新聞協会賞（編集部門）はじめて四賞受賞。介護する家族、自宅介護と施設の受け入れ、研究と医療の現在、地域の取り組みなどを克明に取材、実名報道し、連載中から共感と大反響を呼んだ感動ルポ。</p> <p>836</p> <p>978-4-06-288079-4</p>	<p>2076</p> <p><b>子ども虐待</b></p> <p>西澤 哲</p> <p>なぜ親が子を傷つけるのか。傷ついた心をどう癒すのか。性的虐待は子どもをどう蝕むのか。三十年にわたり虐待の臨床心理に取り組んできた著者が、問題の本質から心のケアまでを語る。</p> <p>946</p> <p>978-4-06-288076-3</p>	<p>2070</p> <p><b>イギリス近代史講義</b></p> <p>川北 稔</p> <p>昼寝よりも残業を選ぶ心性はいつ生まれたか。近世イギリスの高齢者問題とは？ 産業革命はなぜイギリスで起きたか。生活史、世界システム論を拓いた泰斗が大英帝国の成長と衰退を描く画期的入門書。</p> <p>1,034 電</p> <p>978-4-06-288070-1</p>
---	--	--	--	---

<p>2096</p> <p>モーツァルトを「造った」男 ケッヘルと同時代のウイーン</p> <p>小宮正安</p> <p>番号を振る。それは思想であり世界観である。19世紀ウイーンに生きた男の地味な作業が、クラシック音楽の認識を基礎つけた! 「分類する精神」が躍動し、モーツァルトが「発見」されるドラマ。</p> <p>836 電</p> <p>978-4-06-288096-1</p>	<p>2095</p> <p>鉄道ひとつばなし3</p> <p>原 武史</p> <p>消えた駅弁から、山陽本線紀行、東大合格上位校と鉄道の関係、私鉄沿線文化論、日本の廃線を集めた抱腹絶倒の架空シンポジウムまで、孤高の「鉄」学者の思索を味わえる大人気シリーズ第3弾!</p> <p>814 電</p> <p>978-4-06-288095-4</p>	<p>2094</p> <p>「認められたい」の正体 承認不安の時代</p> <p>山竹伸二</p> <p>「空虚な承認ゲーム」をどう抜け出すか。その「答え」ならぬ「考え方」を教える本書は、規範喪失の時代における希望の書である! (斎藤環氏)。自己の承認の問題を真正面から捉えた注目書!</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-288094-7</p>	<p>2092</p> <p>新書 沖縄読本</p> <p>下川裕治 著 仲村清司 編</p> <p>長寿伝説崩壊、格差進行、基地・サンゴ問題に見るねじれなど、さまざまな問題で島は大きく揺れる。近年の野球の強さ、音楽の魅力の源泉とは。沖縄ブームに深く関わった著者たちが紡ぐ21の物語。</p> <p>990</p> <p>978-4-06-288092-3</p>	<p>2086</p> <p>英語と日本語のあいだ</p> <p>菅原克也</p> <p>文法・訳読は本当に時代遅れか。「高校英語の授業は英語で」で何が起きるか。新指導要領に代表されるコミュニケーション重視の風潮に疑義を呈し、日本人は英語とどう向き合うべきか根本から問う。</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-288086-2</p>
---	---	---	--	--

<p>2104</p> <p><b>国際共通語としての英語</b></p> <p>鳥飼玖美子</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-288104-3</p>	<p>2100</p> <p>〈新書大賞2012〉</p> <p><b>ふしぎなキリスト教</b></p> <p>橋爪大三郎 大澤真幸</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-288100-5</p>	<p>2099</p> <p><b>超解読！ はじめての カント『純粹理性批判』</b></p> <p>竹田青嗣</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-288099-2</p>	<p>2098</p> <p><b>戦前昭和の社会</b> 1926-1945</p> <p>井上寿一</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288098-5</p>	<p>2097</p> <p><b>〈麻薬〉のすべて</b></p> <p>船山信次</p> <p>1,034 電</p> <p>978-4-06-288097-8</p>
--	---	--	---	--

神の福音か、悪魔の小道具か。人類のかかわり方によって毒にも薬にもなる麻薬。薬学の専門家が根本的な説明からその種類・歴史についてなど、古今東西の逸話をまじえ、分かりやすく解説する。

「一〇銭均一売り場」に足を運ぶ消費者、女性の地位向上を推進するモダンガール、新興宗教ブーム、就職難にあえぐ学生たち……。現代社会の原点に戦前昭和を生きた人びとの実像を描き出す一冊。

人間の理性は、はたして「真理」を認識できるのか。アンチノミー、物自体、カテゴリーなどの重要概念を丁寧に解説し、西洋哲学の要に位置する『純粹理性批判』の本質を解く。好評シリーズ第2弾！

なぜ神が一つなのか？ 預言者とは何者か？ イエスは神なのか、人なのか？ 奇蹟は本当にあったのか？ 聖書は誰が書いたか？ 知っているつもりで知らないキリスト教の謎を解く。入門書の決定版！

ネイティブ並みに話せなくてもいい。グローバル時代では、英語を母語としない者同士がお互いの英語を理解できるかどうかが大切です。通じる英語を目指し「自分らしい英語」の発信をするための必読書。

<p>2119</p> <p><b>動きが心をつくる</b></p> <p>身体・心理学への招待</p> <p>春木 豊</p> <p>身体<small>の</small>動きを軽視する現代人。でも実は、姿勢・呼吸・歩行といった身体<small>の</small>動きが、私たちの心に大きな影響を与えている。その事実を解説するとともに、心身を健康にする実践的ボディワークも紹介！</p> <p>946 ☎</p> <p>978-4-06-288119-7</p>	<p>2116</p> <p><b>発達障害のいま</b></p> <p>杉山登志郎</p> <p>発達障害児の陰に潜む家庭の問題とは？ ころころの骨折・トラウマはどう治す？ 脳と神経に何が起きているのか？ 治療の最前線を明かす、保護者、教育関係者から小児科医まで必読の書。</p> <p>990 ☎</p> <p>978-4-06-288116-6</p>	<p>2109</p> <p><b>「神道」の虚像と実像</b></p> <p>井上寛司</p> <p>神道は危機に直面した日本で三度つくられた。律令国家の形成、中世における社会構造の変容、西欧の衝撃。その都度「おのずからある」ものとして観念されねばならなかった「ころころの形」を問う。</p> <p>1,100 ☎</p> <p>978-4-06-288109-8</p>	<p>2106</p> <p><b>戦国誕生</b></p> <p>中世日本が終焉するとき</p> <p>渡邊大門</p> <p>無力な青年将軍。策動を繰り返す近臣たち。「辞めたい」と口にする天皇……。応仁・文明の乱など激動する十五世紀半ば、中世の体制が崩壊し、「権威」から「権力」へ、時代の転換する様相を描く。</p> <p>836 ☎</p> <p>978-4-06-288106-7</p>	<p>2105</p> <p><b>はじめての認知療法</b></p> <p>大野 裕</p> <p>うつ状態になると、何事も悲観的に考えるようになり、本来の自分の力を発揮できなくなる。いま広がりつつある認知療法を使って、考えかたのクセに気づき、気持ちを切り替える方法を第一人者が解説。</p> <p>946 ☎</p> <p>978-4-06-288105-0</p>
---	---	---	--	---

<p>2127</p> <p>ラーメンと愛国</p> <p>速水健朗</p> <p>米国の小麦戦略とラーメンの大衆化、工業製品としてのインスタントラーメン、地方の時代とご当地ラーメン、ラーメン職人の誕生など、国民食ラーメンと戦後日本史が交差するスリリングな物語！</p> <p>836 電</p> <p>978-4-06-280041-9</p>	<p>2125</p> <p>「ビジネスマンのための行動観察」入門</p> <p>松波晴人</p> <p>個人の能力アップなど、さまざまな分野での問題解決に効果絶大。ビジネス上の従来の限界を突破する大注目の手法をストーリーとともに紹介する。</p> <p>946 電</p> <p>978-4-06-288125-8</p>	<p>2124</p> <p>デザインの教科書</p> <p>柏木 博</p> <p>「デザインとは何か」という基本的な質問から、デザインを決める要素、現代デザインが求められている役割の変化まで、受け手・使い手の立場でデザインを知って楽しむための絶好の入門書。</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-288124-1</p>	<p>2123</p> <p>中国社会の見えない掟 潜規則とは何か</p> <p>加藤隆則</p> <p>法律よりも面子、裁判軽視、役人腐敗・農民支配の構造、外国人への相反する態度……。共産党支配よりはるか昔から中国社会に脈々と流れ続ける「掟」の存在を特派員が綿密な取材から解き明かす。</p> <p>836 電</p> <p>978-4-06-288123-4</p>	<p>2122</p> <p>量子力学の哲学 非実在性・非局所性・粒子と波の二重性</p> <p>森田邦久</p> <p>量子力学はどのように世界を描くのか？ コペンハーゲン解釈から多世界解釈、様相解釈、多精神解釈、最新の逆向き因果論までをわかりやすく紹介した知的刺激にあふれる科学哲学の入門書。</p> <p>946 電</p> <p>978-4-06-288122-7</p>
---	--	--	---	--

<p>2138</p> <p><b>超高齢社会の基礎知識</b></p> <p>鈴木隆雄</p> <p>「超高齢社会」を目前に控えたニッポン。老年学の権威が高齢者という集団の特徴を世界的研究から検証し、その課題を抉り出す。完治をめざす医療から、支え癒す福祉への転換を促す科学的提言。</p> <p>814 電</p> <p>978-4-06-288138-8</p>	<p>2135</p> <p><b>弱者の居場所がない社会</b> 貧困・格差と社会的包摂</p> <p>阿部 彩</p> <p>誰でも社会に「つながり」「役割」「居場所」を持って生きていきたい。新しいキーワード「社会的排除」「社会的包摂」の考え方を、自らの体験もまじえて誠実に説く、貧困問題の新しい入門書。</p> <p>968 電</p> <p>978-4-06-288135-7</p>	<p>2134</p> <p><b>いまを生きるための 思想キーワード</b></p> <p>仲正昌樹</p> <p>思想・哲学の入門書を書かせたら、この人、仲正教授の「私」と「存在」を読み解くための術語集。政治哲学・倫理学系21のキーワードを端緒に、高校生にもわかる平易な語り口で独特の議論を展開する。</p> <p>902 電</p> <p>978-4-06-288134-0</p>	<p>2130</p> <p><b>ケインズとハイエク</b> 貨幣と市場への問い</p> <p>松原隆一郎</p> <p>世界経済には大きな構造変動の波が打ち寄せているのか。それともこれは景気循環のひとつまに過ぎないのか。巨人二人の論争を踏まえて、貨幣と市場の危機的状況を乗り越える思想・哲学を歴史に学ぶ！</p> <p>1,122 電</p> <p>978-4-06-288130-2</p>	<p>2128</p> <p><b>日本経済の奇妙な常識</b></p> <p>吉本佳生</p> <p>1ドル＝80円は「超円高」？ 世界の基軸通貨は米ドル？ 日本のマクロ経済の根本問題は物価下落？ 消費税は段階的に上げるべき？ 人気エコノミストが豊富なデータをもとに解く、新しい日本経済論！</p> <p>814 電</p> <p>978-4-06-288128-9</p>
---	--	--	--	--

<p>2155</p> <p><b>独立国家のつくりかた</b></p> <p>坂口恭平</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288155-5</p>	<p>2153</p> <p><b>感性の限界</b> 不合理性・不自由性・不条理性</p> <p>高橋昌一郎</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-288153-1</p>	<p>2148</p> <p><b>経済成長神話の 終わり</b> 減成長と日本の希望</p> <p>アンドリュウ・ J・サター 中村起子 訳</p> <p>968 電</p> <p>978-4-06-288148-7</p>	<p>2145</p> <p><b>電力改革</b> エネルギー政策の歴史的大転換</p> <p>橋川武郎</p> <p>836</p> <p>978-4-06-288145-6</p>	<p>2143</p> <p><b>アサーション入門</b> 自分も相手も大切に する自己表現法</p> <p>平木典子</p> <p>902 電</p> <p>978-4-06-288143-2</p>
--	---	---	---	--

言いたいことをうまくコミュニケーションできないのはなぜ? そんなモヤモヤした悩みを解消しよう。アサーションとは「自分も相手も大切に  
する自己表現」のこと。第一人者がわかりやすく説く。

3・11以後、電力業界はビジネスモデルの転換が求められている。リアルでポジティブな原発のたみ方と再生可能エネルギー拡充へ向けて、電力産業史研究の第一人者が提示するエネルギー政策の最適解。

政府が経済成長を目指すとは国は滅びる! 経済成長論は冷戦期に創られた神話だった! 神話の呪縛から抜け出し、幸せて豊かな新しい日本社会をつくるための処方箋を提示する画期的論考。

人間はなぜ生きるのか? 行動経済学、認知科学、進化生物学、実存哲学から「愛」「自由」「死」をテーマに行方・意志・存在の限界と可能性を探る。「理性」「知性」に続く人気シリーズ第3弾、刊行!

お金がないと本当に人間は生きていけないのか? 大震災後、巨大なシステムの機能不全を前に「新政府」を設立し、既存の価値観を揺さぶる男が明かす、いまを生き延びるための技術。

<p>2168</p> <p>〈新書大賞2013〉</p> <p><b>社会を変えるには</b></p> <p>小熊英二</p> <p>1,540 電</p> <p>978-4-06-288168-5</p>	<p>2167</p> <p>相克の運動史は超えられるか</p> <p><b>新しい左翼入門</b></p> <p>松尾 匡</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288167-8</p>	<p>2166</p> <p>〈第29回講談社科学出版賞受賞〉</p> <p><b>化石の分子生物学</b></p> <p>生命進化の謎を解く</p> <p>更科 功</p> <p>946 電</p> <p>978-4-06-288166-1</p>	<p>2159</p> <p><b>古代オリエントの宗教</b></p> <p>青木 健</p> <p>946 電</p> <p>978-4-06-288159-3</p>	<p>2157</p> <p><b>冤罪と裁判</b></p> <p>今村 核</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-288157-9</p>
--	--	---	--	---

日本の刑事裁判の有罪率は99・9%。そんななか二十年間、冤罪事件を手がけ、数々の無罪判決を勝ち取ってきた弁護士が、冤罪の原因、裁判員制度の影響や刑事司法の問題点を語る。

東方へ拡がる「聖書ストーリー」に対して、マニ教やゾロアスター教などはいかに向き合ったか。「異教の魔神」が封じ込められるまでの約一〇〇〇年のドラマを描き出す異色の精神史。

あなたの体にはネアンデルタール人の血が流れている!? 恐竜のDNAはどこまで解読できたのか? 化石の「記憶」に耳をすませる分子古生物学者たちの夢と冒険と、ときどき挫折の物語。

荒畑寒村、山川均、大杉栄、丸山眞男など思想史を代表する知識人がマルクス、レーニンなどの影響下、どのように社会活動を議論したのか。まったく斬新なアプローチから描く痛快社会学。

「デモや抗議行動で社会は変わるのか?」という疑問に答える。いま日本で起きているのは、どういうことなのか? 歴史的、社会構造的、思想的に考え、新しい社会運動の可能性を探る。

<p>2178</p> <p>ゼロからわかる 経済学の思考法</p> <p>小島寛之</p> <p>836 電</p> <p>978-4-06-288178-4</p>	<p>2177</p> <p>わかりあえないことから コミュニケーション能力とは何か</p> <p>平田オリザ</p> <p>968 電</p> <p>978-4-06-288177-7</p>	<p>2173</p> <p>日本人のための 日本語文法入門</p> <p>原沢伊都夫</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-288173-9</p>	<p>2172</p> <p>私とは何か 「個人」から「分人」へ</p> <p>平野啓一郎</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-288172-2</p>	<p>2169</p> <p>超解読！ はじめての フッサール『現象学の理念』</p> <p>竹田青嗣</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-288169-2</p>
--	---	---	---	---

近代の哲学者たちを悩ませてきた「認識問題」の難問にフッサールはいかに挑んだか？「絶対的所与性」や「内在—超越」など、現象学の核心がわかる！大好評シリーズ第3弾！

どこかに「本当の自分」があるという幻想が、私たちを苦しめている——。いま自分をどう理解すべきなのか？個性とは何なのか？自分を肯定し、良い人間関係を築くヒントが満載！

日本語に主語は重要か？「は」と「が」はどこが違う？受身文に秘められた日本人の世界観とは？学校では教えられない日本語の知られざる姿をわかりやすく紹介する一冊。

近頃の若者に「コミュニケーション能力がない」というのは本当か？親が「子どもの気持ちが変わらない」というのは、何が問題なのか？稀代の劇作家がコミュニケーションの本質を探る。

経済学は小難しい？ちつとも現実を説明してくれない役立たず？旧態依然とした教科書の解説を一切排し、その本質とロジックを平易に語る。経済学の見方を塗り替える魅惑の講義！

<p>2188</p> <p><b>学び続ける力</b></p> <p>池上 彰</p> <p>学ぶ楽しさを知ること。それが現代の教養なのではないでしょうか。では、そのためには、何をどう学んだらいいのか。そんなヒントになればと思って、この本を書きました（「はじめに」より）。</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-288188-3</p>	<p>2186</p> <p><b>民法はおもしろい</b></p> <p>池田真朗</p> <p>民法とは、知らないと損をする「人生の必修科目」。連帯保証人の悲劇とは？ ゴミ集積場に出されたゴミは誰のもの？ 変わりつつある現代社会の基本法を第一人者がわかりやすく解説。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288186-9</p>	<p>2185</p> <p><b>死別の悲しみに向き合う</b> グリーンフェアとは何か</p> <p>坂口幸弘</p> <p>死別とはどんな体験なのか？ 大切な人を亡くしたとき人はなにを思うのか？ 周囲はどのように接すればいいのか？ 激変する社会のなかで模索する、悲しみの後を生きる作法。</p> <p>968 電</p> <p>978-4-06-288185-2</p>	<p>2182</p> <p><b>おどろきの中国</b></p> <p>橋爪大三郎 大澤真幸 宮台真司</p> <p>中国を動かす原理は何か？ 私たちはどう付き合っていけばいいのか？ 共産党支配の本質とは？ 対症療法ではない視座を求めて、日本を代表する社会学者が大討論！ 真にあの国を理解するために。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288182-1</p>	<p>2180</p> <p><b>パーソナリティ障害とは何か</b></p> <p>牛島定信</p> <p>見捨てられ不安を抱く境界性、尊大さの背後に別の人間像を隠しもつ自己愛性、恥の心理を抱える回避性……。精神科臨床の最前線に立つ著者が、豊富な症例をもとに、その本質に迫る。</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-288180-7</p>
---	---	--	---	---

<p>2195</p> <p><b>反教育論</b></p> <p>猿の思考から超猿の思考へ</p> <p>泉谷 閑示</p> <p>なぜ思考できない人間が増えるのか――。子どもたちに「正しい教育」が必要と思ひ込んでいること自体、大人の思い上がりではないのか。精神科医が現代の教育・常識に痛烈なダメ出し！</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288195-1</p>	<p>2192</p> <p><b>江戸の小判ゲーム</b></p> <p>山室 恭子</p> <p>借金棒引き、貨幣改鑄は場当たりでもなく、武家救済の政策でもなかった！ 松平定信と経済官僚たちの所得再分配のためのプロジェクトを辿りながら江戸時代の実像に迫る興奮の一冊。</p> <p>902 電</p> <p>978-4-06-288192-0</p>	<p>2191</p> <p><b>DNA医学の最先端</b></p> <p>自分の細胞で病気を治す</p> <p>大野 典也</p> <p>DNA医学が医療の未来を変える！ がんからアルツハイマーまで。自家細胞を使ったがん免疫療法のトップランナーが、DNA医学の考え方、治療の最新線の成果と近未来を丁寧な解説。</p> <p>836 電</p> <p>978-4-06-288191-3</p>	<p>2190</p> <p><b>戦前日本の安全保障</b></p> <p>川田 稔</p> <p>山県有朋、原敬、浜口雄幸、永田鉄山……。両大戦間期、日本の指導者たちはどのような外交構想を描いたのか。日露同盟か日米提携か集团的相互安全保障システムか、彼らの世界戦略を読み解く。</p> <p>1,078 電</p> <p>978-4-06-288190-6</p>	<p>2189</p> <p><b>世界史の中のパレスチナ問題</b></p> <p>白 杵 陽</p> <p>なぜ解決できないのか？ 二〇一二年一月国連総会でパレスチナが「オブザーバー国家」として承認された。しかしこれ以上の和平交渉の進展は見込めない。難問の構造を歴史から読み解く。</p> <p>1,320 電</p> <p>978-4-06-288189-0</p>
--	---	--	--	--

2196

## 藤原道長の日常生活

倉本一宏

権力者が綴った世界最古の自筆日記が語る、その日常や内面とは？ 平安貴族の過酷な政務から、物忌、穢、怨霊との向き合い方まで、栄華をきわめた人物の知られざる実像に迫る一冊。

968

978-4-06-288196-8

2201

## 野心のすすめ

林 真理子

「ルンルンを買っておうちに帰ろう」での華々しいデビュー後に作家として認められるまでの困難、直木賞受賞後のバッシング……。人気作家が来し方を振り返りながら贈る、夢を実現させるヒント。

990

電

978-4-06-288201-9

2202

## 西郷隆盛と明治維新

坂野潤治

征韓論、西南戦争……。 「軍部独裁と侵略戦争の元祖」はつくられた虚像だった！ 「議云制」を導入し封建制の打破に尽力した最大の功労者の実像に、日本近代史研究の第一人者が迫る一冊。

814

電

978-4-06-288202-6

2206

## 頭が良くなる議論の技術

齋藤 孝

「楽しい議論」で生産性も人間関係も急上昇！ ●一回の発言は15秒以内。●鶴の一声は禁止。●反対する場合は対案を出す……。場の空気がみるみる変わる議論のコツが盛りだくさん。

858

電

978-4-06-288206-4

2207

## 「動かない」と人は病む

大川弥生

生活不活発病とは何か  
体の不調を「年だから」「病気だから」とあきらめてしまっていることはありませんか？ 実はそれ、「生活不活発病」のせいかもしれません。いくつになっても健康で充実した生活を送るためのヒント。

990

電

978-4-06-288207-1

<p>2213</p> <p>ポップ／ぼっち／ノスタルジア</p> <p>ラノベのなかの現代日本 波戸岡景太</p> <p>人間は一人ではいられない。といって、他人と一緒にいると不快なことだらけ——。「人間嫌い」のための、居心地のいい人間関係のつくり方とは？ 哲学、日本、若者を考えるエッセイ。</p> <p>現代詩ってなに？ 詩をよむってどういうこと？ 谷川俊太郎、安東次男から川田純音、井坂洋子まで、日本語表現の最尖端はすごいことになっていった！ 詩人が明かす、至福のあじわい方。</p> <p>なぜ武豊は勝てなくなったのか。上手い騎手は何が違うのか。強い馬とは何か。現在の競馬界に対する思いと考えをJRAのトップジョッキーが語る。鞭を置く前に「伝えておきたいこと」。</p> <p>伊藤博文、山県有朋、井上毅から旧幕臣の知識人まで、〈この国のかたち〉を築いた骨太な指導者たち。幕末明治の時代、彼らは西洋文明をいかに受容したか。明治国家が造形されるまでのドラマを描き出す。</p> <p>ポップからライトへ、そしてぼっちへ。オタクの台頭と撤退。大人とは無関係に黙々と消費され続けるライトノベルには、日本社会の変容が刻み込まれている。注目の批評家による鮮烈な論考。</p> <p>814 電</p> <p>978-4-06-288213-2</p>	<p>2212</p> <p>明治国家をつくった人びと 瀧井一博</p> <p>814 電</p> <p>978-4-06-288212-5</p>	<p>2210</p> <p>競馬界の真実</p> <p>騎手の一分</p> <p>藤田伸二</p> <p>814 電</p> <p>978-4-06-288210-1</p>	<p>2209</p> <p>今を生きるための現代詩 渡邊十絲子</p> <p>902 電</p> <p>978-4-06-288209-5</p>	<p>2208</p> <p>非社交的社交性</p> <p>中島義道</p> <p>814 電</p> <p>978-4-06-288208-8</p>
---	--	--	--	--

<p>2221</p> <p><b>歌舞伎 家と血と藝</b></p> <p>中川右介</p> <p>1,320 電</p> <p>978-4-06-288221-7</p>	<p>2219</p> <p><b>宇宙はなぜ このような宇宙なのか</b></p> <p>人間原理と宇宙論 青木 薫</p> <p>946 電</p> <p>978-4-06-288219-4</p>	<p>2218</p> <p><b>会社を変える分析の力</b></p> <p>河本 薫</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288218-7</p>	<p>2216</p> <p><b>まんが 哲学入門</b></p> <p>森岡正博 寺田に やんこふ</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288216-3</p>	<p>2215</p> <p><b>ウルトラマンが泣いている</b></p> <p>円谷プロの失敗 円谷英明</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-288215-6</p>
---	---	--	---	--

なぜ創業者一族は追放されたのか。中国進出の難しさ、著作権ビジネスという「麻薬」とは——。「特撮の神様」の孫が明かす栄光と迷走の50年。ウルトラマンを翻弄した「大人の事情」が初めて明かされる。

生きるってどういうこと？「私」って何？時間って本当にあるの？どうして世界が存在するの？誰もが一度は考えたことのある哲学的疑問を、「まんまるくん」と「先生」の楽しい掛け合いから考える。

「統計分析を勉強したのに、分析力が向上しない」「ビッグデータという言葉に翻弄されている」「数学が苦手なので、データ分析には不向きだ」……。こんな方は必読！「分析」に対するモヤモヤが晴れます。

この宇宙は、人間が生まれるようにできている！——トンデモ科学のような考え方を支持する科学者が、今増えている。なぜか？宇宙論の世界で何が起きているのか？一気読み必至の科学ミステリー！

中村勘三郎の死は何を意味するのか？市川團十郎家はなぜ特別なのか？松本幸四郎家は劇界の毛利三兄弟？七大名家の興亡を読み解き、世襲と門閥が織りなす波瀾万丈の人間ドラマに迫る。

<p>2231</p> <p><b>精神医療ダークサイド</b></p> <p>佐藤光展</p> <p>「通院歴もないのに精神科病院に拉致・監禁」「自殺願望に悩む患者に首つり自殺の方法を教える」「医師の勧めた睡眠薬で薬物依存に」……ブラック精神科医たちの衝撃の実態を描いた衝撃の問題作。</p> <p>1,012</p> <p>978-4-06-288231-6</p>	<p>2229</p> <p><b>ビジネスをつくる仕事</b></p> <p>小林敬幸</p> <p>ビジネスマン⇨ビジネスをつくる人の時代が来た！これからのビジネスの攻め方・守り方を「基礎編」「応用編」「実践編」に分けて紹介。この働き方ができなければ、個人も企業も日本も生き残れない！</p> <p>836</p> <p>978-4-06-288229-3</p>	<p>2228</p> <p><b>フランス文学と愛</b></p> <p>野崎 歓</p> <p>名作は「愛の教育装置」だった！「愛の言葉⇨フランス語」がアムールのあらゆる相を描き出す。スタンダード「赤と黒」、デュラス「愛人（ラマン）」など、古典から現代小説まで有名作品の「愛」を辿る。</p> <p>858</p> <p>978-4-06-288228-6</p>	<p>2226</p> <p><b>宇宙生物学で読み解く「人体」の不思議</b></p> <p>吉田たかよし</p> <p>宇宙スケールの壮大な視野でさまざまな生命現象や生命の起源を研究する宇宙生物学。この最新のアプローチを駆使して、「人体」にまつわる様々な謎を解き明かすサイエンスミステリーの野心作。</p> <p>902</p> <p>978-4-06-288226-2</p>	<p>2222</p> <p><b>フルーツひとつばなし</b></p> <p>田中 修</p> <p>「ふじりんごの名前の由来は育成者が山本富士子のファンだったから」「温州ミカンを食べるとVIT Pの値が改善する」など、人気フルーツ50種類にまつわるうんちく話と健康情報のあれこれ。</p> <p>1,100</p> <p>978-4-06-288222-4</p>
---	--	--	---	--

<p>2245</p> <p><b>校長という仕事</b></p> <p>代田昭久</p> <p>「私の五年間の校長生活を振り返りながら、とつても忙しくも、とつても素敵な校長の仕事を紹介します」（はじめに「より」。東京都杉並区立和田中学校の元民間人校長が持論を語る。</p> <p>880</p> <p>978-4-06-288245-3</p>	<p>2243</p> <p><b>日本軍と日本兵</b> 米軍報告書は語る</p> <p>一ノ瀬俊也</p> <p>米軍広報誌に描かれた日本兵から「ほんとうの日本軍」に迫る。規律は良好、準備された防衛体制下では死ぬまで戦う、射撃下手、予想外の事態が起こるとパニックに……。『敵という鏡』に映し出された真実。</p> <p>1,056</p> <p>978-4-06-288243-9</p>	<p>2238</p> <p><b>幸せのメカニズム</b> 実践・幸福学入門</p> <p>前野隆司</p> <p>幸せはコントロールできる！ 人類にとつて役に立つ学問としての体系的幸福学を、脳・ロボット学者が、面白くやさしく解き明かす。『死ぬのが怖い』とはどういうことか』著者の最新刊。</p> <p>990</p> <p>978-4-06-288238-5</p>	<p>2236</p> <p><b>部長の資格</b> アセスメントから見たマネジメント能力の正体</p> <p>米田 巖</p> <p>マネジメント能力は言動で決まる！ 能力評価・開発した管理職350社・4200人以上。ヒューマン・アセスメントの第一人者が明らかにする、「困った」部長と「できる」部長を分けるものとは。</p> <p>924</p> <p>978-4-06-288236-1</p>	<p>2233</p> <p><b>ユーミンの罪</b></p> <p>酒井順子</p> <p>ユーミンが開けてしまった「パンドラの箱」とは？ 1973年〜パブル崩壊まで、キラキラと日本が輝いていたあの時代にユーミンの歌が世間と女性達の意識に与えた影響を検証する。</p> <p>1,078</p> <p>978-4-06-288233-0</p>
---	--	---	--	--

<p>2254</p> <p><b>教育の力</b></p> <p>苦野一徳</p> <p>「教育をめぐる様々な不毛な対立を克服し、教育を建設的に考え合い構想し合うための道筋もまた明示しました。つまり教育の『本質』を明らかにした上で、その本質を達成するための方法を……」（あとがきより）。</p> <p>1,012 電</p> <p>978-4-06-288254-5</p>	<p>2250</p> <p><b>絶望の裁判所</b></p> <p>瀬木比呂志</p> <p>最高裁中枢の暗部を知る元エリート裁判官による衝撃の告発。司法制度改革をめぐる謀略、権謀術数に長けた最高裁判事、陰湿な人事で自由主義者まで排除する組織、不祥事とセクハラ……。司法崩壊の黙示録。</p> <p>946 電</p> <p>978-4-06-288250-7</p>	<p>2248</p> <p><b>城を攻める 城を守る</b></p> <p>伊東潤</p> <p>「この時代小説がすごい！ 2014年版」第1位の作家が語る城めぐりの魅力。川中島合戦と海津城、会津若松城、熊本城、八王子城、長篠城、小谷城など。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288248-4</p>	<p>2247</p> <p><b>国際メディア情報戦</b></p> <p>高木徹</p> <p>戦国時代から幕末までの「戦う城」26を徹底分析。</p> <p>現代の「戦場」を制するのは銃弾ではない。イメージの力だ。いかにして有利な国際世論をつくるか？ピンラディンの驚愕のメディア操縦術から、アメリカの逆襲まで、知られざる情報戦の実態を読み解く。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288247-7</p>	<p>2246</p> <p><b>愛と暴力の戦後とその後</b></p> <p>赤坂真理</p> <p>あの敗戦、安保闘争、バブル、オウム事件、そして3・11……。この国には、何か隠されたことがある！『東京プリズン』の作家が、日本社会の「語り得ぬもの」を明かしたまったく新しい日本論。</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-288246-0</p>
--	--	---	---	---

2257

## 歴史家が見る現代世界

入江 昭

私たちが生きている「現代」とはどういう時代なのか？ それは近代と何が違うのか。地球規模で進行する大きなうねりを見逃してはならない。ハーバード大学歴史学部の名誉教授が渾身の書き下ろし！

946  
電

978-4-06-288257-6

2258

## 万葉びとの宴

上野 誠

主人と客はお互いを気遣って称え合い、盛り上げ上手の芸達者はあちこちでお座敷がかかる……。思わず親近感が湧いてくる古代の人々の宴会を、注目の万葉学者が面白実況・解説！

880  
電

978-4-06-288258-3

2262

## 生命誕生

〈第12回パピルス賞受賞〉

地球史から読み解く新しい生命像

中沢弘基

生命はなぜ生まれ、なぜ進化するのか？ 根源的であるがゆえに、誰もが回答を保留してきた難問に最新科学が挑む。「最初の生命」の誕生には、大量の隕石飛来と地球エントロピーの低下が関与していた。

1,012  
電

978-4-06-288262-0

2263

## ナシヨナリズム入門

植村和秀

竹島や尖閣諸島をめぐる韓国や中国との軋轢などによって、「ナシヨナリズム」という言葉を目にするものが多くなってきた。では「ナシヨナリズム」とはいったい何なのか。21世紀最大の難問を学ぶ。

924  
電

978-4-06-288263-7

2265

## SFを実現する

3Dプリンタの想像力

田中浩也

デジタル工作機械の進化によって、どんな「モノづくり」が始まりつつあるのか？ 「スモールライト」も遠隔転送も実現可能!? 情報処理から物質変換へ、大注目の次世代工学者が描き出す興奮の未来！

924  
電

978-4-06-288265-1

<p>2273</p> <p><b>非言語表現の威力</b></p> <p>パフォーマンス学実践講義</p> <p>佐藤綾子</p> <p>自己表現の第一人者が「究極の見せ方・伝え方」を明示する。「人の印象は2秒で決まる」「安倍首相のどろろが変わったか」「意識するだけで印象が変わる離見の見」など……。読んで実践すれば、必ず効果が！</p> <p>814 電</p> <p>978-4-06-288273-6</p>	<p>2272</p> <p><b>昭和陸軍全史1</b></p> <p>満州事変</p> <p>川田 稔</p> <p>なぜ無謀な戦争は始められたのか……。昭和陸軍の誕生と変遷を戦略構想面から描く、全く新しい昭和陸軍史の決定版。陸軍による独断専行の嚆矢となつた満州事変への経緯を詳細に描く。</p> <p>1,210 電</p> <p>978-4-06-288272-9</p>	<p>2270</p> <p><b>ロックの歴史</b></p> <p>中山康樹</p> <p>ロックの誕生をまったく新しい視点から分析。イギリスとアメリカが互いの音楽を「洋楽」として受容し、進化、統合させて、現在のロックが生まれるまでを明快に説き明かす。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288270-5</p>	<p>2268</p> <p><b>生命のからくり</b></p> <p>中屋敷 均</p> <p>サイエンスミステリーの新たな傑作が誕生！ 単純な化合物だった生命は、悠久の時を経て、多様化し高度な知能を有する人類へと進化した。そこにはどんな「からくり」があったのか？</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-288268-2</p>	<p>2267</p> <p><b>「失敗」の経済政策史</b></p> <p>川北隆雄</p> <p>なぜ政治家や官僚は「失敗」を繰り返すのか。「失敗のツケ」を払うのはいつもわれわれ……。同じ過ちを繰り返さないために、バブル崩壊からアベノミクスに至るまでの20年間の経済政策を振り返る。</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-288267-5</p>
--	--	--	--	--

<p>2281</p> <p>ヴァロワ朝 フランス王朝史2</p> <p>佐藤賢一</p> <p>「フランス王朝の歴史」三部作第2弾！ インクランドとの百年戦争、イタリヤへの夢、神聖ローマ皇帝との確執……。歴代王の心労絶えない260年間は、後の輝く絶対王政の長き助走期間か。</p> <p>1,320 電</p> <p>978-4-06-288281-1</p>	<p>2280</p> <p>体の知性を取り戻す</p> <p>尹雄大</p> <p>私たちの体はなぜこんなに不自由なのか？ 体が本来装備している力を引き出すにはどうすればよいか？ 気鋭のライターが武術体験から考え抜いた賢い体のつくりかた。《甲野善紀氏、内田樹氏推薦！》</p> <p>902 電</p> <p>978-4-06-288280-4</p>	<p>2279</p> <p>マックス・ウェーバーを読む</p> <p>仲正昌樹</p> <p>例えば「社会学の基礎概念」を読むことは「支配」「権力」「法」など、社会学の主要な分析対象を定義し、論理的体系化を試みることに。彼の思考を知ることが私たちの社会と歴史について深く学ぶことである。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288279-8</p>	<p>2278</p> <p>織田信長〈天下人〉の実像</p> <p>金子拓</p> <p>新史料が明らかにする全く新しい信長像。「天下布武」は「全国統一」宣言ではなかった、改革者ではなく室町幕府の継承者だった、天皇は信長將軍を望んだ。従来常識が変わる！</p> <p>968 電</p> <p>978-4-06-288278-1</p>	<p>2277</p> <p>米軍と人民解放軍 米国防総省の対中戦略</p> <p>布施哲</p> <p>アメリカが想定している「米中戦争」のシミュレーション。中国海軍の「真の実力」と「アキレス腱」、自衛隊に課せられた役割と米軍の反撃作戦とは――。「集団的自衛権」後の安全保障を考える。</p> <p>968 電</p> <p>978-4-06-288277-4</p>
---	---	--	---	---

<p>2286</p> <p><b>大人のひきこもり</b></p> <p>池上正樹</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-288286-6</p> <p>本当は「外に出る理由」を探している人たち</p> <p>セーフティネットの狭間で置き去りにされた40歳以上は推定100万人！「老後破産」激増の危機が迫るなか、ひきこもり当事者たちによる外に出るための新たな動きを探った。</p>	<p>2285</p> <p><b>思索の源泉としての鉄道</b></p> <p>原 武史</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-288285-9</p> <p>東日本大震災で起きた、日本の鉄道史上未曾有の事態——あれから3年半、断たれた鉄路はどうなっているのか。車窓に目を凝らし歴史に耳を澄ませ、日本を読み解く唯一無二の「鉄」コラム。</p>	<p>2284</p> <p><b>ヌードと愛国</b></p> <p>池川玲子</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-288284-2</p> <p>1900年代から1970年代に創られた、「日本」をまとった七体のヌードの謎を解く。時系列で並んだ「はだか」から浮かび上がる時代と創り手の動機とは？ヌードから読み解く近現代史。</p>	<p>2283</p> <p><b>デジタルは人間を奪うのか</b></p> <p>小川和也</p> <p>814 電</p> <p>978-4-06-288283-5</p> <p>オンライン空間の仮想国家、脳とコンピュータの接続、健常者の記録を破る義足アシリート……。デジタルテクノロジーはわれわれをどこに連れていくのか。未来を考えさせるトピックが満載。</p>	<p>2282</p> <p><b>ふしぎな国道</b></p> <p>佐藤健太郎</p> <p>1,078 電</p> <p>978-4-06-288282-8</p> <p>国道は謎だらけ！・なぜ国道26号はあるのに60号や99号は存在しないのか？・圏央道やアクアライオンはなぜ国道？・車が通れない商店街や階段がなぜ国道？これぞ奥深き「国道ワールド」の入門書。</p>
---	--	---	---	--

<p>2293</p> <p><b>善の根拠</b></p> <p>南直哉</p> <p>高村薫氏推薦！「私にも、私の生にも根拠はない。では、なぜ生きるのか。私であることの賭けと、意志と、無常観をめぐる根源的思考がここにあり」。恐山の禅僧が現代最大の難問に挑む。</p> <p>836 電</p> <p>978-4-06-288293-4</p>	<p>2290</p> <p><b>闘うための哲学書</b></p> <p>小川仁志 萱野稔人</p> <p>古典は、頭を鍛え、人間社会を学ぶ最強の教材だ！同年代のふたりの行動する哲学者が、プラトン、デカルト、ヘーゲル、福澤諭吉、西田幾多郎など、22冊の名著を語り尽くす。</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-288290-3</p>	<p>2289</p> <p><b>昭和陸軍全史2</b> 日中戦争</p> <p>川田稔</p> <p>なぜ泥沼の戦いへ突入していったのか——？昭和陸軍の誕生と変遷を戦略構想面から描く、全く新しい昭和陸軍史決定版の第2巻。統制派と皇道派の派閥抗争から石原完爾の失脚までの新局面を詳述。</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-288289-7</p>	<p>2288</p> <p><b>オリーブの罨</b></p> <p>酒井順子</p> <p>『オリーブ』とは、「モテの戦場」からの解放だった。女子高生時代から同誌の愛読者であり執筆者でもあった著者が、少女たちを夢中にさせ、その人生観にも影響を及ぼした伝説の雑誌を振り返る。</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-288288-0</p>	<p>2287</p> <p><b>カフェと日本人</b></p> <p>高井尚之</p> <p>210年前にコーヒーを飲んだ「人気文化人」って誰？。日本初の喫茶店から、欲望に燃えてきた「特殊喫茶」、スタバ、話題の「サードウェーブ」までの変遷をたどった、日本のカフェ文化論。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288287-3</p>
---	--	---	--	---

2294

## 安倍官邸の正体

田崎史郎

国や党の方針は、誰がいつ、どこで決めているのか。これからの「日本のあり方」を考えるべく、国家権力の中枢を解明するとともに、安倍内閣の「本質」、ポスト安倍までを読み解いた全国民必読の書。

880

電

978-4-06-288294-1

2295

## 福島第一原発事故 7つの謎

NHKスペシャル  
『メルトダウン』  
取材班

事故から4年経ってなお次々に浮かび上がる謎。500人を超える関係者取材、政府事故調査、東京電力極秘資料などを駆使して7つのミステリーを読み解く。吉田所長が遺した「謎の言葉」とは？

924

電

978-4-06-288295-8

2297

## ニッポンの裁判

〈第2回城山三郎賞受賞〉

瀬木比呂志

「絶望の裁判所」は序章にすぎなかった……。裁判の「表裏」を知り抜いた元エリート裁判官による前代未聞の判例分析。啞然、呆然、戦慄、驚愕、日本の裁判は本当に中世並みだった。法曹界騒然の衝撃作。

1,100

電

978-4-06-288297-2

2299

## 日本海軍と政治

手嶋泰伸

なぜ日本は無謀な太平洋戦争へ突入してしまったのか？ 海軍の太平洋戦争への責任は、ほんとうに、巷間言われるように陸軍に比して軽かったのか？ 日本海軍の「政治責任」を徹底的に検証する。

880

電

978-4-06-288299-6

2302

## 明日のプランニング

伝わらない時代の「伝わる」方法

佐藤尚之

情報、砂の一粒。時代、身勝手な広告は「うざい！」。では伝えたい情報は、どうすれば相手に伝わるか。最強メディアは知人友人とファンへのアプローチ。圧倒的にわかりやすい伝える仕事「虎の巻」。

990

電

978-4-06-288302-3

2303

## 「タレント」の時代

世界で勝ち続ける企業の人材戦略論

酒井崇男

トヨタが続け、ソニーが続けられず、アップルやゲーグルがマネをして成功したこと。それは組織の中で価値創造の中心となるタレント人材を生かす仕組み。企業の成否を分けるその決定的要因を解明する。

968



978-4-06-288303-0

2304

## アイヌ学入門

〈第3回古代歴史文化賞大賞受賞〉

瀬川拓郎

海を渡り北方世界と日本を繋ぐ大交易民族としてのアイヌ。中国王朝と戦うアイヌ。ダイナミックに外の世界と繋がった「海のノマド」としての新しいアイヌ像を豊富なトピックから提示する。

1,100



978-4-06-288304-7

2305

## プロ野球 最強の助っ人論

中島国章

なぜヤクルトは「アタリ」が多い? 「成功する選手」と「ダメ外国人」を分ける18の判断基準とは? ラミレス、ホーナーなどを連れてきた元ヤクルトの敏腕国際スカウトが明かす「活躍する助っ人」の秘密。

814



978-4-06-288305-4

2306

## 暗闇から世界が変わる

ダイアログ・イン・ザ・ダーク 日本の挑戦

志村真介

「違いを知ることとは、自分の世界を豊かにするということ。ダイアログ・イン・ザ・ダークは、違いを知るための最高の装置だ」(武洋匠氏)。「暗闇での対話」から人間関係の意識も変わる。

836



978-4-06-288306-1

2307

## AIの衝撃

人工知能は人類の敵か

小林雅一

自動運転車、ドローン(無人飛行機)、医療・介護……「自ら学んで進化する能力」を身につけた次世代ロボットは、人間社会をどのように変えるのか。AIが「人類を滅亡させる」というのは本当か?

880



978-4-06-288307-8

<p>2314</p> <p>中高年ブラック派遣 人材派遣業界の闇</p> <p>中沢彰吾</p> <p>年収3000万円の人材派遣会社20代社員が、中高年を時給数百円の日雇い派遣で酷使――。歪んだ労働市場の実態と規制緩和の弊害を伝える衝撃ルポ。労働者を「モノ扱い」する政府の欺瞞を暴く!</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-288314-6</p>	<p>2312</p> <p>文明探偵の冒険 今は時代の節目なのか</p> <p>神里達博</p> <p>気鋭の科学史家が、暦や占いといったアヤシイ領域から科学の限界、歴史の本質まで、人間の世界観の成り立ちを探る。目に映る景色をガラリと変える知的冒険の書!</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-288312-2</p>	<p>2310</p> <p>加藤周一を記憶する</p> <p>成田龍一</p> <p>代表的な「戦後知識人」は、日本の「敗戦後」をどう問い続けたのか。『言葉と戦車』『日本文学史序説』『夕陽妄語』等を執筆、「九条の会」呼びかけ人でもあった。時代を超えて「歴史認識」を考えてみる。</p> <p>1,430</p> <p>978-4-06-288310-8</p>	<p>2309</p> <p>クール・ジャパン!? 外国人が見たニッポン</p> <p>鴻上尚史</p> <p>花見は「クール!」で紅葉狩りは「クール?」、コスプレは「クール!」でゆるキャラは「クール?」。人気番組『Cool Japan』司会者として、世界を旅する演劇人として、外国人と話して見えてきたニッポン。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288309-2</p>	<p>2308</p> <p>本社はわかってくれない 下川裕治編 東南アジア駐在員はつらいよ</p> <p>言ってもなかなか通じない、日本に報告しても誰も解決してくれない……。文化の違いから現地でも毎日起こる悲喜劇。それでもがんばる東南アジア駐在員たちの奮闘ぶりを描く。</p> <p>814 電</p> <p>978-4-06-288308-5</p>
--	--	---	--	---

<p>2320</p> <p><b>新・自衛隊論</b> 自衛隊を活かす会<sup>11</sup>編著</p> <p>守るべきは「非戦のブランド」だ。元自衛官・専門家で11人が分析する自衛隊の「限界」と「可能性」。専守防衛と安全保障の本質とは？ 対テロ戦争で求められる役割は？ 日本の国防を考えるための入門書</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288320-7</p>	<p>2319</p> <p><b>昭和陸軍全史3</b> 太平洋戦争</p> <p>川田 稔</p> <p>日本陸軍は組織の分裂、抗争状態のまま、勝算なき対米戦争へ突入し、日本は破滅へ。なぜ必敗の戦いを止められなかったのか。昭和陸軍の誕生と変遷を戦略構想面から描く三部作、ついに完結。</p> <p>1,320 電</p> <p>978-4-06-288319-1</p>	<p>2318</p> <p><b>ヒトラーとナチ・ドイツ</b></p> <p>石田勇治</p> <p>なぜ文明国ドイツでヒトラー独裁政権が生まれ、未曾有の大虐殺を引き起こしたのか。ヒトラーの実像からホロコーストの真実まで、近年の研究の成果をふまえ、第一線の研究者がわかりやすく語る。</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-288318-4</p>	<p>2317</p> <p><b>ふしぎなイギリス</b></p> <p>笠原敏彦</p> <p>合理主義者のイギリス人がなぜ世襲の君主制を支持するのか。スコットランド独立はなぜ防げたのか。EUを本当に離脱するのか。大英帝国だけが知っている、グローバル化した世界を生き残る方法。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288317-7</p>	<p>2316</p> <p><b>ナチスの財宝</b></p> <p>篠田航一</p> <p>美術館建設の野望を抱いていたヒトラーが、各地で略奪した美術品60万点のうち、現在も未発見の財宝は10万点を数える。略奪美術品からナチスと戦後ドイツの裏歴史を読み解く。</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-288316-0</p>
---	---	---	--	---

<p>2328</p> <p><b>タモリと戦後ニッポン</b></p> <p>近藤正高</p> <p>「技術では負けていない」という思い込みを捨てよ。人々の欲しがる価値を突き詰めよ。日本を代表する工学者が、国内外の現場で議論して見えてきた日本の産業の今後を、明確に示す。</p> <p>税金は、富める者ほど払わない。そのツケを払うのはあなたです！ タックス・ヘイブン、オフショア市場、秘密口座……。グローバル企業と富裕層の巨額の税金逃れにより、国家財政は破綻の危機へ。</p> <p>消費の論理を突き詰めたスーパーやコンビニが、地域の論理に支えられた商店街を席卷してゆく。「安くて便利で消費者のため」のその先は？ 百貨店、通販、流通革命……日本人の買い物物の歴史から考える。</p> <p>なぜテロや紛争は「終わらない」のか!? 中東における「石油争奪戦」、欧米の「軍産複合体」の暗躍、麻薬ネットワークの「闇経済」……。複雑な国際政治情勢をわかりやすく解説する。</p> <p>タモリとは「日本の戦後」そのものだった！ 終戦直後に出生した稀代のタレントの芸風の形成／変節／不変を、高度成長・大学紛争・サブカル・TV業界の盛衰等とシンクロさせた、タモリ本の新境地。</p> <p>1,320 電</p> <p>978-4-06-288328-3</p>	<p>2326</p> <p><b>石油・武器・麻薬</b></p> <p>中東紛争の正体</p> <p>宮田 律</p> <p>「技術では負けていない」という思い込みを捨てよ。人々の欲しがる価値を突き詰めよ。日本を代表する工学者が、国内外の現場で議論して見えてきた日本の産業の今後を、明確に示す。</p> <p>税金は、富める者ほど払わない。そのツケを払うのはあなたです！ タックス・ヘイブン、オフショア市場、秘密口座……。グローバル企業と富裕層の巨額の税金逃れにより、国家財政は破綻の危機へ。</p> <p>消費の論理を突き詰めたスーパーやコンビニが、地域の論理に支えられた商店街を席卷してゆく。「安くて便利で消費者のため」のその先は？ 百貨店、通販、流通革命……日本人の買い物物の歴史から考える。</p> <p>なぜテロや紛争は「終わらない」のか!? 中東における「石油争奪戦」、欧米の「軍産複合体」の暗躍、麻薬ネットワークの「闇経済」……。複雑な国際政治情勢をわかりやすく解説する。</p> <p>タモリとは「日本の戦後」そのものだった！ 終戦直後に出生した稀代のタレントの芸風の形成／変節／不変を、高度成長・大学紛争・サブカル・TV業界の盛衰等とシンクロさせた、タモリ本の新境地。</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-288326-9</p>	<p>2325</p> <p><b>商店街はいま必要なのか</b></p> <p>「日本型流通」の近現代史</p> <p>満園 勇</p> <p>「技術では負けていない」という思い込みを捨てよ。人々の欲しがる価値を突き詰めよ。日本を代表する工学者が、国内外の現場で議論して見えてきた日本の産業の今後を、明確に示す。</p> <p>税金は、富める者ほど払わない。そのツケを払うのはあなたです！ タックス・ヘイブン、オフショア市場、秘密口座……。グローバル企業と富裕層の巨額の税金逃れにより、国家財政は破綻の危機へ。</p> <p>消費の論理を突き詰めたスーパーやコンビニが、地域の論理に支えられた商店街を席卷してゆく。「安くて便利で消費者のため」のその先は？ 百貨店、通販、流通革命……日本人の買い物物の歴史から考える。</p> <p>なぜテロや紛争は「終わらない」のか!? 中東における「石油争奪戦」、欧米の「軍産複合体」の暗躍、麻薬ネットワークの「闇経済」……。複雑な国際政治情勢をわかりやすく解説する。</p> <p>タモリとは「日本の戦後」そのものだった！ 終戦直後に出生した稀代のタレントの芸風の形成／変節／不変を、高度成長・大学紛争・サブカル・TV業界の盛衰等とシンクロさせた、タモリ本の新境地。</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-288325-2</p>	<p>2324</p> <p><b>〈税金逃れ〉の衝撃</b></p> <p>国家を蝕む脱法者たち</p> <p>深見浩一郎</p> <p>「技術では負けていない」という思い込みを捨てよ。人々の欲しがる価値を突き詰めよ。日本を代表する工学者が、国内外の現場で議論して見えてきた日本の産業の今後を、明確に示す。</p> <p>税金は、富める者ほど払わない。そのツケを払うのはあなたです！ タックス・ヘイブン、オフショア市場、秘密口座……。グローバル企業と富裕層の巨額の税金逃れにより、国家財政は破綻の危機へ。</p> <p>消費の論理を突き詰めたスーパーやコンビニが、地域の論理に支えられた商店街を席卷してゆく。「安くて便利で消費者のため」のその先は？ 百貨店、通販、流通革命……日本人の買い物物の歴史から考える。</p> <p>なぜテロや紛争は「終わらない」のか!? 中東における「石油争奪戦」、欧米の「軍産複合体」の暗躍、麻薬ネットワークの「闇経済」……。複雑な国際政治情勢をわかりやすく解説する。</p> <p>タモリとは「日本の戦後」そのものだった！ 終戦直後に出生した稀代のタレントの芸風の形成／変節／不変を、高度成長・大学紛争・サブカル・TV業界の盛衰等とシンクロさせた、タモリ本の新境地。</p> <p>836 電</p> <p>978-4-06-288324-5</p>	<p>2322</p> <p><b>技術大国幻想の終わり</b></p> <p>これが日本の生きる道</p> <p>畑村洋太郎</p> <p>「技術では負けていない」という思い込みを捨てよ。人々の欲しがる価値を突き詰めよ。日本を代表する工学者が、国内外の現場で議論して見えてきた日本の産業の今後を、明確に示す。</p> <p>税金は、富める者ほど払わない。そのツケを払うのはあなたです！ タックス・ヘイブン、オフショア市場、秘密口座……。グローバル企業と富裕層の巨額の税金逃れにより、国家財政は破綻の危機へ。</p> <p>消費の論理を突き詰めたスーパーやコンビニが、地域の論理に支えられた商店街を席卷してゆく。「安くて便利で消費者のため」のその先は？ 百貨店、通販、流通革命……日本人の買い物物の歴史から考える。</p> <p>なぜテロや紛争は「終わらない」のか!? 中東における「石油争奪戦」、欧米の「軍産複合体」の暗躍、麻薬ネットワークの「闇経済」……。複雑な国際政治情勢をわかりやすく解説する。</p> <p>タモリとは「日本の戦後」そのものだった！ 終戦直後に出生した稀代のタレントの芸風の形成／変節／不変を、高度成長・大学紛争・サブカル・TV業界の盛衰等とシンクロさせた、タモリ本の新境地。</p> <p>814 電</p> <p>978-4-06-288322-1</p>
--	---	---	--	---

<p>2333</p> <p><b>輪廻転生</b></p> <p>〔私をつなぐ生まれ変わりの物語〕</p> <p>竹倉史人</p> <p>4割以上の日本人が信じる輪廻転生の入門書。自然を循環する再生型、古代インド起源の輪廻型、リインカーネーション型の3つに分けてやさしく解説する。輪廻転生、それは生きる力を与える観念だ。</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-288333-7</p>	<p>2332</p> <p><b>「超」集中法</b></p> <p>成功するのは2割を制する人</p> <p>野口悠紀雄</p> <p>仕事、勉強、企業戦略……全体を決めるコアは2割程度。努力をコアに集中させれば、効率は飛躍的に高まり、成果の8割が得られる。この「2:8法則」を意識し、コアを見出す具体的方法を示す。</p> <p>814 電</p> <p>978-4-06-288332-0</p>	<p>2331</p> <p><b>続 まんが パレスチナ問題</b></p> <p>〔アラブの春とイスラム国〕</p> <p>山井教雄</p> <p>「日本一わかりやすい」と大評判の前作から10年。ますます混迷する中東情勢。ガザ侵攻、アラブの春、イスラム国の台頭。聖地を舞台に、憎悪に報復、制裁と聖戦を繰り返す現実をまろること解説。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288331-3</p>	<p>2330</p> <p><b>弥生時代の歴史</b></p> <p>藤尾慎一郎</p> <p>稲作開始は従来の説より五百年も早く、列島への浸透は非常に緩やかだった。「弥生式土器・稲作・鉄器」の三点セットも崩壊。AMS―炭素14年代測定によつて書きかえられた新しい弥生時代像を詳述する。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288330-6</p>	<p>2329</p> <p><b>日本のロック名盤 ベスト100</b></p> <p>川崎大助</p> <p>本邦初！日本のロック「オールタイム・ベスト」100を、著者独自の指標で完全ランキング。「ゴールドラッシュ」「ザ・ブルーハーツ」「ラブソディー」は何位か？1位の栄光に輝いた名盤とは？</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-288329-0</p>
---	--	---	---	---

<p>2338</p> <p><b>世界史を変えた薬</b></p> <p>佐藤健太郎</p> <p>もしコロナプスがビタミンCを知っていたら、もしチャールズが感染症で急死していたら……世界の歴史は違っていたかもしれない。薬と人類の関わりをめぐる「世にも不思議な物語」。</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-288338-2</p>	<p>2337</p> <p><b>『臨濟録』を読む</b></p> <p>有馬頼底</p> <p>禅とは、すべてから自由になることです――。臨濟宗の高僧が、禅の基本書『臨濟録』を「べらんめえ調の生のおいしい言葉で縦横無尽に語りつくす。初学者にもわかりやすい恰好の入門書。」</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-288337-5</p>	<p>2336</p> <p><b>生身の暴力論</b></p> <p>久田将義</p> <p>世の中には「本当にやる」人間がいる。人はなぜ暴力を振るうのか。殺人者はなぜ眠そうな目をするのか。アウトロー取材の第一人者がすぐそこにある暴力を解き明かし、どう対峙するのかを問う。</p> <p>836 電</p> <p>978-4-06-288336-8</p>	<p>2335</p> <p><b>損したくないニッポン人</b></p> <p>高橋秀実</p> <p>節約、通販、不動産、バーゲン、リスクヘッジ、キヤッシュバック、家電、結婚、人生……いつからニッポン人は「損したくない」病に支配されて損するようになったのか。読めば気分が「得」になる本！</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-288335-1</p>	<p>2334</p> <p><b>介護、ビジネスの罠</b></p> <p>長岡美代</p> <p>増加する老人ホームもどき、胃ろうの功罪、看取りサービスの裏側……。10兆円の巨大市場に巣くう悪徳業者の悪質な手口を徹底解剖！ 老後破産を防ぐための必読書。格安老人ホームの裏側に迫る。</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-288334-4</p>
---	---	---	---	--

2339

## 指揮官の条件

高嶋博視

海上自衛隊幹部として東日本大震災直後の救援活動と原発事故処理を、インド洋ではテロ対策を統率した指揮官が初めて明かした「有事に強いリーダーと組織」の要諦とは。

924

電

978-4-06-288339-9

2340

## ネットフリックスの時代

西田宗千佳

配信とスマホがテレビを変える

二〇一五年秋上陸したネット配信の覇者と、それを迎え撃つ巨人たち。動画配信された作品を「イッキ見」という新しい波は、テレビのビジネスモデルを、私たちの生活をいかに変えるか？

836

電

978-4-06-288340-5

2341

ハイデガー哲学入門  
『存在と時間』を読む

仲正昌樹

なぜ『存在と時間』は20世紀を熱狂させたのか。「実存」や「存在」に関する問いかけは人生にどのような意味があるのか。20世紀最大の問題作を攻略する入門書にして決定版！

990

電

978-4-06-288341-2

2342

## 食をめぐるほんとうの話

阿部尚樹  
上原万里子  
中沢彰吾

ウコンが悪酔いを防ぎ、カテキンが体にいいのはなぜ？ 食品添加物、三大栄養素とビタミン、健康食品、サプリメント、農薬、遺伝子組み換え、放射線……虚実入り交じった情報を科学に基づき徹底整理！

836

電

978-4-06-288342-9

2346

## 信じていいのか銀行員

山崎 元

マネー運用本当の常識

普通預金もつたいない？ 高齢者・若者向けの運用商品に違いはない！ 銀行員が勧める金融商品は信用してはいけない。銀行員が絶対教えてくれないお金の正しい運用法を明らかに！

836

電

978-4-06-288346-7

<p>2352</p> <p><b>警察捜査の正体</b></p> <p>原田宏二</p> <p>職質、検問、通信傍受、DNA鑑定、カメラ映像……          法律的にグレーな「犯罪捜査」がどんどん増えている！          かつて「警察幹部の裏金の存在」を告発した          元北海道警警視長が警察権力拡大に「渾身の警告」。</p> <p>1,100  </p> <p>978-4-06-288352-8</p>	<p>2351</p> <p><b>戦国の陣形</b></p> <p>乃至政彦</p> <p>川中島の、三方ヶ原の、関ヶ原の真相はこうだった          のか！ 鶴翼、車懸り、魚鱗……これまで語られて          きた「兵法」の意外な事実迫る！ 中世軍事史に          一石を投じた快作。陣形は「まぼろし」だった。</p> <p>968  </p> <p>978-4-06-288351-1</p>	<p>2350</p> <p><b>仕事の技法</b></p> <p>田坂広志</p> <p>ビジネスシーンで数多くの修羅場をくぐり抜けてき          た著者が、活躍するビジネスパーソンに必須の根幹          の「技法」(技術+心構え)を明快に説く。これであ          るたの仕事力は圧倒的に高まる！</p> <p>924  </p> <p>978-4-06-288350-4</p>	<p>2348</p> <p><b>努力は天才に勝る！</b></p> <p>井上真吾</p> <p>ボクシング世界王者井上尚弥の最年少世界2階級制          覇はいかになされたか。優れたコミュニケーションで          ある著者が、息子を世界王者に育てたトレーニング          法からコミュニケーション術に至る秘訣を披露。</p> <p>880  </p> <p>978-4-06-288348-1</p>	<p>2347</p> <p><b>信頼学の教室</b></p> <p>中谷内一也</p> <p>組織や個人が信頼を得るために必要な方策とは？          一度失われた信頼の回復法とは？ 最新の研究成果          をもとにわかりやすく解き明かす。信頼のコミュニ          ケーションに悩む人、必読！</p> <p>990  </p> <p>978-4-06-288347-4</p>
---	--	---	--	---

<p>2353</p> <p><b>本物の英語力</b></p> <p>鳥飼玖美子</p> <p>発音はハチャメチャと完璧の間を狙う。語彙を増やすためには英文を「たくさん」読む……etc. 話すための基本、難関の試験克服法など日本人が「英語の壁」を乗り越えるための新常識10を紹介。</p> <p>990</p> <p>☎</p> <p>978-4-06-288353-5</p>	<p>2355</p> <p><b>2020年の大学入試問題</b> 石川一郎</p> <p>2020年度から大学入試制度と試験内容が一変する。どのような問題がいかなる狙いで出題されるかを徹底予測。暗記は不要だが知識を駆使して論じる能力は不可欠に。その学び方を解説する。</p> <p>880</p> <p>☎</p> <p>978-4-06-288355-9</p>	<p>2356</p> <p><b>ニッポンの文学</b></p> <p>佐々木 敦</p> <p>「文学」の聖性を剥ぎ落とし、SF、ミステリ、ラブまでを含めた、本当におもしろい小説とは何かを問う新・現代小説史。「ニッポンの思想」「ニッポンの音楽」から連なる待望の3冊目。</p> <p>946</p> <p>☎</p> <p>978-4-06-288356-6</p>	<p>2357</p> <p><b>死ぬ力</b></p> <p>鷺田小彌太</p> <p>「余生」などいらぬ！ 長生きは簡単。むしろ、死ぬことこそ難しい。そんな長寿社会にあって、人生の円熟期を私たちはどのように生きていけばよいか。滋味深いエッセイ。</p> <p>836</p> <p>☎</p> <p>978-4-06-288357-3</p>	<p>2358</p> <p><b>貧困世代</b></p> <p>社会の監獄に閉じ込められた若者たち</p> <p>藤田孝典</p> <p>学生はブラックバイトでこき使われる。社会人は非正規雇用や奨学金返還に苦しみ、実家を出られない。栄養失調、脱法ハウス、生活保護……「貧困世代」は下流老人より悲惨だ！</p> <p>836</p> <p>☎</p> <p>978-4-06-288358-0</p>
--	--	---	--	---

2359

〔第32回講談社科学出版賞受賞〕

ウィルスは生きている

中屋敷 均

我々はすでにウィルスと一体化しており、ウィルスがいなければ、我々はヒトではない。それでは我々ヒトとは、一体、何者なのか？ 成毛眞氏絶讃の科学ミステリーの傑作。

924  
電

978-4-06-288359-7

2360

女子高生アイドルは、なぜ東大生に知力で勝てたのか？

五月女ケイ子<sup>||</sup>絵  
村松 秀

NHKの科学エンタメ番組で活躍するスイエンサーガールズ。モデル・アイドル・女優もこなす女子高生たちが、知的バトルで東大生や京大生に圧勝した。真の「知力」を身につける思考法とは？

924  
電

978-4-06-288360-3

2361

地方議員の逆襲

佐々木信夫

人口減少、自治体消滅の危機だからこそ地方議員、地方議会にできることがある！ 大阪副首都構想のブレインが提言する地方から日本の未来を変えるための「教科書」。

924  
電

978-4-06-288361-0

2363

下り坂をそろそろと下る 平田オリザ

人口減少、待機児童、経済衰退、地方創生……。日本が直面する重大問題の「本質」に迫り、今後の日本と日本人のあり方について考察。あたらしい「この国のかたち」を模索した快著！

946  
電

978-4-06-288363-4

2364

我が詩的自伝

吉増剛造

詩の朗読パフォーマンスの先駆者であり、世界的評価も高い現代日本を代表する先鋭的詩人が、自ら内面の軌跡と芸術の秘奥を縦横無尽に語り尽くした、エピソード満載、驚きの「詩的自伝」！

1,210  
電

978-4-06-288364-1

素手で焰をつかみとれ！

<p>2371</p> <p><b>捨てられる銀行</b></p> <p>橋本卓典</p> <p>「金融検査マニユアル」は廃止、地域の顧客にリスクをとれない銀行は消滅する！新しいビジネスモデルが求められる時代に、型破りの金融庁長官が進める大改革は何を目指すのか？</p> <p>880 ☎</p> <p>978-4-06-288369-6</p>	<p>2369</p> <p><b>パックス・チャイナ 中華帝国の野望</b></p> <p>近藤大介</p> <p>「金融検査マニユアル」は廃止、地域の顧客にリスクをとれない銀行は消滅する！新しいビジネスモデルが求められる時代に、型破りの金融庁長官が進める大改革は何を目指すのか？</p> <p>880 ☎</p> <p>978-4-06-288371-9</p>	<p>2368</p> <p><b>「日本人の神」入門</b></p> <p>神道の歴史を読み解く</p> <p>島田裕巳</p> <p>天皇家と神道の由縁、戦慄すべき天照大神や八幡神の存在を、日本人はどのように鎮め崇めてきたのか。日本人と「神」との関係をわかりやすく述べる現代人必読の宗教入門書！</p> <p>880 ☎</p> <p>978-4-06-288370-2</p>	<p>2367</p> <p><b>漢字と日本語</b></p> <p>高島俊男</p> <p>「復原」と「復元」、「降伏」と「降服」のちがいは？「空巢」の意味は「年寄りだけの家」!? 「外来語」という言葉はいつからあるのか？ ついつい誰かに話したくなる漢字雑学が盛り沢山。</p> <p>1,100 ☎</p> <p>978-4-06-288367-2</p>	<p>2366</p> <p><b>人が集まる建築</b></p> <p>環境×デザイン×こどもの研究</p> <p>仙田 満</p> <p>子どもも大人も楽しめ、学べ、また行きたくない建築空間は、どんな発想と理論から生まれるのか？新広島市民球場、国際教養大学図書館など多数の施設を手掛けた「環境建築家」が明かす。</p> <p>1,210 ☎</p> <p>978-4-06-288366-5</p>
---	---	---	---	---

<p>2377</p> <p><b>情報参謀</b></p> <p>小口日出彦</p> <p>野党転落から四年で政権を奪還した自民党。水面下では、テレビとネットのメタデータを駆使した政治情勢分析会議が行われていた。自民党の情報戦略を導いた人物が全貌を初めて明かす。</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-288377-1</p>	<p>2376</p> <p><b>昭和の戦争</b> 日記で読む戦前日本</p> <p>井上寿一</p> <p>田中義一首相への天皇の不信任感、井伏鱒二や高見順のアジアへの思い、古川ロッパの戦時下の美食……。張作霖爆殺事件から敗戦までを政治家、軍人、作家らの日記をもとに再現する。</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-288376-4</p>	<p>2375</p> <p><b>自民党ひとり良識派</b></p> <p>村上誠一郎</p> <p>いつから自民党は正しいことを堂々と言えない「不自由民主党」になってしまったのか!? このままでは、日本の将来が危なくなる! 自民党の良識派ベテラン議員による、覚悟の正論。</p> <p>814</p> <p>978-4-06-288375-7</p>	<p>2374</p> <p><b>プラネタリウム男</b></p> <p>大平貴之</p> <p>七畳間の勉強部屋から世界で最も先鋭的なプラネタリウムを実現させた天才技術者の破天荒な物語。「まるで『下町ロケット』のようだ」と、渡部潤一国立天文台副台長が絶賛!</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-288374-0</p>	<p>2372</p> <p><b>現代語訳 貧乏物語</b></p> <p>佐藤 優 河上 肇 優  訳・解説</p> <p>なぜ豊かな国に多数の「貧乏人」が? なぜ働いても貧乏から脱出できないのか? 絶望的貧困が日本や世界を覆う現在、「貧困」の問題とはじめて格闘した経済学者の思考を佐藤優氏が引き継ぐ。</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-288372-6</p>
--	---	---	--	---

<p>2383</p> <p><b>生殖医療の衝撃</b></p> <p>石原 理</p> <p>……。第一人者による衝撃の報告。</p> <p>880 ☎</p> <p>978-4-06-288383-2</p>	<p>2382</p> <p>昭和の光と闇 <b>田中角栄</b></p> <p>服部龍二</p> <p>東京一極集中の是正、「限定的改憲論」、「日中裏安保」、石油・エネルギーをめぐる資源外交、北方領土問題の解決……角栄が夢見た「日本の未来」とは。新規公開史料や関係者への聞き取り等から読み解く。</p> <p>1,320 ☎</p> <p>978-4-06-288382-5</p>	<p>2381</p> <p><b>138億年の音楽史</b></p> <p>浦久俊彦</p> <p>「われわれは、どんな過去にさかのほつても音楽に出会う」——「ビッグ・バン」からビートルズまで、音楽の「はじまり」から「いま」まで。すべての音楽の歴史を一気に描ききつた意欲作！</p> <p>924 ☎</p> <p>978-4-06-288381-8</p>	<p>2380</p> <p><b>刀の日本史</b></p> <p>加来耕三</p> <p>「武器」ではなく「美術品」になった日本刀。その美に魅入られた古流剣術の使い手が、刀剣の起りや発達、武人・文人の刀剣にまつわるエピソードを披露する日本刀列伝！</p> <p>880 ☎</p> <p>978-4-06-288380-1</p>	<p>2378</p> <p><b>不屈の棋士</b></p> <p>大川慎太郎</p> <p>羽生善治は将棋ソフトより強いのか？ 渡辺明はなぜ叡王戦に出なかつたのか？ AIに追い詰められた「将棋指し」たちの覚悟と矜持に、気鋭の観戦記者が迫る。棋士11人のロングインタビューを収録！</p> <p>924 ☎</p> <p>978-4-06-288378-8</p>
---	--	--	---	---

2388	2387	2386	2385	2384
<p>マンション格差</p> <p>榊 淳司</p>	<p>憲法という希望</p> <p>木村草太 国谷裕子 対談</p>	<p>〈情報〉帝国の興亡 ソフトパワーの五〇〇年史</p> <p>玉木俊明</p>	<p>はじめての森田療法</p> <p>北西憲二</p>	<p>ゲノム編集とは何か 「DNAのメス」クリスパーの衝撃</p> <p>小林雅一</p>
<p>あなたのマンションは「勝ち組」？「負け組」？ 自宅を「廃墟化」させないために、今からでもできる こととは？ マンション「格差」大競争時代を勝ち 抜くために知っておきたい「真実」。</p> <p>814 電</p> <p>978-4-06-288388-7</p>	<p>本当に困っている人たちに、憲法は何ができるのか。 気鋭の法学者が、社会問題と憲法の関わりを考え、 わかりやすく解説した入門に最適な憲法ガイド！ 国谷裕子氏との貴重な対談も収録。</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-288387-0</p>	<p>情報を制する国家が覇権を獲得する！ 一七世紀オ ランダの活版印刷、一九世紀イギリスの電信、二〇 世紀アメリカの電話、そして現代のインターネット ——近代世界システムの誕生から終焉まで。</p> <p>836 電</p> <p>978-4-06-288386-3</p>	<p>考え方を変えれば人生は楽になる。その極意は「あ るがまま」に生きることである——日本由来の心理 療法を、その成り立ちから実際の治療プロセスまで 名医が分かりやすく解説。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288385-6</p>	<p>人類が自らの寿命をコントロールする時代が訪れた とき、人は何歳まで生きることが許されるのか？ 不老長寿を目指すグーグルやアマゾンが取り組む 「生命科学×IT」の可能性とは。</p> <p>946 電</p> <p>978-4-06-288384-9</p>

2389

## ピアノニストは語る

ヴァレリー・  
アフアナシエフ

最後の巨匠が縦横無尽に人生と音楽の哲学について語る！ モスクワでの幼年時代、音楽院での修業の日々、亡命、愛する作品と作曲家について、ピアノ演奏について。現代新書への待望の書き下ろし。

880

電

978-4-06-288389-4

2391

## げんきな日本論

橋爪大三郎  
大澤真幸

土器、古墳、ひらがな、安土城……なぜ日本人はかくもユニークな文化を生み出したのか？ 『ふしぎなキリスト教』でおなじみ、ふたりの社会学者が語り尽くす「新・日本史」！

1,012

電

978-4-06-288391-7

2393

## 現代美術コレクター

高橋龍太郎

草間彌生、村上隆、奈良美智、会田誠、山口晃……数々の傑作を集めた高橋コレクション。そのオーナーが語る日本現代アートの魅力と投資のコツ。さらには文化行政への提言も。アートの今がわかる一冊。

880

電

978-4-06-288393-1

2394

## 井伊直虎

女領主・山の民・悪党

夏目琢史

戦国の世、なぜ女性が領主となったのか？ なぜ近世期、彼女は忘れられたのか？ 「女性」「山の民」「悪党」をキーワードに、時代の転換期を生きた女城主の宿命を描く。

836

電

978-4-06-288394-8

2395

## 不要なクスリ 無用な手術

富家 孝

医療費の8割は無駄である

医者に勧められても、飲む必要のないクスリ、受ける必要のない手術とは？ 「医者」に嫌われる「医者」にしか書けない、健康寿命を延ばし、無駄な医療費を使わないための基礎知識。

880

電

978-4-06-288395-5

<p>2400</p> <p><b>米中戦争</b> そのとき日本は</p> <p>渡部悦和</p> <p>元自衛隊最高幹部が初めて徹底分析した「米中戦争」 「日中紛争」のリアルな姿。「台湾」「南沙諸島」「尖 閣」「南西諸島」の4シナリオについて詳述。中国軍 はあなどれない！日本は必ず巻き込まれる？</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-288400-6</p>	<p>2399</p> <p><b>ヒットの崩壊</b></p> <p>柴 那典</p> <p>激変する音楽業界。「国民的ヒット曲」はもう生まれ ないのか？ テレビ、ライブ、ビジネスが変わる。 激動の時代に、業界を一変させた新しい「ヒットの 方程式」とは？</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-288399-3</p>	<p>2398</p> <p><b>日米開戦と情報戦</b></p> <p>森山 優</p> <p>なぜ日米交渉は失敗に終わったのか。対米戦争の端 緒となった南部仏印進駐はなぜ選択されたのか。日 英米情報戦の勝者、敗者は――。南進から開戦に至 る過程を、インテリジェンスの観点から読む決定版！</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-288398-6</p>	<p>2397</p> <p><b>老いる家 崩れる街</b> 住宅過剰社会の末路</p> <p>野澤千絵</p> <p>人口は減少するのに、マンションが林立し宅地開発 も相次ぐ日本。私たちが「まち」に支払う税金の負 担がかさむ一方で、住環境は悪化の一途をたどる悲 劇が待ち受けている。</p> <p>836 電</p> <p>978-4-06-288397-9</p>	<p>2396</p> <p><b>すごい「会話力」</b></p> <p>齋藤 孝</p> <p>現代人は「会話」することで人間関係を成り立って いる。「会話力」とは人間の総合力である！ 古典や 名作から言葉遣いのセンスを学ぶなど、その上達法 を伝授する。</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-288396-2</p>
--	--	--	---	---

<p>2405</p> <p><b>織田信長の城</b></p> <p>加藤理文</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-288405-1</p>	<p>2404</p> <p><b>本物の名湯ベスト100</b></p> <p>石川理夫</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288404-4</p>	<p>2403</p> <p><b>親の介護をする前に読む本</b></p> <p>東田 勉</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-288403-7</p>	<p>2402</p> <p><b>ジャニーズと日本</b></p> <p>矢野利裕</p> <p>836 電</p> <p>978-4-06-288402-0</p>	<p>2401</p> <p><b>愛と狂瀾の メリークリスマス</b></p> <p>堀井憲一郎</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-288401-3</p>
--	---	--	--	---

なぜ異教徒の祭典が日本化したのか

なぜキリスト教徒ではない日本人までもが、クリスマスト降誕祭（クリスマス）は特別行事として大騒ぎするの？ キリスト教伝来500年史から読み解く極上の「日本史ミステリー」。

戦後、日系アメリカ人ジャニー喜多川が送り出した少年達は国民的アイドルとなった。なぜここまでジャニーズ帝国は隆盛を極めたのか。ジャニーズという切り口から戦後大衆文化をたどった日本現代史。

必ずやってくるそのときのために今からやっておくこと、知るべきことを解説。施設選び、介護費用などの実用情報が満載。ありそうでなかった介護家族のための「超」入門書。

登別、蔵王、草津、熱海、別府、道後は何位に？ 泉質・提供法・街並み情緒・自然環境・歴史文化の5つの指標で名湯ベスト100ランキングがつかいに決定！ 真正正銘の「温泉力」は、ここにある！

天皇に譲位を求める信長が、安土城に込めていた政治的意図とは？ 小牧山城、岐阜城等の最新の発掘成果をもとに「安土城の謎」を解き明かし、「戦国の覇王」の実像とその天下静謐構想にも迫った論考。

<p>2411</p> <p><b>話すための英語力</b></p> <p>鳥飼玖美子</p> <p>「英語をうまく話したい」は、見果てぬ夢だろうか。母語である日本語との言語間「距離」がある英語に対する苦手意識を克服するにはどうするか。その最良のストラテジーと伝わる英会話の核心を丁寧に解説。</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-288411-2</p>	<p>2410</p> <p><b>入門 東南アジア近現代史</b></p> <p>岩崎育夫</p> <p>ASEAN経済共同体の誕生——五百年にわたる人びとのドラマを通して、六億四千万人の巨大市場の「いま」がわかる決定版！</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-288410-5</p>	<p>2409</p> <p><b>〈軍〉の中国史</b></p> <p>澁谷由里</p> <p>「文の国」中国では、古来、軍隊は軽蔑の対象でしかなかった！ 〈軍〉をキーワードに四千年の葛藤の歴史を繙くことにより、中国という国の知られざる「本質」を解き明かす。現代中国を知るためにも必読！</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-288409-9</p>	<p>2407</p> <p><b>国税局査察部 24時</b></p> <p>上田二郎</p> <p>国税局査察部、通称マルサ。彼らはいかにして脱税を嗅ぎ取り、悪質な手口を見破っていくのか？ マルサの男に狙われる人・会社の特徴とは？ 税金逃れの秘テクニクをすべて暴く！</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-288407-5</p>	<p>2406</p> <p><b>幸福の哲学</b></p> <p>アドラー×古代ギリシアの智慧</p> <p>岸見一郎</p> <p>どうすれば人は幸福になれるのか？ 超ベストセラー『嫌われる勇氣』の著者が、じつくり、深く、考えた！ 人間の幸福に関する歴史上の深い考察を総合した本格的な幸福論。人生への姿勢が変わる！</p> <p>836 電</p> <p>978-4-06-288406-8</p>
--	--	--	---	--

<p>2416</p> <p><b>日本経済入門</b></p> <p>野口悠紀雄</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288416-7</p>	<p>2415</p> <p><b>新版 うつつ病をなおす</b></p> <p>野村総一郎</p> <p>836 電</p> <p>978-4-06-288415-0</p>	<p>2414</p> <p><b>海の向こうから見た倭国</b></p> <p>高田貫太</p> <p>968 電</p> <p>978-4-06-288414-3</p>	<p>2413</p> <p><b>アメリカ帝国の終焉</b> 勃興するアジアと多極化世界</p> <p>進藤榮一</p> <p>836 電</p> <p>978-4-06-288413-6</p>	<p>2412</p> <p><b>楽しく学べる「知財」入門</b></p> <p>稲穂健市</p> <p>1,210 電</p> <p>978-4-06-288412-9</p>
---	--	---	---	--

「1・2・3・ダアーツ！」と叫ぶと商標権侵害!? 榎原敬之氏と小保方晴子氏は「銀河鉄道999」をパクった? メリー喜多川氏が考案した「早変わり舞台衣裳」とは? 面白事例で「知的財産」を学ぼう!

アメリカ大衆の反逆、泥沼化する中東情勢、欧米とは異なる新興アジア型資本主義——長年、国際政治を観察してきた著者が、アメリカ、中国、そして日本を歩きながら描く多極化世界の新しい見取り図。

今明らかにされる古墳時代の倭の実像! 逆さまに見れば、歴史の本当の姿が見えてくる。倭と朝鮮半島の交流を朝鮮半島側から描くことで、倭の実態に迫る。

最新知見を踏まえた回復法がわかる! 12年の時を経て、旧版の情報をアップデート。現代うつ病、適応障害、老人性うつ、双極性障害……多様化したうつ病の真実を名医がやさしく丁寧に解き明かす。

日本経済は構造的問題を抱えている。金融緩和で解決できるというのは幻想だ。日本再生のためには何をすべきか。経済学の知識が全くない読者でも、日本経済の正しい姿と課題がわかる入門書の決定版!

<p>2421</p> <p><b>牙を研げ</b> 会社を生き抜くための教養</p> <p>佐藤 優</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-288421-1</p>	<p>2420</p> <p><b>カラー版 東京の森を歩く</b></p> <p>福嶋 司</p> <p>1,078 電</p> <p>978-4-06-288420-4</p>	<p>2419</p> <p><b>京都のおねだん</b></p> <p>大野裕之</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288419-8</p>	<p>2418</p> <p><b>2025年 日本 の農業ビジネス</b> 21世紀政策研究所編</p> <p>880</p> <p>978-4-06-288418-1</p>	<p>2417</p> <p><b>ビートたけしと北野武</b> 近藤正高</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-288417-4</p>
---	--	---	---	---

差別・暴力・宗教……なぜビートたけしは昭和の事件当事者を演じるのか。ドラマ・映画の出演作品を軸に、北野武の半生と戦後ニッポンの変容を重ねながら、現代社会の欺瞞と彼の二面性に迫った意欲作。

低迷する日本経済復活の切り札は、農業「輸出大国化」「食品産業の融合」だった！ 経済・IT・農政のプロフェッショナルたちが描く、新たな農業のビジネスモデルと力強い未来像。

お地蔵さんのお貸出は「3000円」、世界第一号の抹茶パフェは「1080円」。そして、舞妓さんと遊ぶのにかかる金額はおいくら？ 京都人が隠しておきたい、千年の都の「おねだん」に迫る。

東京の自然はこんなにも多様で面白い！ 高層ビル、住宅地に囲まれた都会の知られざる森の数々。東京湾「海の森」、新宿御苑から奥多摩の御岳山まで、豊かな森を紹介。東京散歩に必携の一冊。

知力と人間力を高める驚きの講義！ 地政学、宗教、数学、歴史、組織論、論理学、資本主義……。ビジネスパーソンが会社を生き抜くために必要な七つの武器を、知の巨人が伝授。

2422 捨てられる銀行2  
非産運用

橋本卓典

顧客のカネを高い手数料で奪い、「悲惨運用」「非産運用」を繰り返す金融機関は自然淘汰に追い込まれる！ 森信親・金融庁長官の「資産運用大改革」「手数料開示」の真意とは？

880  
電

978-4-06-288422-8

2423 勇敢な日本経済論

高橋洋一  
ぐつちーさん

消費税を上げないと財政破綻？ そもそも円高がいいのか円安がいいのか？ 少子高齢化は悪いことばかりか？ 論客二人が日本経済再生への近未来を大胆かつ華麗に予測！

924  
電

978-4-06-288423-5

2424 タロットの秘密

鏡  
リュウジ

なぜカードは「魔力」を得たのか？ 最新の研究成果を盛り込み、タロットカードの歴史を解明。絵札の図像学から、「鏡リュウジ流」解釈までを丁寧に解説した本格的入門書。

1,100  
電

978-4-06-288424-2

2425 真説・企業論  
ビジネススクールが教えない経営学

中野剛志

日本経済はなぜ長期停滞しているのか。本当に起業の活力もイノベーションの条件も不足しているからなのか。蔓延する短期主義的経営論の誤謬を撃ち、再生の可能性をさぐる。

990  
電

978-4-06-288425-9

2426 東芝解体  
電機メーカーが消える日

大西康之

会社解体の危機に喘ぐ東芝——かつて日本企業を代表する存在だった総合電機が軒並み苦境に陥っている。大手8社を詳細に分析し、総合電機がはまった巨大な陥穽を描く。

880  
電

978-4-06-288426-6

<p>2433</p> <p>〈弱いロボット〉の思考 わたし・身体・コミュニケーション</p> <p>岡田美智男</p> <p>自分ではゴミを拾えないゴミ箱ロボット、たどたどしく話すロボット。不完全で放っておけないロボットたちと考える〈関係〉の本質。人とロボットの持ちつ持たれつの関係とは？</p> <p>1,034 電</p> <p>978-4-06-288433-4</p>	<p>2432</p> <p>部活があぶない</p> <p>島沢優子</p> <p>週休0日、体罰・暴言、セクハラ、慢性のケガ、自殺……。事件事故が多発、児童虐待化する部活を徹底レポ。「子どものため」が生徒も先生も追い詰める！ ブラック部活から子どもを守るには？</p> <p>836 電</p> <p>978-4-06-288432-7</p>	<p>2431</p> <p>未来の年表 人口減少日本でこれから起きること</p> <p>河合雅司</p> <p>2020年、女性の半数が50歳超え。24年、全国民の3人に1人が65歳以上。33年、3戸に1戸が空き家に……。人口減少という「静かなる有事」がどのように進むかをリアルに暴く必読書！</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-288431-0</p>	<p>2428</p> <p>戦争の日本古代史 好太王碑 白村江から刀伊の入寇まで</p> <p>倉本一宏</p> <p>好太王碑が語る対高句麗戦惨敗の衝撃、史上最大の敗戦「白村江」、藤原道長らを襲った「刀伊の入寇」……第一線の古代史研究者が帝国日本の源流を探る古代史の決定版！</p> <p>968 電</p> <p>978-4-06-288428-0</p>	<p>2427</p> <p>みんなの朝ドラ</p> <p>木俣 冬</p> <p>おしん、ゲゲゲの女房、あまちゃん、花子とアン、マッサン……ヒット作品を中心にヒロインたちの生き方を検証し、制作秘話を交えながら日本社会の変容を辿る。性のタブーに挑んだ朝ドラといえは？</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-288427-3</p>
---	---	---	---	---

<p>2439</p> <p>知ってはいけない 隠された日本支配の構造</p> <p>矢部宏治</p> <p>なぜ日本はアメリカの「いいなり」なのか？ 官僚と官僚が国民に知られたくない最高裁・検察・外務省の「裏マニュアル」、日米間で結ばれた「密約」とは？ 知られざる「戦後史の闇」に光をあてた快著。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288439-6</p>	<p>2438</p> <p>飛行機の戦争 1914-1945 一ノ瀬俊也 総力戦体制への道</p> <p>なぜ国民は飛行機のためにヒト、カネ、モノを提供したのか？ 「国民の戦争」の象徴としての飛行機に焦点を当て、「日本軍＝大艦巨砲主義」という常識をくつがえす。</p> <p>1,012 電</p> <p>978-4-06-288438-9</p>	<p>2437</p> <p>ハイデガー 『存在と時間』入門</p> <p>轟 孝夫</p> <p>哲学史上、最も難解とされる書物の内容を、ハイデガー「一筋」の研究者が十年をかけて解説。これまでになく明快に、ハイデガーが「本当に言いたかったこと」を解き明かす。</p> <p>1,485 電</p> <p>978-4-06-288437-2</p>	<p>2436</p> <p>縮小ニッポンの衝撃</p> <p>NHKスペシャル 取材班</p> <p>2060年までに日本の人口は約30%減少する！ 未曾有の人口減少に直面する「縮小ニッポン」にはどのような未来が待ち受けているのか。ネットで大反響を呼んだ衝撃作がついに登場。</p> <p>814 電</p> <p>978-4-06-288436-5</p>	<p>2434</p> <p>生命に部分はない</p> <p>A・キンブレール 福岡伸一 訳</p> <p>血液、臓器、胎児、遺伝子、はてはクローン生物まで売買される時代。その萌芽はすでに半世紀前から始まっていた……。人間部品産業の実態に警告を發した名著を福岡ハカセが翻訳。</p> <p>1,320</p> <p>978-4-06-288434-1</p>
---	---	--	--	---

<p>2444</p> <p>科学の知恵</p> <p><b>怒りを鎮めるうまく謝る</b></p> <p>川合伸幸</p> <p>怒った時には寝転べば怒りが収まる!? 関係を修復する上で「謝罪」よりも必要なことは? なぜ謝罪はうまく伝わらないのか? 怒り、謝罪、仕返し、赦しにまつわる最新サイエンス!</p> <p>836 電</p> <p>978-4-06-288444-0</p>	<p>2443</p> <p><b>福島第二原発 1号機冷却 「失敗の本質」</b></p> <p>NHKスペシャル 「メルトダウン」 取材班</p> <p>事故はなぜおきたのか? 1000人以上の関係者への取材とAIで解析した独自調査でつかんだ、衝撃の内幕。吉田所長の英断「海水注入」で原子炉に届いた水は、ほぼゼロだった!</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-288443-3</p>	<p>2442</p> <p><b>ハプスブルク帝国</b></p> <p>岩崎周一</p> <p>広大な版図と多種多様な民族を支配下に置き、千年もの命脈を保った世界史上、最もユニークな帝国。その歴史がこの一冊ですべてわかる! 新知見もふんだんに取り入れた決定版。</p> <p>1,430 電</p> <p>978-4-06-288442-6</p>	<p>2441</p> <p><b>ニッポンの奇祭</b></p> <p>小林紀晴</p> <p>長野御柱祭の地で育った著者は、土着的な要素を感じる「奇祭」に惹かれ、全国を旅する。長野、埼玉、福島、高知、そして宮古島。それは縄文への旅だったのか。古の神々を目撃する異色の写真紀行。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288441-9</p>	<p>2440</p> <p><b>山本七平の思想</b></p> <p>東谷 暁</p> <p>日本独自の「日本教」の正体とは何か? なぜ「空気」は日本全体を覆うのか? 明治以降の天皇制が果たした役割等、日本社会と国民性の本質を鋭く問い続けた碩学の叡智を徹底分析する。</p> <p>946 電</p> <p>978-4-06-288440-2</p>
---	--	--	--	---

<p>2449</p> <p><b>天皇家のお葬式</b></p> <p>大角 修</p> <p>日本で初めて火葬された天皇といえは？ 江戸時代までは仏式だったのに明治以降はなぜ神式？ 明治天皇陵をめぐる東京vs.京都の暗闘とは？ 古代から近現代まで「2700年」をこの一冊で！</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-288450-1</p>	<p>2448</p> <p><b>変な経営論</b> <b>澤田秀雄インタビュー</b></p> <p>桐山秀樹 聞き手 丸本忠之</p> <p>あらゆる業種で先行きが不透明な今、未来をどう考え、どう動けば正解なのか？ ヒントは「ハウステンボス」と「変なホテル」にあった！ 新しい事業を次々軌道に乗せる澤田氏の発想の秘密。</p> <p>858 電</p> <p>978-4-06-288448-8</p>	<p>2447</p> <p><b>正しい本の読み方</b></p> <p>橋爪大三郎</p> <p>どんな本を読んだらいい？ 本はどんなときに役立つ？ 本を読むにもコツがある！ 橋爪氏が「本物の勉強法」をやさしく語り下ろす。「必ず読むべき『大著者100人』リスト」付き。</p> <p>1,012 電</p> <p>978-4-06-288447-1</p>	<p>2446</p> <p><b>ピアノの名曲</b> 聴きどころ 弾きどころ</p> <p>イリーナ・メジューエワ</p> <p>世界最高峰、ロシアピアノニズムの伝統を引き継ぐ現役女性ピアニストが、代表的なピアノの名曲を平易に解説。初心者からマニアまで、より深く曲が理解できる恰好の入門書。</p> <p>1,320 電</p> <p>978-4-06-288446-4</p>	<p>2445</p> <p><b>珈琲の世界史</b> コーヒ</p> <p>且部幸博</p> <p>コーヒブームを生んだのはナポレオン？ モカ港はなぜ衰退した？ 日本最大のブームはいつ？ 誰も書かなかったコーヒ1200年史。深く知れば知るほどに、その味わいもまた深まる！</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288445-7</p>
---	--	--	---	---

<p>2455</p> <p><b>保守の真髓</b></p> <p>老酔狂で語る文明の素乱</p> <p>西部 邁</p> <p>世界恐慌や戦争の危機が迫りつつある現在、国民は政治や文化に関する能力を身につけることが必要である！ 保守の真実を語り尽くす大思想家・ニシベの最期の書であり、日本人への遺言。</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-288455-6</p>	<p>2454</p> <p><b>縄文の思想</b></p> <p>瀬川拓郎</p> <p>アイヌ、海民、南島……。弥生化した列島にも縄文の精神は生き続けていた！ 考古学と神話研究の知見からわれわれの内なる「縄文性」に迫る、まったく新しい縄文論。</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-288454-9</p>	<p>2453</p> <p><b>戦争調査会</b></p> <p>幻の政府文書を読み解く</p> <p>井上寿一</p> <p>一九四五年十一月、幣原喜重郎内閣が立ち上げた国家プロジェクト「戦争調査会」。GHQによって一年弱で廃止された未完のプロジェクトの史料を通して、開戦・敗戦の実相に迫る。</p> <p>968 電</p> <p>978-4-06-288453-2</p>	<p>2452</p> <p><b>健康格差</b></p> <p>あなたの寿命は社会が決める</p> <p>NHKスペシャル 取材班</p> <p>低所得者の死亡率は、高所得者の3倍！ 所得や家庭環境などにより、自らの健康を維持する最低限の条件が触まれる。命の格差とも言うべき「健康格差」の危機的な実態に迫る。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288452-5</p>	<p>2451</p> <p><b>不死身の特攻兵</b></p> <p>軍神はなぜ上官に反抗したか</p> <p>鴻上尚史</p> <p>「死んで来い」との命令を無視し、戦果をあげて九回生還した特攻兵。なぜ彼は、命の尊厳を守り抜くことができたのか。九十二歳の元特攻兵が語る、命を消費する日本型組織にのみ込まれなかった強さの源とは。</p> <p>968 電</p> <p>978-4-06-288451-8</p>
--	--	---	--	--

2456

## 炎の牛肉教室！

山本謙治

「松阪牛」と「米沢牛」の味の違いは？「A5」ランクは美味しいの？ 熟成肉は腐敗した肉!? 本物の牛肉を食べたい人のための教養本。「美味しい牛肉を食べられる販売店・飲食店リスト」付き。

880  
電

978-4-06-288456-3

2457

## 世界神話学入門

後藤 明

なぜ世界中によく似た神話が見られるのか。最新の神話研究とDNA研究のコラボが解明する「出アフリカ」以降のホモ・サピエンス移動の軌跡。いま、人類史の見方が変わる！

990  
電

978-4-06-288457-0

2458

## 核兵器と原発

日本が抱える「核」のジレンマ

鈴木達治郎

北朝鮮の核の脅威にどう対峙すべきか。「核の傘」は本当に日本を守ってくれるのか。なぜ自民党は原発政策を逆行させるのか。原子力委員会の元委員長代理が明かした「核」の真実！

880  
電

978-4-06-288458-7

2459

## 9・11後の現代史

酒井啓子

アメリカの陰り、移民・難民、テロ、宗派対立……「犠牲者の座」を誰もが競うことで対立は泥沼化し、世界は不寛容になっていく。中東における3つの起点から国際情勢を読み解く、かつてない現代史。

880  
電

978-4-06-288459-4

2460

## 自民党秘史

過ぎ去りし政治家の面影

岡崎守恭

田中角栄・金丸信・竹下登・山中貞則……あのころの政治家は、どこか器の大きさを感じさせた。自民党取材歴40年・伝説の政治記者が語る、驚愕と禁断と哀愁のエピソード。

880  
電

978-4-06-288460-0

<p>2466</p> <p><b>京都学派</b></p> <p>菅原 潤</p> <p>貧困者数が二千万人を超え、男性の三割が生涯未婚に……。日本に今、九百万人を超える新しい下層階級が誕生した！ 固定化し、次世代へ「継承」される負の連鎖を直視できるか!?</p> <p>幕末期、禁裏御所では何が起きていたのか。天皇をめぐる幕府と有志大名の争い。宮中の奥へと進出していく藩士たちと身分秩序の維持に腐心する公家勢力。近代国家が形成される舞台裏に迫る。</p> <p>この株価はいつまで続くのか。東京オリンピックの開催が予定されていた2020年以降、日本経済や国民生活はいつたいたいどうなっていくのか。大きく様変わりしようとしている日本の近未来を描く。</p> <p>ポピュリズム、思弁的実在論、<small>トリゾルダ</small>000……ポスト・グローバル化が進行する新時代を生き抜くために、最低限おさえるべき思想の数々を身につけ、まったく新しい公共哲学を打ちたてよう!</p> <p>西田幾多郎、田辺元、三木清、「京大四天王」……戦前、世界最先端の哲学を目指した最高の知性たちは、なぜ戦争協力者へと墜ちてしまったのか？ 自文化礼賛を超え、改めてその可能性を探る。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288466-2</p>	<p>2465</p> <p><b>哲学の最新キーワードを読む</b> 「私」と社会をつなぐ知</p> <p>小川仁志</p> <p>この株価はいつまで続くのか。東京オリンピックの開催が予定されていた2020年以降、日本経済や国民生活はいつたいたいどうなっていくのか。大きく様変わりしようとしている日本の近未来を描く。</p> <p>ポピュリズム、思弁的実在論、<small>トリゾルダ</small>000……ポスト・グローバル化が進行する新時代を生き抜くために、最低限おさえるべき思想の数々を身につけ、まったく新しい公共哲学を打ちたてよう!</p> <p>西田幾多郎、田辺元、三木清、「京大四天王」……戦前、世界最先端の哲学を目指した最高の知性たちは、なぜ戦争協力者へと墜ちてしまったのか？ 自文化礼賛を超え、改めてその可能性を探る。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288465-5</p>	<p>2463</p> <p><b>日本の国難</b> 2020年からの賃金・雇用・企業</p> <p>中原圭介</p> <p>この株価はいつまで続くのか。東京オリンピックの開催が予定されていた2020年以降、日本経済や国民生活はいつたいたいどうなっていくのか。大きく様変わりしようとしている日本の近未来を描く。</p> <p>ポピュリズム、思弁的実在論、<small>トリゾルダ</small>000……ポスト・グローバル化が進行する新時代を生き抜くために、最低限おさえるべき思想の数々を身につけ、まったく新しい公共哲学を打ちたてよう!</p> <p>西田幾多郎、田辺元、三木清、「京大四天王」……戦前、世界最先端の哲学を目指した最高の知性たちは、なぜ戦争協力者へと墜ちてしまったのか？ 自文化礼賛を超え、改めてその可能性を探る。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288463-1</p>	<p>2462</p> <p><b>王政復古</b> 天皇と将軍の明治維新</p> <p>久住真也</p> <p>この株価はいつまで続くのか。東京オリンピックの開催が予定されていた2020年以降、日本経済や国民生活はいつたいたいどうなっていくのか。大きく様変わりしようとしている日本の近未来を描く。</p> <p>ポピュリズム、思弁的実在論、<small>トリゾルダ</small>000……ポスト・グローバル化が進行する新時代を生き抜くために、最低限おさえるべき思想の数々を身につけ、まったく新しい公共哲学を打ちたてよう!</p> <p>西田幾多郎、田辺元、三木清、「京大四天王」……戦前、世界最先端の哲学を目指した最高の知性たちは、なぜ戦争協力者へと墜ちてしまったのか？ 自文化礼賛を超え、改めてその可能性を探る。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288462-4</p>	<p>2461</p> <p><b>新・日本の階級社会</b></p> <p>橋本健二</p> <p>この株価はいつまで続くのか。東京オリンピックの開催が予定されていた2020年以降、日本経済や国民生活はいつたいたいどうなっていくのか。大きく様変わりしようとしている日本の近未来を描く。</p> <p>ポピュリズム、思弁的実在論、<small>トリゾルダ</small>000……ポスト・グローバル化が進行する新時代を生き抜くために、最低限おさえるべき思想の数々を身につけ、まったく新しい公共哲学を打ちたてよう!</p> <p>西田幾多郎、田辺元、三木清、「京大四天王」……戦前、世界最先端の哲学を目指した最高の知性たちは、なぜ戦争協力者へと墜ちてしまったのか？ 自文化礼賛を超え、改めてその可能性を探る。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-288461-7</p>
---	---	--	---	---

2467 プライベートバンカー  
驚異の資産運用砲

杉山智一

なぜ日本の富裕層は海外で資産運用をするのか。海外の生命保険と投資信託を組み合わせた運用法など、彼らが海外で行っている「超資産活用術」を凄腕のプライベートバンカーが初めて詳細に明かす。

924  
電

978-4-06-288467-9

2468 伝わる技術  
力を引き出すコミュニケーション

風間八宏

若手の能力をどうやって引き出すか。ベテランを変えるにはどうするか。名古屋グランパスを1年でJ1復帰に導き、川崎フロンターレ初優勝の基礎を作った知将の、人を育てるコミュニケーションの技法。

880  
電

978-4-06-220997-7

2469 上司の「いじり」が許せない  
中野円佳

時として「いじり」は「いじめ」よりも残酷なハラメントになる。なぜ職場で「いじり」は起きる? 「いじり」に遭ったらどうする? ほか、ネットで大きな反響を呼んだ人気連載を大幅加筆。

880  
電

978-4-06-288469-3

2470 埼玉県立浦和高校  
人生力を伸ばす浦和の極意

佐藤 優  
杉山剛士

高校時代の学習法、大学受験の奥義、社会人のサバイバル術……。浦高OBの佐藤優氏が、名門県立高校で、今もなお受け継がれている伝統教育の真髄を、同高の学校長とともに徹底解説する。

836  
電

978-4-06-288470-9

2471 アクティブラーニング  
学校教育の理想と現実

小針 誠

新学習指導要領がもたらす未来は本当にバラ色なのか? 学力は向上するのか? 学力格差はどうなるか? 明治から平成に至る〈学び〉の近代史を辿りながら、二〇二〇年実施の改革の問題点を探る。

968  
電

978-4-06-288471-6

<p>2476</p> <p><b>日露近代史</b></p> <p>戦争と平和の百年</p> <p>麻田雅文</p> <p>伊藤博文、後藤新平、松岡洋右らはなぜロシアに接近していったのか。日露戦争、シベリア出兵、ノモンハン事件、一九四五年の日ソ戦……。幕末から敗戦に至る「遠い隣国」との関係史。</p> <p>1,320 電</p> <p>978-4-06-288476-1</p>	<p>2475</p> <p><b>未来の年表2</b></p> <p>人口減少日本であなたに起きること</p> <p>河合雅司</p> <p>もう誰にも止められない、日本の少子高齢化という名のモンスターに挑むべく、近い将来、あなたの身の回りで起きるリアルな事態を一覧(カタログ)に。55万部超の大ベストセラー『未来の年表』の第2弾!</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-511768-2</p>	<p>2474</p> <p><b>銀行員はどう生きるか</b></p> <p>浪川 攻</p> <p>いま、金融業界では何が起きているのか。今後生き残るのはどのような銀行なのか。そして、銀行員の仕事と生活はどう変わるのか!? 米銀の「いま」から、邦銀の「将来」を探る。</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-288474-7</p>	<p>2473</p> <p><b>世界経済入門</b></p> <p>野口悠紀雄</p> <p>米中貿易摩擦の影響は? TPPやFTAの問題点とは? 自由貿易や国際金融の基礎から、各国の最新経済動向まで、複雑な世界経済の仕組みがこの一冊でわかる入門書の決定版!</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-288473-0</p>	<p>2472</p> <p><b>地図から消される街</b></p> <p>3・11後の「言っていない真実」</p> <p>青木美希</p> <p>忌まわしい事故から7年経った福島——避難指示解除が進む福島第一原子力発電所近隣地域で進行中の恐るべき事態とは何か。帰還率「4・3%」の衝撃ほか、震災直後から取材を続ける記者が見た現実。</p> <p>1,012 電</p> <p>978-4-06-220996-0</p>
--	---	---	---	---

<p>2481</p> <p><b>強豪校の監督術</b> 高校野球：名將の若者育成法</p> <p>松井 浩</p> <p>大阪桐蔭、東海大相模、龍谷大平安、岐阜第一……甲子園で華々しい結果を残す監督たちは何を考えてチーム作りを精を出しているのか？ いま明かされる「常勝チーム」の育て方！</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-512049-1</p>	<p>2480</p> <p><b>未来の中国年表</b> 超高齢大国でこれから起こること</p> <p>近藤 大介</p> <p>男性3000万人が結婚難民に（2020年）、大卒が年間900万人を超え「大失業時代」到来（2022年）、建国100周年を祝う5億人の老人（2049年）ほか、「人口」で読み解いた中国の未来。</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-512048-4</p>	<p>2479</p> <p><b>近代日本の構造</b> 同盟と格差</p> <p>坂野 潤治</p> <p>「日英同盟」か「日中親善」か、「地租減税」か「格差是正」か——日本近代史の碩学が外交と内政の歩みを描き、現代日本の進むべき道を問う。明治維新百五十年に必読の一冊！</p> <p>968 電</p> <p>978-4-06-511729-3</p>	<p>2478</p> <p><b>「片頭痛」からの卒業</b></p> <p>坂井 文彦</p> <p>「頭痛」治療の世界的名医が発見した画期的ノウハウとは？ 一日2分でOK。片頭痛予防体操で首筋からストレッチ信号を脳に届けば、必ず痛みが消えて、人生がラクになる！</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-511769-9</p>	<p>2477</p> <p><b>県立！再チャレンジ高校</b> 生徒が人生をやり直せる学校</p> <p>黒川 祥子</p> <p>「小学校・中学校ではうまくいかなかった」子どもたちに居場所と希望を与える高校。そこで繰り広げられた教師と生徒の魂のぶつかりあい……。すべて実話の感動の物語。</p> <p>968 電</p> <p>978-4-06-288477-8</p>
---	--	---	---	--

<p>2486</p> <p>おとなの青春旅行</p> <p>下川裕治 室橋裕和 編著</p> <p>毎日ヘトヘトに疲れるツアー旅行には、もううんざり。若い頃には気づけなかった、あの土地の魅力を求めて、人々の生活が根ざす場を自由気ままにたどる「極上の海外おとな旅」15選。</p> <p>1,012 電</p> <p>978-4-06-512462-8</p>	<p>2485</p> <p>「右翼」の戦後史</p> <p>安田浩一</p> <p>戦前右翼、反米から親米への転換、政治や暴力組織との融合、新右翼、宗教右派、そしてネット右翼の跋扈……。戦後右翼の変遷をたどり、今後の右翼の動向を探る。</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-288429-7</p>	<p>2484</p> <p>昭和の怪物 七つの謎</p> <p>保阪正康</p> <p>昭和史研究の第一人者が出会った「戦争の目撃者たち」。積み重ねた取材から東條英機、石原莞爾、犬養毅、渡辺和子、瀬島龍三、吉田茂が残した「歴史の闇」に迫る！</p> <p>968 電</p> <p>978-4-06-512339-3</p>	<p>2483</p> <p>海賊の日本史</p> <p>山内 讓</p> <p>藤原純友、松浦党、倭寇、村上水軍……。『海の国』日本に跳梁した様々な「海賊」たちの存在を通して日本の歴史を読み直すユニークな日本史の試み！</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-511961-7</p>	<p>2482</p> <p>はじめての経済思想史</p> <p>アダム・スミスから現代まで</p> <p>中村隆之</p> <p>よいお金儲けを促進し、悪いお金儲けを抑制する、それが経済学の本質だ！ マルクス、ケインズらは、現実といかに格闘したのか？ 一冊で経済学の歴史がわかる決定版入門書。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-512227-3</p>
--	--	---	--	---

<p>2491</p> <p>子育てで一番大切なこと 杉山登志郎 愛着形成と発達障害</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-513133-6</p>	<p>2490</p> <p>徳政令 なぜ借金返済を返さなければならぬのか 早島大祐</p> <p>968 電</p> <p>978-4-06-512902-9</p>	<p>2489</p> <p>近江商人の哲学 「たねや」に学ぶ商いの基本 山本昌仁</p> <p>1,012 電</p> <p>978-4-06-512903-6</p>	<p>2488</p> <p>戦乱と民衆 磯田道史 倉本一宏 F・クレインス 呉座勇一</p> <p>858 電</p> <p>978-4-06-512218-1</p>	<p>2487</p> <p>大坂堂島米市場 こめいちば 江戸幕府VS市場経済 高槻泰郎</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-512498-7</p>
--	--	---	---	--

世界初の先物取引市場といわれる大坂堂島の米市場に幕府はいかに対処したか？ 江戸時代の資本主義の実体を初めて本格的に活写！ 白川方明第30代日銀総裁絶賛！

白村江、応仁の乱、大坂の陣、禁門の変……民衆はいかにサバイバルしたのか？ 「日本史の風雲児」たちによる白熱の討論！ 英雄中心ではない、民衆を主語とした斬新な日本史！

滋賀県の小さな菓子会社が、縮小する和菓子業界で成長を続け全国区に。「現代の近江商人」と称される「たねや」は地域とお客様を最優先し、結果を残した。成功の方法論を社長自ら分析する。

室町時代、「借金棒引き」を実現させた徳政令。しかしそれは、やがて人々から忌み嫌われる存在となった。いったいそれはなぜなのか？ 人間にとっての経済の本質を解明する。

シリーズ累計28万部の『発達障害の子どもたち』『発達障害のいま』に続く一冊。児童精神科医から見た子育ての基本がわかる決定版。これが子育ての新・バイブルだ！

<p>2496</p> <p><b>自衛隊の闇組織</b>  <small>秘密情報部隊「別班」の正体</small></p> <p>石井 暁</p> <p>880  <small>電</small></p> <p>978-4-06-513588-4</p>	<p>2495</p> <p><b>医学的に正しい生き方</b>  <small>年代別            人生の未来予測図</small></p> <p>和田秀樹</p> <p>880  <small>電</small></p> <p>978-4-06-513072-8</p>	<p>2494</p> <p><b>日本の国益</b></p> <p>小原雅博</p> <p>968  <small>電</small></p> <p>978-4-06-513126-8</p>	<p>2493</p> <p><b>崩れる政治を立て直す</b>  <small>21世紀の日本行政改革論</small></p> <p>牧原 出</p> <p>968  <small>電</small></p> <p>978-4-06-513077-3</p>	<p>2492</p> <p><b>なぜヒトは学ぶのか</b>  <small>教育を生物学的に考える</small></p> <p>安藤寿康</p> <p>1,100  <small>電</small></p> <p>978-4-06-513125-1</p>
---	--	---	---	---

陸上自衛隊が国内外に拠点を設け、身分を偽装した自衛官にスパイ活動をさせている秘密情報部隊の実体に迫った、衝撃レポート。帝国陸軍から引き継がれた。負の遺伝子。とは。

40代は前頭葉の萎縮、50代は鬱病リスク、70代は鬱病と認知症の有病率が逆転……。後悔しない老後を過ごすため世代別傾向と対策を伝授する、和田秀樹流老年医学の総決算！

「国益を誤れば国家は滅びる」。世界で国益が声高に叫ばれる今日において、改めて「国益とは何か」を考えることで、日本の行方を中長期的に思考するための外交入門。

戦後の歴代首相の政治手腕とその成果を検証。また小泉純一郎政権の成功、民主党政権の失敗の分析から、安倍政権の政治主導・行政崩壊の核心に迫る。気鋭の政治学者による力作！

大切なのは、「どう」学べば他人と比べて成績を上げられるかではない。「何を」学べばあなたが生きていくのに意味があるかだ。——あなたの「勉強観」が、この一冊で変わる！

<p>2501</p> <p><b>機密費外交</b></p> <p>なぜ日中戦争は避けられなかったのか</p> <p>井上寿一</p> <p>1,012</p> <p>☎</p> <p>978-4-06-513851-9</p>	<p>2500</p> <p><b>社会学史</b></p> <p>大澤真幸</p> <p>1,540</p> <p>☎</p> <p>978-4-06-288449-5</p>	<p>2499</p> <p><b>知ってはいけない2</b></p> <p>日本の主権はこうして失われた</p> <p>矢部宏治</p> <p>1,100</p> <p>☎</p> <p>978-4-06-513949-3</p>	<p>2498</p> <p><b>最新版 大学生のためのレポート・論文術</b></p> <p>小笠原喜康</p> <p>880</p> <p>☎</p> <p>978-4-06-513502-0</p>	<p>2497</p> <p><b>ヘーゲルを越えるヘーゲル</b></p> <p>仲正昌樹</p> <p>968</p> <p>☎</p> <p>978-4-06-513075-9</p>
---	---	--	---	---

ラカン、ハーバマス、アーレントなど現代の思想家のヘーゲル解釈を紹介することで、哲学の根本課題と「理性」「自由」「市民社会」「法」「国家」等を体系づけたヘーゲルを読み解く。

電子書籍の引用表記はどうすればいい？ WEBの効率的な調べ方は？ 累計40万部超のベストセラーをアップデート。誰にも訊けない、入門一歩手前の基本がわかる決定版！

朝鮮半島が「終戦」に向けて動き出しているのに、なぜ日本の「戦後」だけがいつまでも続くのか？ アメリカによる支配はいつ終わるのか？ 戦後日本最後の謎に挑む！

マルクスもフロイトもフーコーも社会学者だった！ 学問の基礎となる学問「社会学」の通史を、平易な講義文体で解説。現代社会をよりよく生きるために必須の知恵が、すべてこの一冊にある。

リットン調査団への接待攻勢、ハルビン、上海で展開されたインテリジェンス活動……。焼却されたはずの外交機密費史料から、時代に翻弄された外交官たちと日中戦争への道を描く。

<p>2506</p> <p>ジャポニスム 流行としての「日本」</p> <p>宮崎克己</p> <p>象派の巨匠たちはこぞって日本美術を研究し、自身の絵画に取り入れた。西洋の美意識を変えた一九世紀の「日本ブーム」の核心とは？</p> <p>1,012 電</p> <p>978-4-06-514188-5</p>	<p>2505</p> <p>内戦の日本古代史 邪馬台国から武士の誕生まで</p> <p>倉本一宏</p> <p>古代国家はいかに建設され、中世社会はいかに胎動したか？ 邪馬台国・狗奴国の戦い、壬申の乱、藤原広嗣の乱、天慶の乱、前九年・後三年の役……古代史上の内戦から日本の特質を描く画期的な一冊！</p> <p>1,012 電</p> <p>978-4-06-514189-2</p>	<p>2504</p> <p>老いた家 衰えぬ街 住まいを終活する</p> <p>野澤千絵</p> <p>いまや4戸に1戸が空き家予備軍。今後、大量相続時代の到来で、事態は一層深刻に！ 住まいのトリアージ、お試し賃貸、空き家バンク、リースバック……今からあなたにできる住まいの対策は？</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-514166-3</p>	<p>2503</p> <p>新書アフリカ史 改訂新版</p> <p>宮本正興 松田素二 編</p> <p>人類誕生から混沌の現代へ、壮大なスケールで描く民族と文明の興亡。新たなアフリカ像を提示し、世界史の読み直しを迫る必読の歴史書。現代アフリカについて大幅加筆！</p> <p>1,980 電</p> <p>978-4-06-513948-6</p>	<p>2502</p> <p>ゆかいな認知症 介護を「快護」に変える人</p> <p>奥野修司</p> <p>僕らも「死ぬまで人間」です——実体験をきっかけに、当事者の話を聞きに全国を巡った「旅の物語」。病気になっても人生を楽しむ秘訣と、介護者との上手な付き合い方がわかる。</p> <p>968 電</p> <p>978-4-06-513818-2</p>
---	---	--	--	---

<p>2511</p> <p><b>中高生からの論文入門</b></p> <p>小笠原喜康 片岡則夫</p> <p>大学入試改革もこれさえあれば怖くない！ 有名中学高校が取り入れる「論文学習」。探究力・構築力・表現力を磨くには？ 論芸術・図書館学習の第一人者が分かりやすく解説。</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-514415-2</p>	<p>2510</p> <p><b>縄文時代の歴史</b></p> <p>山田康弘</p> <p>世界史上、類例のないユニークな存在として知られる縄文時代。近年の飛躍的な研究発展の成果を網羅して、最も新しい縄文像を提示する。「縄文」のすべてがわかる決定版！</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-514368-1</p>	<p>2509</p> <p><sup>ゼロ</sup><b>0</b>から<sup>イチ</sup><b>1</b>をつくる</p> <p>地元で見つけた、世界での勝ち方</p> <p>本橋麻里</p> <p>カーリング女子五輪メダリストが初めて明かす、コミュニケーション術、組織マネジメント術、リーダー論。「楽しいはラクじゃない。でも楽しさを失うわけにはいかなかった」。</p> <p>968 電</p> <p>978-4-06-514414-5</p>	<p>2508</p> <p><b>仕事と心の流儀</b></p> <p>丹羽宇一郎</p> <p>「問題が多いことを喜べ。それは懸命に生きている証だ」。伊藤忠商事会長、中国大使を歴任した大先輩が、日々奮闘する、すべてのビジネスパーソンに贈る珠玉のメッセージ。</p> <p>946 電</p> <p>978-4-06-514621-7</p>	<p>2507</p> <p><b>「影の総理」と呼ばれた男</b></p> <p>野中広務 権力闘争の論理</p> <p>菊池正史</p> <p>権力闘争を挑み続け、「政界の狙撃手」と恐れられた政治家は、その一方で、戦争を憎み、沖縄に寄り添い続け、平和を愛した政治家でもあった。その素顔に迫る！</p> <p>968 電</p> <p>978-4-06-514232-5</p>
---	--	---	--	--

<p>2516</p> <p>「移民国家」の建前と現実</p> <p><b>ふたつの日本</b></p> <p>望月優大</p> <p>この国に確かに存在する「移民」という現実。止まらない人口減少の背後で、日本で暮らす外国人は増加の一途をたどっている。「日本」はどこから来て、どこに向かうのか？</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-515110-5</p>	<p>2515</p> <p>おとなのための「盤外講座」</p> <p><b>教養としての将棋</b></p> <p>梅原 猛 羽生善治 尾本恵市</p> <p>将棋は指さなくても面白い。「観るファン」のための初めての本格的将棋ガイド。</p> <p>968 電</p> <p>978-4-06-514259-2</p>	<p>2514</p> <p>哲学としてのキリスト教</p> <p><b>神とは何か</b></p> <p>稲垣良典</p> <p>本当に「神」の問題は哲学的には解決済みなのだろうか？ 人間とは何かを問う「形而上学」こそ、人間の実存にとって最も重要な「問い」ではないのか？ 科学全盛の世にあえて問う現代人への挑戦。</p> <p>968 電</p> <p>978-4-06-513503-7</p>	<p>2513</p> <p>その正体を探る</p> <p><b>科学と非科学</b></p> <p>中屋敷 均</p> <p>何が「真実」で「異端」なのか。科学の可能性と限界を見つめ、私たちが生きる意味をも捉えなおす。現代社会の「薄闇」に光をあてた、分子生物学者によるサイエンス・エッセイ。</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-515094-8</p>	<p>2512</p> <p>「計測できない世界」を読む</p> <p>捨てられる銀行3 <b>未来の金融</b> 橋本卓典</p> <p>二〇一九年四月から検査マニュアルが廃止へ向かい、森信親前金融庁長官の大改革が本格始動する。生き残りに何が必要か？ 累計23万部のシリーズ最新刊！</p> <p>946 電</p> <p>978-4-06-514907-2</p>
---	--	---	--	--

<p>2521</p> <p><b>外資の流儀</b> 生き残る会社の秘密</p> <p>中澤 一雄</p> <p>あと2〜3年のうちに「外資型」に変われない日本の企業は5年後には生き残れないだろう——マクドナルドやデイズニーほか外資歴45年、最強外資企業の元トップが語る日本企業が強くなる「8つの方程式」。</p> <p>968 電</p> <p>978-4-06-515367-3</p>	<p>2520</p> <p><b>平将門と天慶の乱</b></p> <p>乃至政彦</p> <p>一介の「兵」に過ぎなかった男はなぜ権力に背き、いかに坂東を制し、「新皇」として君臨したのか。いまだ謎の多い将門の実像に迫る！ 東京・大手町の「怨霊伝説」も徹底検証！</p> <p>1,012 電</p> <p>978-4-06-515505-9</p>	<p>2519</p> <p><b>「平成の天皇」論</b></p> <p>伊藤智永</p> <p>生前退位、戦没者慰霊、被災地訪問……すべては天皇と皇后が平成の30年を通して作り上げた戦略だった。退位表明に込められた、天皇から私たち日本人への問いかけとは？</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-515750-3</p>	<p>2518</p> <p><b>続 昭和の怪物 七つの謎</b></p> <p>保阪正康</p> <p>三島由紀夫、近衛文麿、橘孝三郎、野村吉三郎、田中角栄、伊藤昌哉、後藤田正晴。7人の「怪物」たちは「戦争」と「昭和」をどう生きたか。シリーズ累計24万部、第2弾！</p> <p>946 電</p> <p>978-4-06-514906-5</p>	<p>2517</p> <p><b>進化する形</b> 進化発生学入門</p> <p>倉谷 滋</p> <p>なぜ生物は、こんなにも多様な形をしているのか？ その謎を解く鍵はゲノムにある。現代科学の最もホットな分野の一つである「進化発生学」エヴォデヴオの世界を、最先端の研究者がわかりやすく解説する。</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-515112-9</p>
--	--	---	--	--

<p>2526</p> <p><b>ブルボン朝</b> フランス王朝史3</p> <p>佐藤賢一</p> <p>アンリ四世、ルイ十三世、ルイ十四世、ルイ十五世、ルイ十六世。華麗なるブルボン朝の歴史を描く『フランス王朝史』シリーズ第3弾。ついに完結！</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-516433-4</p>	<p>2525</p> <p><b>刑事弁護人</b></p> <p>亀石倫子 新田匡史</p> <p>権力の暴走を許してはいけない！「令状なきGP S 捜査は違法」の最高裁判決を日本で初めて勝ち取った弁護団とチームを率いた女性弁護士の奮闘。刑事弁護の入門書としても最適。</p> <p>1,012 電</p> <p>978-4-06-512363-8</p>	<p>2524</p> <p><b>未来の地図帳</b> 人口減少日本で各地に起きる100のこと</p> <p>河合雅司</p> <p>2045年、人口8割減の市町村も——47都道府県はもはや、維持できない。20年後の日本人はどこに暮らしているのか？ 累計77万部超『未来の年表』シリーズ第3弾！</p> <p>946 電</p> <p>978-4-06-516089-3</p>	<p>2523</p> <p><b>院政</b> 天皇と上皇の日本史</p> <p>本郷恵子</p> <p>「万世一系」とうたわれる血統の再生産は、いかにして維持されてきたのか、それを支えてきた社会の構造はどのようなものだったのか。「天皇制」の変遷から、日本の歴史を読み解く。</p> <p>1,012 電</p> <p>978-4-06-516087-9</p>	<p>2522</p> <p><b>良い加減に生きる</b> 歌いながら考える深層心理</p> <p>きたやまおさむ 前田重治</p> <p>『あの素晴らしい愛をもう一度』『戦争を知らない子供たち』『風』……名曲が語る日本人の生き方とは？ 一度だけの人生を自分らしく創ってゆくために——人生物語を紡ぎ出す精神分析というガイド。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-516086-2</p>
--	--	--	--	---

<p>2531</p> <p><b>戦争の記憶</b></p> <p>——学生との対話——</p> <p>コロンビア大学特別講義</p> <p>キヤロル・グラツク</p> <p>なぜ世界は戦争の歴史でいがみ合うのか。真実の歴史は存在するのか。日本近現代史の権威・米コロンビア大学歴史学教授による特別授業。</p> <p>924</p> <p>☎</p> <p>978-4-06-515430-4</p>	<p>2530</p> <p><b>民事裁判入門</b></p> <p>裁判官は何を見ているのか</p> <p>瀬木比呂志</p> <p>この一冊で裁判の奥義と核心がわかる！ 信頼できる弁護士を選び方とは？ 反対尋問のコツは？ 和解の弊害は？ ……裁判の基礎知識から訴訟の高等戦術まで、元裁判官の城山三郎賞作家が伝授する！</p> <p>1,210</p> <p>☎</p> <p>978-4-06-516724-3</p>	<p>2529</p> <p><b>「カッコいい」とは何か</b></p> <p>平野啓一郎</p> <p>「カッコいい」について考えることは、いかに生きるべきかを考えることだ！ 「カッコいい」とは何かがわからなければ、20世紀後半の文化現象を理解することは出来ない。</p> <p>1,100</p> <p>978-4-06-517048-9</p>	<p>2528</p> <p><b>日本社会のしくみ</b></p> <p>雇用・教育・福祉の歴史社会学</p> <p>小熊英二</p> <p>日本の雇用・教育・社会保障・政治・アイデンティティ・ライフスタイルまでを規定する「社会の慣習」とは？ 〃日本の働き方〃成立の歴史的背景とその是非を問う。</p> <p>1,430</p> <p>☎</p> <p>978-4-06-515429-8</p>	<p>2527</p> <p><b>地獄めぐり</b></p> <p>加須屋 誠</p> <p>地下8階建てビルに似た構造と、厳格な文書行政組織としての閻魔王庁の実像に迫る。地獄から生還した人たちの証言も収録。「いざ」という時に役立つ（かもしれない）〃地獄の歩き方〃！</p> <p>1,100</p> <p>☎</p> <p>978-4-06-516147-0</p>
---	--	--	---	---

<p>2536</p> <p><b>資本主義に出口はあるか</b></p> <p>荒谷大輔</p> <p>「右／左」に替え、「ロック／ルソー」の対立軸で歴史を読み解けば、この社会の構造がよくわかる！ 気鋭の哲学者が大胆に描く、歴史の隠された法則と「新しい社会」への道標。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-517016-8</p>	<p>2535</p> <p><b>愛と欲望の三国志</b></p> <p>箱崎みどり</p> <p>「三国志」がブームになった理由は？ 「三国志」を愛してやまない東大卒女子アナが、その真髄を新しい角度から探究。</p> <p>946 電</p> <p>978-4-06-517191-2</p>	<p>2534</p> <p><b>ザ・ネクストバンカー</b></p> <p>浪川 攻</p> <p>次世代の銀行員のかたち</p> <p>支店長は本部のいいなりでいいのか？ どうすれば着任3ヵ月で支店の雰囲気ガラリと変えることができるのか？ メガバンクと地銀——各行が誇る伝説の支店長12人がノウハウのすべてを明かす。</p> <p>946 電</p> <p>978-4-06-516849-3</p>	<p>2533</p> <p><b>佐藤優の挑戦状</b></p> <p>地頭を鍛える60題</p> <p>佐藤 優</p> <p>いざ、教養の力試し！ ビジネスパーソン必須の「思考力」と「基礎教養」を試す「新時代の頭の体操」を、教養の怪物・佐藤優が厳選。時代を生き抜くための頭脳を磨け！</p> <p>946 電</p> <p>978-4-06-516475-4</p>	<p>2532</p> <p><b>仏教入門</b></p> <p>南 直哉</p> <p>仏教は「問い」に始まる。仏教とは「主体」の解体と再編成の過程。「道」である。人生について深く考えたいすべての人必読の「南流」仏教入門。</p> <p>902 電</p> <p>978-4-06-516471-6</p>
---	--	---	--	---

<p>2541</p> <p><b>究極の歩き方</b></p> <p>アシックス スポーツ 工学研究所</p> <p>日本人の足を知り尽くしたアシックスの研究部門が、膨大なデータを駆使して「究極の歩行術」を明らかにする。足の形が激変する50歳から健康歩行を究めよう!</p> <p>990 ☎</p> <p>978-4-06-517433-3</p>	<p>2540</p> <p><b>「国境なき医師団」 になろう!</b></p> <p>いとうせいこう</p> <p>「国境なき医師団」で働くのは医師や看護師だけではない! 現地ルポと日本人スタッフへのインタビューで迫る、「人道主義」の最前線。</p> <p>1,100 ☎</p> <p>978-4-06-517315-2</p>	<p>2539</p> <p><b>ビッグデータ探偵団</b></p> <p>Yahoo!ビッグデータレポートチーム</p> <p>安宅和人 池宮伸次</p> <p>最も多くの日本人は17時に頭が痛い。日本は「東京」と「それ以外」からできている。矢沢永吉と郷ひろみは双子レベルの「そっくりさん」? データと人間の発想でわかったニッポンの新事実!</p> <p>990 ☎</p> <p>978-4-06-517314-5</p>	<p>2538</p> <p><b>ノモンハン 責任なき戦い</b></p> <p>田中雄一</p> <p>昭和14年、「作戦の神様」と謳われた参謀・辻政信に率いられた関東軍が満州の辺境で喫した悲惨な大敗。太平洋戦争の結末を予感させる、日本型組織の暗部。</p> <p>990 ☎</p> <p>978-4-06-516857-8</p>	<p>2537</p> <p><b>愛</b></p> <p>苦野一徳</p> <p>恋愛、性愛、「無償の愛」……「ほんとう」の愛とは何か? それはどうすれば可能か? 人生最大の問い「愛」に若き哲学者が挑む!</p> <p>946 ☎</p> <p>978-4-06-517047-2</p>
--	---	--	---	--

<p>2546</p> <p><b>覚悟の競馬論</b></p> <p>国枝 栄</p> <p>東西格差はなぜ解消されないのか？ このままでは日本の競馬はダメになる——。ドバイターフも制した三冠牝馬アーモンドアイの調教師による提言。はたして「最強馬のつくりかた」とは？</p> <p>924 ☎</p> <p>978-4-06-517666-5</p>	<p>2545</p> <p><b>未来予測入門</b></p> <p>元防衛省情報分析官が編み出した技法</p> <p>上田篤盛</p> <p>元防衛省、プロの情報分析官が、クロノロジー（年表）分析、シナリオ・プランニングなど9つの思考・分析ツールを駆使して「未来を予測する」ためのメソッドを伝授する！</p> <p>990 ☎</p> <p>978-4-06-514580-7</p>	<p>2544</p> <p><b>年金「最終警告」</b></p> <p>島澤 諭</p> <p>消費税10%でも積立金は赤字！ 25年も危うい。ここで変わらなければ、年金積立金は必ず枯渇する。日本国民なら必ず知っておくべき年金の嘘と本当を徹底的に解説する。</p> <p>924 ☎</p> <p>978-4-06-517718-1</p>	<p>2543</p> <p><b>京都異界紀行</b></p> <p>西川照子</p> <p>地霊に導かれ、怨霊の声を頼りに京都の町中を歩く。そこから見えてくる、本物の京都の姿とは？ これまででない、「恐ろしい」京都案内。</p> <p>1,100 ☎</p> <p>978-4-06-516146-3</p>	<p>2542</p> <p><b>感動のメカニズム</b></p> <p>心を動かすWork&amp;Lifeのつくり方</p> <p>前野隆司</p> <p>ビジネスも生活も。感動を生み出す者こそが時代をひらく！ 著者独自の「STAR分析」で明らかにする、「感動をデザインする」方法とは？</p> <p>924 ☎</p> <p>978-4-06-517522-4</p>
--	--	--	--	--

<p>2551</p> <p>自分をコントロールする力 森口佑介</p> <p>非認知スキルの心理学</p> <p>「非認知スキル」自分をコントロールする力」が人生の成功を左右する！ 発達心理学の最新知見から、その育て方・鍛え方を大公開。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-517919-2</p>	<p>2550</p> <p>論点別 昭和史</p> <p>戦争への道</p> <p>井上寿一</p> <p>なぜ天皇は聖断を下したのか、メディアは国家の被害者か加害者か、日本は経済先進国か後進国か——一〇の論点で昭和の戦争と社会を読み解く決定版！ この一冊で昭和史研究の最前線がわかる！</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-517862-1</p>	<p>2549</p> <p>韓国 行き過ぎた資本主義</p> <p>「無限競争社会」の苦惱</p> <p>金 敬哲</p> <p>過剰に新自由主義的な政策により、全ての世代が競争に駆り立てられている「超格差社会」韓国。分断を深める社会の姿を、ソウル在住ジャーナリストが描く。これは近未来の日本の姿かもしれない。</p> <p>946 電</p> <p>978-4-06-518194-2</p>	<p>2548</p> <p>タテ社会と現代日本</p> <p>構成「現代新書編集部」</p> <p>中根千枝</p> <p>長時間労働、孤独死、女性活躍社会——。名著「タテ社会の人間関係」の著者が、「資格よりも場」「序列意識」「ウチとソト」など「タテ」の理論をもとに現代日本を読み解き、これからの展望する一冊。</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-288430-3</p>	<p>2547</p> <p>オペラ入門</p> <p>許 光俊</p> <p>初心者にもマニアにも。最高の入門書にして究極のオペラ本、ついに登場！ 魅惑のオペラの世界へ——読めばあなたも行きたくくなる！</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-516874-5</p>
---	--	--	--	--

<p>2556</p> <p>オランダ商館長が見た <b>江戸の災害</b></p> <p>フレデリック・クレインス 著 磯田道史 解説</p> <p>ハーグ国立文書館に眠っていたオランダ商館長の日記。明暦の大火、元禄地震、京都天明の大火……、人びとはいかに災害と生きたか。地震や火事の向こうに日本社会が見えてくる！ 磯田道史氏解説付！</p> <p>1,056 電</p> <p>978-4-06-518179-9</p>	<p>2555</p> <p><b>心にとって時間とは何か</b></p> <p>青山拓央</p> <p>私はいつ決めたのか？ 死ぬ権利は、権利なのか？ それは誰かのせいなのか？ 自由、記憶、自殺、S F、責任、不死など、8つのテーマと謎を手掛かりに、「心と時間の不思議」に迫る！</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-518022-8</p>	<p>2554</p> <p>腰痛は歩いて治す からだを動かしたくなる整形外科</p> <p>谷川浩隆</p> <p>「認知行動療法」実践の整形外科医が慢性腰痛、関節痛患者に送る「希望」のメッセージ。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-518016-7</p>	<p>2553</p> <p>定年消滅時代をどう生きるか</p> <p>中原圭介</p> <p>2020年代、70歳定年が実現し、年功型賃金も崩壊、やがて日本から「定年」は消滅する。転職「35歳限界説」が過去の俗説と化した理由とは？ 10年先を見据えた「自らの価値を高める」方法！</p> <p>946 電</p> <p>978-4-06-518195-9</p>	<p>2552</p> <p>社長って何だ！</p> <p>丹羽宇一郎</p> <p>決断するとき、誰にも相談できない「孤独」が人を強くする……。部・課長必読！ あなたが変われば組織も変わる。社長の気持ちが変われば仕事は面白くなる。これからのリーダーに必要な資質とは？</p> <p>1,056 電</p> <p>978-4-06-517373-2</p>
--	--	--	--	--

2557

## 特攻隊員の現実<sup>リアル</sup>

一ノ瀬俊也

生還の見込みのない体当たり兵器に乗り込んだ二〇代以下の若者たち。「神」と讃えられた彼らは何を思い、亡くなっていたのか。日記や手紙等をもとに、当時の日本人の心奥に分け入る一冊。

946  
電

978-4-06-518440-0

2558

## 次のテクノロジーで世界はどう変わるのか

山本康正

新世界はAI+5G+クラウドの3角形で激変する！ハーバード大学院↓ゲージル出身の投資家が「テクノロジー基礎教養」をわかりやすく解説。生き残る会社、消える会社はどこで決まる？

946  
電

978-4-06-517592-7

2559

## 総理通訳の外国語勉強法

中川浩一

世界最難関のアラビア語を24歳から始め、天皇通訳、総理通訳まで務めた現役外交官が、秘伝の外国語習得術を惜しみなく伝授！今から新しい外国語を学ぶ人や、英語を一からやり直したい日本人必読の書。

924  
電

978-4-06-518422-6

2560

## 物語 パリの歴史

高遠弘美

どの街角を歩いても歴史に出会う街。その起源から現在まで、二千年以上の歴史の尽きせぬ魅力を描いた30章+1。旅行ガイドにもおすすすめ！

1,100  
電

978-4-06-518753-1

2561

## 人生は苦である、でも死んではいけない

岸見一郎

人生は苦。それでも生きる。日々、生きづらさを感じているすべての人へ。ベストセラー『嫌われる勇気』の著者が贈る力強いメッセージ。

946  
電

978-4-06-519213-9

<p>2566</p> <p>「ジャパン・スタイル」を読み解く</p> <p><b>日本文化の核心</b></p> <p>松岡正剛</p> <p>「わび・さび」「数寄」「まねび」……この国の〈深い魅力〉は本当に理解されているのだろうか。独自の方法論で日本文化の本質を見通す「松岡日本論」の集大成!</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-518773-9</p>	<p>2565</p> <p>これからを生きるための「練習問題」</p> <p><b>22世紀を見る君たちへ</b></p> <p>平田オリザ</p> <p>子どもたちの文章読解能力は本当に教科書が読めないほど低下しているのか? 世界最先端の試験とはどんな問題なのか? 保護者・教育関係者の必読書。授業に役立つディスカッション型問題32問を収録。</p> <p>946 電</p> <p>978-4-06-519098-2</p>	<p>2564</p> <p>近代日本と軍部</p> <p>一八六八―一九四五</p> <p>小林道彦</p> <p>「近代理性の象徴」のはずであった組織はなぜ暴走したのか? 明治維新から太平洋戦争敗戦による崩壊まで、陸軍を中心とする「軍部」の全歴史を一人で描ききった超力作!</p> <p>1,430 電</p> <p>978-4-06-518744-9</p>	<p>2563</p> <p>日本人のための漢字入門</p> <p>阿辻哲次</p> <p>鹿見鳥を一字で書いた漢字とは? ペンギンはなぜ「企鵝鳥」と書くのか? 世界最長の歴史を持つ文字「漢字」は知恵の玉手箱! あなたの周りにおける漢字の知られざる面白さを伝える漢字教室、開講!</p> <p>968 電</p> <p>978-4-06-518772-2</p>	<p>2562</p> <p>直観を磨く</p> <p>深く考える七つの技法</p> <p>田坂広志</p> <p>心の奥にいる「もう一人の自分」と対話するとき、直観と論理が融合した最高の思考力が生まれる! 最先端量子科学が解き明かす天才の秘密とは? あなたは自分の中に「天才」がいることに気がついていないか?</p> <p>1,056 電</p> <p>978-4-06-518795-1</p>
--	---	--	---	---

<p>2571</p> <p><b>あぶない法哲学</b></p> <p>常識に盾突く思考のレッスン</p> <p>住吉雅美</p> <p>クローン人間はNG? あなたは飼いだより自由? 私の命、売れますか?——法と道徳、功利主義、人権、自由、平等、アナーキズム……答えのない問いに挑み常識を揺さぶる、悪魔の法哲学教室!</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-519377-8</p>	<p>2570</p> <p><b>離婚の経済学</b></p> <p>愛と別れの論理</p> <p>迫田さやか</p> <p>橋木俊詔</p> <p>1年の離婚件数21万。妻からの申し立て7割。養育費を受け取っている母子世帯は24%、父子世帯は3%……。統計から離婚のリアルに迫り、家族のかたち が不平等を拡大させる現代日本を考える一冊。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-519151-4</p>	<p>2569</p> <p><b>仕事の未来</b></p> <p>「ジヨブ・オートメーション」の嵐と「ギグ・エコノミー」の現実</p> <p>小林雅一</p> <p>G A F Aでテレワークがうまくいかなかったのはなぜ? AIが切り開く未来は本当に私たちを幸せにするのか。世界的な景気後退と雇用不安が危惧される中、新型コロナウイルス禍終息後の社会を読む!</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-519935-0</p>	<p>2568</p> <p><b>還暦からの底力</b></p> <p>歴史・人・旅に学ぶ生き方</p> <p>出口治明</p> <p>立命館アジア太平洋大学学長でもある著者の自由な発想は、多くの人々の心を捉えて離さない。定年制も敬老の日もいらぬという、年齢に縛られない仕事観・生き方の提案とは。</p> <p>946 電</p> <p>978-4-06-514987-4</p>	<p>2567</p> <p><b>空海の哲学</b></p> <p>竹村牧男</p> <p>「日本仏教の最高峰」思想の核心に迫る! 曼荼羅思想が指し示す、自己、そして他者とは? 一即身成仏」の四字に籠められた、空海の人間観・世界観とは? 空海の思想の今日性を描く決定版!</p> <p>1,320 電</p> <p>978-4-06-519134-7</p>
--	--	--	---	--

<p>2576</p> <p>クオリアと人工意識</p> <p>茂木健一郎</p> <p>「意識」は「コピー」できるか？ 人工知能に「意識」は生まれるか？ 著者のメインテーマである「意識」と「クオリア」について、16年の沈黙を破って書き下ろした新たな代表作！</p> <p>1,320 電</p> <p>978-4-06-520066-7</p>	<p>2575</p> <p>戦国大名の経済学</p> <p>川戸貴史</p> <p>兵士の装備一式70万円、鉄炮1挺50万〜60万円、兵糧米代1000万円……1回の合戦の費用は縮めて1億円！「銭がなくては戦はできぬ」。戦国時代の経済の専門家が蛮勇をふるって挑んだ問題作。</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-520015-5</p>	<p>2574</p> <p>「自閉症」の時代</p> <p>竹中均</p> <p>「若冲ブーム」から『君の名は。』を大ヒットさせたアニメ作家の新海誠、IT、人工知能の普及まで。21世紀の感性のベースには「自閉症」的な美意識がある。新しい「時代精神」が明らかに。</p> <p>1,034 電</p> <p>978-4-06-519706-6</p>	<p>2573</p> <p>英語で学ぶ カーネギー「人の動かし方」</p> <p>木村和美</p> <p>世界恐慌後、人々を不安から救った世界的大ベストセラー「人を動かす」を原文で読めば人間の本质がより一層わかる！ 対人関係スキルと英語力を磨く「38の法則」とは。</p> <p>946 電</p> <p>978-4-06-519388-4</p>	<p>2572</p> <p>近現代史からの警告</p> <p>保阪正康</p> <p>激動の時代を生き抜くためにこれだけは言っておきたい――。歴史の大局観を養うための迫真の講義。私たちが必ず知らなければならぬ「歴史の教訓」がここにある。「コロナとファシズム」収録。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-519936-7</p>
---	--	---	---	---

<p>2581</p> <p><b>苦しい時は電話して</b></p> <p>坂口恭平</p> <p>死にたいほどつらい時、人は何をするのが最もよいのか？ 躁鬱病を患う著者が、「死にたい人」からの電話を、10年近く受け続けてわかったこと。そのエネルギーは、きつと転換できる。</p> <p>880 ☎</p> <p>978-4-06-520776-5</p>	<p>2580</p> <p><b>問題発見力を鍛える</b></p> <p>細谷 功</p> <p>変化が大きく、複雑かつ曖昧で、何が起ころかわからないVUCAの時代を生きる人間に必要なのは、問題を発見する力。思考法の第一人者による、前向きな脳の使い方レッスン。</p> <p>990 ☎</p> <p>978-4-06-520890-8</p>	<p>2579</p> <p><b>同調圧力</b></p> <p>日本社会はなぜ息苦しいのか</p> <p>鴻上尚史 佐藤直樹</p> <p>なぜ命令も補償もないのに自粛をするのか。なぜ上司が帰らないと帰りにくいのか。ネット上の匿名が圧倒的に多い日本人――。新型コロナウイルスが炙り出した世間という名の「闇」に迫る！</p> <p>924 ☎</p> <p>978-4-06-520662-1</p>	<p>2578</p> <p><b>文字世界で読む文明論</b></p> <p>比較人類史七つの視点</p> <p>鈴木 董</p> <p>科挙はなぜ中国社会内部の凝集力を高めたのか？ 古代ローマと現代アメリカに共通する限界とは？ 「異才」を育てるための条件とは？ 楽しみながら世界史のツボがわかる！</p> <p>1,034 ☎</p> <p>978-4-06-520147-3</p>	<p>2577</p> <p><b>日本人と山の宗教</b></p> <p>菊地大樹</p> <p>富士山、大峰、白山、立山……日本各地でいまも信仰の対象とされている山々。日本人と「山」の深いつながりの歴史をひもとく。これまでにない視点からたどる、ユニークな「山と人との宗教誌」。</p> <p>1,100 ☎</p> <p>978-4-06-520620-1</p>
---	--	---	--	--

<p>2586</p> <p>10年後の病氣と健康のこと</p> <p><b>未来の医療年表</b></p> <p>奥 真也</p> <p>あの病氣はいつ治癒可能に？ 本当の「健康」って何？ 安楽死法は制定されるのか？ AI診察が主流になるのはいつ？ 医療未来学の第一人者が描く、病氣と医療、健康にまつわる53の未来予想図。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-521137-3</p>	<p>2585</p> <p>IFAが「株式投資」を変える</p> <p><b>証券会社がなくなる日</b></p> <p>浪川 攻</p> <p>社長表彰の常連社員、海外修練生に選抜された営業成績優秀者……将来を嘱望されていたエリートたちが大手証券会社を辞め、続々と転身している「IFA」とは何か。生き残る証券ビジネスの姿を探る。</p> <p>1,034 電</p> <p>978-4-06-520148-0</p>	<p>2584</p> <p>捨てられる銀行4 消えた銀行員</p> <p>地域金融変革運動体</p> <p>橋本卓典</p> <p>「ザ・銀行員」はもういらぬ。氷見野良三金融庁長官が地域金融に強く求める「リスクを分担する真の企業支援」。いち早く動き出した型破りの銀行員の成功例をレポート。</p> <p>1,320 電</p> <p>978-4-06-520145-9</p>	<p>2583</p> <p>維新を超えた宰相</p> <p><b>真実の原敬</b></p> <p>伊藤之雄</p> <p>こんな総理が、今いたら。藩閥政府の行き詰まりを打開し、昭和の戦後復興を支えたのは、この男のヴィジョンだった！ 日本人が知らなすぎる、平民宰相の生涯と実力。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-520621-8</p>	<p>2582</p> <p><b>ペルシア帝国</b></p> <p>青木 健</p> <p>なぜイラン高原の辺境からハカーマニシユ（アケメネス）朝、サーサーン朝という世界史上に輝く帝国が生まれたのか？ リアリズムの極致というべきペルシアを描く世界史ファン待望の一冊！</p> <p>1,320 電</p> <p>978-4-06-520661-4</p>
--	--	---	--	---

<p>2591</p> <p>私たちはどんな世界を 生きているか</p> <p>西谷 修</p> <p>この2000年、世界は近代の富である「自由」「平等」「解放」を失効させ、新たな身分制社会が到来した。現代思想の鬼才が、激変する世界の動態を多角的に俯瞰する近現代史。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-521445-9</p>	<p>2590</p> <p>〈第42回石橋湛山賞受賞〉 民主主義とは何か</p> <p>宇野重規</p> <p>今や危機に瀕した民主主義にまだ可能性はあるのか？ 2500年以上の歴史をたどり、未来への答えを導く。民主主義の本質と、その「あるべき」姿を根本から考える。平易な政治思想史の決定版。</p> <p>1,034 電</p> <p>978-4-06-521295-0</p>	<p>2589</p> <p>脳に潜む闇 ヘルソナ</p> <p>中野信子</p> <p>人間の不可解さを知りたいと思ったとき、私は「脳」研究を一生の仕事にすることに決めた——人気脳科学者が初めて明かす異端の半生。著者の記憶の闇へ潜っていく画期的な自伝。</p> <p>968 電</p> <p>978-4-06-521444-2</p>	<p>2588</p> <p>怒りと憎悪の政治 アフター・リベラル</p> <p>吉田 徹</p> <p>ヘイトクライム、個人化するテロリズム、伸張する権威主義。リベリズムが崩壊し、怒りの政治が展開する現在、その底流を抉り出す。不安な時代を生き抜くための新しい見取図！</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-520924-0</p>	<p>2587</p> <p>はじめての催眠術</p> <p>漆原正貴</p> <p>人は簡単に「暗示」にかかる！ 心を操る「言葉の魔法」―「催眠」。新進気鋭の催眠術師が、腕が曲がらなくなる、手が温かくなるなど、初心者でもできる実践例を多数紹介。</p> <p>946 電</p> <p>978-4-06-520892-2</p>
--	---	---	--	---

<p>2596</p> <p>「自由」vs「正義」の経済思想史</p> <p><b>経済学の墮落を撃つ</b></p> <p>中山智香子</p> <p>経済学はなぜ人間の生から乖離し、人間の幸福に役立たなくなってしまったのか。経済学の墮落の跡をたどると同時にその再生の可能性を探る。</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-521953-9</p>	<p>2595</p> <p>自由へのエチカ</p> <p><b>はじめてのスピノザ</b></p> <p>國分功一郎</p> <p>覆し、ありえたかもしれないもうひとつの世界を提示する、心揺さぶる「倫理学」。気鋭の哲学者による画期的なスピノザ哲学の入門書。</p> <p>946 電</p> <p>978-4-06-521584-5</p>	<p>2594</p> <p>リアルが飲み込まれる日</p> <p><b>やばいデジタル</b></p> <p>NHKスペシャル 取材班</p> <p>ビッグデータに蓄えられた検索履歴は、私たち以上に私たちのことを知り尽くしたデータⅡ「デジタルツイン」となり、プライバシーを丸裸にする。フェイクが横行し、プライバシーが剝奪される――。不自由で非民主主義的な世界を、どう生きるべきか。私たちはまだ、「自由」を知らない。現代人の常識を覆し、ありえたかもしれないもうひとつの世界を提示する、心揺さぶる「倫理学」。気鋭の哲学者による画期的なスピノザ哲学の入門書。</p> <p>946 電</p> <p>978-4-06-521954-6</p>	<p>2593</p> <p><b>部長って何だ！</b></p> <p>丹羽宇一郎</p> <p>働き盛りのみなさんに贈る、人生をワクワク過ごすための必読書。いかに働き方が変わろうとも、仕事の本質は変わらない！仕事と人生の大きな柱が確立される「人生の勝負どき」を乗り切るためのヒントとは。</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-521664-4</p>	<p>2592</p> <p>アートは人を耕す</p> <p><b>脳から見るミュージアム</b></p> <p>中野信子 熊澤弘</p> <p>ミュージアムに入れば物の見方がガラリと変わり、3年後、10年後を生き抜く糧となる。人気脳科学者と東京藝術大学大学美術館准教授による、脳に効く対談。</p> <p>946 電</p> <p>978-4-06-521440-4</p>
---	---	---	---	--

<p>2601</p> <p>新しい世界 世界の賢人16人が語る未来</p> <p>クーリエ・ジャポン編</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-522546-2</p>	<p>2600</p> <p>超解読！ はじめての ヘーゲル『法の哲学』</p> <p>竹田青嗣 西 研</p> <p>1,320 電</p> <p>978-4-06-522141-9</p>	<p>2599</p> <p>証言 羽生世代</p> <p>大川慎太郎</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-521955-3</p>	<p>2598</p> <p>U 相模原に現れた世界の憂鬱な断面</p> <p>森 達也</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-520824-3</p>	<p>2597</p> <p>左翼の逆襲 社会破壊に屈しないための経済学</p> <p>松尾 匡</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-514239-4</p>
--	--	---	--	--

新自由主義がもたらした、労働条件の悪い日本社会の悲惨な現実を解決できるのは、左派ポピュリズムである！ 気鋭の経済学者による、生きづらい社会を改革するための経済学の決定版。

Uは私だ。植松聖をモンスターと断じる私たち一人ひとりの心に、彼と同じ「命の選別を当たり前と思う」意識が眠ってはいやしないか？ 入所中の知的障害者19人が殺害された相模原事件の深層に迫る！

羽生善治、佐藤康光、森内俊之、藤井猛、郷田真隆、先崎学……羽生世代はなぜ「強かった」のか。彼らの時代は終わってしまったのか。危機感と劣等感、意地と誇り——16人の天才たちが明かした本音。

『精神現象学』と並ぶヘーゲルの代表作の「超解読」ついに完成。近代社会の基礎をなす「法」の哲学的な原理とは？ 主著をわかりやすくかみ砕いて解説。予備知識なしに重要哲学書がわかる。

パンデミックの惨禍、拡大する不平等、トランプ現象……世界のアカデミズムを代表する知性たちが、「分断と大転換」の予測不可能な時代を生き抜くための新たなヒントを提示する。

<p>2606</p> <p><b>土葬の村</b></p> <p>高橋繁行</p> <p>「土葬・野辺送り」が姿を消したのは、昭和の終わり頃とされている。しかし、奈良・京都の山間部に、今なお「土葬」を続ける村がある。村人は、なぜ今も土葬を選ぶのか？ 30年にわたる調査の結晶。</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-522544-8</p>	<p>2605</p> <p><b>サピエンスの未来</b> 伝説の東大講義</p> <p>立花 隆</p> <p>困難を乗り越える鍵がここに！</p> <p>1,430 電</p> <p>978-4-06-522530-1</p>	<p>2604</p> <p><b>教育は変えられる</b></p> <p>山口裕也</p> <p>「みな同じ」の一斉教育から、「みな違う」を前提にした教育へ。教師、教育行政官、そして保護者も、全教育関係者注目！ これからのあるべき教育の姿を提示する、全く新しい教育論。未来の教育がここに。</p> <p>1,320 電</p> <p>978-4-06-522182-2</p>	<p>2603</p> <p><b>晩年のカント</b></p> <p>中島義道</p> <p>……。老哲学者のぎこちない生き方を辿る。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-522233-1</p>	<p>2602</p> <p><b>米中新冷戦とアフター・コロナ</b> ファクトで読む</p> <p>近藤大介</p> <p>新たな冷戦の水面下で忍び寄る（七つの戦争）。東アジアの「コロナ対応」を比較・検討し、後手後手に回る日本が巻き返す方策を提示する。「コロナ世界恐慌」と米中激突時代を生き抜く道筋とは！</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-522563-9</p>
---	--	---	--	--

<p>2611</p> <p><b>発達障害と人間関係</b></p> <p>カサンドラ症候群にならないために</p> <p>宮尾益知</p> <p>946</p> <p>☎</p> <p>978-4-06-518442-4</p>	<p>2610</p> <p><b>仕事と人生</b></p> <p>西川善文</p> <p>990</p> <p>☎</p> <p>978-4-06-521841-9</p>	<p>2609</p> <p><b>日本の構造</b></p> <p>50の統計データで読む国のかたち</p> <p>橋本俊詔</p> <p>1,078</p> <p>☎</p> <p>978-4-06-523099-2</p>	<p>2608</p> <p><b>フォン・ノイマンの哲学</b></p> <p>人間のフリをした悪魔</p> <p>高橋昌一郎</p> <p>1,034</p> <p>☎</p> <p>978-4-06-522440-3</p>	<p>2607</p> <p><b>ハイブリッド戦争</b></p> <p>ロシアの新しい国家戦略</p> <p>廣瀬陽子</p> <p>1,320</p> <p>☎</p> <p>978-4-06-522709-1</p>
--	--	--	---	--

どうすれば上司・部下との人間関係はうまくいくのか。夫婦・親子関係がよくなるコツとは。発達障害の人と周囲の人がうまくコミュニケーションをとって「ラクになる」ためのヒント。

2020年9月に世を去った伝説の「ラストバンカー」が晩年に語っていた「仕事ができる人」とは？動乱の時代に大組織を率い、人の真価を見抜く天才だった男の本物の仕事術。

役職者と一般社員の賃金格差は？なぜ日本企業の開・廃業率は低いのか？少子化、格差、老後……。 「この国のかたち」を数字で学び、全体像を知る。不安なこの時代に必要な、すべての議論の土台に。

人類史上最恐の頭脳と呼ばれたフォン・ノイマン。コンピュータ、原子爆弾、ゲーム理論、天気予報……現代社会の基本構造をつくった天才はいかに世界を認識し、どんな数奇な人生を送ったのか。

執拗なサイバー攻撃、SNSを駆使したプロパガンダ、暗躍する民間軍事会社——世界を脅かすプーチン流「現代戦」の実態と日本の安全保障リスク。ロシアの外交・軍事戦略の全貌に迫る決定版！

<p>2616</p> <p>日本人と神</p> <p>佐藤弘夫</p> <p>なぜ日本人は、草木や山川まで成仏できると考えるのか？ 日本人の「聖なるもの」への感性は、どのように変遷したのか？ 縄文から現代へと至る日本人の「心の歴史」をたどる、第一人者による決定版。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-523404-4</p>	<p>2615</p> <p>生物はなぜ死ぬのか</p> <p>小林武彦</p> <p>〈新書大賞2022〉第2位。</p> <p>なぜ日本人は、草木や山川まで成仏できると考えるのか？ 日本人の「聖なるもの」への感性は、どのように変遷したのか？ 縄文から現代へと至る日本人の「心の歴史」をたどる、第一人者による決定版。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-523217-0</p>	<p>2614</p> <p>感じる オープンダイアログ</p> <p>森川すいめい</p> <p>ただ対話するだけで、どうしてところが癒やされるのか？ オープンダイアログ発祥の国フィンランドでは、対話によって、精神面に困難を抱えた人の8割が回復。オープンダイアログをハートで感じる書！</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-523304-7</p>	<p>2613</p> <p>戦争の中国古代史</p> <p>佐藤信弥</p> <p>群雄割拠！ 殷・西周・春秋・戦国時代に繰り広げられた古代中国の戦争を軸に、「中華帝国」誕生の歴史を明らかにする画期的入門書。</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-522861-6</p>	<p>2612</p> <p>百人一首 うたものがたり</p> <p>水原紫苑</p> <p>現代を代表する歌人がわかりやすく案内する、初學者も大人も楽しめる「百人一首」。100のストーリーを読むだけで、日本古典文学の本質が学べる一冊。豊かなことばの世界がここにある！</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-522790-9</p>
---	---	---	---	--

2617

## 日本車は生き残れるか

桑島浩彰  
川端由美

GDPの1割を占める日本経済の大黒柱・自動車産業が世界に遅れ始めた？ 日本の家電業界と同じ凋落の道を歩むのか？ アメリカ、欧州、中国での最新の動きを描きつつ付度抜きで徹底検証。

990  
電

978-4-06-523529-4

2618

## はじめてのプラトン

批判と変革の哲学

中畑正志

プラトニック・ラブからナチス、ネオコンまで……なぜ彼の哲学は人をざわつかせるのか？ 知、真理、魂のあり方を徹底的に考え抜き「批判と変革」を実践したプラトンの冒険に学ぼう。

990  
電

978-4-06-523733-5

2619

## シヨパンの名曲

ピアノの名曲  
聴きどころ 弾きどころ2

イリーナ・メジューエワ

クラシックファン、ピアノファン必読！ 世界最高峰、ロシアピアノリズムの伝統を引き継ぐ女性ピアニストがプロにしかわからないユニークな視点で、シヨパン音楽を解説。アマチュアへのヒントも満載。

1,100  
電

978-4-06-522543-1

2620

## 真説 日本左翼史

戦後左派の源流 1945-1960

池上 彰  
佐藤 優

戦後左派の躍進と五五年体制、そして武装闘争の幕開け——。「左翼」は何を達成し、なぜ失敗したのか？ 忘れられた近現代史をたどり、激動の時代に求められる「左派の思考」を問う。

990  
電

978-4-06-523534-8

2621

## 未来のドリル

コロナが見せた日本の弱点

河合雅司

コロナ禍により少子化は18年も早まり、さらに加速する。社会はどう変わっていくのか？ 日本の病巣「社会の老化」を「人口減少ドリル」で易しく学ぶ。累計90万部超の『未来の年表』シリーズ第4弾！

968  
電

978-4-06-523876-9

<p>2626</p> <p><b>活劇映画と家族</b></p> <p>筒井康隆</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-524550-7</p>	<p>2625</p> <p><b>変貌する未来</b> 世界企業14社の次期戦略</p> <p>クーリエ・ジャポニー編</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-524525-5</p>	<p>2624</p> <p><b>下剋上</b></p> <p>黒田基樹</p> <p>968 電</p> <p>978-4-06-523630-7</p>	<p>2623</p> <p><b>数学独習法</b></p> <p>富島佑允</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-524358-9</p>	<p>2622</p> <p><b>本当に君は 総理大臣になれないのか</b></p> <p>小川淳也 中原一步</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-523066-4</p>
---	--	---	---	--

「30年間、政策ばかり考え続けてきた」という永田町随一の清貧系論客代議士に、容赦なく非情なツッコミを入れた、まったく新しい政治家インタビュー。これは未来の日本の政権公約集なのか？

解かない。覚えぬ。数学の全体像を俯瞰して、ざっくりつかむことに徹した新しい入門書。金融数学の専門家に文系編集者がわかるまで聞き返してできた作品。仕事に出てくる数学知識をとりわけ厳選！

上杉謙信、斎藤道三、陶晴賢、三好長慶、織田信長……。なぜ「主殺し」は引き起こされたのか？ 下位の者が上位の者に取って代わる下剋上とは、一体どのような事態だったのか？

GAFAM、スペースX、ピオンテック、ネットフリックス、TSMC。「今日の社会」を変えていく企業がいま考えていること、描いている未来とは？。これが世界の潮流、次代の世界標準だ！

巨匠・筒井康隆が、往年の名作・活劇映画を通して「家族とは何か」を考察する意欲作。新書の枠を超えて、ひたすら娯楽に徹する筆致も圧巻である。筒井ワールド炸裂の快作。

<p>2631</p> <p><b>新型コロナウイルスワクチン 本当の「真実」</b></p> <p>宮坂昌之</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-525679-4</p>	<p>2630</p> <p><b>長崎丸山遊廓</b> 江戸時代のワンダーランド</p> <p>赤瀬 浩</p> <p>1,320 電</p> <p>978-4-06-524960-4</p>	<p>2629</p> <p><b>幸せに死ぬために</b> 人生を豊かにする「早期緩和ケア」</p> <p>大津秀一</p> <p>968 電</p> <p>978-4-06-525009-9</p>	<p>2628</p> <p><b>学校ってなんだ！</b> 日本の教育はなぜ息苦しいのか</p> <p>工藤勇一 鴻上尚史</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-523475-4</p>	<p>2627</p> <p><b>日本哲学の最前線</b></p> <p>山口 尚</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-524295-7</p>
---	---	---	--	--

國分功一郎、青山拓央、千葉雅也、伊藤亜紗、古田徹也、苦野一徳……「J哲学」の旗手たちは、いま何を問い、どこを指しているのか？ 哲学の最前線への最適な入門書。

「従順な子」をつくる教育は、もう終わりにしよう！  
ブラック校則、いじめ、教師のストレス。問題の根本にあるのは、自律をさせない日本型システムだった！ 常識を覆す刮目の教育論！

緩和ケアが必要なのは「末期」だけではない！ 病気の痛みや不安を和らげる「早期緩和ケア」の可能性とは？ ベストセラー『死ぬときに後悔すること25』を書いた緩和ケア医が贈る心の処方箋。

江戸時代、唯一の対外貿易港であった長崎。この街でオランダ人、唐人相手に年間1000万円以上を稼ぎだし、長崎の庶民の暮らしを支えていた地元出身の遊女たち。その実態を新資料に基づき活写する。

免疫学の第一人者として絶大な信頼を得ている著者が、新型コロナウイルスの有効性と安全性を徹底分析。ワクチンに対する疑問と不安を解消する「新型コロナウイルスワクチン本」の決定版。

<p>2636</p> <p><b>頼朝と義時</b></p> <p>武家政権の誕生</p> <p>呉座勇一</p> <p>なぜ日本では武士中心の社会が生まれたのか？ 朝廷と交渉しつつ、したたかに武士の権利を拡大していった「鎌倉殿」と「執権」。朝廷と幕府の関係が劇的に転換する日本史上の画期を描く。</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-526105-7</p>	<p>2635</p> <p><b>シンプルな英語</b></p> <p>中山裕木子</p> <p>「主語(S)と動詞(V)をシンプルに組み立てる力の取得」こそが英語上達の最短方法だった。ベストセラー著者が放つ、これぞ英語学習の完成形。効果的なスピーキングの練習法も。</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-525733-3</p>	<p>2634</p> <p><b>倭国</b></p> <p>古代国家への道</p> <p>古市 晃</p> <p>継体天皇を画期として、新たな国家体制が始まった。ゆるやかな連合から「天皇」専制体制へ。新たな史料を駆使し詳細に論じる、スリリングで画期的な倭国形成史。天皇・古代国家の見方を一新する。</p> <p>1,210 電</p> <p>978-4-06-525791-3</p>	<p>2633</p> <p><b>不安に克つ思考</b></p> <p>賢人たちの処方箋</p> <p>クーリエ・ジャポンII編</p> <p>4つの仕事の習慣、バラモン左翼と商人右翼、監視資本主義……。転換期を生き抜くための必須キーワードとは？ レベッカ・ソルニツト、ダニエル・カーネマンら最高の知性が語るシリーズ第3弾！</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-525804-0</p>	<p>2632</p> <p><b>会社がなくなる！</b></p> <p>丹羽宇一郎</p> <p>GAFAMも長くは続かない。SDGs、ESGの看板にだまされるな！ ビジネスと外交の修羅場を乗り越えてきた著者が「圧倒的現場力」と「膨大な読書量」に基づき、ホンモノの未来像を描き出す。</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-524959-8</p>
---	--	--	---	---

<p>2641</p> <p>詩とは何か</p> <p>吉増剛造</p> <p>現代における「詩」の本質とは？ 世界最高峰の詩人の一人にして現代詩の第一人者、吉増剛造が60年の詩業の果てに辿り着いた境地を縦横無尽に語り尽くした稀有の書。</p> <p>1,210 電</p> <p>978-4-06-518827-9</p>	<p>2640</p> <p>大人のいじめ</p> <p>坂倉昇平</p> <p>職場のいじめで精神障害を発症した件数が、この11年で10倍に！ 膨大な数の「いじめ・嫌がらせ」相談を受けてきた著者が、激増するいじめの実態と背景を、実例を紹介しながら分析。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-526094-4</p>	<p>2639</p> <p>酔鯨 山内容堂の軌跡</p> <p>土佐から見た幕末史</p> <p>家近良樹</p> <p>この人物を知らずして幕末史は語れない！ 彼は時代に取り残された「悪役」だったのか？ 將軍継嗣問題、土佐勤王党の弾圧、王政復古……。第一人者が描き出す異色の幕末維新史！</p> <p>1,540 電</p> <p>978-4-06-525910-8</p>	<p>2638</p> <p>遊廓と日本人</p> <p>田中優子</p> <p>第一人者が分かりやすく語る、「遊廓入門」の決定版！</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-526095-1</p>	<p>2637</p> <p>空気を読む人 読まない人</p> <p>人格系と発達系のはなし</p> <p>老松克博</p> <p>人は2種類に分けられる。空気を読みすぎる「人格系」か、空気が読まない「発達系」か。両タイプは必要以上に衝突し、余計に自分の一部を抑圧する。性格のしくみから説き起こす、生きづらさ解消法！</p> <p>なぜ「あつてはならない悪所」に日本人は魅了されたのか——。「日本史の陰影(タブー)」を江戸学の第一人者が分かりやすく語る、「遊廓入門」の決定版！</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-525903-0</p>
--	---	---	--	--

<p>2646</p> <p><b>神社とは何か</b></p> <p>新谷尚紀</p> <p>私社には、なぜ鳥居があるのか。神社のルーツは何か。身近すぎて普段考えることはなかったけれど、考えてみると不思議な存在。その謎を、さまざまな角度から検証する。神社のすべてがわかる決定版！</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-526728-8</p>	<p>2645</p> <p><b>ブルシット・ジョブの謎</b> クソどうでもいい仕事はなぜ増えるか</p> <p>酒井隆史</p> <p>「謎」を解き明かす――。</p> <p>1,012 電</p> <p>978-4-06-526659-5</p>	<p>2644</p> <p><b>裏道を行け</b> デリストピア世界をHACKする</p> <p>橋 玲</p> <p>私たちはなぜ「クソどうでもいい仕事（ブルシット・ジョブ）」に苦しみ続けるのか？ なぜエッセンシャル・ワーカーの給料は安いのか？ 世界的現象の「謎」を解き明かす――。</p> <p>1,034 電</p> <p>978-4-06-526570-3</p>	<p>2643</p> <p><b>激動 日本左翼史</b> 学生運動と過激派 1960-1972</p> <p>池上 彰 佐藤 優</p> <p>高揚する学生運動、泥沼化する内ゲバ、あさま山荘事件の衝撃。左翼の掲げた理想はなぜ「過激化」するののか？ 戦後左派の「失敗の本質」。いま、戦後史から学ぶべき歴史の教訓とは。</p> <p>1,012 電</p> <p>978-4-06-526569-7</p>	<p>2642</p> <p><b>医療崩壊 真犯人は誰だ</b></p> <p>鈴木 亘</p> <p>コロナ患者が入院拒否をされたり、自宅で死亡するという状況は日本中を震撼させた。未だに続く医療提供体制崩壊の解決策を、医療・福祉に詳しい経済学者が提言する。</p> <p>946 電</p> <p>978-4-06-526417-1</p>
--	---	--	---	--

2647

性<sup>セックス</sup>と宗教

島田裕巳

イエスに邪な気持ちではあったのか？ 浄土真宗だけが妻帯を許された理由とは？ 人間の欲望と戒律をめぐる謎を解き明かし、宗教の本質に迫る。セックスを無視して宗教を語ることはできない！

968  
電

978-4-06-526847-6

2648

## 教養としての金融危機

宮崎成人

世界的な金融危機はなぜ起きたのか？ 新型コロナウイルスショックは新たな金融危機を引き起こすのか？ この100年で起きた「9つの危機」をストーリー形式で徹底解説！

968  
電

978-4-06-526715-8

2649

## 平安京の下級官人

倉本一宏

長年昇進を望みながら叶わなかった下級官人。宮廷を襲った疫病。鬪乱に明け暮れる人々……。平和で優雅な時代の苛酷な日常とは？ 古記録から浮かび上がる、庶民たちの人生。

1,034  
電

978-4-06-527031-8

2650

## まだ間に合う

元駐米大使の置き土産

藤崎一郎

人生に「もう遅すぎる」はありません！ 「記録とりの極意」「社会人の『アイウエオ』」ほか、元駐米大使が本音で綴った次世代への直球アドバイス。YOSHIIKIさん、佐藤可士和さん推薦！

990  
電

978-4-06-527293-0

2651

## 不思議の国ニッポンクローリエ・ジャポンII編

海外メディアは見た

「なぜ銀メダルでも謝罪するのか」「アナログに固執するふしぎ」「働きすぎなのに生産性が低い理由」「義理チョコという呪縛」――、日本人の「当たり前」の常識を覆す、素朴な疑問の数々。

990  
電

978-4-06-527484-2

<p>2656</p> <p><b>人生百年の教養</b></p> <p>亀山郁夫</p> <p>老いてこそ真価を発揮する教養とは何か。読書、音楽、外国語、老い……、ドストエフスキー研究の第一人者が多角的な見地から、自分の人生と戦い続けるために必要な真の「教養」に迫る。</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-527721-8</p>	<p>2655</p> <p><b>人はどう死ぬのか</b></p> <p>久坂部 羊</p> <p>「幸せな死」を迎えるためには予習が必要だ。平穩な死を迎えるには、何をどう準備すればよいのか？在宅診療医として数々の死を看取った人氣小説家が書いた、新しい「死に方」の教科書。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-527719-5</p>	<p>2654</p> <p><b>独学の思考法</b> 地頭を鍛える「考える技術」</p> <p>山野弘樹</p> <p>「考える力」が根本から身につく！ 答えのない時代に自分の頭で考え、学びを深めるための「知の技法」を、氣鋭の哲学者が徹底解説。勉強の質を高める哲学メソッドとは何か。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-527752-2</p>	<p>2653</p> <p><b>現代思想入門</b></p> <p>千葉雅也</p> <p>デリダ、ドゥルーズ、フーコー、ラカン、メイヤス……。人生を変える哲学が、ここにある――。現代思想の真髓をかつてない仕方て書き尽くした、俊英による「入門書」の決定版！</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-527485-9</p>	<p>2652</p> <p><b>スピノザ</b> 人間の自由の哲学</p> <p>吉田量彦</p> <p>「人間から自由を奪うことはできない」。不自由な今の時代にこそスピノザ哲学が必要だ！ ラディカルで難解なスピノザ哲学が小説のようにスラスラ読める、まったく新しい入門書。</p> <p>1,320 電</p> <p>978-4-06-527324-1</p>
---	---	---	--	--

<p>2661</p> <p>なぜ給料と物価は安いままなのか</p> <p><b>日本病</b></p> <p>永濱利廣</p> <p>924</p> <p>電</p> <p>978-4-06-528398-1</p>	<p>2660</p> <p>基礎からわかる</p> <p><b>論文の書き方</b></p> <p>小熊英二</p> <p>1,320</p> <p>電</p> <p>978-4-06-528086-7</p>	<p>2659</p> <p><b>10分で名著</b></p> <p>古市憲寿</p> <p>990</p> <p>電</p> <p>978-4-06-528049-2</p>	<p>2658</p> <p><b>オッサンの壁</b></p> <p>佐藤千矢子</p> <p>990</p> <p>電</p> <p>978-4-06-527753-9</p>	<p>2657</p> <p><b>新型コロナの不安に答える</b></p> <p>宮坂昌之</p> <p>990</p> <p>電</p> <p>978-4-06-527720-1</p>
---	--	---	--	---

再び猛威を振るう新型コロナ。新たなオミクロン株にワクチンの3回目接種はどれだけ有効なのか？ 深刻な副反応はないのか？ 免疫学の第一人者が、新型コロナにまつわる不安と疑問を解消する。

全国紙初の女性政治部長が、日本一の「オッサン村」である永田町の非常識と政治メディアの実態を克明に描く。幾多の「壁」に直面してきた政治記者が男性優位主義の本丸で考えた、日本社会への処方箋。

あきらめるのはまだ早い！ 最強の水先案内人がプロに「読みどころ」を聞いてみた。『神曲』『源氏物語』『古事記』『わが闘争』『資本論』『相対性理論』『国富論』……名著を読まなくても楽しめるガイド本。

「型」を理解すれば、学問はもつと面白くなる。大学生のみならず社会人にも役立つ、大学の双方向授業をもとにした「論文入門」の決定版！ 圧倒的な筆力を持つ社会学者による論文作法。

どうして日本の国力は、30年以上にわたって低下し続けているのか？ 世界からも呆れられる、低所得・低物価・低金利・低成長の「4低」に喘ぐニッポンを、気鋭のエコノミストが分析！

<p>2666</p> <p><b>復活への底力</b></p> <p>運命を受け入れ、前向きに生きる</p> <p>出口治明</p> <p>990</p> <p>電</p> <p>978-4-06-523950-6</p>	<p>2665</p> <p><b>枢密院</b></p> <p>近代日本の「奥の院」</p> <p>望月雅士</p> <p>1,320</p> <p>電</p> <p>978-4-06-528591-6</p>	<p>2664</p> <p><b>NHKスペシャル取材班、 「デジタルハンター」になる</b></p> <p>NHK ミヤンマー プロジェクト</p> <p>1,034</p> <p>電</p> <p>978-4-06-528604-3</p>	<p>2663</p> <p><b>ゼロからわかる 量子コンピュータ</b></p> <p>小林雅一</p> <p>924</p> <p>電</p> <p>978-4-06-528299-1</p>	<p>2662</p> <p><b>お金の未来</b></p> <p>山本康正 ジェリー・チャー</p> <p>902</p> <p>電</p> <p>978-4-06-528297-7</p>
--	--	---	---	---

いま激変する「お金」。暮らしや国家、銀行は一体どう変わるのか？ ビットコイン、ブロックチェーン、NFT……お金とテクノロジーのプロが語り尽くすデジタル時代の一番わかりやすいお金の入門書。

経済安全保障の最優先課題となった「量子コンピュータ」。自動車・金融・化学・製薬・物流・メタバース……。スパコンを遥かに凌ぐ「夢の超高速計算機」は世界をどう変えるのか。ゼロからわかる入門書！

新型コロナウイルス禍で現場に行けなくなったNHKスペシャル取材班が、デジタル調査でミヤンマー騒乱の「真相」を突き止めるまで。2021年度新聞協会賞受賞、同年度ギャラクシー賞報道活動部門選奨受賞！

「仮普請」の近代国家Ⅱ明治日本。未熟な政党政治の混乱から「国体」を守るための「保険」として、枢密院は創られた。新書で初めて、いまだ謎多きその存在の創設から廃止まですべてを描く。

「障害は不自由です。でも落ち込む時間はありません。人生は楽しまなければ損です」。脳卒中を発症してから1年半、大学学長への復帰、著述業再開までの超人的意志と行動力を描くりハビリ闘病記。

<p>2671</p> <p>ほんとうの定年後 「小さな仕事」が日本社会を救う</p> <p>坂本貴志</p> <p>70歳男性の約半数が働く、年収は300万円以下、6割が仕事に満足……。豊富なデータと事例から見えてきたのは、多くの人が「小さな仕事」に従事し、満足しているという「幸せな定年後の生活」だった。</p> <p>1,012 電</p> <p>978-4-06-528605-0</p>	<p>2670</p> <p>歴史学者という病</p> <p>本郷和人</p> <p>「ぜんぶ、言っちゃうね」。このままでは日本の歴史学は崩壊する!? 歴史を愛する人気学者の半生記にして反省の記。「歴史学は時代に流されやすい」「実証と単純実証は断じて違う」。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-526097-5</p>	<p>2669</p> <p>日本の古代豪族 100</p> <p>水谷千秋</p> <p>物部連、和邇臣、大伴連、阿倍臣、葛城臣、巨勢臣……一人の著者が書き切った、日本古代史「読む事典」の決定版。日本古代を彩った多彩な豪族をすべて網羅。あなたのルーツが見つかるかもしれない。</p> <p>1,650 電</p> <p>978-4-06-528622-7</p>	<p>2668</p> <p>昭和の参謀</p> <p>前田啓介</p> <p>満洲事変以来、戦争を主導した昭和の参謀たち——石原莞爾、服部卓四郎、辻政信、瀬島龍三、池田純久、堀栄三、八原博通ら7人の「日本の頭脳」たちの栄光と蹉跌を家族などの証言から描く。</p> <p>1,430 電</p> <p>978-4-06-528223-6</p>	<p>2667</p> <p>漂流 日本左翼史 理想なき左派の混迷 1972-2022</p> <p>池上彰 佐藤優</p> <p>労働組合の攻防、社会党の衰退、国鉄解体の衝撃。もう左翼は存在感を取り戻せないのか。新左翼の消滅と既存の左翼はどうなったのか? そして未来の左派の可能性を問う、緊迫の「左翼史」第3弾!</p> <p>968 電</p> <p>978-4-06-529012-5</p>
--	---	--	--	---

<p>2677</p> <p>今を生きる思想 ハンナ・アレント 全体主義という悪夢</p> <p>牧野雅彦</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-529540-3</p>	<p>2676</p> <p>新・哲学入門</p> <p>竹田青嗣</p> <p>1,210 電</p> <p>978-4-06-529507-6</p>	<p>2675</p> <p>40歳からは自由に生きる 生物学的に人生を考察する</p> <p>池田清彦</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-529388-1</p>	<p>2673</p> <p>農協の闇 くらしやみ</p> <p>窪田新之助</p> <p>1,210 電</p> <p>978-4-06-529254-9</p>	<p>2672</p> <p>英語は決まり文句が8割 今日から役立つ「定型表現」学習法</p> <p>中田達也</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-529346-1</p>
---	---	--	--	---

英語は単語で覚えてはいけない！ プロが伝授する、最小の努力でネイティブに近づく英語学習の定番。「単語と文法を一生懸命勉強したけれど、英語が使いこなせない」と悩むすべての人へ――。

J・A共済をめぐる「不正販売」や「自爆営業」、権力と金に執着する経営者たちの実態を、元「日本農業新聞」記者が徹底取材。1000万人以上の組合員を抱える「巨大組織の闇」を撃つ。渾身の告発ルポ！

人間の自然寿命は38歳なのだから、40歳からは自分を解放し楽しく生きよう。人生に目的や目標を持つことを生物学的に捉える画期的な書。長寿になってしまった人間の「生きる価値」とは何か。

二一世紀の現在、哲学はその本質を見失い、自壊し、死に瀕している。――現代思想の行きづまりを打破し、新たな哲学の扉を開く、哲学のまったく「新しい入門書」。すべての基礎は欲望である。

人々を分断し、生活基盤を破壊する「全体主義」。分断が進み、科学技術が発展する今日、全体主義が再来する可能性はあるのか。全体主義に警鐘を鳴らし続けたハンナ・アレントの思想を改めて評価する。

<p>2682</p> <p>今を生きる思想 <b>宇沢弘文</b></p> <p>新たな資本主義の道を求めて</p> <p>佐々木 実</p> <p>格差問題や環境問題など、資本主義の弊害に1970年代から気づき、新たな資本主義の形を模索していた経済学者・宇沢弘文。彼が構築した「社会的共通資本の経済学」の真髄とその人生に迫る。</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-530013-8</p>	<p>2681</p> <p><b>教養の語源英単語</b></p> <p>清水建二</p> <p>語源と世界史を一緒に学び、教養に裏打ちされた「真の英語力」を身につける！誰かに話したくなる豆知識も多数収録。シリーズ累計100万部『英単語の語源図鑑』著者の最新作。</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-529865-7</p>	<p>2680</p> <p><b>ふしぎな中国</b></p> <p>近藤大介</p> <p>「白衛兵」「西朝鮮」「外売騎手」「45度人生」「新エネルギー」「錦鯉」「凡学」……あなたは、これらの意味がわかりますか？中国ウオッチャーとして知られる著者が、新語・流行語・隠語から現代中国を読み解く。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-530012-1</p>	<p>2679</p> <p><b>世界インフレの謎</b></p> <p>渡辺 努</p> <p>グローバリズムが反転しはじめ、物価と経済の在り方が激変する！そして、日本だけが苦しむ「2つの病」とは？『物価とはなにか』で第65回日経・経済図書文化賞を受賞した第一人者による注目作！</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-529438-3</p>	<p>2678</p> <p>今を生きる思想 <b>シヨール・ペンハウアー</b></p> <p>欲望にまみれた世界を生き抜く</p> <p>梅田孝太</p> <p>苦しみと生きづらさに満ちた人生を、いかに生き抜くか。苦悩や葛藤から自由になる道を考え抜いた哲学者が導く、生きるヒント。叱咤激励、小気味よいアイロニー。人生の悩みに効く「求道と処世の哲学」。</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-529602-8</p>
---	--	--	---	---

<p>2687</p> <p>今を生きる思想</p> <p><b>エーリツヒ・フロム</b></p> <p>孤独を恐れず自由に生きる</p> <p>岸見一郎</p> <p>昨日とは少し違う自分になる「成熟スイッチ」はすぐそこにある！ 日大理事長就任、「古い」との近づくき方……。人気作家が自らの成熟の現在地と、成熟の4テーマについて綴る。9年ぶり、待望の人生論画。</p> <p>平均年収443万円——日本はもはや「普通」に暮らすことができない国になってしまった。昼食は必ず500円以内、スターバックスを我慢……。ジャーナリストが取材してわかった「厳しすぎる現実」。</p> <p>現在のドイツの源流になった神聖ローマ帝国。その初代皇帝・オットー1世の人生は戦いにまみれたものだった。波乱万丈の生涯を辿ることで、中世ヨーロッパの本質が見えてくる。</p> <p>真珠湾攻撃に加わった約900人の隊員たち。彼らの8割は、その後終戦までに命を落とした。手紙や遺族の証言が明かす隊員の人生。大好評NHKBS1「真珠湾80年 生きて愛して、そして」を書籍化。</p> <p>人はなぜ非合理的な行動に走り、集団では理性を失うのか。敬虔なユダヤ教徒の家庭に育ったフロムは懊悩の果てに、フロイトの精神分析とマルクスの社会科学を融合させた「真の人間法則」にたどり着いた。</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-530069-5</p>	<p>2686</p> <p>隊員と家族の80年</p> <p><b>真珠湾攻撃隊</b></p> <p>大島隆之</p> <p>1,034 電</p> <p>978-4-06-530017-6</p>	<p>2685</p> <p>神聖ローマ帝国初代皇帝オットー1世</p> <p><b>ドイツ誕生</b></p> <p>菊池良生</p> <p>1,012 電</p> <p>978-4-06-529980-7</p>	<p>2684</p> <p>安すぎる国の絶望的な生活</p> <p><b>年収443万円</b></p> <p>小林美希</p> <p>968 電</p> <p>978-4-06-529928-9</p>	<p>2683</p> <p><b>成熟スイッチ</b></p> <p>林 真理子</p> <p>924 電</p> <p>978-4-06-530274-3</p>
---	---	--	---	---

<p>2692</p> <p><b>普通という異常</b></p> <p>兼本浩祐</p> <p>1,100</p> <p>電</p> <p>978-4-06-530538-6</p> <p>健康発達という病</p>	<p>2691</p> <p><b>ネット右翼になった父</b></p> <p>鈴木大介</p> <p>990</p> <p>電</p> <p>978-4-06-530889-9</p>	<p>2690</p> <p><b>ミシエル・フーコー</b></p> <p>箱田 徹</p> <p>880</p> <p>電</p> <p>978-4-06-530458-7</p> <p>今を生きる思想 権力の言いなりにならない生き方</p>	<p>2689</p> <p><b>言語ゲームの練習問題</b></p> <p>橋爪大三郎</p> <p>946</p> <p>電</p> <p>978-4-06-530249-1</p>	<p>2688</p> <p><b>未来の年表 業界大変化</b></p> <p>河合雅司</p> <p>1,012</p> <p>電</p> <p>978-4-06-530250-7</p> <p>瀬戸際の日本で起きること</p>
--	---	---	--	--

IT人材不足で銀行トラブル続出、地方紙・ローカルテレビ局が消える、60代自衛官が国民の命を守る……。人口減少時代に「戦略的に縮む」という成長モデルを深掘りし、「未来のトリセツ」を提示する。

人はどうやってお互いの言葉を理解しているのか？ ヴイトゲンシュタイン哲学「言語ゲーム」論の核心を、36の疑問を通じて平易な言葉で解説する。もつとも易しいヴィトゲンシュタイン入門書。

私たちの生を規定する権力の軛くわから抜け出て、思うがままに生きる道はどこにあるのか。先駆的な思考と闘争の軌跡から、その脱出口を探る。揺籃期にあった「新自由主義」についての先駆的分析も必読。

ヘイトスラングを口にする父、テレビ報道に毒づき続ける父、右傾したネット動画を垂れ流す父。父はいつから、なぜ、ネット右翼になってしまったのか？ ルポライターの長男が挑んだ、家族再生の道程。

ADHD（注意欠如・多動症）やASD（自閉スペクトラム症）を病と呼ぶのなら、「普通」も病だ——定型発達の特性が過剰であるがゆえに、生きづらさを抱える人々の精神病理とそこから抜け出すヒント。

<p>2697</p> <p><b>我が身を守る法律知識</b></p> <p>瀬木比呂志</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-531284-1</p>	<p>2696</p> <p><b>日本銀行 我が国に迫る危機</b></p> <p>河村小百合</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-531510-1</p>	<p>2695</p> <p>今を生きる思想 <b>マルクス</b> 生を呑み込む資本主義</p> <p>白井 聡</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-531196-7</p>	<p>2694</p> <p><b>データ思考入門</b></p> <p>萩原和樹</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-530994-0</p>	<p>2693</p> <p><b>はじめてのクラシック音楽</b></p> <p>許 光俊</p> <p>1,012 電</p> <p>978-4-06-530866-0</p>
---	--	---	---	--

1万件以上の事案を手掛けた、元民事裁判官の学者である著者による「紛争予防ガイドブック」の決定版。相続・交通事故・痴漢冤罪・離婚・不動産・投資・医療などあらゆる法律トラブルに対応。

日銀は、世界経済の急激な転換によって、超低金利を維持できるかどうかの瀬戸際、まさに崖っぷちに立っている。中央銀行の金融政策と財政問題に精通したエコノミストが、国家的危機に警鐘を鳴らす。

われわれ一人一人が「自分のもの」と信じて疑わないう概念からマルクスの思想を読み解く決定版！

数字や統計に強くなる！ 現代人必修の「データを使いこなす力」を、Googleやスマートニュースで教えるエキスパートが分かりやすく解説。真実を見抜き、正確に伝えるための「データの考え方」。

どうぞこの本を手にとって、クラシックの世界のへと踏み込んでみてください。興味はあるけれど、なんとなく気後れして……そんなあなたにお薦めします。コンサート鑑賞経験豊富な著者による決定版。

2698

## 戦争の地政学

篠田英朗

そもそも「地政学」とは何か？ 地理的条件は世界をどう動かしてきたのか？ 「そもそも」「なぜ」から問いなおし、激動する世界のしくみを深く読み解く「地政学入門」の決定版！

990  
電

978-4-06-531283-4

2699

今を生きる思想

## 福沢諭吉

最後の蘭学者

大久保健晴

西洋は近代文明のモデルである一方で、独立を阻む脅威でもあった。この矛盾を乗り越えるために、福沢が重視したのが学問であった。福沢の原点＝蘭学に着目し、新しい思想が誕生する瞬間を描く。

880  
電

978-4-06-531511-8

2700

## 泣きたい日の人生相談

岸見一郎

生きていけば、どうしようもなく不安で泣きたい日もある。先行きの見えない将来にお金の心配、仕事や人間関係のストレス、そして恋愛の苦しみ。様々な悩みを抱える現代人に贈る「30の教え」。

1,100  
電

978-4-06-531766-2

2701

## 教育勅語と御真影

近代天皇制と教育

小野雅章

国家による教育を通じた「思想統制」の過程を丹念にたどり、国民にとつての教育の意義を改めて問う。教育勅語・御真影から「日の丸」「君が代」、元号法まで、日本の近代教育と天皇制の関係を考察する。

1,320  
電

978-4-06-531760-0

2702

今を生きる思想

## 西田幾多郎

分断された世界を乗り越える

櫻井 歓

電子メディアの発達に貧富の差の拡大、戦争によって世界中で分断が起きている現代において、「私」と「あなた」はどう繋がるかができるのか。西田哲学から読み解く、今を生きるヒント。

880  
電

978-4-06-531765-5

<p>2707</p> <p><b>なぜヒトだけが老いるのか</b> 小林武彦</p> <p>人間以外の生物は老いず、死ぬ。進化の過程でヒトだけが得た「長い老後」には、重要な意味があった。ベストセラー『生物はなぜ死ぬのか』著者による待望の続編。生物学で「老いの常識」が覆る。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-532640-4</p>	<p>2706</p> <p><b>宮本常一</b></p> <p>今を生きる思想 歴史は庶民がつくる</p> <p>畑中章宏</p> <p>「大きな歴史」から零れ落ちる「庶民の歴史」。日本列島のすみずみまで歩き、聞き集めた小さな歴史の束から、世間や民主主義、多様な価値、さらには「日本」という国のかたちをも問いなおす。</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-531783-9</p>	<p>2705</p> <p><b>「戦前」の正体</b></p> <p>愛国と神話の日本近現代史</p> <p>辻田真佐憲</p> <p>神武天皇、万世一系、八紘一宇……。神話に支えられた「大日本帝国」の真実。右派も左派も誤解している「戦前」という物語を正しく理解し、現代における歴史との向き合い方・語り方を問う必読の書。</p> <p>1,078 電</p> <p>978-4-06-532129-4</p>	<p>2704</p> <p><b>思い出せない脳</b></p> <p>澤田 誠</p> <p>人の名前を思い出せないとき、ふっと思い出せるとき、脳内ではいったい何が起きているのか。日常的な「記憶の謎」のメカニズムから記憶という能力の本当の意味まで、最先端の知識を分かりやすく解説。</p> <p>1,078 電</p> <p>978-4-06-531513-2</p>	<p>2703</p> <p><b>日本の死角</b></p> <p>現代ビジネス編</p> <p>「日本人は集団主義」の幻想、「ハーバード式教育」の闇、なぜ若者は結婚しないのか、死後離婚の時代など、見えていない日本の謎と論点。いま日本はどんな国なのか？ 我々はどんな時代を生きているのか。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-531958-1</p>
---	--	--	--	---

<p>2712</p> <p><b>黎明 日本左翼史</b></p> <p>左派の誕生と弾圧 転向 1867-1945</p> <p>池上 彰 佐藤 優</p> <p>階級を生んだ松方デフレ、白熱のアナ・ボル論争、知識人の「転向」。日本左翼の原点とは何だったのか? 「左翼史」シリーズ最終巻は、社会運動の源流を探る戦前編。</p> <p>1,012 ☎</p> <p>978-4-06-532858-3</p>	<p>2711</p> <p><b>ハイデガーの哲学</b></p> <p>『存在と時間』から後期の思索まで</p> <p>轟 孝夫</p> <p>ハイデガーの哲学は『存在と時間』だけでは理解できない。超難解で知られる後期思想を含めたその全貌を平明な言葉で解明した決定版。究極の問い「存在とは何か?」がついに明らかに。</p> <p>1,650 ☎</p> <p>978-4-06-532130-0</p>	<p>2710</p> <p><b>未完の天才 南方熊楠</b></p> <p>志村真幸</p> <p>なぜ熊楠は完成を嫌ったのか? 驚くべき才能を多方面に発揮しながら、その仕事のほとんどが未完に終わった熊楠。最新の研究成果から、熊楠の生涯を辿り、その「天才性」と「未完了」の謎に迫る。</p> <p>1,034 ☎</p> <p>978-4-06-532636-7</p>	<p>2709</p> <p><b>出世と恋愛</b></p> <p>近代文学で読む男と女</p> <p>斎藤美奈子</p> <p>近代文学がその国の精神風土に落としている影は思いのほか濃い。日本の近代文学で描かれた青春時代の恋愛はなぜか行き違い結ばれない。抜群のセンスと慧眼で知られる文芸評論家が、その謎を解く。</p> <p>1,056 ☎</p> <p>978-4-06-529357-7</p>	<p>2708</p> <p><b>帝国と宗教</b></p> <p>島田裕巳</p> <p>ローマ帝国やイスラム帝国、中華帝国など、世界の歴史は「帝国の興亡と宗教の軌跡」に他ならない。帝国は領土拡大のため宗教を利用し、宗教は信者獲得のため帝国を利用した。歴史ファン必読の一冊。</p> <p>990 ☎</p> <p>978-4-06-532446-2</p>
---	---	---	---	---

<p>2717</p> <p><b>首都防衛</b></p> <p>宮地美陽子</p> <p>首都直下地震、南海トラフ巨大地震、富士山噴火の「大連動」から命を守るには？ 最新データや数々の専門家の知見から明らかになった、知らなかったですまされない「最悪の被害想定」。</p> <p>1,012 電</p> <p>978-4-06-533085-2</p>	<p>2716</p> <p><b>中流危機</b></p> <p>NHKスペシャル取材班</p> <p>バブル崩壊後の25年間に日本の世帯所得は急減。自家用車・マイホーム・正社員……かつて当たり前だった中流の暮らしが「高嶺の花」になりつつある。なぜこんなことに？ 再生への処方箋とは何か？</p> <p>1,012 電</p> <p>978-4-06-533253-5</p>	<p>2715</p> <p><b>テロルの昭和史</b></p> <p>保阪正康</p> <p>青年たちの「義拳」に民衆は拍手した。血盟団事件、五・一五事件、神兵隊事件、死のう団事件、そして二・二六事件。なぜ暴力は連鎖し、破局へと至ったのか？ 昭和史研究の第一人者による現代への警世。</p> <p>1,034 電</p> <p>978-4-06-533091-3</p>	<p>2714</p> <p>今を生きる思想 <b>ジャン・ロジャック・ルソー</b> 桑瀬章二郎</p> <p>「いま、こゝ」を問いなおす</p> <p>「自由」「不平等」「愛」、そして「人間」とは何か。大きな問いにむきあい続けたルソー。あらゆる「常識」をゆさぶり続ける、稀代の文人の正体に迫る。ジャンルを横断したラディカルな思想の核心とは。</p> <p>880 電</p> <p>978-4-06-532859-0</p>	<p>2713</p> <p><b>特捜検察の正体</b></p> <p>弘中惇一郎</p> <p>まさか特捜検事が脅しやすかしによって、あらかじめ用意した供述調書に無理やりサインさせるとは。村木厚子、角川歴彦、小沢一郎らの弁護を担当してきた無罪請負人が特捜検察の危険な手口を明かす。</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-530877-6</p>
---	---	---	--	--

<p>2722</p> <p><b>高学歴難民</b></p> <p>阿部恭子</p> <p>学歴があれば「勝ち組」なのか？ 月10万円の困窮生活、振り込め詐欺や万引きに手を染める、博士課程中退で借金、ロースタールを経て「ヒモ」に。「んなはずではなかった」誰にも言えない悲惨な実態。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-533086-9</p>	<p>2721</p> <p><b>紫式部と藤原道長</b></p> <p>倉本一宏</p> <p>『源氏物語』がなければ道長の栄華もなかった。無官で貧しい学者の娘が、なぜ世界最高峰の文学作品を執筆できたのか？ 後宮で、道長が紫式部に期待したこととは？ 古記録で読み解く、平安時代のリアル。</p> <p>1,320 電</p> <p>978-4-06-533254-2</p>	<p>2720</p> <p><b>思考の方法学</b></p> <p>栗田 治</p> <p>自分の頭で考えるために、文理を問わず必要不可欠な技術「モデル思考」。日常生活から学問、ビジネスまで、現実世界での論理的な意思決定に一生役に立つ「モデル分析」の作法を数式を使わず平易に解説。</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-533525-3</p>	<p>2719</p> <p><b>日本の歪み</b></p> <p>養老孟司 茂木健一郎 東 浩紀</p> <p>この社会の居心地の悪さはどこからきたのか？ 「先の大戦」から「憲法」「天皇」「経済停滞」「少子化」「巨大地震」まで……。 「考えたくなかった」戦後日本の論点を徹底討論！</p> <p>1,100 電</p> <p>978-4-06-531405-0</p>	<p>2718</p> <p><b>はじめての人類学</b></p> <p>奥野克巳</p> <p>マリノフスキ、レヴィ・ストロース、ボアズ、インゴルドという4人の最重要人物から浮かび上がる、人類学者たちの足跡とは。これを読めば人類学の真髓が掴める、いままでなかった入門書の決定版。</p> <p>990 電</p> <p>978-4-06-532857-6</p>
---	---	--	--	---

2723

## 世界史の中の戦国大名

鹿毛敏夫

ポルトガルインド総督に使節を派遣した大友氏。アユタヤ国王との接触を図る松浦氏。カンボジアとの「国交」樹立を目標む島津氏——国の「王」として海外進出を目指す、戦国大名の新たな貌を活写する。

1,210



978-4-06-533218-4

2724

## 人はどう老いるのか

久坂部 羊

人は例外なく、年をとるにつれて老い、そして死んでいく。この事実を直視せず、浮かれた情報に乗せられていると、下手に老いて死んでいくことになる。医師にしか書けない直球勝負の「老い方指南書」。

1,012



978-4-06-533693-9

- 2399 ヒットの崩壊 ……………柴 那典  
 2402 ジャニーズと日本 ……………矢野利裕  
 2404 本物の名湯ベスト100 ……………石川理夫  
 2417 ビートたけしと北野武 ……………近藤正高  
 2420 カラー版 東京の森を歩く ……福嶋 司  
 2424 タロットの秘密 ……………鏡 リュウジ  
 2446 ピアノの名曲 ……イリーナ・メジュエワ  
 2481 強豪校の監督術 ……………松井 浩  
 2486 おとなの青春旅行  
 ……………下川裕治・室橋裕和=編著  
 2506 ジャポニスム ……………宮崎克己  
 2515 教養としての将棋  
 ……………梅原 猛・羽生善治・尾本恵市  
 2546 覚悟の競馬論 ……………国枝 栄  
 2547 オペラ入門 ……………許 光俊  
 2592 脳から見るミュージアム  
 ……………中野信子・熊澤 弘  
 2599 証言 羽生世代 ……………大川慎太郎  
 2619 ショパンの名曲 ……イリーナ・メジュエワ  
 2626 活劇映画と家族 ……………筒井康隆  
 2693 はじめてのクラシック音楽 ……許 光俊

## ●日本語・日本文化

- 105 タテ社会の人間関係 ……………中根千枝  
 258 日本人の論理構造 ……………板坂 元  
 293 日本人の意識構造 ……………会田雄次  
 300 適応の条件 ……………中根千枝  
 444 出雲神話 ……………松前 健  
 1200 外国語としての日本語 ……佐々木瑞枝  
 1239 武士道とエロス ……………氏家幹人  
 1262 「世間」とは何か ……………阿部謹也  
 1432 江戸の性風俗 ……………氏家幹人  
 1448 日本人のしつけは衰退したか 広田照幸  
 1618 まちがいたらけの日本語文法 町田 健  
 1719 「しきり」の文化論 ……………柏木 博  
 1935 中学入試国語のルール ……石原千秋  
 1943 なぜ日本人は学ばなかったのか  
 ……………齋藤 孝  
 1947 落語の国からのぞいてみれば  
 ……………堀井憲一郎  
 1960 女装と日本人 ……………三橋順子  
 2006 「空気」と「世間」 ……………鴻上尚史  
 2013 日本語という外国語 ……………荒川洋平  
 2033 新編 日本語誤用・慣用小辞典  
 ……………国広哲弥  
 2067 日本料理の贅沢 ……………神田裕行  
 2092 新書 沖繩読本  
 ……………下川裕治・仲村清司=著・編  
 2127 ラーメンと愛国 ……………速水健朗  
 2173 日本人のための日本語文法入門  
 ……………原沢伊都夫  
 2213 ラノベのなかの現代日本 ……波戸岡景太  
 2215 ウルトラマンが泣いている ……円谷英明  
 2233 ユーミンの罪 ……………酒井順子  
 2258 万葉びとの宴 ……………上野 誠  
 2273 非言語表現の威力 ……………佐藤綾子  
 2287 カフェと日本人 ……………高井尚之  
 2304 アイヌ学入門 ……………瀬川拓郎  
 2309 クール・ジャパン!? ……………鴻上尚史  
 2310 加藤周一を記憶する ……………成田龍一  
 2367 漢字と日本語 ……………高島俊男  
 2419 京都のおねだん ……………大野裕之  
 2427 みんなの朝ドラ ……………木俣 冬  
 2441 ニッポンの奇祭 ……………小林紀晴  
 2516 ふたつの日本 ……………望月優大  
 2543 京都異界紀行 ……………西川照子  
 2548 タテ社会と現代日本  
 ……中根千枝/現代新書編集部=構成  
 2563 日本人のための漢字入門 ……阿辻哲次  
 2566 日本文化の核心 ……………松岡正剛  
 2606 土葬の村 ……………高橋繁行  
 2651 不思議の国ニッポン  
 ……………クーリエ・ジャポン=編  
 2658 オッサンの壁 ……………佐藤千矢子  
 2719 日本の歪み  
 ……養老孟司・茂木健一郎・東 浩紀

2447	正しい本の読み方	橋爪大三郎
2456	炎の牛肉教室!	山本謙治
2492	なぜヒトは学ぶのか	安藤寿康
2498	最新版 大学生のためのレポート・論文術	小笠原喜康
2511	中高生からの論文入門	小笠原喜康・片岡則夫
2527	地獄めぐり	加須屋 誠
2539	ビッグデータ探偵団	安宅和人・池宮伸次・Yahoo! ビッグデータレポートチーム
2565	22世紀を見る君たちへ	平田オリザ
2568	還暦からの底力	出口治明
2573	カーネギー「人の動かし方」	木村和美
2580	問題発見力を鍛える	細谷 功
2605	サビエンスの未来	立花 隆
2623	数学独習法	富島佑允
2635	シンプルな英語	中山裕木子
2650	また間に合う	藤崎一郎
2659	10分で名著	古市憲寿
2660	論文の書き方	小熊英二
2666	復活への底力	出口治明
2675	40歳からは自由に生きる	池田清彦
2683	成熟スイッチ	林 真理子
2694	データ思考入門	萩原和樹
2697	我が身を守る法律知識	瀬木比呂志
2700	泣きたい日の人生相談	岸見一郎
2720	思考の方法学	栗田 治

## ●文学

2	光源氏の一生	池田弥三郎
180	美しい日本の私	川端康成/サイデンステッカー英訳併載
1501	アメリカ文学のレッスン	柴田元幸
1667	悪女入門	鹿島 茂
1708	きむら式 童話のつくり方	木村裕一
1841	知ってる古文の知らない魅力	鈴木健一
2029	決定版 一億人の俳句入門	

2209	今を生きるための現代詩	渡邊十絲子
2356	ニッポンの文学	佐々木 敦
2364	我が詩的自伝	吉増剛造
2612	百人一首 うたものがたり	水原紫苑
2641	詩とは何か	吉増剛造
2709	出世と恋愛	斎藤美奈子

## ●趣味・芸術・スポーツ

620	時刻表ひとり旅	宮脇俊三
676	酒の話	小泉武夫
1287	写真美術館へようこそ	飯沢耕太郎
1422	演劇入門	平田オリザ
1454	スポーツとは何か	玉木正之
1653	これがビートルズだ	中山康樹
1723	演技と演出	平田オリザ
1765	科学する麻雀	つづき東北
1808	ジャズの名盤入門	中山康樹
1890	「天才」の育て方	五嶋 節
1970	ビートルズの謎	中山康樹
2007	落語論	堀井憲一郎
2055	世界の野菜を旅する	玉村豊男
2096	モーツァルトを「造った」男	小宮正安
2210	騎手の一分	藤田伸二
2221	歌舞伎 家と血と藝	中川右介
2270	ロックの歴史	中山康樹
2282	ふしぎな国道	佐藤健太郎
2288	オリーブの罫	酒井順子
2305	プロ野球 最強の助っ人論	中島国章
2329	日本のロック名盤ベスト100	川崎大助
2348	努力は天才に勝る!	井上真吾
2366	人が集まる建築	仙田 満
2378	不屈の棋士	大川慎太郎
2381	138億年の音楽史	浦久俊彦
2389	ピアニストは語る	ヴァレリー・アフアナシエフ
2393	現代美術コレクター	高橋龍太郎

- 1586 〈ほんとうの自分〉のつくり方 …榎本博明  
 1787 人生に意味はあるか ……諸富祥彦  
 1827 他人を見下す若者たち ……速水敏彦  
 1862 「普通がいい」という病 ……泉谷閑示  
 1922 発達障害の子どもたち ……杉山登志郎  
 1962 親子という病 ……香山リカ  
 2008 関係する女 所有する男 ……斎藤 環  
 2076 子ども虐待 ……西澤 哲  
 2105 はじめての認知療法 ……大野 裕  
 2116 発達障害のいま ……杉山登志郎  
 2119 動きが心をつくる ……春木 豊  
 2143 アサーション入門 ……平木典子  
 2180 パーソナリティ障害とは何か 牛島定信  
 2207 「動かない」と人は病む ……大川弥生  
 2231 精神医療ダークサイド ……佐藤光展  
 2347 信賴学の教室 ……中谷内一也  
 2385 はじめての森田療法 ……北西憲二  
 2415 新版 うつ病をなおす ……野村総一郎  
 2444 怒りを鎮める うまく謝る ……川合伸幸  
 2491 子育てで一番大切なこと ……杉山登志郎  
 2581 苦しい時は電話して ……坂口恭平  
 2587 はじめての催眠術 ……漆原正貴  
 2589 ヘルソナ ……中野信子  
 2611 発達障害と人間関係 ……宮尾益知  
 2614 感じるオープンダイアログ  
 ……森川すいめい  
 2637 空気を読む人 読まない人 ……老松克博  
 2692 普通という異常 ……兼本浩祐

## ●知的生活のヒント

- 78 大学でいかに学ぶか ……増田四郎  
 86 愛に生きる ……鈴木鎮一  
 240 生きることと考えること ……森 有正  
 297 本はどう読むか ……清水幾太郎  
 327 考える技術・書く技術 ……板坂 元  
 436 知的生活の方法 ……渡部昇一  
 553 創造の方法学 ……高根正昭
- 587 文章構成法 ……榎島忠夫  
 648 働くということ ……黒井千次  
 706 ジョークとトリック ……織田正吉  
 722 「知」のソフトウェア ……立花 隆  
 1027 「からだ」と「こぼ」のレッスン 竹内敏晴  
 1275 自分をどう表現するか ……佐藤綾子  
 1468 国語のできる子どもを育てる ……工藤順一  
 1485 知の編集術 ……松岡正剛  
 1620 相手に「伝わる」話し方 ……池上 彰  
 1627 インタビュー術! ……永江 朗  
 1679 子どもに教えたい算数 ……栗田哲也  
 1738 大人のための文章教室 ……清水義範  
 1786 数学的思考法 ……芳沢光雄  
 1809 畑村式「わかる」技術 ……畑村洋太郎  
 1810 わが子に教える作文教室 ……清水義範  
 1865 老いるということ ……黒井千次  
 1936 かけがえのない人間 ……上田紀行  
 1940 調べる技術・書く技術 ……野村 進  
 1979 回復力 ……畑村洋太郎  
 1981 日本語論理トレーニング ……中井浩一  
 2003 わかりやすく〈伝える〉技術 ……池上 彰  
 2027 地アタマを鍛える知的勉強法 齋藤 孝  
 2124 デザインの教科書 ……柏木 博  
 2188 学び続ける力 ……池上 彰  
 2201 野心のすすめ ……林 真理子  
 2222 フルーツひとつばなし ……田中 修  
 2238 幸せのメカニズム ……前野隆司  
 2280 体の知性を取り戻す ……尹 雄大  
 2332 「超」集中法 ……野口悠紀雄  
 2342 食をめぐるほんとうの話  
 ……阿部尚樹・上原万里子・中沢彰吾  
 2350 仕事の技法 ……田坂広志  
 2355 2020年の大学入試問題 ……石川一郎  
 2360 女子高生アイドルは、なぜ東大生に知力で勝つたのか?  
 ……村松 秀/五月女ケイ子=絵  
 2396 すごい「会話力」 ……齋藤 孝  
 2421 牙を研げ ……佐藤 優  
 2432 部活があぶない ……鳥沢優子

1700 核兵器のしくみ ……山田克哉  
 1706 新しいリハビリテーション ……大川弥生  
 1759 文系のための数学教室 ……小島寛之  
 1805 人類進化の700万年 ……三井 誠  
 1813 はじめての〈超ひも理論〉 ……川合 光  
 1840 算数・数学が得意になる本 ……芳沢光雄  
 1861 〈勝負脳〉の鍛え方 ……林 成之  
 1881 「生きている」を見つめる医療  
 ……中村桂子・山岸 敦  
 1891 生物と無生物のあいだ ……福岡伸一  
 1925 数学でつまずくのはなぜか ……小島寛之  
 2000 世界は分けてもわからない ……福岡伸一  
 2023 ロボットとは何か ……石黒 浩  
 2030 がんを生きる ……佐々木常雄  
 2085 言葉と脳と心 ……山島 重  
 2097 〈麻薬〉のすべて ……船山信次  
 2122 量子力学の哲学 ……森田邦久  
 2166 化石の分子生物学 ……更科 功  
 2191 DNA医学の最先端 ……大野典也  
 2219 宇宙はなぜこのような宇宙なのか  
 ……青木 薫  
 2226 宇宙生物学で読み解く「人体」の不思議  
 ……吉田たかよし  
 2262 生命誕生 ……中沢弘基  
 2265 SFを実現する ……田中浩也  
 2268 生命のからくり ……中屋敷 均  
 2312 文明探偵の冒険 ……神里達博  
 2338 世界史を変えた薬 ……佐藤健太郎  
 2359 ウイルスは生きている ……中屋敷 均  
 2374 ブラネタリウム男 ……大平貴之  
 2383 生殖医療の衝撃 ……石原 理  
 2384 ゲノム編集とは何か ……小林雅一  
 2395 不要なクスリ 無用な手術 ……富家 孝  
 2433 〈弱いロボット〉の思考 ……岡田美智男  
 2434 生命に部分はない  
 ……A・キンプレル/福岡伸一=訳  
 2452 健康格差 ……NHKスペシャル取材班  
 2478 「片頭痛」からの卒業 ……坂井文彦  
 2495 年代別 医学的に正しい生き方

……和田秀樹  
 2502 ゆかいな認知症 ……奥野修司  
 2513 科学と非科学 ……中屋敷 均  
 2517 進化する形 ……倉谷 滋  
 2540 「国境なき医師団」になろう!  
 ……いとうせいこう  
 2541 究極の歩き方  
 ……アシックス スポーツ工学研究所  
 2554 腰痛は歩いて治す ……谷川浩隆  
 2576 クオリアと人工意識 ……茂木健一郎  
 2586 未来の医療年表 ……奥 真也  
 2615 生物はなぜ死ぬのか ……小林武彦  
 2629 幸せに死ぬために ……大津秀一  
 2631 新型コロナワクチン 本当の「真実」  
 ……宮坂昌之  
 2655 人はどう死ぬのか ……久坂部 羊  
 2657 新型コロナの不安に答える ……宮坂昌之  
 2663 セロからわかる量子コンピュータ  
 ……小林雅一  
 2704 思い出せない脳 ……澤田 誠  
 2707 なぜヒトだけが老いるのか ……小林武彦  
 2724 人はどう老いるのか ……久坂部 羊

## ●心理・精神医学

590 家族関係を考える ……河合隼雄  
 725 リーダーシップの心理学 ……国分康孝  
 824 森田療法 ……岩井 寛  
 1020 アイデンティティの心理学 ……鎌 幹八郎  
 1044 〈自己発見〉の心理学 ……国分康孝  
 1241 心のメッセージを聴く ……池見 陽  
 1289 軽症うつ病 ……笠原 嘉  
 1348 自殺の心理学 ……高橋祥友  
 1372 〈むなしさ〉の心理学 ……諸富祥彦  
 1376 子どものトラウマ ……西澤 哲  
 1465 トランスパーソナル心理学入門  
 ……諸富祥彦  
 1585 フロイト思想のキーワード ……小此木啓吾

## ●世界史

- 834 ユダヤ人 ……………上田和夫  
934 大英帝国 ……………長島伸一  
959 東インド会社 ……………浅田 實  
968 ローマはなぜ滅んだか ……………弓削 達  
971 文化大革命 ……………矢吹 晋  
1017 ハブスブルク家 ……………江村 洋  
1019 動物裁判 ……………池上俊一  
1080 ユダヤ人とドイツ ……………大澤武男  
1085 アラブとイスラエル ……………高橋和夫  
1088 ヨーロッパ「近代」の終焉 ……山本雅男  
1097 オスマン帝国 ……………鈴木 董  
1151 ハブスブルク家の女たち ……江村 洋  
1231 キング牧師とマルコムX ……上坂 昇  
1249 ヒトラーとユダヤ人 ……………大澤武男  
1252 ロスチャイルド家 ……………横山三四郎  
1282 戦うハブスブルク家 ……………菊池良生  
1283 イギリス王室物語 ……………小林章夫  
1306 モンゴル帝国の興亡(上) ……杉山正明  
1307 モンゴル帝国の興亡(下) ……杉山正明  
1321 聖書vs.世界史 ……………岡崎勝世  
1442 メディチ家 ……………森田義之  
1470 中世シチリア王国 ……………高山 博  
1486 エリザベス I 世 ……………青木道彦  
1572 ユダヤ人とローマ帝国 ……大澤武男  
1587 傭兵の二千年史 ……………菊池良生  
1588 現代アラブの社会思想 ……池内 恵  
1673 神聖ローマ帝国 ……………菊池良生  
1687 世界史とヨーロッパ ……岡崎勝世  
1705 魔女とカルトのドイツ史 ……浜本隆志  
1712 宗教改革の真実 ……………永田諒一  
1746 中国の大盗賊・完全版 ……高島俊男  
1761 中国文明の歴史 ……………岡田英弘  
1769 まんが バレスチナ問題 ……山井教雄  
1811 歴史を学ぶということ ……入江 昭  
1932 都市計画の世界史 ……………日端康雄

- 1966 〈満洲〉の歴史 ……………小林英夫  
2005 カペー朝 ……………佐藤賢一  
2025 まんが 現代史 ……………山井教雄  
2070 イギリス近代史講義 ……川北 稔  
2182 おどろきの中国  
…………橋爪大太郎・大澤真幸・宮台真司  
2189 世界史の中のバレスチナ問題  
…………白杵 陽  
2257 歴史家が見る現代世界 ……入江 昭  
2281 ヴァロワ朝 ……………佐藤賢一  
2316 ナチスの財宝 ……………篠田航一  
2318 ヒトラーとナチ・ドイツ ……石田勇治  
2331 続 まんが バレスチナ問題 ……山井教雄  
2386 〈情報〉帝国の興亡 ……玉木俊明  
2409 〈軍〉の中国史 ……………澁谷由里  
2410 入門 東南アジア近現代史 ……岩崎育夫  
2442 ハブスブルク帝国 ……………岩崎周一  
2445 珈琲の世界史 ……………且部幸博  
2457 世界神話学入門 ……………後藤 明  
2459 9.11後の現代史 ……………酒井啓子  
2503 新書アフリカ史 改訂新版  
…………宮本正興・松田素二=編  
2526 ブルボン朝 ……………佐藤賢一  
2535 愛と欲望の三國志 ……箱崎みどり  
2560 物語 バリの歴史 ……………高遠弘美  
2582 ベルシア帝国 ……………青木 健  
2613 戦争の中国古代史 ……佐藤信弥  
2685 ドイツ誕生 ……………菊池良生

## ●自然科学・医学

- 1126 「気」で観る人体 ……………池上正治  
1141 安楽死と尊厳死 ……………保阪正康  
1328 「複雑系」とは何か ……吉永良正  
1500 科学の現在を問う ……村上陽一郎  
1511 優生学と人間社会  
米本昌平・松原洋子・棚島次郎・市野川  
容孝

- 2248 城を攻める 城を守る ……伊東 潤
- 2272 昭和陸軍全史1 ……川田 稔
- 2278 織田信長(天下人)の実像 ……金子 拓
- 2284 ヌードと愛国 ……池川玲子
- 2285 思索の源泉としての鉄道 ……原 武史
- 2289 昭和陸軍全史2 ……川田 稔
- 2299 日本海軍と政治 ……手嶋泰伸
- 2319 昭和陸軍全史3 ……川田 稔
- 2325 商店街はいま必要なのか ……満蘭 勇
- 2328 タモリと戦後ニッポン ……近藤正高
- 2330 弥生時代の歴史 ……藤尾慎一郎
- 2351 戦国の陣形 ……乃至政彦
- 2376 昭和の戦争 ……井上寿一
- 2380 刀の日本史 ……加来耕三
- 2382 田中角栄 ……服部龍二
- 2391 げんきな日本論 橋爪大三郎・大澤真幸
- 2394 井伊直虎 ……夏目琢史
- 2398 日米開戦と情報戦 ……森山 優
- 2401 愛と狂瀾のメリークリスマス 堀井憲一郎
- 2405 織田信長の城 ……加藤理文
- 2414 海の向こうから見た倭国 ……高田貫太
- 2428 戦争の日本古代史 ……倉本一宏
- 2438 飛行機の戦争 1914-1945 一ノ瀬俊也
- 2439 知ってはいけない ……矢部宏治
- 2449 天皇家のお葬式 ……大角 修
- 2451 不死身の特攻兵 ……鴻上尚史
- 2453 戦争調査会 ……井上寿一
- 2454 縄文の思想 ……瀬川拓郎
- 2462 王政復古 ……久住真也
- 2476 日露近代史 ……麻田雅文
- 2479 近代日本の構造 ……坂野潤治
- 2483 海賊の日本史 ……山内 譲
- 2484 昭和の怪物 七つの謎 ……保阪正康
- 2485 「右翼」の戦後史 ……安田浩一
- 2487 大坂堂烏米市場 ……高槻泰郎
- 2488 戦乱と民衆 ……磯田道史・倉本一宏・  
F・クレインス・呉座勇一
- 2499 知ってはいけない2 ……矢部宏治
- 2501 機密費外交 ……井上寿一
- 2505 内戦の日本古代史 ……倉本一宏
- 2510 縄文時代の歴史 ……山田康弘
- 2518 続 昭和の怪物 七つの謎 ……保阪正康
- 2520 平将門と天慶の乱 ……乃至政彦
- 2523 院政 ……本郷恵子
- 2531 戦争の記憶 ……キャロル・グラック
- 2538 ノモンハン 責任なき戦い ……田中雄一
- 2550 論点別 昭和史 ……井上寿一
- 2556 江戸の災害 ……フレデリック・クレインス  
=著/磯田道史=解説
- 2557 特攻隊員の現実 ……一ノ瀬俊也
- 2564 近代日本と軍部 ……小林道彦
- 2575 戦国大名の経済学 ……川戸貴史
- 2583 真実の原敬 ……伊藤之雄
- 2620 真説 日本左翼史 池上 彰・佐藤 優
- 2624 下剋上 ……黒田基樹
- 2630 長崎丸山遊廊 ……赤瀬 浩
- 2634 倭国 ……古市 晃
- 2636 頼朝と義時 ……呉座勇一
- 2638 遊廊と日本人 ……田中優子
- 2639 酔鯨 山内容堂の軌跡 ……家近良樹
- 2643 激動 日本左翼史 池上 彰・佐藤 優
- 2649 平安京の下級官人 ……倉本一宏
- 2665 枢密院 ……望月雅士
- 2667 漂流 日本左翼史 池上 彰・佐藤 優
- 2668 昭和の参謀 ……前田啓介
- 2669 日本の古代豪族 100 ……水谷千秋
- 2670 歴史学者という病 ……本郷和人
- 2686 真珠湾攻撃隊 ……大島隆之
- 2701 教育勅語と御真影 ……小野雅章
- 2705 「戦前」の正体 ……辻田真佐憲
- 2712 黎明 日本左翼史 池上 彰・佐藤 優
- 2715 テロルの昭和史 ……保阪正康
- 2721 紫式部と藤原道長 ……倉本一宏
- 2723 世界史の中の戦国大名 ……鹿毛敏夫

- 2596 経済学の墜落を撃つ ……中山智香子  
 2610 仕事と人生 ……西川善文  
 2617 日本車は生き残れるか  
 ……桑島浩彰・川端由美  
 2625 変貌する未来 ……クーリエ・ジャポン=編  
 2632 会社がなくなる! ……丹羽宇一郎  
 2642 医療崩壊 真犯人は誰だ ……鈴木 亘  
 2648 教養としての金融危機 ……宮崎成人  
 2661 日本病 ……永濱利廣  
 2662 お金の未来 ……山本康正・ジェリー・チー  
 2671 ほんとうの定年後 ……坂本貴志  
 2679 世界インフレの謎 ……渡辺 努  
 2696 日本銀行 我が国に迫る危機  
 ……河村小百合  
 2716 中流危機 ……NHKスペシャル取材班  
 2722 高学歴難民 ……阿部恭子

## ●世界の言語・文化・地理

- 958 英語の歴史 ……中尾俊夫  
 987 はじめての中国語 ……相原 茂  
 1025 J・S・パツハ ……磯山 雅  
 1073 はじめてのドイツ語 ……福本義憲  
 1111 ヴェネツィア ……陣内秀信  
 1183 はじめてのスペイン語 ……東谷頼人  
 1353 はじめてのラテン語 ……大西英文  
 1396 はじめてのイタリア語 ……郡 史郎  
 1446 南イタリアへ! ……陣内秀信  
 1701 はじめての言語学 ……黒田龍之助  
 2081 はじめてのポルトガル語 ……浜岡 究  
 2086 英語と日本語のあいだ ……菅原克也  
 2104 国際共通語としての英語 烏飼玖美子  
 2228 フランス文学と愛 ……野崎 歓  
 2353 本物の英語力 ……烏飼玖美子  
 2411 話すための英語力 ……烏飼玖美子  
 2559 総理通訳の外国語勉強法 ……中川浩一  
 2578 文字世界で読む文明論 ……鈴木 董  
 2672 英語は決まり文句が8割 ……中田達也

- 2681 教養の語源英単語 ……清水建二

## ●日本史

- 1258 身分差別社会の真実・新書江戸時代②  
 ……斎藤洋一・大石慎三郎  
 1265 七三一部隊 ……常石敬一  
 1292 日光東照宮の謎 ……高藤晴俊  
 1322 藤原氏千年 ……臈谷 寿  
 1379 白村江 ……遠山美都男  
 1394 参勤交代 ……山本博文  
 1414 謎とき日本近現代史 ……野島博之  
 1599 戦争の日本近現代史 ……加藤陽子  
 1680 鉄道ひとつばなし ……原 武史  
 1707 参謀本部と陸軍大学校 ……黒野 耐  
 1797 「特攻」と日本人 ……保阪正康  
 1892 近江から日本史を読み直す ……今谷 明  
 1900 日中戦争 ……小林英夫  
 1904 八幡神と神仏習合 ……遠 日出典  
 1918 日本人はなぜキツネにたまされなくなった  
 のか ……内山 節  
 1924 東京裁判 ……日暮吉延  
 1950 「昭和」を点検する  
 ……保阪正康・半藤一利  
 1982 皇軍兵士の日常生活 ……一ノ瀬俊也  
 2031 明治維新 1858-1881  
 ……坂野潤治・大野健一  
 2040 中世を道から読む ……齋藤慎一  
 2095 鉄道ひとつばなし3 ……原 武史  
 2098 戦前昭和の社会 1926-1945 井上寿一  
 2106 戦国誕生 ……渡邊大門  
 2109 「神道」の虚像と実像 ……井上寛司  
 2190 戦前日本の安全保障 ……川田 稔  
 2192 江戸の小判ゲーム ……山室恭子  
 2196 藤原道長の日常生活 ……倉本一宏  
 2202 西郷隆盛と明治維新 ……坂野潤治  
 2212 明治国家をつくった人びと ……瀧井一博  
 2243 日本軍と日本兵 ……一ノ瀬俊也

高橋克徳・河合太介・永田 稔・渡部 幹	2423 勇敢な日本経済論
1992 経済成長という病 ……………平川克美	……………高橋洋一・ぐっちーさん
2010 日本銀行は信用できるか 岩田規久男	2425 真説・企業論 ……………中野剛志
2016 職場は感情で変わる ……………高橋克徳	2426 東芝解体 電機メーカーが消える日
2036 決算書はこだけ読め! ……………前川修満	……………大西康之
2064 決算書はこだけ読め! キャッシュ・フロ	2448 変な経営論 澤田秀雄インタビュー
ー計算書編 ……………前川修満	……………桐山秀樹・丸本忠之=聞き手
2125 ビジネスマンのための「行動観察」入門	2461 新・日本の階級社会 ……………橋本健二
……………松波晴人	2463 日本の国難 ……………中原圭介
2128 日本経済の奇妙な常識 ……………吉本佳生	2467 プライベートバンカー 驚異の資産運用砲
2148 経済成長神話の終わり	……………杉山智一
……………アンドリュース・J・サター/中村起子=訳	2468 伝わる技術 ……………風間八宏
2178 ゼロからわかる 経済学の思考法	2473 世界経済入門 ……………野口悠紀雄
……………小島寛之	2474 銀行員はどう生きるか ……………浪川 攻
2206 頭が良くなる議論の技術 ……………齋藤 孝	2482 はじめての経済思想史 ……………中村隆之
2218 会社を変えろの分析の力 ……………河本 薫	2489 近江商人の哲学 ……………山本昌仁
2229 ビジネスをつくる仕事 ……………小林敬幸	2490 徳政令 ……………早鳥大祐
2236 部長の資格 ……………米田 巖	2508 仕事と心の流儀 ……………丹羽宇一郎
2267 「失敗」の経済政策史 ……………川北隆雄	2509 0から1をつくる ……………本橋麻里
2302 明日のプランニング ……………佐藤尚之	2512 捨てられる銀行3 未来の金融
2303 「タレント」の時代 ……………酒井崇男	……………橋本卓典
2308 本社はわかってくれない 下川裕治=編	2521 外資の流儀 ……………中澤一雄
2322 技術大国幻想の終わり ……………畑村洋太郎	2533 佐藤優の挑戦状 ……………佐藤 優
2324 〈税金逃れ〉の衝撃 ……………深見浩一郎	2534 ザ・ネクストバンカー ……………浪川 攻
2335 損したくないニッポン人 ……………高橋秀実	2536 資本主義に出口はあるか ……………荒谷大輔
2339 指揮官の条件 ……………高嶋博視	2542 感動のメカニズム ……………前野隆司
2340 ネットフリックスの時代 ……………西田宗千佳	2544 年金「最終警告」 ……………島澤 諭
2346 信じていいのか銀行員 ……………山崎 元	2545 未来予測入門 ……………上田篤盛
2371 捨てられる銀行 ……………橋本卓典	2549 韓国 行き過ぎた資本主義 ……金 敬哲
2372 現代語訳 貧乏物語	2552 社長って何だ! ……………丹羽宇一郎
……………河上 肇/佐藤 優=訳・解説	2553 定年消滅時代をどう生きるか 中原圭介
2388 マンション格差 ……………榎 淳司	2558 次のテクノロジーで世界はどう変わるのか
2403 親の介護をする前に読む本 東田 勉	……………山本康正
2407 国税局査察部24時 ……………上田二郎	2569 仕事の未来 ……………小林雅一
2412 楽しく学べる「知財」入門 ……………稲穂健市	2570 離婚の経済学 ……橋木俊詔・迫田さやか
2416 日本経済入門 ……………野口悠紀雄	2584 捨てられる銀行4 消えた銀行員
2418 2025年 日本の農業ビジネス	……………橋本卓典
……………21世紀政策研究所=編	2585 証券会社がなくなる日 ……………浪川 攻
2422 捨てられる銀行2 非産運用 橋本卓典	2593 部長って何だ! ……………丹羽宇一郎

- 2377 情報参謀 ……小口日出彦
- 2387 憲法という希望  
……木村草太/国谷裕子=対談
- 2397 老いる家 崩れる街 ……野澤千絵
- 2400 米中戦争 ……渡部悦和
- 2413 アメリカ帝国の終焉 ……進藤榮一
- 2431 未来の年表 ……河合雅司
- 2436 縮小ニッポンの衝撃  
……NHKスペシャル取材班
- 2443 福島第一原発 1号機冷却「失敗の本質」  
NHKスペシャル「メルトダウン」取材班
- 2455 保守の真髓 ……西部 邁
- 2458 核兵器と原発 ……鈴木達治郎
- 2460 自民党秘史 ……岡崎守恭
- 2469 上司の「いじり」が許せない ……中野円佳
- 2470 埼玉県立浦和高校  
……佐藤 優・杉山剛士
- 2471 アクティブラーニング ……小針 誠
- 2472 地図から消される街 ……青木美希
- 2475 未来の年表2 ……河合雅司
- 2477 県立! 再チャレンジ高校 ……黒川祥子
- 2480 未来の中国年表 ……近藤大介
- 2493 崩れる政治を立て直す ……牧原 出
- 2494 日本の国益 ……小原雅博
- 2496 自衛隊の闇組織 ……石井 暁
- 2500 社会学史 ……大澤真幸
- 2504 老いた家 衰えぬ街 ……野澤千絵
- 2507 「影の総理」と呼ばれた男 ……菊池正史
- 2519 「平成の天皇」論 ……伊藤智永
- 2524 未来の地図帳 ……河合雅司
- 2525 刑事弁護人 ……亀石倫子・新田匡史
- 2528 日本社会のしくみ ……小熊英二
- 2530 民事裁判入門 ……瀬木比呂志
- 2572 近現代史からの警告 ……保阪正康
- 2574 「自閉症」の時代 ……竹中 均
- 2579 同調圧力 ……鴻上尚史・佐藤直樹
- 2588 アフター・リベラル ……吉田 徹
- 2590 民主主義とは何か ……宇野重規
- 2594 やばいデジタル NHKスペシャル取材班
- 2597 左翼の逆襲 ……松尾 匡
- 2598 U ……森 達也
- 2601 新しい世界 ……クーリエ・ジャポン=編
- 2602 米中新冷戦とアフター・コロナ  
……近藤大介
- 2604 教育は変えられる ……山口裕也
- 2607 ハイブリッド戦争 ……廣瀬陽子
- 2609 日本の構造 ……橋本俊昭
- 2621 未来のドリル ……河合雅司
- 2622 本当に君は総理大臣になれないのか  
……小川淳也・中原一歩
- 2628 学校ってなんだ! ……工藤勇一・鴻上尚史
- 2633 不安に克つ思考 ……クーリエ・ジャポン=編
- 2640 大人のいじめ ……坂倉昇平
- 2644 裏道を行け ……橋 玲
- 2645 ブルシット・ジョブの謎 ……酒井隆史
- 2664 NHKスペシャル取材班、「デジタルハンター」になる  
……NHKミャンマープロジェクト
- 2673 農協の闇 ……窪田新之助
- 2684 年収443万円 ……小林美希
- 2688 未来の年表 業界大変化 ……河合雅司
- 2691 ネット右翼になった父 ……鈴木大介
- 2680 ふしぎな中国 ……近藤大介
- 2698 戦争の地政学 ……篠田英朗
- 2703 日本の死角 ……現代ビジネス=編
- 2713 特捜検察の正体 ……弘中惇一郎
- 2717 首都防衛 ……宮地美陽子

## ●経済・ビジネス

- 350 経済学はむずかしくない 第2版  
……都留重人
- 1596 失敗を生かす仕事術 ……畑村洋太郎
- 1624 企業を高めるブランド戦略 ……田中 洋
- 1641 ゼロからわかる経済の基本 ……野口 旭
- 1656 コーチングの技術 ……菅原裕子
- 1926 不機嫌な職場

667	いのち 生命あるすべてのものに マザー・テレサ
698	神と仏 ……………山折哲雄
1210	イスラームとは何か ……………小杉 泰
1469	ヒンドゥー教 K・M・セーン/中川正生=訳
1609	一神教の誕生 ……………加藤 隆
1755	仏教発見! ……………西山 厚
1988	入門 哲学としての仏教 ……………竹村牧男
2100	ふしぎなキリスト教 ……………橋爪大三郎・大澤真幸
2159	古代オリエントの宗教 ……………青木 健
2293	善の根拠 ……………南 直哉
2333	輪廻転生 ……………竹倉史人
2337	『臨濟録』を読む ……………有馬頼底
2368	「日本人の神」入門 ……………島田裕巳
2514	神とは何か ……………稲垣良典
2532	仏教入門 ……………南 直哉
2577	日本人と山の宗教 ……………菊地大樹
2646	神社とは何か ……………新谷尚紀
2647	セックス 性と宗教 ……………島田裕巳
2708	帝国と宗教 ……………島田裕巳

## ●政治・社会

1145	冤罪はこうして作られる ……小田中聰樹	2053	(中東)の考え方 ……………酒井啓子
1488	日本の公安警察 ……………青木 理	2068	財政危機と社会保障 ……………鈴木 亘
1540	戦争を記憶する ……………藤原婦一	2079	認知症と長寿社会 ……………信濃毎日新聞取材班
1837	若者殺しの時代 ……………堀井憲一郎	2094	「認められたい」の正体 ……山竹伸二
1844	「関係の空気」「場の空気」…冷泉彰彦	2123	中国社会の見えない掟 ……加藤隆則
1866	欲ばり過ぎるニッポンの教育 ……………荻谷剛彦・増田ユリヤ	2130	ケインズとハイエク ……………松原隆一郎
1888	50年前の憲法大論争 保阪正康=監修	2135	弱者の居場所がない社会 ……阿部 彩
1921	モテたい理由 ……………赤坂真理	2138	超高齢社会の基礎知識 ……鈴木隆雄
1949	見えないアメリカ ……………渡辺将人	2145	電力改革 ……………橋川武郎
1958	早稲田と慶応 ……………橋本俊詔	2157	冤罪と裁判 ……………今村 核
1965	創価学会の研究 ……………玉野和志	2186	民法はおもしろい ……………池田真朗
1977	天皇陛下の全仕事 ……………山本雅人	2195	反教育論 ……………泉谷剛示
1978	思考停止社会 ……………郷原信郎	2245	校長という仕事 ……………代田昭久
1984	いじめの構造 ……………内藤朝雄	2246	愛と暴力の戦後とその後 ……赤坂真理
		2247	国際メディア情報戦 ……………高木 徹
		2250	絶望の裁判所 ……………瀬木比呂志
		2277	米軍と人民解放軍 ……………布施 哲
		2283	デジタルは人間を奪うのか ……小川和也
		2286	大人のひきこもり ……………池上正樹
		2294	安倍官邸の正体 ……………田崎史郎
		2295	福島第一原発事故 7つの謎 NHKスペシャル「メルトダウン」取材班
		2297	ニッポンの裁判 ……………瀬木比呂志
		2306	暗闇から世界が変わる ……志村真介
		2307	AIの衝撃 ……………小林雅一
		2314	中高年ブラック派遣 ……………中沢彰吾
		2317	ふしぎなイギリス ……………笠原敏彦
		2320	新・自衛隊論 自衛隊を活かす会=編著
		2326	石油・武器・麻薬 ……………宮田 律
		2334	介護ビジネスの罠 ……………長岡美代
		2336	生身の暴力論 ……………久田将義
		2352	警察捜査の正体 ……………原田宏二
		2358	貧困世代 ……………藤田孝典
		2361	地方議員の逆襲 ……………佐々木信夫
		2363	下り坂をそろそろと下る ……平田オリザ
		2369	バックス・チャイナ 中華帝国の野望 ……………近藤大介
		2375	自民党ひとり良識派 ……村上誠一郎

2099	超解説! はじめてのカント『純粋理性批判』	……………竹田青嗣	2567	空海の哲学	……………竹村牧男
2134	いまを生きるための思想キーワード	……………仲正昌樹	2571	あぶない法哲学	……………住吉雅美
2153	感性の限界	……………高橋昌一郎	2591	私たちはどんな世界を生活しているか	……………西谷 修
2155	独立国家のつくりかた	……………坂口恭平	2595	はじめてのスピノザ	……………國分功一郎
2167	新しい左翼入門	……………松尾 匡	2600	超解説! はじめてのヘーゲル『法の哲学』	……………竹田青嗣・西 研
2168	社会を変えるには	……………小熊英二	2603	晩年のカント	……………中島義道
2169	超解説! はじめてのフッサール『現象学の理念』	……………竹田青嗣	2608	フォン・ノイマンの哲学	……………高橋昌一郎
2172	私とは何か	……………平野啓一郎	2616	日本人と神	……………佐藤弘夫
2177	わかりあえないことから	……………平田オリザ	2618	はじめてのプラトン	……………中畑正志
2185	死別の悲しみに向き合う	……………坂口幸弘	2627	日本哲学の最前線	……………山口 尚
2208	非社会的社交性	……………中島義道	2652	スピノザ	……………吉田量彦
2216	まんが 哲学入門	……………森岡正博・寺田にゃんこふ	2653	現代思想入門	……………千葉雅也
2254	教育の力	……………苫野一徳	2654	独学の思考法	……………山野弘樹
2263	ナショナリズム入門	……………植村和秀	2656	人生百年の教養	……………亀山郁夫
2279	マックス・ウェーバーを読む	……………仲正昌樹	2676	新・哲学入門	……………竹田青嗣
2290	闘うための哲学書 小川仁志・萱野稔人		2677	ハンナ・アレント	……………牧野雅彦
2341	ハイデガー哲学入門―「存在と時間」を読む	……………仲正昌樹	2678	ショーペンハウアー	……………梅田孝太
2357	死ぬ力	……………鷺田小彌太	2682	宇沢弘文	……………佐々木 実
2406	幸福の哲学	……………岸見一郎	2687	エーリッヒ・フロム	……………岸見一郎
2437	ハイデガー「存在と時間」入門	……………轟 孝夫	2689	言語ゲームの練習問題	……………橋爪大三郎
2440	山本七平の思想	……………東谷 暁	2690	ミシェル・フーコー	……………箱田 徹
2465	哲学の最新キーワードを読む 小川仁志		2695	マルクス	……………白井 聡
2466	京都学派	……………菅原 潤	2699	福沢諭吉	……………大久保健晴
2497	ヘーゲルを越えるヘーゲル	……………仲正昌樹	2702	西田幾多郎	……………櫻井 欽
2522	良い加減に生きる	……………きたやまおさむ・前田重治	2706	宮本常一	……………畑中章宏
2529	「カッコいい」とは何か	……………平野啓一郎	2710	未完の天才 南方熊楠	……………志村真幸
2537	愛	……………苫野一徳	2711	ハイデガーの哲学	……………轟 孝夫
2551	自分をコントロールする力	……………森口佑介	2714	ジャン＝ジャック・ルソー	……………桑瀬章二郎
2555	心にとって時間とは何か	……………青山拓央	2718	はじめての人類学	……………奥野克己
2561	人生は苦である、でも死んではいけない	……………岸見一郎			
2562	直観を磨く	……………田坂広志			

## ●宗教

27	禪のすすめ	……………佐藤幸治
135	日蓮	……………久保田正文
217	道元入門	……………秋月龍珉
606	「般若心経」を読む	……………紀野一義

# 既刊書目 部門別一覽

数字は書目番号です。  
品切れの書目は除いてあります。

## ●哲学・思想

- |      |              |       |                   |      |                       |       |          |
|------|--------------|-------|-------------------|------|-----------------------|-------|----------|
| 13   | 論語           | …………… | 貝塚茂樹              | 1293 | 「時間」を哲学する             | …………… | 中島義道     |
| 66   | 哲学のすすめ       | …………… | 岩崎武雄              | 1301 | (子ども)のための哲学           | …………… | 永井 均     |
| 159  | 弁証法はどういう科学か  | …………… | 三浦つとむ             | 1315 | じぶん・この不思議な存在          | …………… | 驚田清一     |
| 285  | 正しく考えるために    | …………… | 岩崎武雄              | 1357 | 新しいヘーゲル               | …………… | 長谷川 宏    |
| 324  | 美について        | …………… | 今道友信              | 1358 | 「教養」とは何か              | …………… | 阿部謹也     |
| 501  | ニーチェとの対話     | …………… | 西尾幹二              | 1383 | カントの人間学               | …………… | 中島義道     |
| 871  | 言葉と無意識       | …………… | 丸山圭三郎             | 1401 | これがニーチェだ              | …………… | 永井 均     |
| 898  | はじめての構造主義    | …………… | 橋爪大三郎             | 1420 | 無限論の教室                | …………… | 野矢茂樹     |
| 916  | 哲学入門一歩前      | …………… | 廣松 渉              | 1436 | 古事記と日本書紀              | …………… | 神野志隆光    |
| 921  | 現代思想を読む事典    | …………… | 今村仁司=編            | 1439 | (意識)とは何だろうか           | …………… | 下條信輔     |
| 977  | 哲学の歴史        | …………… | 新田義弘              | 1466 | ゲーデルの哲学               | …………… | 高橋昌一郎    |
| 1001 | 今こそマルクスを読み返す | …………… | 廣松 渉              | 1542 | 自由はどこまで可能か            | …………… | 森村 進     |
| 1007 | 日本の風景・西欧の景観  | …………… | オギュスタン・ペルク/篠田勝英=訳 | 1544 | 倫理という力                | …………… | 前田英樹     |
| 1123 | はじめてのインド哲学   | …………… | 立川武蔵              | 1560 | 神道の逆襲                 | …………… | 菅野覚明     |
| 1150 | 「欲望」と資本主義    | …………… | 佐伯啓思              | 1575 | 動物化するポストモダン           | …………… | 東 浩紀     |
| 1163 | 「孫子」を読む      | …………… | 浅野裕一              | 1582 | ロボットの心                | …………… | 柴田正良     |
| 1247 | メタファー思考      | …………… | 瀬戸賢一              | 1600 | ハイデガー=存在神祕の哲学         | …………… | 古東哲明     |
| 1248 | 20世紀言語学入門    | …………… | 加賀野井秀一            | 1635 | これが現象学だ               | …………… | 谷 徹      |
| 1278 | ラカンの精神分析     | …………… | 新宮一成              | 1638 | 時間は実在するか              | …………… | 入不二基義    |
| 1286 | 哲学の謎         | …………… | 野矢茂樹              | 1675 | ワイトゲンシュタインはこう考えた      | …………… | 鬼界彰夫     |
|      |              |       |                   | 1741 | 武士道の逆襲                | …………… | 菅野覚明     |
|      |              |       |                   | 1745 | 私・今・そして神              | …………… | 永井 均     |
|      |              |       |                   | 1749 | 自由とは何か                | …………… | 佐伯啓思     |
|      |              |       |                   | 1763 | ソシュールと言語学             | …………… | 町田 健     |
|      |              |       |                   | 1783 | スピノザの世界               | …………… | 上野 修     |
|      |              |       |                   | 1839 | 読む哲学事典                | …………… | 田島正樹     |
|      |              |       |                   | 1849 | 系統樹思考の世界              | …………… | 三中信宏     |
|      |              |       |                   | 1867 | 現代建築に関する16章           | …………… | 五十嵐太郎    |
|      |              |       |                   | 1883 | ゲーム的リアリズムの誕生          | …………… | 東 浩紀     |
|      |              |       |                   | 1948 | 理性の限界                 | …………… | 高橋昌一郎    |
|      |              |       |                   | 1961 | 国際正義の論理               | …………… | 押村 高     |
|      |              |       |                   | 1996 | 今こそアレントを読み直す          | …………… | 仲正昌樹     |
|      |              |       |                   | 2004 | はじめての言語ゲーム            | …………… | 橋爪大三郎    |
|      |              |       |                   | 2009 | ニッポンの思想               | …………… | 佐々木 敦    |
|      |              |       |                   | 2014 | 分類思考の世界               | …………… | 三中信宏     |
|      |              |       |                   | 2048 | 知性の限界                 | …………… | 高橋昌一郎    |
|      |              |       |                   | 2050 | 超解読! はじめてのヘーゲル「精神現象学」 | …………… | 竹田青嗣・西 研 |

●ら  
E・O・ライシャワー ※56

●り  
I・リパス ———※777  
梁 過 ———※2108  
劉 影 ———※1524

●る  
L・M・ルクロン ———※607

●れ  
冷泉彰彦 ———1844  
—————※2141

●ろ  
N・E・ローゼンタール  
—————※1098  
ロート美恵 ———※1045  
K・ローレンツ ———※418

●わ  
若狭蔵之助 ———※681  
和歌森太郎 ———※94  
若山 滋 ———※992  
脇 明子 ———※348  
脇 英世 ———※730  
—————※807  
脇山 怜 ———※994  
鷺田清一 ———1315  
鷺田小彌太 ———2357  
和田秀樹 ———2495  
—————※1390  
—————※1781  
和田充夫 ———※1065  
和田芳恵 ———※277  
渡辺一夫 ———※6  
—————※334  
渡辺吉鎔 ———※614  
—————※687  
渡辺憲司 ———※1224  
渡辺浩式 ———※1631  
渡辺浩平 ———※1336  
—————※1951  
渡部 淳 ———※1812  
渡部潤一 ———※1503  
渡部昇一 ———436  
—————※372  
—————※480  
—————※538  
—————※595  
—————※596  
—————※634  
渡辺 深 ———※1447  
渡邊大門 ———2106  
—————※2022  
—————※2225  
渡辺 努 ———2679  
渡辺恒夫 ———※1303  
渡辺利夫 ———※831  
—————※1227

渡邊十絲子 ———2209  
渡邊英徳 ———※2234  
渡辺正雄 ———※73  
渡辺将人 ———1949  
渡邊昌美 ———※1312  
渡辺美紀子 ———※984  
渡辺みどり ———※1491  
渡辺明次 ———※1035  
渡部悦和 ———2400  
渡辺龍策 ———※169  
渡部 幹 ———1926  
—————※2056

山田克哉	1700	山本康正	2558		1840
	※1860		2662		※1946
山田祥平	※1299	山本義郎	※1773	吉田敦彦	※420
山田眞次郎	※1660	ヤン ソウキル 梁 石日	※1240	吉田和男	※1266
山田鋭夫	※1146			吉田量彦	2652
山田登世子	※1374			吉田寿三郎	※604
山田無文	※259			吉田たかよし	2226
山田康弘	2510				※1668
山田雄一	※650				※2298
	※772	●ゆ		吉田 武	※2244
	※854	游 仲勲	※980	吉田禎吾	※218
	※947	結城康博	※2264	吉田 徹	2588
山竹伸二	2094	有倉巳幸	※1683	吉田夏彦	※174
山登敬之	※1416	湯川秀樹	※7	吉田光邦	※99
山鳥 重	2085	雪山伸一(訳)	※1271	吉田洋一	※46
	※1427	弓削 達	968	吉永良正	1328
山根一眞	※1426		※312	吉野裕子	※405
山根貞男	※902	ユン アンヂ 尹 雄大	2280		※675
山野弘樹	2654			吉原清児	※1495
山井教雄	1769				※1682
	2025			吉増剛造	2364
	2331				2641
山内恭彦	※83	●よ		吉村作治	※554
山之内克子	※1276	養老孟司	2719		※683
山室恭子	2192	横田喜三郎	※118		※749
山本健吉	※21	横田健一	※195	吉村正和	※930
	※422	横田敏勝	※1527	吉本佳生	2128
山本謙治	2456	横山三四郎	1252		※2205
山本 敏	※323		※1127	四谷シモン	※1633
山本 僭	※536	横山征次	※1686	米田 巖	2236
	※605	横山正義	※735	米本昌平	1511
山本真司	※1642	吉井直三郎	※196		※759
山元大輔	※1351	吉井博明	※1332	米山俊直	※152
山本直樹	※1370	吉岡郁夫	※825		※447
山本博文	1394	吉岡友治	※1855	読売新聞医療情報部	
	※1541	吉川尚宏	※2038		※1967
	※1607	吉川裕子	※407	読売新聞科学部	
山本雅男	1088		※537		※1425
山本雅人	1977	吉川良三	※2151	四方田犬彦	※2118
山本昌仁	2489	吉國恒雄	※1473	頼富本宏	※926
山本昌弘	※783	芳沢光雄	1786		
山本三毅夫	※1370				

護 雅夫	————※116	————1787	————※1070
森 三樹三郎	——※207	諸橋轍次	————※1153
	————※261	————	————※322
	————※431		Yahoo! ビッグデータレボ
森 義信	——※1238		ートチーム
森 龍吉	——※550		————2539
森枝卓士	——※937		矢部宏治
	————※1421		————2499
森岡正博	——2216	●や	山内 進
森川すいめい	——2614	八木誠一	——※1516
盛口 満	——※1405	————	山内昌之
森口佑介	——2551	————	————※1355
森下 晶	——※344	八木宏之	————※1400
S・C・モリス	——※1343	八木 充	山内 譲
森巢 博	——※1987	八木下 弘	——2483
	————※2126	八杉龍一	山尾幸久
森田 章	——※1068	安田章生	————※284
森田邦久	——2122	安田浩一	————※835
森田正人	——※1619	安田 武	山折哲雄
森田松太郎	——※858	安田敏朗	————698
森田優三	——※268	安武秀岳	————※940
森田良行	——※873	安永祖堂	山形孝夫
	————※919	安本美典	——※448
	————※969		山岸 敦
森田義之	——1442		——1881
森谷尅久	——※521		山岸俊男
森谷正規	——※852		——※2073
森戸由久	——※840		山極寿一
森永卓郎	——※1338		——※1156
	————※1431	矢田 浩	山口和幸
	————※1489	八木公生	——※2214
	————※1597	————	山口 尚
	————※1750	柳田為正(訳)	——2627
森村 進	——1542	柳原良平	山口二郎
森村泰昌	——※1404	柳瀬尚紀	——※1969
森本和夫	——※374	矢野健太郎	山口 博
森本豊富(訳)	——※1253	————	——※1208
森本良男	——※979	————	山口昌男
森山 優	——2398	————	——※893
森山重雄	——※201	————	山口裕也
諸富祥彦	——1372	矢野利裕	——2604
	————1465	矢吹 晋	山口謠司
			——※2237
			山口義行
			——※1212
			山崎 功
			——※547
			山崎克雄
			——※1902
			山崎 清
			——※896
			山崎国紀
			——※467
			山崎敬之
			——※1789
			山崎 元
			——2346
			山崎正一
			——※148
			(編)
			——※225
			——※276
			山崎庸一郎
			——※257
			山下富美代
			——※895
			山下博司
			——※2354
			山下正男
			——※123
			山田 勇
			——※163
			山田英二
			——※7

南 博 ———※3  
 ———※31  
 ———※597  
 南川高志 ———※1389  
 南塚信吾 ———※995  
 宮尾益知 ———2611  
 宮川 透 ———※133  
 宮城音弥 ———※22  
 ———※336  
 〈訳〉 ———※383  
 ———※627  
 ———※702  
 宮坂昌之 ———2631  
 ———2657  
 宮崎克己 ———2506  
 宮崎成人 ———2648  
 宮沢健一〈編〉 ———※163  
 宮下啓三 ———※154  
 宮下志朗 ———※1610  
 宮島直機〈編〉 ———※995  
 宮島英紀 ———※1898  
 宮田 律 ———2326  
 宮台真司 ———2182  
 ———※2112  
 宮地美陽子 ———2717  
 宮本省三 ———※1929  
 宮本正興〈編〉 ———2503  
 〈編〉 ———※1366  
 宮本雅行 ———※1659  
 宮脇 昭 ———※2204  
 宮脇俊三 ———620  
 P・ミルワード ———※496  
 ———※523  
 ———※649  
 ———※766  
 ———※828  
 ———※1021  
 ———※1179  
 ———※1402  
 三輪公忠 ———※170  
 A・ミンデル ———※1570

●む

向井 敏 ———※689  
 向 壽一 ———※1010  
 ———※1362  
 向井承子 ———※1155  
 麦島文夫 ———※247  
 陸口 潤〈編〉 ———※1160  
 向 一陽 ———※1727  
 武者小路公秀 ———※199  
 武者小路実篤 ———※65  
 務台理作 ———※19  
 無藤 隆 ———※1202  
 宗像恒次 ———※1130  
 村井 実 ———※4  
 村井康彦 ———※424  
 村尾信尚 ———※1734  
 村上重良 ———※161  
 ———※571  
 村上誠一郎 ———2375  
 村上哲見 ———※592  
 ———※837  
 ———※1026  
 村上光彦 ———※1109  
 村上陽一郎 ———1500  
 村瀬 学 ———※2032  
 村田晃嗣 ———※1774  
 村松 秀 ———2360  
 村松 剛 ———※34  
 ———※106  
 村松常雄 ———※93  
 ———※510  
 ———※579  
 村山リウ ———※97  
 室橋裕和〈編著〉 ———2486

●め

イリーナ・メジュエワ  
 ———2446  
 ———2619  
 校條 剛 ———※2323

●も

茂木健一郎 ———2576  
 ———2719  
 H・モーゲンソー ———※360  
 望田幸男 ———※1015  
 望月優大 ———2516  
 望月雅士 ———2665  
 本橋麻里 ———2509  
 本村凌二 ———※1476  
 ———※1562  
 百瀬明治 ———※1137  
 ———※1313  
 森 明子 ———※679  
 森 有正 ———240  
 ———※445  
 森 清 ———※566  
 ———※1089  
 森 謙二 ———※1152  
 森 崇 ———※862  
 森 常治 ———※483  
 ———※534  
 森 省二 ———※945  
 ———※1014  
 ———※1143  
 森 達也 ———2598  
 ———※1930  
 森 毅 ———※264  
 森 英明〈訳〉 ———※1908  
 森 秀樹 ———※1434  
 森 秀行 ———※1657  
 森 炎 ———※2183

正木ひろし	————※9	————2566	丸山圭三郎	————871
	————※332	松下幸之助	————※74	————※1002
正高信男	————※1280	松下文洋	————※1782	
増井武士	————※1483	松島大輔	————※2163	
増島みどり	————※1539	松田卓也	————※1005	
舩添要一	————※2251	松田道雄	————※16	
増田重光	————※134		————※333	
増田四郎	————78	松田道弘	————※799	
	————※163	松田素二〈編〉	————2503	
増田ユリヤ	————1866	〈編〉	————※1366	
	————※1993	松平 誠	————※582	
増田義郎	————※119	松谷みよ子	————※370	
増谷文雄	————※117	松永伍一	————※401	
	————※244	松永俊男	————※1110	
	————※347	松永嘉夫	————※221	
増原良彦	————※696		————※281	
	————※745	松波晴人	————2125	
	————※925	松野 弘〈編著〉	————※1564	
榎山 寛	————※1573		————※2046	
町田明広	————※2069	松葉一清	————※986	
町田 健	————1618	松原健二	————※1601	
	————1763	松原治郎	————※309	
町田 徹	————※2176	松原洋子	————1511	
松井和夫	————※1048	松原隆一郎	————2130	
松井孝典	————※1006	松前 健	————444	
	〈監訳〉—※1343	松村 潔	————※1829	
	〈監修〉—※1344	松本 亨	————※52	
	〈監修〉—※1345	松本 肇	————※1658	
松井 浩	————2481	松本道弘	————※617	
松井良明	————※1512		————※673	
松井力也	————※1444		————※748	
松居竜五〈編〉	————※1142		————※829	
松浦晋也	————※2291		————※923	
松尾弑之	————※867	真鍋俊照	————※1066	
	————※911	真鍋 真〈校定〉	————※1345	
	————※1148	間野英二	————※458	
	————※1234	N・マルコム	————※345	
松尾剛次	————※1273	丸田 一	————※1873	
松尾 匡	————2167	丸茂明則	————※931	
	————2597	丸本忠之〈聞き手〉	—2448	
松岡悦子〈編〉	————※1876	丸谷 馨	————※1678	
松岡正剛	————1485		————※2041	
				●み
				三浦 展
				————※1482
				三浦綾子
				————※279
				三浦つとむ
				————159
				三上章允
				————※1059
				三木光範
				————※1616
				G・ミケシュ
				————※526
				水上 勉
				————※299
				水島広子
				————※1505
				水田 洋
				————※186
				————※399
				————※556
				————※665
				水谷千秋
				————2669
				水野 祐
				————※128
				————※167
				————※525
				水原明人
				————※1216
				————※1304
				水原紫苑
				————2612
				見田宗介
				————※142
				三井 徹
				————※985
				三井 誠
				————1805
				三井銀総合研究所〈編〉
				————※918
				満園 勇
				————2325
				三橋順子
				————1960
				〈編〉—※2034
				三中信宏
				————1849
				————2014
				皆川達夫
				————※291
				————※472
				南 和男
				————※588
				南 直哉
				————2293
				————2532

藤原弘達 ——— ※12  
 ——— ※355  
 藤原与一 ——— ※102  
 ——— ※208  
 布施 哲 ——— 2277  
 二間瀬敏史 ——— ※1005  
 船山信次 ——— 2097  
 S・ブラギンスキー  
 ——— ※1037  
 メアリー・C・プリントン  
 ——— ※2073  
 古市 晃 ——— 2634  
 古市憲寿 ——— 2659  
 古川 顕 ——— ※965  
 古田紹欽 ——— ※464  
 古田元夫 ——— ※1334  
 古野庸一 ——— ※2061  
 古山俊一 ——— ※928  
 J・プロノフスキー ——— ※85  
 分銅惇作 ——— ※365

●へ

R・ベイカー ——— ※383  
 別宮貞徳 ——— ※488  
 〈訳〉 ——— ※496  
 〈訳〉 ——— ※523  
 ——— ※540  
 〈訳〉 ——— ※649  
 〈訳〉 ——— ※766  
 〈訳〉 ——— ※1021  
 〈訳〉 ——— ※1402  
 A・ベルク ——— 1007  
 ——— ※1178

●ほ

北條明直 ——— ※498  
 保坂幸博 ——— ※1181  
 保阪正康 ——— 1141  
 ——— 1797  
 〈監修〉 ——— 1888  
 ——— 1950  
 ——— 2484  
 ——— 2518  
 ——— 2572  
 ——— 2715  
 ——— ※814  
 ——— ※1368  
 ——— ※2072  
 星 浩 ——— ※1785  
 星野英紀 ——— ※623  
 星野克美 ——— ※764  
 星野芳郎 ——— ※90  
 細川涼一 ——— ※1424  
 細谷 功 ——— 2580  
 堀 一郎 ——— ※256  
 堀 潤 ——— ※2223  
 堀 淳一 ——— ※671  
 堀井憲一郎 ——— 1837  
 ——— 1947  
 ——— 2007  
 ——— 2401  
 ——— ※2065  
 ——— ※2114  
 ——— ※2232  
 堀井令以知 ——— ※996  
 堀内 修 ——— ※967  
 ——— ※1033  
 ——— ※1246  
 堀江珠喜 ——— ※1825  
 堀越孝一 ——— ※1314  
 ——— ※1385  
 〈編〉 ——— ※1664  
 J・W・ホール ——— ※229  
 ——— ※233  
 R・ホワイティング  
 ——— ※1052

本郷和人 ——— 2670  
 本郷恵子 ——— 2523  
 本城靖久 ——— ※752  
 ——— ※1140  
 ——— ※1309  
 本多顕彰 ——— ※57  
 本田 修 ——— ※1373  
 本田桂子 ——— ※2165  
 本間三郎 ——— ※964  
 本間長世 ——— ※20

●ま

D・マイケンバウム  
 ——— ※1198  
 前川修満 ——— 2036  
 ——— 2064  
 前川貞次郎 ——— ※315  
 マエキタミヤコ ——— ※1868  
 前嶋信次 ——— ※241  
 前田啓介 ——— 2668  
 前田重治 ——— 2522  
 前田晴人 ——— ※1737  
 前田英樹 ——— 1544  
 前野隆司 ——— 2238  
 ——— 2542  
 前野直彬 ——— ※156  
 真壁昭夫 ——— ※1647  
 ——— ※1692  
 ——— ※1780  
 牧田 茂 ——— ※302  
 ——— ※626  
 牧野 剛 ——— ※1626  
 牧野雅彦 ——— 2677  
 牧原 出 ——— 2493  
 孫崎 享 ——— ※1985  
 ——— ※2149  
 W・マーザー ——— ※1242  
 マザー・テレサ ——— 667

—————2479	—————2363	福嶋 司 —————2420
	—————2565	福島良一 ———※1043
	平野仁啓 ———※664	福田和也 ———※1517
	平野啓一郎 ———2172	—————※1563
	—————2529	—————※1684
	平野弘道 ———※906	福富 護 ———※797
	—————※1013	福原麻希 ———※1894
●ひ	平野雅章 ———※632	福原龍蔵 ———※212
日垣 隆 ———※1209	平山 雄 ———※511	—————※213
—————※1360	平山輝男 ———※160	福原麟太郎 ———※44
—————※1726	平山令明 ———※1530	復本一郎 ———※1478
—————※2133	平山 優 ———※1872	—————※1770
檜垣立哉 ———※1772	廣岡正久 ———※1255	福本義憲 ———1073
東島 誠 ———※2144	広岡守穂 ———※827	富家 孝 ———2395
東田 勉 ———2403	廣川州伸 ———※1814	藤井宗哲 ———※1226
—————※2292	廣瀬浩司(訳) ———※1263	藤井知昭 ———※568
東谷 暁 ———2440	広瀬立成 ———※1887	藤井直敬 ———※2039
東谷頼人 ———1183	廣瀬陽子 ———2607	藤井 昇 ———※88
樋口隆康 ———※265	廣田尚久 ———※2260	藤尾慎一郎 ———2330
日暮吉延 ———1924	広田照幸 ———1448	藤岡謙二郎 ———※342
久江雅彦 ———※1622	弘中惇一郎 ———2713	藤門 弘 ———※817
—————※1818	廣松 涉 ———916	藤川大祐 ———※1944
—————※2139	—————1001	藤倉雅之 ———※1803
久田将義 ———2336		藤坂ガルシア千鶴
久松潜一 ———※33		—————※2111
日高敏隆(訳) ———※418		藤崎一郎 ———2650
日高博子 ———※466		藤田榮一 ———※646
一橋総合研究所 ———※1795		藤田五郎 ———※26
一松 信 ———※782		—————※250
日端康雄 ———1932	●ふ	藤田伸二 ———2210
日向あき子 ———※781	黄 民基(訳) ———※1009	藤田孝典 ———2358
兵藤正之助 ———※421	深井晃子 ———※1144	藤田達生 ———※1685
平井富雄 ———※385	深尾光洋 ———※1583	—————※1830
平井信義 ———※8	深見浩一郎 ———2324	—————※1907
平岩正樹 ———※1611	深見奈緒子 ———※1779	藤永幸治 ———※1418
平川 彰 ———※238	福岡伸一 ———1891	藤原恵洋 ———※884
平川克美 ———1992	—————2000	伏見憲明 ———※1349
平木典子 ———2143	〈訳〉 ———2434	藤本大三郎 ———※1149
平島裕正 ———※382	福島 章 ———※721	藤原 明 ———※631
平勢隆郎 ———※1508	—————※1083	藤原英司 ———※359
平田オリザ ———1422	福島脩美 ———※843	藤原帰一 ———1540
—————1723	福島清彦 ———※1628	藤原清美 ———※1835
—————2177	—————※1676	

●は	畑中章宏	—————2706	—————2683
芳賀 登〈編〉	畑中美樹	—————※1973	林 雄二郎
〈編〉	波多野完治	—————※41	—————※187
〈編〉	J・M・バーダマン	※1253	—————※234
箱崎みどり	畑村洋太郎	—————1596	林 玲子
箱田 徹	—————1809	—————1979	—————※1261
橋爪紳也	—————2322	—————※1660	林田愼之助
橋爪大三郎	—————※1870	—————※2117	—————※1440
—————2100	畑山 博	—————※2151	—————※1629
—————2182	蜂屋邦夫	—————※700	—————※1824
—————2391	—————※846	—————※1354	早島鏡正
—————2447	服部英二	—————※1256	—————※251
—————2689	服部公一	—————※682	早島大祐
〈聞き手〉	服部正明	—————※529	—————2490
橋本一郎	服部龍二	—————2382	林屋辰三郎
橋本凝嵐	V・ハーディ	—————※1122	—————※362
—————※192	—————※1288	渡戸岡景太	—————※379
—————※228	花山勝友	—————※953	—————※380
橋本健二	羽仁五郎	—————※79	—————※381
橋本卓典	羽田節子〈訳〉	—————※418	—————※425
—————2422	羽場久泥子	—————※1218	早野 透
—————2512	羽生善治	—————2515	—————※1694
—————2584	浜岡 究	—————2081	速水 侑
橋本雅之	浜本隆志	—————1705	—————※1326
橋本峰雄	—————※1462	速川和男	速水健朗
橋本義夫	早坂泰次郎	—————※891	—————2127
橋本義夫	林 信吾	—————※966	速水敏彦
蓮實重彦	—————※1976	—————※539	—————1827
筈見有弘	林 謙	—————※18	原 啓吾
—————※875	—————※72	—————※60	—————※164
長谷章久	林 武	—————※60	原 卓也
長谷川 權	林 竹二	—————※442	—————※621
—————2029	林 太郎	—————※131	原 武史
—————※2074	林 直樹	—————※1912	—————1680
長谷川 潔	林 成之	—————1861	—————2095
長谷川滋成	林 真理子	—————2201	—————2085
長谷川貴弘	—————※1554	—————※1554	—————※1885
長谷川 宏	—————※1554	—————※1554	原 ひろ子
—————1357	長谷川真理子	—————※1138	—————※563
—————※1554	長谷川幸洋	—————※1556	原沢伊都夫
—————1357	—————※1671	—————※1671	—————2173
長谷川 潔	長谷部史親	—————※1211	原尻淳一
—————※1318	畑 尚子	—————※1565	—————※2103
長谷川滋成	—————※1565	—————※1565	原尻英樹
—————※897	—————※1565	—————※1565	—————※1410
長谷川貴弘	—————※1565	—————※1565	原田勝正
—————※2184	—————※1565	—————※1565	—————※713
長谷川 宏	—————※1565	—————※1565	原田宏二
—————1357	—————※1565	—————※1565	—————2352
—————※1554	—————※1565	—————※1565	原田伴彦
長谷川真理子	—————※1565	—————※1565	—————※146
長谷川幸洋	—————※1565	—————※1565	—————※428
—————※1556	—————※1565	—————※1565	原野広太郎
—————※1671	—————※1565	—————※1565	—————※717
長谷部史親	—————※1565	—————※1565	—————※859
畑 尚子	—————※1565	—————※1565	A・ハラム
—————※1565	—————※1565	—————※1565	—————※373
—————※1565	—————※1565	—————※1565	J・バリオン
—————※1565	—————※1565	—————※1565	—————※341
—————※1565	—————※1565	—————※1565	春木 豊
—————※1565	—————※1565	—————※1565	—————2119
—————※1565	—————※1565	—————※1565	春山 満
—————※1565	—————※1565	—————※1565	—————※1484
—————※1565	—————※1565	—————※1565	半藤一利
—————※1565	—————※1565	—————※1565	—————1950
—————※1565	—————※1565	—————※1565	—————※2072
—————※1565	—————※1565	—————※1565	坂野潤治
—————※1565	—————※1565	—————※1565	—————2031
—————※1565	—————※1565	—————※1565	—————2202

西 研	—————2050	新田義弘	—————977		
	—————2600	二宮周平	—————※1300		
西尾幹二	—————501	二宮清純	—————※1381	●の	
	—————※176		—————※1510	盧 廷潤	—————※1606
	—————※1024		〈監修〉—※1606	野口 旭	—————1641
西尾忠久	—————※767		—————※1630	野口 広〈編〉	—————※624
西岡文彦	—————※1838		—————※1941	野口悠紀雄	—————2332
西垣 通	—————※920		—————※2256		—————2416
西川照子	—————2543	仁平 勝	—————※1528		—————2473
西川 恵	—————※1623	日本温泉文化研究会			—————※2261
西川泰夫	—————※388		—————※2088	野崎 欽	—————2228
	—————※541	日本産業カウンセラー協		野澤千絵	—————2397
西川善文	—————2610	会〈訳〉	—————※1091		—————2504
西澤 哲	—————1376	丹羽宇一郎	—————2508	野島博之	—————1414
	—————2076		—————2552		—————※1546
西島建男	—————※905		—————2593	野田春彦	—————※282
西田耕三	—————※860		—————2632	野々山真輝帆	—————※603
西田正好	—————※477	丹羽小弥太	—————※91	信田さよ子	—————※2002
西田宗千佳	—————2340	丹羽隆子	—————※1433	信原幸弘	—————※1525
西谷 修	—————2591			野町 啓	—————※1493
西寺郷太	—————※2045	●ぬ		野村二郎	—————※842
西野喜一	—————※1903	櫛島次郎	—————1511		—————※885
西平 直	—————※1458		—————※1581		—————※1132
西部 邁	—————2455				—————※1195
	—————※936			野村 進	—————1940
	—————※1884				—————※1576
	—————※1954			野村総一郎	—————2415
西村清和	—————※1472				—————※1625
西村貞二	—————※80				—————※1752
	—————※216			野村達朗	—————※933
西村敏充	—————※214				—————※1099
西山 厚	—————1755	●ね		野村 實	—————※1461
西山千明	—————※434	根井雅弘	—————※1302	野元菊雄	—————※868
西山松之助	—————※415		—————※1451	野本陽代	—————※2011
	—————※416		—————※1754	野茂茂樹	—————1286
	—————※417				—————1420
21世紀政策研究所〈編〉	—————2418	ねじめ正一	—————※1187		
西脇文昭	—————※1413	根建金男〈監訳〉	—————※1198		
日能 研	—————※2024	根本橋夫	—————※1297		
新田俊三	—————※1445				
新田匡央	—————2525				

長沢和俊	——	※555	中野雅至	——	※2028	〈訳〉	——	※481
永沢 哲〈監修〉	-	※1570	中野円佳	——	2469	〈訳〉	——	※562
中路正恒	——	※1559	中野美代子	——	※356	〈訳〉	——	※672
中嶋洋介	——	※1509	中野好夫	——	※53	中山 理〈訳〉	——	※1179
中島国章	——	2305	中畑正志	——	2618	中山治一	——	※317
中島さおり	——	※2052	永畑道子	——	※729	中山 茂	——	※1105
中島隆博〈訳〉	——	※1614	長濱貞治	——	※878	中山智香子	——	2596
中島岳志	——	※1954	永濱利廣	——	2661	中山正和	——	※231
中嶋嶺雄	——	※100	中原一歩	——	2622	——	——	※569
中島義道	——	1293	中原圭介	——	2463	中山康樹	——	1653
——	——	1383	——	——	2553	——	——	1808
——	——	2208	永淵康之	——	※1395	——	——	1970
——	——	2603	仲正昌樹	——	1996	——	——	2270
長島伸一	——	934	——	——	2134	——	——	※1490
長洲一二	——	※122	——	——	2279	中山裕木子	——	2635
——	——	※386	——	——	2341	長山靖生	——	※2057
中瀬喜陽〈編〉	——	※1142	——	——	2497	那須正夫	——	※956
中田達也	——	2672	中丸 明	——	※1480	夏目琢史	——	2394
中田安彦	——	※1927	中村逸郎	——	※1968	夏目房之介	——	※1384
永田 稔	——	1926	仲村清司〈著・編〉	——	2092	那野比古	——	※952
永田諒一	——	1712	——	——	※2156	——	——	※1063
中谷 巖	——	※848	中村桂子	——	1881	——	——	※1147
——	——	※1003	中村健之介	——	※2102	鍋倉健悦	——	※1186
永積 昭	——	※457	中村修也	——	※1843	浪川 攻	——	2474
中西 進	——	※391	中村真一郎	——	※188	——	——	2534
——	——	※733	中村誠太郎	——	※125	——	——	2585
——	——	※734	中村聡一	——	※1816	奈良本辰也	——	※242
中西信男	——	※877	中村隆之	——	2482	成清弘和	——	※1794
中根千枝	——	105	中村武生	——	※2131	成田 一	——	※1378
——	——	300	中村 元	——	※59	成田康昭	——	※822
——	——	2548	中村浩美	——	※838	成田善弘	——	※1159
——	——	※500	中村希明	——	※1223	成田龍一	——	2310
中野 取	——	※849	中村保男	——	※935	成瀬悟策	——	※194
中野孝次	——	※705	中村起子〈訳〉	——	2148	成瀬正勝	——	※124
——	——	※915	中屋敷 均	——	2268	——	——	2359
——	——	※1192	——	——	2359	——	——	2513
中野尊正	——	※509	中谷内一也	——	2347	中山伊知郎	——	※28
中野剛志	——	2425	——	——	※28	〈訳〉	——	※274
——	——	※2115	——	——	2347	〈訳〉	——	※319
中野信子	——	2589	——	——	2347	〈訳〉	——	※349
——	——	2592	——	——	2347	●に	——	——
中埜 肇	——	※439	——	——	2347	新坂和男	——	※608
						C・W・ニコル	——	※785

————※1698	————※512	————※1605
円谷英明 ————2215	東後勝明 ————※806	フランス・ドルヌ —※1800
坪谷郁子 ————※1533	————※939	
鶴 光太郎 ————※1221	東郷和彦 ————※1971	
都留重人 ————350	東郷正延 ————※95	
————※1	東野伝吉 ————※321	
————※163	遠山美都男 ————1379	
都留春夫 ————※870	————※1648	
鶴木 眞 ————※449	〈編〉 ————※1709	
鶴見和子 ————※275	————※2077	
鶴見俊輔 ————※90	遠山義孝〈訳〉 ————※220	
鶴見祐輔 ————※43	土岐健治 ————※1693	
鶴見良行〈編〉 ————※377	常盤新平 ————※727	
	徳田良仁 ————※567	
	徳永 恂〈訳〉 ————※341	
	徳永雄一郎 ————※2349	
	戸田忠雄 ————※1909	
	とつげき東北 ————1765	
	轟 孝夫 ————2437	
	————2711	
●て	苦野一徳 ————2254	
C・デカン ————※1263	————2537	
出口 顯 ————※1549	富岡幸一郎 ————※1899	
出口治明 ————2568	富島佑允 ————2623	
————2666	富田恭彦 ————※1406	
デジタル生活研究会	————※1758	
————※1697	————※1817	
手嶋泰伸 ————2299	富塚嘉一 ————※1612	
手塚富雄 ————※157	富村 傳 ————※311	
寺尾紗穂 ————※2321	友岡 賛 ————※1388	
寺田にゃんこふ ————2216	友田昌宏 ————※2012	
寺村鉄三 ————※158	外山滋比古〈訳〉 ————※255	
寺村輝夫 ————※661	————※490	
電通メディア社会プロジ	————※633	
ェクト ————※1477	外山ひとみ ————※2042	
	豊島 修 ————※1103	
	豊田 堯 ————※316	
	豊田昌倫 ————※1069	
	————※1176	
●と	鳥飼玖美子 ————2104	
涂 照彦 ————※889	————2353	
————※1022	————2411	
R・P・ドーア〈監修〉		
		●な
		乃至政彦 ————2351
		————2520
		内藤朝雄 ————1984
		内藤 耕 ————※1895
		————※2066
		内藤遊人 ————※863
		内藤陽介 ————※1790
		中井浩一 ————1981
		永井清彦 ————※694
		————※1107
		永井見子〈訳〉 ————※828
		永井 均 ————1301
		————1401
		————1745
		永井道雄 ————※62
		永井陽之助〈編〉 ————※145
		永江 朗 ————1627
		中尾佐助 ————※139
		中尾俊夫 ————958
		長岡美代 ————2334
		中川浩一 ————2559
		中川 剛 ————※760
		————※950
		中川正生〈訳〉 ————1469
		中川右介 ————2221
		中川洋吉 ————※1199
		中川米造 ————※1180
		中澤一雄 ————2521
		中沢彰吾 ————2314
		————2342
		中澤二期 ————※2230
		中沢孝夫 ————※1662
		中澤英彦 ————※1054
		中沢弘基 ————2262

—————※40	田辺新一 ————※1412	●ち	ジェリー・チャー ————2662
田崎史郎 ————2294	田辺聖子 ————※786	陳 凱歌(チェン カイコー)	—————※1008
田寫誠一 ————※1117	田辺 保 ————※165	竺沙雅章 ————※453	筑紫哲也(編) ————※1547
田島正樹 ————1839	—————※542	千地万造 ————※1207	千田 善 ————※1168
田代靖尚 ————※1632	—————※610	千葉德爾 ————※287	千葉雅也 ————2653
多田道太郎(編) ————※278	田辺洋二 ————※917	千葉雅則 ————※762	趙 甲濟 ————※1009
〈編〉 ————※280	—————※1102	千代崎秀雄 ————※880	鄭 大聲 ————※1116
〈編〉 ————※283	谷 晃 ————※1878		
—————※408	谷 徹 ————1635	●つ	塚田富治 ————※1206
只木良也 ————※612	谷川徹三 ————※254	塚金澤聰廣 ————※1050	津原 史 ————※1214
鐘 幹八郎 ————1020	谷川浩隆 ————2554	月川和雄(編) ————※1142	筑波常治 ————※175
—————※1387	谷川健一 ————※1513	遠 日出典 ————1904	辻 由美 ————※1453
立川武蔵 ————1123	谷川道雄 ————※452	辻 隆太郎 ————※2146	辻井 喬 ————※1196
—————※924	谷口規矩雄 ————※454	辻田啓志 ————※513	辻田真佐憲 ————2705
—————※1254	谷山鉄郎 ————※1055	辻村 明 ————※751	津田和夫 ————※999
橋 玲 ————2644	田沼靖一 ————※1308	土屋 巖 ————※400	—————※1157
立花 隆 ————722	種村直樹 ————※636	土屋耕一 ————※724	土屋喬雄 ————※35
—————2605	田端泰子 ————※1294	筒井康隆 ————2626	都筑卓司 ————※437
橋木俊詔 ————1958	田原嗣郎 ————※138	—————※504	堤 重久 ————※329
—————2570	田原八郎 ————※963	常石敬一 ————1265	
—————2609	玉井邦夫 ————※1567		
辰巳和弘 ————※1330	玉井収介 ————※697		
巽 孝之 ————※1521	玉上琢弥 ————※392		
伊達邦春 ————※224	玉木俊明 ————2386		
立野美奈子 ————※679	玉木正之 ————1454		
田中 彰 ————※487	—————※1052		
田中 勇 ————※232	—————※1915		
田中 修 ————2222	—————※1990		
田中克己 ————※155	—————※2132		
田中啓一 ————※499	玉野和志 ————1965		
田中澄江 ————※50	玉村豊男 ————2055		
田中貴子 ————※1457	—————※1498		
田中千世子 ————※1347	田村慶子 ————※1135		
田中利幸 ————※1945	團 伊玖磨 ————※462		
田中日佐夫 ————※397	丹下健三 ————※77		
田中秀臣 ————※1760	旦部幸博 ————2445		
田中 洋 ————1624			
田中浩也 ————2265			
田中雄一 ————2538			
田中優子 ————2638			
田辺厚子 ————※718			
田辺繁治 ————※1655			

高木桂藏	——※1057	高橋和巳	——※1237	——	——※609
高木健一	——※1578	高橋克徳	——1926	——	——※744
高城幸司	——※1857	——	——2016	——	——※1077
高木重朗	——※784	高橋恵子	——※2224	——	——※1398
——	——※823	高橋繁行	——2606	武内孝夫	——※1833
——	——※910	——	——※1724	竹内敏晴	——1027
高木仁三郎	——※699	高橋順一	——※1071	——	——※1399
——	——※984	高橋昌一郎	——1466	竹内 宏	——※669
高木健夫	——※295	——	——1948	竹内靖雄	——※1443
——	——※296	——	——2048	竹内 洋	——※1038
高木 侃	——※1092	——	——2153	——	——※1134
高木 徹	——2247	——	——2608	竹倉史人	——2333
高木正幸	——※771	高橋たか子	——※1317	竹崎 孜	——※638
高木幹夫	——※2024	高橋哲哉	——※1742	武澤秀一	——※1994
高木隆司	——※741	高橋秀実	——2335	竹下節子	——※1337
高坂知英	——※833	高橋英郎	——※710	竹田 晃	——※1030
高崎宗司	——※1158	高橋文利	——※1475	竹田いさみ	——※1823
高階秀爾	——※339	高橋洋一	——※1274	武田修三郎	——※695
高島俊男	——1746	高橋洋一	——2423	武田修志	——※1391
——	——2367	高橋祥友	——1348	竹田青嗣	——2050
——	——※972	——	——※1566	——	——2099
——	——※2200	高橋龍太郎	——2393	——	——2169
高嶋博視	——2339	高島正明	——※260	——	——2600
高田貫太	——2414	高藤晴俊	——1292	——	——2676
高田博厚	——※127	高見茂人	——※1036	武田 徹	——※2110
高田 宏	——※743	田上太秀	——※2220	竹中信常	——※245
高田正純	——※765	田上隆司	——※679	竹中 均	——2574
高田公理	——※802	高見沢潤子	——※215	竹中文良	——※1356
——	——※1923	高山一彦	——※642	竹村健一〈聞き手〉	——
高田 勝	——※746	高山智博	——※533	——	——※560
高槻泰郎	——2487	高山 博	——1470	竹村民郎	——※565
高辻玲子	——※1133	財部誠一	——※1438	竹村牧男	——1988
高遠弘美	——2560	瀧井一博	——2212	——	——2567
高取正男	——※406	瀧口雅仁	——※1980	——	——※903
高根正昭	——553	滝澤武人	——※1350	——	——※1082
高野 孟	——※1464	滝田誠一郎	——※1697	竹村嘉夫	——※656
鷹羽狩行	——※440	——	——※1845	竹本善次	——※1571
——	——※666	たくき よしみつ	——※1963	——	——※1681
——	——※882	——	——※2017	竹山博英	——※1041
高橋 功	——※87	——	——※2259	田坂広志	——2350
高橋和夫	——1085	田窪恭治	——※1661	——	——2562
高橋和夫	——※1235	詫摩武俊	——※263	田崎清忠	——※39

——※1037  
 F・ジュリアン ——※1614  
 城生佰太郎 ——※1086  
 荘司雅彦 ——※1768  
 J・W・ショップ ——※1344  
 白井浩司 ——※70  
 白井 聡 ——2695  
 白井利明 ——※1577  
 白川浩道 ——※2242  
 しりあがり寿 ——※1847  
 代田昭久 ——2245  
 仁賀克雄 ——※1269  
 新宮一成 ——1278  
 新谷尚紀 ——2646  
 進藤榮一 ——2413  
 新藤健一 ——※804  
 陣内秀信 ——1111  
 ——1446  
 新村 猛 ——※96  
  
**●す**  
 末木剛博 ——※235  
 菅 啓次郎 ——※2107  
 菅沼りよ〈訳〉 ——※503  
 菅原裕子 ——1656  
 菅原 出 ——※2327  
 菅原克也 ——2086  
 菅原 潤 ——2466  
 菅原正子 ——※2089  
 杉田 敏 ——※1217  
 杉野幹人 ——※2240  
 杉本俊多 ——※1136  
 杉本尚次 ——※688  
 杉山剛士 ——2470  
 杉山登志郎 ——1922  
 ——2116  
 ——2491  
 杉山智一 ——2467

杉山平一 ——※409  
 ——※575  
 杉山正明 ——1306  
 ——1307  
 杉山幸丸 ——※602  
 周郷 博 ——※30  
 〈訳〉 ——※85  
 鈴木 篤 ——※1165  
 鈴木克美 ——※586  
 鈴木義一郎 ——※691  
 鈴木邦男 ——※1842  
 鈴木健一 ——1841  
 鈴木謙介 ——※1788  
 鈴木修次 ——※497  
 鈴木 晶 ——※1034  
 ——※1094  
 ——※1506  
 鈴木鎮一 ——86  
 鈴木大介 ——2691  
 鈴木孝夫 ——※614  
 鈴木隆雄 ——2138  
 鈴木 董 ——1097  
 ——2578  
 〈編〉 ——※1162  
 〈編〉 ——※1166  
 〈編〉 ——※1175  
 鈴木達治郎 ——2458  
 鈴木秀夫 ——※414  
 ——※1049  
 鈴木弘輝 ——※2142  
 鈴木博之 ——※1481  
 鈴木真哉 ——※1568  
 鈴木光男 ——※236  
 鈴木 亘 ——2068  
 ——2642  
 ——※2253  
 住吉雅美 ——2571  
 皇 至道 ——※230  
 諏訪春雄 ——※1230

**●せ**

瀬川拓郎 ——2304  
 ——2454  
 関 計夫 ——※140  
 ——※226  
 関 哲行 ——※1820  
 関 曠野 ——※1579  
 瀬木慎一 ——※325  
 瀬木比呂志 ——2250  
 ——2297  
 ——2530  
 ——2697  
 関岡英之 ——※1853  
 関根伸一郎 ——※1267  
 関根文之助 ——※64  
 瀬戸賢一 ——1247  
 瀬山士郎 ——※909  
 K・M・セーン ——1469  
 先崎 学 ——※1757  
 仙田 満 ——2366  
 千田 稔 ——※2001

**●そ**

想田和弘 ——※2113  
 五月女ケイ子〈絵〉 ——2360  
 園田義明 ——※1714  
 J・ソペーニャ ——※479

**●た**

平 恒次 ——※366  
 高井尚之 ——2287  
 高尾一彦 ——※427

佐藤さとる ——※517  
 佐藤信弥 ——2613  
 佐藤忠男 ——※463  
 ——※576  
 佐藤達哉 ——※1340  
 佐藤千矢子 ——2658  
 佐藤次高 ——※1162  
 佐藤常雄 ——※1259  
 佐藤直樹 ——2579  
 佐藤尚之 ——2302  
 佐藤弘夫 ——2616  
 佐藤正英 ——※1722  
 佐藤 優〈訳・解説〉 2372  
 ——2421  
 ——2470  
 ——2533  
 ——2620  
 ——2643  
 ——2667  
 ——2712  
 佐藤光展 ——2231  
 佐中明雄 ——※1409  
 佐野真一 ——※1911  
 佐野 真 ——※1796  
 左能典代 ——※559  
 鯖田豊之 ——※14  
 ——※270  
 佐谷眞木人 ——※1986  
 佐山和夫 ——※1666  
 更科 功 ——2166  
 G・サリバン ——※1131  
 澤井康佑 ——※2158  
 澤井繁男 ——※1128  
 ——※1557  
 澤田 誠 ——2704  
 澤地久枝 ——※826  
 澤登春仁 ——※990  
 サントリー不易流行研究  
 所 ——※1182

●し

P・シアーズ ——※271  
 CDI 〈編〉 ——※379  
 〈編〉 ——※380  
 〈編〉 ——※381  
 椎名 健 ——※1233  
 〈編〉 ——※1393  
 自衛隊を活かす会〈編著〉  
 ——2320  
 塩野 誠 ——※2235  
 塩原俊彦 ——※1696  
 重金敦之 ——※1429  
 重藤威夫 ——※143  
 重村智計 ——※1359  
 ——※1526  
 ——※1636  
 ——※1869  
 ——※1953  
 信濃毎日新聞取材班  
 ——2079  
 志野好伸〈訳〉 ——※1614  
 篠田 岐 ——※492  
 篠田勝英〈訳〉 ——1007  
 ——※1114  
 〈訳〉 ——※1178  
 篠田航一 ——2316  
 篠田英朗 ——2698  
 篠原資明 ——※1331  
 柴 那典 ——2399  
 柴田 聡 ——※2184  
 柴田正良 ——1582  
 柴田光蔵 ——※866  
 柴田元幸 ——1501  
 澁谷由里 ——2409  
 澁谷知美〈編〉 ——※2034  
 島内景二 ——※1268  
 嶋岡 辰 ——※484  
 ——※552  
 島澤 諭 ——2544  
 島沢優子 ——2432

島田修二〈編〉 ——※753  
 島田 隆 ——※1507  
 ——※1552  
 島田裕巳 ——2368  
 ——2647  
 ——2708  
 ——※2150  
 島野卓爾 ——※530  
 島森哲男 ——※1264  
 清水幾太郎 ——297  
 〈編〉 ——※24  
 清水馨八郎 ——※37  
 清水建二 ——2681  
 清水俊明 ——※564  
 清水義範 ——1738  
 ——1810  
 ——※1834  
 清水芳見 ——※1112  
 志村真介 ——2306  
 志村真幸 ——2710  
 示村陽一 ——※1670  
 霜 栄 ——※1546  
 下川浩一 ——※1028  
 ——※1087  
 下川裕治〈著・編〉 ——2092  
 〈編〉 ——2308  
 〈編著〉 ——2486  
 ——※1917  
 下條信輔 ——1439  
 下田 淳 ——※2120  
 下谷和幸 ——※482  
 下出積典 ——※411  
 下村純一 ——※820  
 ——※1058  
 下山 弘 ——※1185  
 謝 世輝 ——※288  
 ——※432  
 シャーウィン裕子  
 ——※1062  
 社会保険庁有志 ——※1764  
 朱 建栄〈監訳〉 ——※1232  
 V・シュヴィドコー

近藤正高	2328			桜井哲夫	※787
	2417			〈訳〉	※973
A・コンドラトフ	※349				※1004
	※481				※1403
	※562			桜井 満	※493
	※672			桜内文城	※1748
				佐古泰司	※2211
				雑喉 潤	※1637
					※1775
				追田さやか	2570
				笹川 巖	※844
				佐々木 敦	2009
					2356
					※2296
				佐々木 孝	※435
				佐々木孝次	※643
					※855
				佐々木忠義	※81
				佐々木常雄	2030
				佐々木信夫	2361
				佐々木正人	※1335
				佐々木瑞枝	1200
				佐々木 実	2682
				ササキバラ・ゴウ	※1553
					※1718
				笹澤 豊	※1380
				アンドリュウ・J・サター	
					2148
				佐高 信	※1191
				定方 晟	※330
					※997
					※1129
				佐藤綾子	1275
					2273
					※1886
				佐藤賢一	2005
					2281
					2526
				佐藤健太郎	2282
					2338
				佐藤幸治	27
					※144
● さ					
最相葉月	※2121				
エドワード・G・サイデンステッ					
カー〈英訳〉	180				
	※653				
斎藤 彰	※719				
	※774				
斎藤 勇	※960				
斎藤 潮	※1851				
斎藤正二	※269				
斎藤慎一	2040				
斎藤貴男	※2059				
斎藤 孝	1943				
	2027				
	2206				
	2396				
	※2083				
斎藤 環	2008				
斎藤宣彦	※2137				
斎藤 光〈編〉	※2034				
斎藤英喜	※1871				
斎藤美奈子	2709				
斎藤洋一	1258				
佐伯有清	※520				
佐伯啓思	1150				
	1749				
	※2171				
酒井 潔	※1792				
酒井啓子	2053				
	2459				
酒井順子	2233				
	2288				
酒井崇男	2303				
	※2362				
酒井隆史	2645				
酒井 健	※1487				
坂井文彦	2478				
境 真良	※1938				
榭 淳司	2388				
坂口恭平	2155				
	2581				
	※2274				
坂口幸弘	2185				
阪倉篤義	※518				
坂倉昇平	2640				
坂崎乙郎	※189				
	※446				
	※519				
坂下 昇	※615				
	※678				
	※720				
	※832				
坂本賢三	※494				
	※651				
坂本多加雄	※1382				
坂元 昂	※249				
坂本 堯	※338				
坂本貴志	2671				
坂本 勉〈編〉	※1175				
	※1327				
相良守峯	※147				
崎川範行	※61				
向坂逸郎	※25				
向坂 寛	※658				
	※773				
作田啓一	※408				
佐久間 賢	※1650				
佐倉 統	※1598				
櫻井 寛	※1518				
櫻井 欽	2702				
桜井邦朋	※551				
	※660				
櫻井 進	※1079				

現代ビジネス(編) -2703	郡 史郎 —————1396	小林公夫 ————※1729
R・ケンプ ————※973	小口日出彦 ————2377	小林隆章 ————※1546
剣持武彦 ————※495	國分功一郎 ————2595	小林敬幸 ————2229
	国分康孝 ————725	小林武彦 ————2615
	—————1044	—————2707
	—————※645	小林 正 ————※17
	—————※674	小林千草 ————※2060
	—————※791	小林哲夫 ————※1920
●こ	〈監修〉-※1091	小林敏明 ————※1075
小池桂一 ————※2107	呉座勇一 ————2488	小林英夫 ————1900
小池政行 ————※1699	—————2636	—————1966
小池喜明 ————※1167	古在由秀 ————※82	小林雅一 ————2307
小池良次 ————※2140	小島敦夫 ————※1822	—————2384
小泉武夫 ————676	小島寛之 ————1759	—————2569
—————※1311	—————1925	—————2663
小泉文夫 ————※462	—————2178	小林正文(訳) ————※1242
小泉義之 ————※1325	小杉 泰 ————1210	小林正幸 ————※1561
—————※1504	小関智弘 ————※1639	小林美希 ————2684
江 弘毅 ————※1856	小高修司 ————※1316	小林道彦 ————2564
鴻上尚史 ————2006	小玉新次郎 ————※459	小林康夫 ————※1800
—————2309	古東哲明 ————1600	小原雅博 ————2494
—————2451	後藤 明 ————2457	小針 誠 ————2471
—————2579	五嶋 節 ————1890	駒尺喜美 ————※601
—————2628	後藤 平 ————※663	小松左京 ————※478
向後善之 ————※2062	後藤雅洋 ————※1029	—————※515
上坂 昇 ————1231	—————※1548	—————※516
高津春繁 ————※58	後藤明生 ————※684	小峰隆夫 ————※957
河野一郎 ————※412	小長谷有紀(編) -※1848	小宮正安 ————2096
—————※640	小西一雄 ————※1212	—————※1715
河野至恩 ————※2255	小西甚一 ————※393	小牟田哲彦 ————※2152
河野修一郎 ————※1558	小西豊治 ————※1850	—————※2275
河野友美 ————※378	小西 宏 ————※1602	小山慶太 ————※1529
—————※486	木幡 寛 ————※1522	小山鉄郎 ————※2071
河野豊弘 ————※927	—————※1863	A・ゴルフフスキー
神野志隆光 ————1436	小林章夫 ————1283	—————※274
—————※1776	—————※1023	—————※319
—————※1914	—————※1078	近藤 治 ————※456
郷原信郎 ————1978	—————※1118	近藤 健 ————※1956
—————※2252	—————※1452	近藤大介 ————2369
香原志勢 ————※816	小林一博 ————※558	—————2480
神山四郎 ————※38	小林寛道 ————※1735	—————2602
合山 究 ————※1074	小林紀晴 ————2441	—————2680

————※2161	熊谷高幸 ————※1177	黒木 喬 ————※491
桐本東太〈編〉 —※1142	熊澤 弘 ————2592	黒木敏郎 ————※310
桐山桂一 ————※1799	熊代 亨 ————※2249	黒崎 誠 ————※1695
桐山秀樹〈聞き手〉 —2448	熊野剛雄 ————※942	—————※2300
金 哲彦 ————※2037	衆 和彦 ————※1689	黒嶋 敏 ————※2343
—————※2239	久山宗彦 ————※1169	黒田恭一 ————※874
金田一京助 ————※162	G・クラーク ————※560	黒田 清 ————※775
金田一春彦 ————※410	倉沢愛子 ————※1617	黒田基樹 ————2624
近代日本思想研究会	倉澤資成 ————※904	黒田龍之助 ————1701
—————※1688	倉田保雄 ————※789	—————※1959
A・キンブレル ————2434	—————※1197	黒田りよ〈訳〉 ————※625
	倉谷 滋 ————2517	黒沼克史 ————※1474
	倉谷直臣 ————※470	黒野 耐 ————1707
	〈訳編〉 ————※526	—————※1807
	J・クラック ————※1345	—————※1859
	キャロル・グラック 2531	黒羽清隆 ————※778
	C・クラックホーン	—————※779
	—————※255	黒星瑩一 ————※1051
●く	蔵野 勇〈訳〉 ————※785	桑島浩彰 ————2617
草壁焰太 ————※578	倉本一宏 ————2196	桑瀬章二郎 ————2714
久坂部 羊 ————2655	—————2428	桑田秀延 ————※173
—————2724	—————2488	桑原武夫 ————※10
草場公邦 ————※715	—————2505	桑原万寿太郎 ————※132
串田久治 ————※998	—————2649	郡司ベギオ—幸夫
久住真也 ————2462	—————2721	—————※1846
ぐっちーさん ————2423	クーリエ・ジャポン〈編〉	
轡田隆史 ————※1467	—————2601	
工藤順一 ————1468	〈編〉 ————2625	
—————※1643	〈編〉 ————2633	
工藤勇一 ————2628	〈編〉 ————2651	
工藤庸子 ————※1874	栗田 治 ————2720	●け
—————※1896	栗田哲也 ————1679	ケリー伊藤 ————※1225
国枝 栄 ————2546	栗原 優 ————※1492	現代新書編集部〈構成〉
国広哲弥 ————2033	呉 茂一 ————※29	—————2548
—————※1042	—————※92	現代新書編集部〈編〉
—————※1250	F・クレインズ ————2556	—————※726
国谷裕子〈対談〉 ————2387	—————2488	〈編〉 ————※768
久野万太郎 ————※1305	黒井千次 ————648	〈編〉 ————※809
L・クピリヤノヴィッチ	—————1865	〈編〉 ————※813
—————※577	黒鉄ヒロシ〈絵〉 —※1541	〈編〉 ————※850
—————※670	〈絵〉 ————※1607	〈編〉 ————※886
窪島誠一郎 ————※1101	黒川祥子 ————2477	〈編〉 ————※1090
窪田新之助 ————2673		
久保田正文 ————135		

———※2344	川原栄峰	———※468	北川敏男	———※200	
河合隼雄	———590	河原 宏	———※262	北沢方邦	———※171
川合 光	———1813	川人 博	———※1897	———	———※532
河合雅司	———2431	川辺秀美	———※2035	北中正和	———※776
———	———2475	河村小百合	———2696	北西憲二	———2385
———	———2524	河村幹夫	———※944	来村多加史	———※1674
———	———2621	———	———※1061	———	———※1736
———	———2688	川村善樹	———※1333	北村 肇	———※1665
川上和久	———※1201	———	———※1415	北森嘉藏	———※266
———	———※1477	川本 彰	———※507	きたやまおさむ	———2522
河上 肇	———2372	河本 薫	———2218	北山 修	———※851
川喜田二郎	———※111	川本三郎	———※727	———	———※1975
———	———※390	川本崇雄	———※594	橘川武郎	———2145
———	———※475	関西性欲研究会	———※1762	木津川 計	———※716
川北隆雄	———2267	神崎宣武	———※1064	紀野一義	———606
———	———※932	神田裕行	———2067	———	———※657
———	———※1046	菅野覚明	———1560	———	———※912
———	———※2087	———	———1741	木俣 冬	———2427
河北展生	———※149	菅野聡美	———※1815	金 敬哲	———2549
川北 稔	———2070	上林茂暢	———※974	金 思輝	———※289
川口和久	———※1460			キム・ジョンキュー	———
川口邦雄	———※692			———	———※1831
———	———739			金 聖響	———※1915
川崎淳之助	———※907			———	———※1990
川崎大助	———2329			———	———※2132
川崎義祐	———※731	●き		木村明生	———※856
川島弘三	———※1012	鬼界彰夫	———1675	木村和美	———2573
川島宙次	———※528	菊地敬一	———※137	木村 栄	———※1296
川島隆太	———※1716	菊池英博	———※2181	木村重信	———※307
川尻信夫	———※286	菊地大樹	———2577	———	———※402
河瀬 誠	———※1766	菊池理夫	———※1875	木村 駿	———※206
河田雅圭	———※983	菊池正史	———2507	木村俊介	———※2129
川田 稔	———2190	菊池良生	———1282	木村草太	———2387
———	———2272	———	———1587	木村 剛	———※1713
———	———2289	———	———1673	木村 敏	———※331
———	———2319	———	———2685	木村盛世	———※2026
川戸貴史	———2575	———	———※1732	木村裕一	———1708
川西政明	———※1270	私市正年	———※1291	久新大四郎	———※1913
河野健二	———※110	岸見一郎	———2406	及能正男	———※872
河野重行	———※1455	———	———2561	———	———※1397
川端康成	———180	———	———2687	許 光俊	———2547
川端由美	———2617	———	———2700	———	———2693

加来耕三	—————2380	—————※2197	兼本浩祐	—————2692	
岳南	—————※1232	加藤延夫	—————※1771	狩野直禎	—————※761
鹿毛敏夫	—————2723	加藤尚武	—————※857	—————	—————※853
加護野忠男	—————※890	加藤秀俊	—————※115	加納喜光	—————※954
笠島準一	—————※810	—————	—————※379	叶内拓哉	—————※746
笠原一男	—————※178	—————	—————※380	樺島忠夫	—————587
笠原敏彦	—————2317	—————	—————※381	樺山紘一	—————※1589
笠原嘉	—————1289	—————	—————※387	我部政明	—————※1608
—————	—————※901	—————	—————※515	鎌倉昇	—————※42
風間研	—————※982	—————	—————※516	—————	—————※112
風間八宏	—————2468	—————	—————※647	鎌田茂雄	—————※1341
加地伸行	—————※527	—————	—————※728	鎌田浩毅	—————※1972
—————	—————※756	加藤仁	—————※2015	鎌田真彰	—————※1546
鹿島茂	—————1667	加藤寛	—————※130	神里達博	—————2312
—————	—————※1076	—————	—————※2121	神島二郎	—————※403
梶村秀樹	—————※460	加藤博	—————※1832	上西朗夫	—————※796
梶山雄一	—————※711	加藤正明	—————※193	神沼克伊	—————※899
柏木恵子	—————※2090	加藤理文	—————2405	神谷不二〈監訳〉	—————※360
柏木繁男	—————※205	加藤祐三	—————※600	龟石倫子	—————2525
柏木博	—————1719	加藤陽子	—————1599	龟山郁夫	—————2656
—————	—————2124	門倉貴史	—————※2047	茅田俊一	—————※1369
—————	—————※864	金井郁夫	—————※557	萱野稔人	—————2290
梶原正昭	—————※120	金関寿夫	—————※701	茅野良男	—————※168
春日キスヨ	—————※2082	金谷治	—————※303	—————	—————※203
春日武彦	—————※1744	兼岩正夫	—————※313	—————	—————※308
—————	—————※2160	鐘ヶ江信光	—————※23	香山リカ	—————1962
春日直樹	—————※1645	金子勇	—————※1236	—————	—————※1456
粕谷甲一	—————※794	金子史朗	—————※328	—————	—————※1740
加須屋誠	—————2527	—————	—————※398	—————	—————※1852
加太こうじ	—————※599	—————	—————※489	—————	—————※1889
片岡則夫	—————2511	—————	—————※548	—————	—————※2044
片桐一男	—————※1377	—————	—————※584	—————	—————※2101
片山宗臣	—————※1497	金子兜太	—————※363	唐津一	—————※237
片山泰久	—————※7	—————	—————※591	J・ガラルダ	—————※955
勝見洋一	—————※1502	金子拓	—————2278	—————	—————※1124
加藤恭子	—————※1122	金子不二夫〈訳〉	—————※469	—————	—————※1272
〈編訳〉	—————※1288	金子勝	—————※1721	P・カリー	—————※1205
加藤耕一	—————※1991	金子隆一	—————※815	刈間文俊〈訳〉	—————※1008
加藤周一	—————※512	—————	—————※861	荻谷剛彦	—————1866
加藤隆	—————1609	金丸由雄〈訳〉	—————※255	河合太介	—————1926
—————	—————※2164	金光不二夫〈訳〉	—————※577	—————	—————※2056
加藤隆則	—————2123	〈訳〉	—————※670	川合伸幸	—————2444

————※2241	————2465	《訳》——※233
岡崎寛徳——※1974	————※2084	小野 泉——※2061
岡崎守恭——2460	————※2179	小野健一——※618
小笠原喜康——2498	尾川正二——※433	小野俊太郎——※1901
————2511	————※654	小野信爾——※455
————※1603	荻上チキ——※1998	小野経男——※1691
————※1677	荻野恒一——※211	小野雅章——2701
————※1806	荻原和樹——2694	小野良太——※2063
————※2021	奥 真也——2586	小畠郁生《訳》——※1205
岡田明憲——※888	奥津文夫——※951	小原 信——※357
————※1115	奥野克巳——2718	小原由紀子——※1496
岡田喜秋——※389	奥野修司——2502	小原秀雄《編著》——※544
岡田 充——※1649	————※1880	小尾敏夫——※1060
岡田英弘——1761	小熊英二——2168	臈谷 寿——1322
岡田美智男——2433	————2528	小俣和一郎——※1363
岡田光雄——※690	————2660	————※2049
岡堂哲雄——※800	奥村禎秀——※1864	尾本恵市——2515
————※1228	小倉紀藏——※1430	P・オリバー——※1908
岡庭 昇——※570	————※1536	A・オレイニコフ——※469
岡野憲一郎——※1519	————※1819	
岡野友彦——※1690	小倉純二——※1730	
岡部伊都子——※273	小栗純子——※419	
————※353	小此木啓吾——1585	
————※354	————※239	
————※1121	————※812	●か
岡部恒治——※644	尾崎茂雄——※573	海津一朗——※1243
岡部朗一——※1194	————※619	貝塚茂樹——13
岡村多佳夫——※1067	小沢重男——※545	————※104
岡本 薫——※1826	押村 高——1961	戒能通孝——※98
岡本浩一——※1435	織田正吉——706	海部美知——※2203
岡本太郎——※304	————※808	海保博之——※836
岡本 真——※2187	————※975	加賀乙彦——※343
岡本 勝——※1284	織田武雄——※368	————※593
岡山誠司——※639	————※369	加賀野井秀一——1248
小川和佑——※585	小田 実——※758	————※1459
小川和也《かざなり》	小田中聰樹——1145	R・R・カーカフ——※1091
————※2019	越智治雄——※395	加賀美雅弘——※1047
小川和也《かざや》—2283	落合淳思——※1905	————※1361
小川捷之——※704	————※2018	鏡 リュウジ——2424
小川淳也——2622	落合仁司——※1392	加賀山 弘《編》——※727
小川 忠——※1669	乙武洋匡——※2198	————※793
小川仁志——2290	尾鍋輝彦《訳》——※229	柿崎明二——※1964

—————2716	大江 建 ———※1615	太田龍朗(監訳) -※1098
NHKスペシャル『メルト ダウン』取材班 —2295	大岡 信 ———※1170	太田時男 ———※371
—————2443	—————※1171	—————※598
NHKミャンマープロジ ェクト ———2664	—————※1172	太田秀通 ———※222
榎本博明 ———1586	—————※1173	大谷浩己 ———※1441
江畑謙介 ———※1319	—————※1174	大津秀一 ———2629
—————※1375	大形 徹 ———※1108	大塚英志 ———※1553
—————※1543	大角 修 ———2449	—————※1646
—————※1594	大川慎太郎 ———2378	—————※1703
—————※1739	—————2599	—————※1957
江原昭善 ———※659	大川弥生 ———1706	—————※2043
海老坂 武 ———※2175	—————2207	大塚啓二郎 ———※1479
江村 洋 ———1017	大川玲子 ———※1711	大塚初重 ———※2154
—————1151	大木幸介 ———※680	大西英文 ———1353
遠藤 薫(編著) -※2136	大久保健晴 ———2699	大西みつぐ ———※1364
遠藤哲夫 ———※883	大久保幸夫 ———※1997	大西康之 ———2426
遠藤秀紀 ———※1828	大熊 正 ———※635	大貫良夫 ———※1084
	大隈秀夫 ———※1644	大野健一 ———2031
	大河内一男 ———※75	大野 純 ———※441
	—————※290	大野典也 ———2191
	大崎裕史 ———※1595	大野裕之 ———2419
	大澤昭彦 ———※2301	大野正義 ———※1879
	大澤武男 ———1080	大野盛雄 ———※246
	—————1249	大野 裕 ———2105
	—————1572	大庭 健 ———※1651
	—————※1329	—————※1821
	—————※1937	大原健士郎 ———※622
●お	大澤真幸 ———2100	大平貴之 ———2374
笈川博一 ———※1100	—————2182	大町陽一郎 ———※51
老松克博 ———2637	—————2391	大村皓一 ———※1555
扇谷正造 ———※54	—————2500	大森真一郎 ———※292
—————※535	大治朋子 ———※2227	大森曹玄 ———※709
—————※572	大鹿靖明(編著) -※2276	岡 潔 ———※5
小江慶雄 ———※404	大島一洋 ———※1854	—————※76
大石慎三郎 ———1258	大島泰郎 ———※1471	—————※107
—————※1257	大島隆之 ———2686	—————※191
—————※1259	大島直政 ———※546	—————※204
—————※1260	—————※629	岡井 隆(編) ———※754
—————※1261	大島保彦 ———※1546	岡倉登志 ———※1031
大出 晃 ———※48	太田愛人 ———※795	岡倉徹志 ———※913
大内ジャネット ———1285	太田次郎 ———※630	岡崎勝世 ———1321
大内 博 ———※1106	—————※769	—————1687
—————※1164		
—————※1285		
大江志乃夫 ———※209		



磯貝芳郎	——※714	——※1933	井上 宏	——※738	
	——※843	いとうせいこう	——※865		
磯田道史	——2488	伊藤清司	——※306	井上寛司	——2109
〈解説〉	——2556	伊藤節子	——※2170	井上史雄	——※1450
磯部忠正	——※45	伊藤智永	——2519		——※1672
	——※465	伊藤 真	——※1877	井上宗迪	——※976
	——※712	伊藤順康	——※1011	井上泰男	——※549
磯村隆文	——※450	伊藤道治	——※451	井上義朗	——※2174
磯山 雅	——1025	伊藤之雄	——2583	井上隆一郎	——※948
井田徹治	——※1804	稲垣重雄	——※1939		——※988
板坂 元	——258	稲垣久和	——※1919	猪木正文	——※32
	——327	稲垣吉彦	——※1449		——※68
	——※305	稲垣良典	——2514		——※114
〈訳〉	——※345	稲穂健市	——2412	井野瀬久美恵	——※1407
	——※375	井波律子	——※1139	井原哲夫	——※941
	——※376	稲村 博	——※611		——※1018
	——※394		——※750	伊原 弘	——※1161
	——※485	稲本 正	——※737		——※1215
	——※505	犬丸 治	——※1654	今井雅晴	——※1277
市井三郎	——※121	井上 薫	——※1893	今泉忠明	——※961
市井雅哉〈監訳〉	——※1198	井上一馬	——※1203	今尾恵介	——※1995
市川健夫	——※879		——※1428	今里義和	——※1640
市川 浩	——※148	井上 清	——※430	今谷 明	——1892
〈編〉	——※225	井上浩一	——※1032		——※1096
市川 宏	——※962	井上 栄	——※1523	今津 晃	——※318
市野川容孝	——1511	井上章一	——※1551	今中次磨	——※136
一ノ瀬俊也	——1982	〈編〉	——※1762	今西錦司	——※47
	——2243	〈編〉	——※2034	今道友信	——324
	——2438	井上昌次郎	——※887		——※272
	——2557		——※1514	今村 核	——2157
市村真一	——※145	井上真吾	——2348	今村仁司〈編〉	——921
	——※219	井上忠司	——※641		——※788
市村佑一	——※1260		——※1182		——※1000
井出孫六	——※531	井上太郎	——※830	〈編〉	——※1040
糸魚川淳二	——※326	井上寿一	——2098	井村君江	——※1419
伊藤亜紀	——※2078		——2376	井本農一	——※151
伊藤勝彦	——※202		——2453	居安 正	——※747
伊藤秀一	——※461		——2501	入江 昭	——1811
伊東 潤	——2248		——2550		——2257
伊東俊太郎〈編〉	——※267		——※1999	入谷敏男	——※248
伊藤 進	——※1408		——※2266	入不二基義	——1638
	——※1777	井上治代	——※1798	岩井 寛	——824

荒川洋平	———2013		———※1580	伊佐進一	———※2075
荒木経惟	———※1371	生田 哲	———※1290	石 弘光	———※1229
荒木博之	———※320		———※1728		———※1339
	———※438	池内 紀	———※1039		———※1590
新崎盛紀	———※508		———※1188		———※2147
嵐山光三郎	———※1569		———※1720	石井 暁	———2496
	———※1710	池内 恵	———1588	石井威望	———※703
	———※1934	生内玲子	———※732	石城謙吉	———※1220
荒谷大輔	———2536	池上 彰	———1620	石川晶康	———※1702
有田 潤	———※185		———2003	石川一郎	———2355
有馬頼底	———2337		———2188	石川忠司	———※1791
G・C・アレン	———※434		———2620	石川理夫	———2404
安西徹雄〈訳〉	———※653		———2643	石黒 浩	———2023
	———※686		———2667	石黒マリローズ	※1222
安藤寿康	———2492		———2712		———※1386
安藤彦太郎〈編〉	———※298		———※2054		———※1545
安藤優一郎	———※1931	池上季実子	———※2271	石坂正藏	———※182
安藤良雄	———※113	池上俊一	———1019	石崎浩一郎	———※580
安藤佳則	———※1507		———※1125	石澤靖治	———※1725
		池上正治	———1126	石澤良昭	———※1295
			———※1056	石田 取	———※1604
			———※1244	石田かおり	———※1531
		池上正樹	———2286	石田一良	———※358
		池川玲子	———2284	石田春夫	———※616
		池田 皓	———※197		———※763
●い		池田 潔	———※67		———※949
伊井直行	———※2051	池田清彦	———2675	石田保昭	———※227
飯沢耕太郎	———1287	池田純一	———※2093	石田勇治	———2318
飯島裕一	———※1423		———※2315	石塚幸雄	———※662
	———※2211	池田次郎	———※668	石原 理	———2383
	———※2269	池田比佐子〈訳〉	———※1345	石原健二	———※126
飯田経夫	———※581	池田真朗	———2186	石原千秋	———1935
	———※655	池田弥三郎	———2		———※1743
	———※723		———※502		———※1882
	———※991	生月 誠〈訳〉	———※607	石原藤夫	———※815
飯田哲也	———※2112		———※1119		———※847
飯塚関外	———※153		———※1245	石丸次郎	———※1621
飯沼健真	———※900		———※1324	泉 靖一	———※190
家田裕子	———※1072		———※1494	和泉雅人	———※1532
家近良樹	———2639	池見 陽	———1241	泉谷閑示	———1862
五百沢智也	———※821	池見西次郎	———※166		———2195
伊賀 隆	———※574	池宮伸次	———2539	伊勢崎賢治	———※1767
五十嵐太郎	———1867				

## 著者名索引

数字は書目番号です。  
※は品切れの書目で、解説文は掲載していません。

### ●あ

- |         |    |       |            |    |       |               |    |       |
|---------|----|-------|------------|----|-------|---------------|----|-------|
| 逢沢 明    | —— | ※1113 | 青島広志       | —— | ※1731 | 芦沢一洋          | —— | ※736  |
| 相沢 久    | —— | ※583  | 青柳まち子      | —— | ※476  | 足田輝一          | —— | ※708  |
| 相沢 博    | —— | ※172  | 青山拓央       | —— | 2555  | アシックス スポーツ工学  | —— | 2541  |
| 合田周平    | —— | ※181  | 青山 南       | —— | ※727  | 研究所           | —— | 2541  |
| 会田弘継    | —— | ※1184 | 赤石 英       | —— | ※129  | 飛鳥井雅道         | —— | ※429  |
| 会田雄次    | —— | 293   | 赤坂憲雄       | —— | ※1190 | 東 照二          | —— | ※1515 |
|         | —— | ※84   | 赤坂真理       | —— | 1921  | 東 浩紀          | —— | 1575  |
|         | —— | ※145  |            | —— | 2246  |               | —— | 1883  |
|         | —— | ※314  | 赤瀬 浩       | —— | 2630  |               | —— | 2719  |
|         | —— | ※413  | 赤塚祝子       | —— | ※1591 |               | —— | ※1957 |
| 相場 均    | —— | ※36   | 赤塚行雄       | —— | ※352  | 麻生磯次          | —— | ※198  |
|         | —— | ※184  | 上尾信也       | —— | ※1499 | 安宅和人          | —— | 2539  |
| 相原 茂    | —— | 987   | 秋岡芳夫       | —— | ※346  | 安達忠夫          | —— | ※839  |
|         | —— | ※1342 | 秋月龍珉       | —— | 217   |               | —— | ※892  |
| 相原博之    | —— | ※1910 |            | —— | ※103  |               | —— | ※1716 |
| 青井和夫    | —— | ※367  | 秋野 豊       | —— | ※1093 | 阿辻哲次          | —— | 2563  |
| 青江舜二郎   | —— | ※340  | 秋山さと子      | —— | ※613  |               | —— | ※1193 |
| 青木 聡〈訳〉 | —— | ※1570 |            | —— | ※677  |               | —— | ※1751 |
| 青木 理    | —— | 1488  |            | —— | ※841  | ヴァレリー・アフアナシエフ | —— | 2389  |
|         | —— | ※1836 |            | —— | ※914  | 阿部 彩          | —— | 2135  |
| 青木 薫    | —— | 2219  | 穂山貞登       | —— | ※177  | 阿部和義          | —— | ※1784 |
| 青木 健    | —— | 2159  | 吾郷真一       | —— | ※1906 | 阿部勝巳〈訳〉       | —— | ※1344 |
|         | —— | 2582  | 浅井信雄       | —— | ※845  | 安倍北夫          | —— | ※364  |
| 青木晴夫    | —— | ※543  | 浅井基文       | —— | ※1053 | 阿部恭子          | —— | 2722  |
|         | —— | ※757  | 朝倉文市       | —— | ※1251 | 阿部謹也          | —— | 1262  |
| 青木美希    | —— | 2472  | 浅田 敏〈訳〉    | —— | ※373  |               | —— | 1358  |
| 青木道彦    | —— | 1486  | 浅田秀子       | —— | ※1550 | 阿部恒久          | —— | ※2217 |
| 青木やよひ   | —— | ※1538 | 麻田雅文       | —— | 2476  | 阿部尚樹          | —— | 2342  |
|         |    |       | 浅田 實       | —— | 959   | 安倍能成          | —— | ※71   |
|         |    |       | 浅野秀剛       | —— | ※2058 | 天児 慧          | —— | ※1989 |
|         |    |       | 浅野楯英       | —— | ※1298 | 天野 彰          | —— | ※818  |
|         |    |       | 浅野裕一       | —— | 1163  | 兩宮処凜          | —— | ※1983 |
|         |    |       | 朝日新聞経済部〈編〉 | —— |       | 鮎川 潤          | —— | ※1365 |
|         |    |       |            | —— | ※805  | 荒 憲治郎         | —— | ※163  |
|         |    |       |            | —— | ※876  | 荒 正人          | —— | ※101  |
|         |    |       |            | —— | ※1154 | 新井一二三         | —— | ※1753 |
|         |    |       | 浅見ペーターベン   | —— |       | 荒井正道          | —— | ※49   |
|         |    |       |            | —— | ※1463 | 荒川幾男          | —— | ※223  |

「論語」を読む	※756	私の紅衛兵時代	※1008
論証のレトリック	※1298	私の大学	※79
論点別 昭和史	電2550	私のニッポン日記	※653
論文の書き方	電2660	私のヒューマニズム	※6
論文をどう書くか	※576	私の万葉集(一)	※1170
論理思考の鍛え方	※1729	私の万葉集(二)	※1171
論理に強い子どもを育てる	※1643	私の万葉集(三)	※1172
		私の万葉集(四)	※1173
		私の万葉集(五)	※1174
		私はどうして私なのか	※1651
		和田の130キロ台はなぜ打ちにくいか	※1796
			※1796
		倭の五王の謎	※637
		ワープロ書齋術	※767
		笑いの人間関係	※738
		笑いの文学	※198
		笑う禅僧	※2080
		われわれはどんな時代を生きているか	※1400
			※1400
<b>●わ</b>			
わが愛する天折画家たち	※1101		
若い世代のための人生論	※45		
和解という知恵	電※2260		
わが子に教える作文教室	電1810		
若さに贈る	※74		
我が詩的自伝	電2364		
「若作りうつ」社会	電※2249		
わが友モーツァルト	※830		
我が身を守る法律知識	電2697		
若者殺しの時代	電1837		
若者のための政治マニュアル	電※1969		
	電2177		
わかりあえないことから	電2177		
分かりやすい日本語の書き方	※1644		
わかりやすく〈伝える〉技術	電2003		
〈わかりやすさ〉の勉強法	電※2054		
「別れ」の深層心理	※1143		
ワーグナー	※1033		
「分ける」こと「わかる」こと	※651		
倭国	電2634		
倭国の世界・新書日本史①	※423		
早稲田と慶応	電1958		
私・今・そして神	電1745		
私たちはどんな世界を生きているか	電2591		
	電2172		
私とは何か	電2172		
〈わたし〉とは何だろう	※1323		
私の歩いて来た道	※162		
私の憲法勉強	※53		

●り

- リアルのゆくえ ㊦※1957  
理系発想の文章術 ㊦※1616  
離婚の経済学 ㊦2570  
リスクに背を向ける日本人 ㊦※2073  
リストカット ㊦※1912  
リストラと能力主義 ㊦※1489  
理性の限界 ㊦1948  
理想の病院 ㊦※1495  
リーダーシップの心理学 ㊦725  
立志・苦学・出世 ㊦※1038  
律令制の虚実・新書日本史② ㊦※424  
李白 ㊦※213  
流通列島の誕生・新書江戸時代⑤

- ㊦※1261  
良寛=魂の美食家 ㊦※1226  
量子力学の哲学 ㊦2122  
稟議と根回し ㊦※772  
『臨濟録』を読む ㊦2337  
輪廻転生を考える ㊦※1303  
輪廻転生 ㊦2333  
輪廻と解脱 ㊦※953  
倫理という力 ㊦1544

●る

- ルネサンス・新書西洋史④ ㊦※314

●れ

- 黎明 日本左翼史 ㊦2712

- 歴史家が見る現代世界 ㊦2257  
歴史学者という病 ㊦2670  
歴史から何を学ぶか ㊦※216  
歴史と外交 ㊦※1971  
歴史入門 ㊦※38  
歴史認識を乗り越える ㊦※1819  
歴史を学ぶということ ㊦1811  
レギュレーション理論 ㊦※1146  
レポート・プレゼンに強くなる グラフ  
の表現術 ㊦※1773  
レムリア大陸の謎 ㊦※562  
恋愛の英語 ㊦※1285  
錬金術 ㊦※1128  
蓮如 ㊦※550

●ろ

- 老後がこわい ㊦※1852  
老荘を読む ㊦※846  
労働CSR入門 ㊦※1906  
六〇年安保闘争 ㊦※814  
ロシア語のすすめ ㊦※95  
ロシア市場経済の迷走 ㊦※1160  
ロシアはどこに行くのか ㊦※1968  
ロシアを読み解く ㊦※1255  
ロスチャイルド家 ㊦1252  
ロック ㊦※776  
ロックの歴史 ㊦2270  
ロビイスト ㊦※1060  
ロボットとは何か ㊦2023  
ロボットの心 ㊦1582  
ローマ五賢帝 ㊦※1389  
ローマ人の愛と性 ㊦※1476  
ローマと長安 ㊦※992  
ローマはなぜ滅んだか ㊦968  
ロマン派芸術の世界 ㊦※446  
ロマン派の交響曲 ㊦※1990  
ロマン・ロランの言葉と思想 ㊦※96  
論語 ㊦13

山本勘助	—————	※1872
山本七平の思想	—————	㊦2440
山を歩き山を画く	—————	※821
弥生時代の歴史	—————	㊦2330

●ゆ

U	—————	㊦2598
遊廓と日本人	—————	㊦2638
勇敢な日本経済論	—————	㊦2423
友情について	—————	※347
優生学と人間社会	—————	—1511
遊牧騎馬民族国家	—————	※116
遊牧民族の知恵	—————	※546
「幽霊屋敷」の文化史	—————	※1991
ゆかいな認知症	—————	㊦2502
ユーゴ紛争	—————	※1168
「豊かさ」とは何か	—————	※581
「豊かさ」人間の時代	—————	※941
「豊かさ」のあとに	—————	※723
「豊かさ」のパラドックス	—————	※827
ゆたかな言語生活のために	—————	※208
ユダヤ人	—————	—834
ユダヤ人ゲッター	—————	※1329
ユダヤ人 最後の楽園	—————	※1937
ユダヤ人とドイツ	—————	—1080
ユダヤ人とローマ帝国	—————	—1572
「ゆとり」とは何か	—————	※655
ユニークな日本人	—————	※560
ユーミンの罪	—————	㊦2233
夢診断	—————	※613
ユーロ経済を読む	—————	※1445
ユングとオカルト	—————	※841
ユングの心理学	—————	※677
ユングの性格分析	—————	※914

●よ

妖精学入門	—————	※1419
腰痛は歩いて治す	—————	㊦2554
備兵の二千年史	—————	㊦1587
ヨーガの哲学	—————	※924
欲ばり過ぎるニッポンの教育	—————	㊦1866
「欲望」と資本主義	—————	㊦1150
四字熟語	—————	※1264
吉田茂と昭和史	—————	㊦1999
義経と日本人	—————	※94
予習という病	—————	※2024
呼鈴の科学	—————	※2244
読み替えられた日本神話	—————	※1871
甦るフロイト思想	—————	※855
「黄泉の国」の考古学	—————	※1330
読む技法・書く技法	—————	※1268
読むことからの出発	—————	※726
読む哲学事典	—————	㊦1839
頼朝と義時	—————	㊦2636
夜の画家たち	—————	※519
ヨーロッパ型資本主義	—————	㊦1628
ヨーロッパ「近代」の終焉	—————	—1088
ヨーロッパの個人主義	—————	※176
〈弱いロボット〉の思考	—————	㊦2433
40歳からは自由に生きる	—————	㊦2675

●ら

ラインとスタッフ	—————	※854
羅漢	—————	※471
ラカンの精神分析	—————	㊦1278
落語の国からのぞいてみれば	—————	㊦1947
落語論	—————	㊦2007
「らしさ」の心理学	—————	※797
ラテン文学のすすめ	—————	※88
ラノベのなかの現代日本	—————	㊦2213
ラーメンと愛国	—————	㊦2127
乱世に生きる中国人の知恵	—————	※55

無限論の教室	■1420
「無常」の構造	※465
ムー大陸の謎	※489
無敵のラーメン論	※1595
〈むなしさ〉の心理学	1372
「無」の思想	※207
村上春樹を読みつくす	※2071
紫式部と藤原道長	■2721
室町お坊さん物語	※1457

### ●め

名演奏のクラシック	※993
迷宮学入門	※1532
名君と賢臣	※1313
名山へのまなざし	※1851
明治維新 1858-1881	■2031
「明治維新」の哲学	※121
明治国家をつくった人びと	■2212
明治の時代	※124
銘酒誕生	※1311
名訳と誤訳	※935
明暦の大火	※491
メジャーリーグvs.日本野球	※1555
メタファー思考	1247
メッカとリヤド	※913
メディア資本主義	※1475
メディチ家	1442
メルヘンの深層	※1238
メルヘンの世界	※172

### ●も

毛沢東と周恩来	※1070
「黙示録」を読みとく	※1434
文字世界で読む文明論	■2578

モスラの精神史	※1901
モダン・アートへの招待	※307
モーツァルト	※710
モーツァルトを「造った」男	■2096
モテたい理由	■1921
本居宣長	※138
モナ・リザの罨	※1838
物語 パリの歴史	■2560
物語論	※2129
物見遊山と日本人	※1064
桃太郎と邪馬台国	※1737
森鷗外	※467
森田療法	■824
森の力	■※2204
森の文化史	※612
森はよみがえる	※1220
モンゴル帝国の興亡(上)	1306
モンゴル帝国の興亡(下)	1307
問題解決型リーダーシップ	※1650
問題解決の方法	※639
「問題」としての人生	※758
問題発見力を鍛える	■2580

### ●や

野球とアンパン	※1666
やさしさをまとった殲滅の時代	■※2232
野心のすすめ	■2201
野生チンパンジーの社会	※602
野生哲学	■※2107
野性との対話	※785
野鳥	※746
やばいデジタル	■2594
「野蛮」の発見	※1031
山歩きの楽しみ	※692
邪馬台国をとらえなおす	■※2154
大和三山の古代	■※1952
「やまとだまし」の文化史	※269



ベースボールと野球道	※1052
ベートーヴェンの交響曲	※1915
ベートーヴェン〈不滅の恋人〉の謎を解く	※1538
ベトナムの現在	※1334
ペーパーバック入門	※803
ペリー提督 海洋人の肖像	※1822
ペルシア帝国	電2582
ペルソナ	電2589
ヘルピングの心理学	※1091
ベルリン	※1136
変革者の思想	※242
変革の企業文化	※927
辺境に生きる	※795
弁護士	※9
弁護士	※978
弁証法入門	※203
弁証法はどういう科学か	電159
「片頭痛」からの卒業	電2478
〈変態〉の時代	※1815
変な経営論 澤田秀雄インタビュー	電2448
変ぼうする経営者	※35
変貌する未来	電2625

## ●ほ

法医学は考える	※129
封建制社会・新書西洋史③	※313
法律より怖い「会社の掟」	※1939
僕がメディアで伝えたいこと	電※2223
ぼくも算数が苦手だった	※1946
ぼくらの昆虫記	※1405
「法華経」を読む	※657
星空を歩く	※1503
保守の真髓	電2455
戊辰雪冤	※2012
ポスト大企業体制	※1018

ポスト不況の日本経済	※1212
渤海国の謎	※1104
没落のすすめ	※526
炎の牛肉教室!	電2456
ほめるな	※1777
ホロコーストの罪と罰	※1271
本社はわかってくれない	電2308
本当に君は総理大臣になれないのか	電2622
ほんとうの生き方を求めて	※798
ほんとうの学校を求めて	※729
〈ほんとうの自分〉のつくり方	1586
ほんとうの親鸞	電※2150
ほんとうの定年後	電2671
本とは何か	※558
本音の沖縄問題	電※2156
本はどう読むか	電297
本物の英語力	電2353
本物の名湯ベスト100	電2404
翻訳教室	※640
翻訳上達法	※412
翻訳読本	※540

## ●ま

マイクロマシン	※1147
マイケル・ジャクソン	※2045
マイルス・デイヴィス	※1490
魔女とカルトのドイツ史	1705
魔女と聖女	※1125
まだ、タバコですか?	※1898
まだ間に合う	電2650
まちがいだらけの日本語文法	1618
「街的」ということ	※1856
マックス・ウェーバーを読む	電2279
「松代大本營」の真実	※1209
祭の社会学	※582
まなごしの人間関係	※641
学び続ける力	電2188

- 物理学者、ゴミと闘う —— ※1887  
 物理学の人生論 —— ※32  
 物理学はむずかしくない —— ※437  
 物理の世界 —— ※7  
 プナ帯と日本人 —— ※879  
 船旅を楽しむ本 —— ※869  
 不妊治療は日本人を幸せにするか  
 —— ※1602  
 不服従の思想 —— ※227  
 踏みはずす美術史 —— ※1404  
 不愉快な現実 —— ㊦ ※2149  
 不要なクスリ 無用な手術 —— ㊦ ※2395  
 プライベートバンカー 驚異の資産運  
 用砲 —— ㊦ ※2467  
 プラス暗示の心理学 —— ※1245  
 ブラックボックス的人間論 —— ※541  
 ブラック・ムービー —— ※1428  
 プラネタリウム男 —— ㊦ ※2374  
 プラハの憂鬱 —— ※559  
 フランス現代哲学の最前線 —— ※1263  
 フランス語の新しい学び方 —— ※610  
 フランス語のすすめ —— ※17  
 フランス文学と愛 —— ㊦ ※2228  
 フランスワインの12ヵ月 —— ※1441  
 ブリッジマンの技術 —— ※1972  
 「ふり」の自己分析 —— ※949  
 フリーメイソンとモーツァルト ※1369  
 フリーメイソン —— ※930  
 フリーライダー —— ※2056  
 ブルゴニョ家 —— ※1314  
 ふるさと考 —— ※401  
 ブルシット・ジョブの謎 —— ㊦ ※2645  
 フルーツひとつばなし —— ㊦ ※2222  
 ブルボン朝 —— ㊦ ※2526  
 ブレイン・イングリッシュのすすめ  
 —— ※1225  
 ブレーン政治 —— ※796  
 フロイト —— ※383  
 フロイト以後 —— ※1094  
 フロイト思想のキーワード —— 1585  
 不老不死 —— ※1108  
 プロ家庭教師の技 —— ※1678  
 プロ野球 最強の助っ人論 —— ㊦ ※2305  
 プロ野球の一流たち —— ㊦ ※1941  
 プロ野球 名人たちの証言 —— ㊦ ※2256  
 フロンティアと摩天楼・新書アメリカ  
 合衆国史② —— ※933  
 文科系のパソコン —— ※730  
 文化人類学の考え方 —— ※152  
 文化人類学の世界 —— ※255  
 文化大革命 —— ㊦ ※971  
 文科の発想・理科の発想 —— ※630  
 文系にもわかる量子論 —— ※1619  
 文系のための数学教室 —— ㊦ ※1759  
 文章構成法 —— 587  
 文章の書き方 —— ※654  
 文章表現の技術 —— ※561  
 粉飾国家 —— ※1721  
 紛争の心理学 —— ※1570  
 文明探偵の冒険 —— ㊦ ※2312  
 文明と狂気 —— ※211  
 文明のあけぼの・新書西洋史① ※311  
 文明の交差点で考える —— ※1256  
 文明の条件 —— ※270  
 分類思考の世界 —— ㊦ ※2014  
  
 ●へ  
 平安京の下級官人 —— ㊦ ※2649  
 米軍再編 —— ※1818  
 米軍と人民解放軍 —— ㊦ ※2277  
 平家物語 —— ※120  
 平家物語の女たち —— ※1424  
 平成・新語×流行語小辞典 —— ※1449  
 「平成の天皇」論 —— ㊦ ※2519  
 平成落語論 —— ※1980  
 米中新冷戦とアフター・コロナ  
 —— ㊦ ※2602  
 米中戦争 —— ㊦ ※2400  
 平和研究入門 —— ※199  
 ヘーゲルを越えるヘーゲル —— ㊦ ※2497

美に生きる	※60	フォン・ノイマンの哲学	☎2608
美について	324	部活があぶない	☎2432
ビバ! メキシコ	※718	不機嫌な職場	☎1926
卑弥呼の謎	※294	武器としての社会類型論	☎※2164
秘密の心理	※812	「複雑系」とは何か	1328
138億年の音楽史	☎2381	福沢諭吉	※110
百人一首 うたものがたり	☎2612	福沢諭吉	☎2699
百人一首の謎	※975	福島第一原発 1号機冷却「失敗の本質」	☎2443
百年前の私たち	※1882	福島第一原発事故 7つの謎	☎2295
ヒューマニズム考	※334	複数の「古代」	※1914
氷河時代	※414	不屈の棋士	☎2378
表現したい人のためのマンガ入門	※1847	ふしぎなイギリス	☎2317
表現の現場	※1661	ふしぎなキリスト教	☎2100
漂民の記録	※197	不思議な建築	※820
漂流 日本左翼史	☎2667	ふしぎな国道	☎2282
開かれた鎖国	※1377	ふしぎな中国	☎2680
「ひらきこもり」のすすめ	※1631	不思議の国アメリカ	※911
ピラミッドの謎	※554	不思議の国ニッポン	☎2651
「ひらめき」の開発	※762	富士山	※344
琵琶湖水底の謎	※404	武士道とエロス	☎1239
貧困世代	☎2358	武士道の逆襲	☎1741
ヒンドゥー教	1469	不死身の特攻兵	☎2451
貧農史観を見直す・新書江戸時代③	※1259	藤原氏千年	1322
		藤原道長の日常生活	2196
		武装解除	☎※1767
		二つの「競争」	☎※2174
		ふたつの日本	☎2516
		部長って何だ!	☎2593
		部長の資格	☎2236
		「普通がいい」という病	☎1862
		普通という異常	☎2692
		復活への底力	☎2666
		物価の経済学	※450
		仏教入門	☎2532
		仏教のキイ・ワード	※912
		仏教の真実	☎※2220
		仏教の人間観	※192
		仏教発見!	1755
		物質の究極は何だろうか	※964
		仏像に想う(上)	※353
		仏像に想う(下)	※354
●ふ			
ファッションの技法	※1374		
ファンタジーの世界	※517		
不安と祈りの心理	※579		
〈不安な時代〉の精神病理	☎※2101		
不安に克つ思考	☎2633		
不安の心理学	※1324		
FIFO式 英語「速読速解」法	※1670		
フィールド・ワークの記録	※190		
フィールドワークの方法	※688		
風水と天皇陵	※1736		
風蘭	※5		

ハプスブルク家	■1017	東インド会社	—959
ハプスブルク家の女たち	■1151	光源氏の一生	—2
ハプスブルク家の宮殿	※1715	樋口一葉	※277
ハプスブルク帝国	■2442	ヒゲの日本近現代史	■※2217
ハプスブルク帝国を旅する	※1361	非言語表現の威力	■2273
ハプスブルクをつくった男	※1732	飛行機の戦争 1914-1945	■2438
パプ・大英帝国の社交場	※1118	〈非婚〉のすすめ	※1338
パブリック・スクール	※1134	ビジネス英語の方法	※646
バブルとデフレ	※1431	ビジネス・エシックス	※1696
はやぶさ2の真実	■※2291	ビジネス文章論	※572
バランス感覚	※769	ビジネスマンの精神科	■※2020
パリ・コレクション	※1144	ビジネスマンのための「行動観察」入門	—
パリ島	※1395		■2125
パリの奇跡	—※986	ビジネスをつくる仕事	■2229
パリの誘惑	※1109	非社会的社交性	■2208
パリ歴史探偵術	※1610	〈美少女〉の現代史	※1718
バルセロナ	※1067	微生物vs.人類	※1771
春の雲	※107	非戦の思想史	※209
パール判決を問い直す	※1954	ひたむきに生きる	—※826
パレエの魔力	※1506	ビッグデータ探偵団	■2539
バロック音楽	※291	ビッグデータの覇者たち	■※2203
ハンガリー狂騒曲	※1072	ヒッチコック	—※819
反教育論	■2195	ヒットの崩壊	■2399
犯罪学入門	※1365	秀吉神話をくつがえす	■※1907
「反」読書法	※1355	人が集まる建築	■2366
ハンナ・アレント	■2677	ビートたけしと北野武	■2417
「反日感情」	※1158	ひとに〈取り入る〉心理学	—※1683
「反日」中国の真実	■※2197	ヒトの本性	■※2344
「般若心経」を読む	—606	人はどう生きるか	—※649
晩年のカント	■2603	人はどう老いるのか	■2724
反米主義	※1956	人はどう死ぬのか	■2655
反米の世界史	※1790	ヒトはなぜ子育てに悩むのか	※1280
万里の長城 攻防三千年史	—※1674	ヒトはなぜことばを使えるか	—
			■※1427
		人はなぜ悩むのか	—※693
		ヒトラーとナチ・ドイツ	■2318
		ヒトラーとユダヤ人	—1249
		ひとり旅の設計	—※833
		ひとり旅の風景	—※605
		ビートルズ	—※851
		ビートルズの謎	■1970
		人を動かす文章術	■※2083

●ひ

ピアニストは語る	■2389
ピアノの名曲	■2446
ヒアリング上達法	—※840

幕臣たちの明治維新	—	■※1931	はじめての認知療法	—	■2105
パクス・アメリカーナの光と陰・新書			はじめてのパソコン	—	※847
アメリカ合衆国史③	—	※938	はじめてのヒアリング	—	※917
パクス・イスラミカの世紀・新書イス			はじめてのビジネス英会話	—	※1217
ラムの世界史②	—	※1166	はじめてのプラトン	—	■2618
白村江	—	1379	はじめてのフランス語	—	※1114
爆発する都市	—	※37	はじめてのポルトガル語	—	■2081
博物学の欲望	—	※1110	はじめての森田療法	—	■2385
博物館の楽しみ方	—	※1207	はじめてのラテン語	—	■1353
幕末の政争	—	※149	はじめてのロシア語	—	※1054
恥と意地	—	※1387	馬車の文化史	—	※1140
恥の構造	—	※658	芭蕉=その人生と芸術	—	■※151
はじめてのアラビア語	—	※1659	走る意味	—	■※2037
はじめてのイタリア語	—	■1396	パスカル	—	※202
はじめての一眼レフ	—	※1364	パズルで遊ぼう	—	※690
はじめてのインド哲学	—	1123	パズルとパラドックス	—	※970
はじめての英会話	—	※806	パソコンが野球を変える!	—	※1497
はじめてのオペラ	—	※967	パソコン入門・基礎の基礎	—	※1299
はじめてのギリシア悲劇	—	※1433	パソコン翻訳の世界	—	※1378
はじめての金融工学	—	※1780	パソコンを疑う	—	※1367
はじめてのクラシック	—	※874	パソコンを鍛える	—	※1417
はじめてのクラシック音楽	—	■2693	パーソナリティ障害とは何か	—	■2180
はじめての経済思想史	—	■2482	はだしの医者	—	※292
はじめての言語学	—	■1701	畑村式「わかる」技術	—	■1809
はじめての言語ゲーム	—	■2004	働くことは生きること	—	※1639
はじめての源氏物語	—	※1049	働くということ	—	648
はじめての現代数学	—	※909	働く。なぜ?	—	■※2230
はじめての構造主義	—	■898	'89・東欧改革	—	※995
はじめての催眠術	—	■2587	八幡神と神仏習合	—	■1904
はじめての死海写本	—	※1693	パチンコと日本人	—	※728
はじめてのジャズ	—	※863	客家	—	■※1057
はじめての進化論	—	※983	バックス・チャイナ 中華帝国の野望	—	■2369
はじめてのシンセサイザー	—	※928	発想法	—	※634
はじめての人類学	—	■2718	発達障害と人間関係	—	■2611
はじめてのスピノザ	—	■2595	発達障害のいま	—	■2116
はじめてのスペイン語	—	1183	発達障害の子どもたち	—	■1922
はじめての政治哲学	—	■※2084	話すための英語力	—	■2411
はじめての禅	—	※903	パニックの心理	—	※364
はじめての中国語	—	■987	母親はなぜ生きづらいか	—	■※2044
はじめての朝鮮語	—	※687	派閥	—	※707
はじめての〈超ひも理論〉	—	1813	ハーバードで通じる英会話	—	※1691
はじめてのドイツ語	—	1073			

人間の教育	※44
人間の権利	※4
人間の心のふしぎ	※93
人間の思想の歩み	※276
人間の発見と創造	※85
認識論入門	※308
認知症と長寿社会	2079
認知症の「真実」	☎※2292
認知症を知る	☎※2269

### ●ぬ

スードと愛国	☎2284
--------	-------

### ●ね

ネット右翼になった父	☎2691
ネットフリックスの時代	☎2340
ねむり姫の謎	※1462
年金「最終警告」	☎2544
年金の常識	※1305
年金はどう変わるか	※1681
年金をとりもどす法	※1764
年取443万円	☎2684
年代別 医学的に正しい生き方	☎2495

### ●の

ノアの大洪水	※398
ノイローゼ	※22
ノイローゼ 新訂版	※336
脳から見るミュージアム	☎2592
農協の闇	☎2673

脳と音読	※1716
脳と記憶の謎	※1351
脳のなかの身体	☎※1929
脳のはたらき	※196
脳はどこまでわかったか	※1059
「脳疲労」社会	☎※2349
〈能力主義〉の心理学	※1435
能力はどこまでのばせるか	※249
能力を高める 受験勉強の技術	※1781
脳を活かす! 必勝の時間攻略法	※1668
野口英世	※175
信長と天皇	※1096
ノモンハン 責任なき戦い	☎2538

### ●は

バイオエシックス	※759
バイオサイエンス入門	※1149
バイオリズム	※577
俳句とエロス	※1770
俳句と川柳	※1478
俳句の上達法	※882
俳句のたのしさ	※440
俳句を味わう	※666
俳句をつくろう	※1528
排除の空気に唾を吐け	☎※1983
ハイデガー=存在神秘の哲学	1600
ハイデガー『存在と時間』入門	☎2437
ハイデガー哲学入門—『存在と時間』を 読む	☎2341
ハイデガーの哲学	☎2711
ハイテク情報を読みこなす	※852
ハイブリッド戦争	☎2607
バイリンガリズム	※1515
「業隠」の叡智	※1167
墓と葬送の社会史	※1152
萩原朔太郎	※441
白隠禅師	※790

日本町人道	※146	日本のロック名盤ベスト100	㊦2329
日本的経営と人材	※860	日本美の構造	※397
日本的思考の原型	※406	日本百年の宗教	※161
日本的市場経済システム	※1221	日本病	㊦2661
日本哲学の最前線	㊦2627	日本仏教の思想	※1254
日本と中国の百年	※169	日本文学三六五日(上)	※375
「日本」とは何か	※1776	日本文学三六五日(下)	※376
日本の安全保障	※1375	日本文学と風土	※183
日本の神々	※664	日本文化と世界	※280
日本の企業発展史	※1028	日本文化の核心	㊦2566
日本の奇僧・快僧	※1277	日本文化の起源	※108
日本の近代化	※28	日本文化の構造	※278
日本の軍事システム	※1543	日本文化の死角	※478
日本の経営組織	※792	日本文化の東と西	※362
日本の景気は賃金が決める	㊦※2205	日本文化の表情	※283
日本の(地霊)	※1481	日本料理の贅沢	㊦2067
日本の検察	※885	日本列島の将来像	※77
日本の恋の歌	※21	日本列島の歴史	※326
日本の恋の歌	※422	日本を降りる若者たち	※1917
日本の公安警察	㊦1488	日本をきざいた科学	※99
日本の構造	㊦2609	日本を減ぼす教育論議	※1826
日本の国益	㊦2494	日本を減ぼす消費税増税	※2181
日本の国難	㊦2463	日本を減ぼす(世間の良識)	※2126
日本の国防	㊦※2139	日本をみなおす	※14
日本の古代豪族 100	㊦2669	日本を魅らせる政治思想	㊦※1875
日本の雇用	※1997	入門! システム思考	※1895
日本の裁判官	※1195	入門・世界の神話	※29
日本の死角	㊦2703	入門 哲学としての仏教	㊦1988
日本のシャーマニズム	※256	入門 東南アジア近現代史	㊦2410
日本の女帝	※337	女人政治の中世	※1294
日本の地名	※342	人形作家	※1633
日本の伝統	※304	人間イエス	※1350
日本の伝統工芸	※498	人間解放の時代	※134
日本の風景・西欧の景観	1007	人間関係の幾何学	※226
日本の方言	※160	人間関係の心理学	※539
日本の民家	※528	人間関係のレッスン	㊦※2062
日本の名句・名言	※925	人間関係をよくする	※140
日本の山100	※739	人間讃歌	※30
日本の遊園地	※1520	人間社会のゲーム理論	※236
日本の歪み	㊦2719	人間にとって科学とは何か	※360
日本の歴史(上)	※229	人間の生きがいとは何か	※228
日本の歴史(下)	※233	人間の生き方	※254

日本銀行は信用できるか	—	■2010	日本史の考え方	—————	※1702
日本銀行 我が国に迫る危機	—	■2696	日本資本主義の歩み	—————	※113
日本近代二百年の構造	—————	※432	日本社会のしくみ	—————	■2528
日本近代の新しい見方	—————	※56	日本車は生き残れるか	—————	■2617
日本軍と日本兵	—————	■2243	日本書紀の読み方	—————	※1709
日本経済ここに極まれり	—————	※991	「日本人英語」のすすめ	—————	※1131
日本経済50の大疑問	—————	※1597	日本人=〈殻なし卵〉の自我像	—————	※483
日本経済入門	—————	■2416	日本人と神	—————	■2616
日本経済の奇妙な常識	—————	■2128	日本人と山の宗教	—————	■2577
日本経済の構造転換	—————	※957	日本人の生き方	—————	※90
日本経済を考える	—————	※434	日本人の意識構造	—————	293
日本経済を見る目	—————	※530	「日本人の神」入門	—————	■2368
日本国改造試論	—————	※366	日本人の起源	—————	※668
日本語誤用・慣用小辞典	—————	※1042	日本人の言語表現	—————	※410
日本語誤用・慣用小辞典(続)	—————	※1250	日本人の〈原罪〉	—————	※1975
日本古代の国家形成	—————	※128	日本人の行動様式	—————	※320
日本古代の精神	—————	※195	日本人の死生観	—————	※675
日本国家の成立	—————	※167	日本人のしつけは衰退したか	—————	■1448
日本語という外国語	—————	■2013	日本人の周辺	—————	※387
日本語と論理	—————	※48	日本人の信仰心	—————	※712
日本語の源流	—————	※594	日本人の心情論理	—————	※438
日本語の故郷を探る	—————	※545	日本人の神話的思考	—————	※532
日本語の語源	—————	※518	日本人のタブー	—————	※245
日本語のころろ	—————	※372	日本人のための漢字入門	—————	■2563
日本語の成立	—————	※506	日本人のための日本語文法入門	—————	■2173
日本語の表情	—————	※505	日本人の仲間意識	—————	※447
日本語の復権	—————	※1459	日本人の発想	—————	※403
日本語の森を歩いて	—————	※1800	日本人の法感覚	—————	※950
日本語のリズム	—————	※488	日本人の歴史	—————	※525
日本語のレッスン	—————	※1399	日本人の論理構造	—————	258
日本語はどこから来たか	—————	※631	日本人はどこから来たか	—————	※265
日本語は年速一キロで動く	—————	※1672	日本人はなぜキツネにだまされなくな ったのか	—————	■1918
日本ゴルフ列島	—————	※1055	日本人はなぜ狐を信仰するのか	—————	※1829
日本語論理トレーニング	—————	■1981	日本人論の系譜	—————	※597
日本語をみがく小辞典〈形容詞・副詞 篇〉	—————	※969	日本神話の源流	—————	※420
日本語をみがく小辞典〈動詞篇〉	—————	※919	日本政治の決算	—————	※1694
日本語をみがく小辞典〈名詞篇〉	—————	※873	日本全国 離島を旅する	—————	※1727
日本再生会議	—————	※1713	日本全国 ローカル線おいしい旅	—————	※1710
日本再生の戦略	—————	※1989			
日本式育児法	—————	※16			
日本式育児法 改訂版	—————	※333			

中原中也	※365
流れに抗して	※25
泣きたい日の人生相談	電2700
ナショナリズム入門	電2263
なぜ外国語を学ぶか	※542
なぜ日本人は学ばなくなったのか	電1943
なぜ日本人は劣化したか	電※1889
なぜヒトだけが老いるのか	電2707
なぜヒトは学ぶのか	電2492
なぜフランスでは子どもが増えるのか	電※2052
なぜ僕はドキュメンタリーを撮るのか	電※2113
謎解き中国語文法	※1342
謎とき日本合戦史	※1568
謎とき日本近現代史	電1414
謎とき日本経済50の真相	※1671
謎とき本能寺の変	※1685
謎の古代都市アレクサンドリア	電※1493
ナチス裁判	※1132
ナチス追及	※1015
ナチスの財宝	電2316
「夏目漱石」入門	※101
「名」と「恥」の文化	※261
七三一部隊	電1265
生身の暴力論	電2336
悩む性格・困らせる性格	※1398
ナルシズム	※877
難字と難訓	※897
ナンセンス感覚	※811

●に

西アジアの歴史・新書東洋史⑨	※459
西田幾多郎	電2702
西田幾多郎の生命哲学	※1772
西田・三木・戸坂の哲学	※133

21世紀の経済学	※1451
20代のための「キャリア」と「仕事」入門	電※2235
二十七度線	※273
22歳からの国語力	電※2035
22世紀を見る君たちへ	電2565
20世紀言語学入門	—1248
二十世紀の世界・新書西洋史⑧	※318
2025年 日本の農業ビジネス	—2418
2020年の大学入試問題	電2355
ニーチェとの対話	—501
日米安保を考え直す	※1608
日米開戦と情報戦	電2398
日米同盟の正体	電※1985
日蓮	—135
日露近代史	電2476
日韓サッカー文化論	※1606
NICS	※889
日系アメリカ人	※449
日光東照宮の謎	—1292
日清戦争	※1986
日中戦争	電1900
日本一周ローカル線温泉旅	電※1569
ニッポンの音楽	電※2296
ニッポンの奇祭	電2441
ニッポンの刑務所	※2042
ニッポンの裁判	電2297
ニッポンの思想	電2009
ニッポンの大学	電※1920
にっぽんの知恵	※1923
ニッポンの文学	電2356
日本のルールは間違いだらけ	電※2017
日本破綻	※1583
ニッポン発見記	※1720
ニヒリズム	※468
日本一の桜	電※2041
日本音楽の再発見	※462
日本海海戦の真実	※1461
日本海軍と政治	電2299
日本銀行	※965

ドイツ語のすすめ	※26	読書の方法	※633
ドイツ誕生	☐2685	徳政令	☐2490
ドイツのころ	※589	特捜検察の事件簿	※1418
ドイツの秘密情報機関	※1267	特捜検察の正体	☐2713
ドイツ留学記(上)	※595	独立国家のつくりかた	☐2155
ドイツ留学記(下)	※596	どこでどう老いるか	※1296
投球論	※1460	ド・ゴール	※106
東京裁判	☐1924	都市計画の世界史	☐1932
東京情報コレクション	※813	都市のコスモロジー	※1178
道教と日本人	※411	都市の文明イスラーム・新書イスラームの世界史①	※1162
東京の原像	※599	都市防災	※1332
道元とサルトル	※374	図書館であそぼう	※1453
道元入門	217	都市を遊ぶ	※802
統合ヨーロッパの民族問題	※1218	ドストエフスキー	※621
動作——都市空間の行動学	※816	土葬の村	☐2606
唐詩選の旅(上)	※295	土地の経済学	※499
唐詩選の旅(下)	※296	特攻隊員の現実	☐2557
動詞人間学	※408	「特攻」と日本人	☐1797
東芝解体 電機メーカーが消える日	☐2426	TOEFL・TOEICと日本人の英語力	※1605
鄧小平	※1153	杜甫	※212
鄧小平	☐※2345	トーマス・クックの旅	※1309
統率力	※947	トヨタの強さの秘密	☐※2362
同調圧力	☐2579	トヨタモデル	※1784
道徳を基礎づける	※1614	ドライブマップの旅	※732
東南アジアの歴史・新書東洋史⑦	※457	ドラキュラ誕生	※1269
動物化するポストモダン	☐1575	トランスパーソナル心理学入門	1465
動物裁判	☐1019	トリックの心理学	※823
動物の行動から何を学ぶか	※359	努力は天才に勝る!	☐2348
動物の生理を探る	※132	トルコ民族主義	※1327
東洋資本主義	※1022	ドン・キホーテの哲学	※435
東洋のかたち	※402	ドン・ファン	※514
東洋の合理思想	※235		
動乱の昭和史	※164		
ドゥルーズの哲学	※1504		
道路の経済学	※1782		
童話の書き方	※661		
遠山金四郎	☐※1974		
都会人	※177		
独学の思考法	☐2654		
読書術	※665		
		●な	
		内戦の日本古代史	☐2505
		長崎居留地	※143
		長崎丸山遊廓	☐2630

●て

「出会い」と「ふれあい」	※794
「出会い」の心理学	※870
手足を持った魚たち・生命の歴史③	※1345
DNA医学の最先端	電※2191
帝国主義の展開・新書西洋史⑦	※317
帝国と宗教	電※2708
帝国陸軍の〈改革と抵抗〉	※1859
定年からの旅行術	電※2015
定年消滅時代をどう生きるか	電※2553
テイヤール・ド・シャルダン	※257
手紙の書き方	※524
デカルト＝哲学のすすめ	※1325
適応の条件	電※300
デザイン戦略	※864
デザインとは何か	※346
デザインの教科書	電※2124
デジカメに1000万画素はいらない	電※1963
デジタル産業革命	※1426
デジタルは人間を奪うのか	電※2283
デジタル・ライフに強くなる	※1697
デジタル・ワビサビのすすめ	電※2259
データ思考入門	電※2694
データベースを使いこなす	※765
データを紡いで社会につなぐ	電※2234
手塚治虫	※1004
哲学とは何か	※663
哲学入門一歩前	電※916
哲学の最新キーワードを読む	電※2465
哲学の最前線	※1406
哲学のすすめ	66
哲学の謎	電※1286
哲学の復興	※301
哲学の歴史	977
哲学はいかにして生まれたか	※185
鉄道と国家	電※2152
鉄道ひとつばなし	電※1680

鉄道ひとつばなし 2	電※1885
鉄道ひとつばなし 3	電※2095
鉄理論＝地球と生命の奇跡	※1778
デパートを発明した夫婦	※1076
デフレと超円高	※2091
テレコム社会	※865
テレビアニメ魂	※1789
テレビゲーム文化論	※1573
テレビCMを読み解く	※1352
テレビ進化論	※1938
テレビ・ドキュメンタリーの現場から	※1491
テロルの昭和史	電※2715
天安門落書	※998
天下統一	電※2343
転換期の情報社会	※1113
転換する日本企業	※848
天才	※721
天才になる！	※1371
「天才」の育て方	電※1890
天智と持続	電※2077
電子マネー革命	※2078
「転職」のすすめ	※1447
伝統中国の完成・新書東洋史④	※454
点と線の不思議	※782
天皇家のお葬式	電※2449
天皇と日本の起源	※1648
天皇と日本の近代(上)	※1534
天皇と日本の近代(下)	※1535
天皇陛下の全仕事	電※1977
電脳遊戯の少年少女たち	※1472
天皇論を読む	※1688
天文学のすすめ	※82
天文考古学入門	※660
電力改革	2145

●と

ドイツ語の新しい学び方	※250
-------------	------

「知」の探検学 ————— ※475  
知の編集術 ————— 1485  
地方議員の逆襲 ————— ㊦2361  
チームの研究 ————— ※1443  
チームワークの心理学 ————— ※791  
地名で読むヨーロッパ ————— ※1592  
茶人たちの日本文化史 ————— ※1878  
チャーリー・チャップリン ————— ※335  
中央アジアの歴史・新書東洋史⑧  
————— ※458  
中学入試国語のルール ————— 1935  
中高生からの論文入門 ————— ㊦2511  
中高年ブラック派遣 ————— ㊦2314  
中国医学の健康術 ————— ※1316  
中国共産党の経済政策 ————— ㊦※2184  
中国経済の正体 ————— ㊦※2047  
中国古代の予言書 ————— ※1508  
中国語のすすめ ————— ※23  
中国語はおもしろい ————— ㊦※1753  
中国社会の成立・新書東洋史① ※451  
中国社会の見えない掟 ————— ㊦2123  
中国人の思考様式 ————— ※356  
中国人の知恵 ————— ※322  
中国と台湾 ————— ※1649  
中国の黒社会 ————— ※1604  
中国の大盗賊 ————— ※972  
中国の大盗賊・完全版 ————— ㊦1746  
中国の名句・名言 ————— ※837  
中国文明の歴史 ————— ㊦1761  
中国料理の迷宮 ————— ※1502  
中世シチリア王国 ————— 1470  
中世の開幕・新書日本史③ ————— ※425  
中世・ルネサンスの音楽 ————— ※472  
中世を道から読む ————— ㊦2040  
〈中東〉の考え方 ————— ㊦2053  
中東を読むキーワード ————— ※845  
中立をまもる ————— ※154  
中流危機 ————— ㊦2716  
超越者の思想 ————— ※413  
超解説！ はじめてのカント『純粹理性  
批判』 ————— ㊦2099  
超解説！ はじめてのフッサール『現象

学の理念』 ————— ㊦2169  
超解説！ はじめてのヘーゲル『精神現  
象学』 ————— ㊦2050  
超解説！ はじめてのヘーゲル『法の哲  
学』 ————— ㊦2600  
超高齢社会の基礎知識 ————— ㊦2138  
超国家EC ————— ※1127  
「超」集中法 ————— ㊦2332  
超人の哲学 ————— ※963  
朝鮮語のすすめ ————— ※614  
朝鮮史・新書東洋史⑩ ————— ※460  
朝鮮のころろ ————— ※289  
朝鮮半島「核」外交 ————— ※1869  
町人から市民へ ————— ※380  
町人文化の開花 ————— ※394  
超能力のトリック ————— ※799  
直観力 ————— ※508  
直観を磨く ————— ㊦2562

## ●つ

通産省 ————— ※1046  
使いこなすパソコン通信 ————— ※956  
〈つきあい〉の心理学 ————— ※645  
月影 ————— ※76  
「次の首相」はこうして決まる —※1964  
次のテクノロジーで世界はどう変わる  
のか ————— ㊦2558  
作ると考える ————— ※1000  
伝わる技術 ————— ㊦2468  
ツタンカーメンの謎 ————— ※749  
〈つながり〉の精神史 ————— ㊦※2144  
つながる読書術 ————— ㊦※2133  
妻との修復 ————— ㊦※1934  
ツール・ド・フランス ————— ㊦※2214

大転換思考のすすめ ——— ※1660  
「大東亜共栄圏」の思想 ——— ※1279  
「大東亜」戦争を知っていますか  
————— ※1617  
大統領の英語 ——— ※867  
大統領の説得術 ——— ※1194  
台風の科学 ——— ※126  
太平洋戦争の歴史(上) ——— ※778  
太平洋戦争の歴史(下) ——— ※779  
大魔術の歴史 ——— ※910  
「タイム」を読む ——— ※617  
平将門と天慶の乱 ——— 電2520  
大陸国家の夢・新書アメリカ合衆国史  
① ——— ※929  
大リーグ物語 ——— ※1043  
大恋愛 ——— ※982  
対話・心の哲学 ——— ※1817  
対話のレトリック ——— ※773  
「タオ=道」の思想 ——— ※1629  
高天原の謎 ——— ※361  
高村光太郎 ——— ※601  
宝塚戦略 ——— ※1050  
嵐の話 ——— ※608  
多重人格 ——— ※1390  
闘うための哲学書 ——— 電2290  
戦うハプスブルク家 ——— 1282  
正しい本の読み方 ——— 電2447  
正しく考えるために ——— 285  
タテ社会と現代日本 ——— 電2548  
タテ社会の人間関係 ——— 電105  
タテ社会の力学 ——— ※500  
タテマエとホンネ ——— ※745  
伊達政宗、最期の日々 ——— ※2060  
田中角栄 ——— 電2382  
田中正造の生涯 ——— ※442  
他人を見下す若者たち ——— 電1827  
種田山頭火 ——— ※363  
楽しく学べる「知財」入門 ——— 電2412  
タバコ ——— ※702  
旅について ——— ※389  
旅のたのしさ ——— ※536  
タブーの漢字学 ——— ※1751

たべものと日本人 ——— ※378  
食べものの四季 ——— ※632  
だまされない(議論力) ——— 電※1855  
タモリと戦後ニッポン ——— 電2328  
だれもが書ける文章 ——— ※522  
「タレント」の時代 ——— 電2303  
タロットの秘密 ——— 電2424  
短歌のたのしさ ——— ※740  
ダンディ ——— ※973

## ●ち

〈地域人〉とまちづくり ——— ※1662  
小さな農園主の日記 ——— ※1498  
「知恵」の再発見 ——— ※569  
地球外生命 ——— ※1471  
地球=誕生と進化の謎 ——— ※1006  
地球時計 ——— ※469  
地球のなかをのぞく ——— ※899  
地球は生きている ——— ※61  
地球は寒くなるか ——— ※400  
地図——「遊び」からの発想 ——— ※671  
地図から消される街 ——— 電2472  
地図との対話 ——— ※509  
地図の歴史・世界篇 ——— ※368  
地図の歴史・日本篇 ——— ※369  
知性の限界 ——— 電2048  
知性はどこに生まれるか ——— ※1335  
父親とは何か ——— ※643  
秩父困民党 ——— ※531  
地中海世界・新書西洋史② ——— ※312  
知的熟年ライフの作り方 ——— ※1529  
知的生活の方法 ——— 電436  
知的創造のヒント ——— ※490  
知的な大人の勉強法 英語を制する「ラ  
イティング」 ——— ※1831  
知能指数 ——— ※1340  
知の周辺 ——— ※556  
「知」のソフトウェア ——— 722

戦争の地政学	—————	■2698	ソーシャルブレインズ入門	———	※2039
戦争の中国古代史	—————	■2613	蘇州	—————	※1161
戦争の日本近現代史	—————	■1599	ソシュールと言語学	—————	■1763
戦争の日本古代史	—————	■2428	素読のすすめ	—————	※839
戦争を記憶する	—————	■1540	ソビエトとロシア	—————	※979
戦争を始めるのは誰か	—————	※1184	ソフト・エネルギー	—————	※598
先端医療	—————	※974	素朴と無垢の精神史	—————	※1179
先端医療のルール	—————	※1581	空飛ぶ巨大技術ジャンボ	—————	※838
禪のころ	—————	※153	空の戦争史	—————	※1945
禪のことば	—————	※628	素粒子の世界	—————	※114
善の根拠	—————	■2293	ソ連共産党書記長	—————	※856
禪のすすめ	—————	—27	ソ連経済の歴史的転換はなるか	—————	—————
禪の発想	—————	※709	—————	—————	※1037
戦乱と一揆・新書日本史④	—————	※426	ゾロアスターの神秘思想	—————	※888
戦乱と民衆	—————	■2488	損したくないニッポン人	—————	■2335
戦略思考のすすめ	—————	※1766	「孫子」を読む	—————	—1163
線路を楽しむ鉄道学	—————	■1995	孫文と日本	—————	※104

## ●そ

創価学会の研究	—————	■1965
臓器は「商品」か	—————	※1549
葬祭の日本史	—————	※1724
漱石と三人の読者	—————	■1743
漱石の疼痛、カントの激痛	—————	※1527
創造思考の技術	—————	※231
創造と狂気	—————	※567
創造の方法学	—————	■553
想像力	—————	※1219
創造力をみがくヒント	—————	※1408
総理通訳の外国語勉強法	—————	■2559
続 考える技術・書く技術	—————	※485
続 昭和の怪物 七つの謎	—————	■2518
続 知的生活の方法	—————	※538
続 まんが パレスチナ問題	—————	■2331
ソクラテスはなぜ裁かれたか	—————	※1181
組織の情報管理	—————	※205
組織を強くする技術の伝え方	—————	—————
—————	—————	■1870

## ●た

第一次世界大戦と日本	—————	■2266
大異変	—————	※319
大英帝国	—————	—934
大学院へ行こう	—————	※1803
大学生のための知的勉強術	—————	—————
—————	—————	■2046
大学生のためのレポート・論文術	—————	—————
—————	—————	※1603
大学でいかに学ぶか	—————	■78
大学の歴史と改革	—————	※230
大学はどこへ行く	—————	※1590
大学論	—————	■2043
退却神経症	—————	※901
大衆現象を解く	—————	※751
大乘経典を読む	—————	※1129
大正文化	—————	※565
対人恐怖	—————	※981
大震災後の社会学	—————	※2136
大聖堂のコスモロジー	—————	※1120

「生」と「死」のウィーン	※1045	世界を動かす人脈	☐※1927
青年期の心	※1083	世界を制した中小企業	※1695
「性」の人間学	※510	「責任」ってなに？	※1821
〈性〉のミステリー	※1349	石仏	※564
性の用語集	※1762	石油・武器・麻薬	☐2326
征服王朝の時代・新書東洋史③	※453	「世間」とは何か	☐1262
生物としての人間	※282	性と宗教	☐2647
生物と無生物のあいだ	1891	絶対王政の時代・新書西洋史⑤	※315
生物はなぜ死ぬのか	☐2615	説得術	※696
生命誕生	☐2262	説得の文章技術	※685
〈生命〉とは何だろうか	☐※2193	切腹の話	※287
生命に部分はない	2434	絶望の裁判所	☐2250
生命のからくり	☐2268	セルフ・クライシス	※763
西洋占星術	※1105	セルフコントロール	※717
西洋文化の源をたずねる	※92	セルフコントロールの心理学	※1494
性を考える	※8	ゼロからIをつくる	☐2509
世界インフレの謎	☐2679	ゼロからわかるアインシュタインの発見	☐※1860
世界経済入門	☐2473	ゼロからわかる 経済学の思考法	☐2178
世界自動車産業の興亡	※1087	ゼロからわかる経済の基本	—1641
世界史とヨーロッパ	☐1687	ゼロからわかる個人投資	—※1692
世界史の中の戦国大名	☐2723	ゼロからわかる量子コンピュータ	☐2663
世界史の中のパレスチナ問題	☐2189	全学連と全共闘	※771
世界史を変えた薬	☐2338	宣教師ニコライとその時代	※2102
世界人名ものがたり	※1437	戦後企業事件史	※1191
世界神話学入門	☐2457	「戦国策」の知恵	※962
世界帝国の形成・新書東洋史②	※452	戦国大名の経済学	☐2575
世界に冠たる中小企業	☐※2300	戦国誕生	☐2106
世界に呼びかける東洋	☐※59	戦国の陣形	☐2351
世界のイスラーム建築	※1779	戦後の日本	※512
世界の陰謀論を読み解く	☐※2146	戦後文学は生きている	※2175
世界の言語入門	☐※1959	「戦後補償」を考える	※1213
世界の宗教を読む事典	※1908	「戦後」を点検する	※2072
世界の頭脳	※73	戦前昭和の社会 1926-1945	☐2098
世界の鉄道紀行	☐※2275	戦前日本の安全保障	☐2190
世界の鉄道旅行案内	※1518	「戦前」の正体	☐2705
世界の読者に伝えるということ	☐※2255	「戦争学」概論	☐※1807
世界のビッグビジネス	※988	戦争調査会	☐2453
世界の村おこし・町づくり	※1035	戦争と有事法制	※1699
世界の野菜を旅する	☐2055	戦争の記憶	☐2531
世界は分けてもわからない	—2000		
世界を動かす思想	※20		

数学でつまづくのはなぜか	■1925		※1834
数学で何を学ぶか			※264
数学独習法	■2623		
数学の考え方			※15
数学の発想			※253
数学へのすすめ			※150
数学をきざいた人々			※89
数字でみるニッポンの医療			※1967
枢密院	■2665		
枢密院議長の日記	■1911		
素顔の医者			※1180
好きと嫌いの心理学			※609
「スキャンダル」の記号論			※849
スクープ			※789
図形あそびの世界			※624
すごい「会話力」	■2396		
鈴木大拙の言葉と思想			※103
捨聖・一遍上人			※1281
捨てられる銀行	■2371		
捨てられる銀行2 非産運用	■2422		
捨てられる銀行3 未来の金融	■2512		
捨てられる銀行4 消えた銀行員			■2584
ストライカーのつくり方	■2111		
ストレス			※627
ストレス・コントロール			※780
ストレス対処法			※1198
「頭脳国家」シンガポール			※1135
スピノザ	■2652		
スピノザの世界	■1783		
スピリチュアルの冒険			※1899
スビルバーグ			※875
スペイン			※479
スペイン語のすすめ			※49
スペイン巡礼史			※1820
スペイン内戦			※603
スペース・ツアー			※861
スポーツ語源クイズ55			※1632
スポーツとは何か			1454
スポーツ名勝負物語			※1381
スポーツを「視る」技術			※1630
スラスラ書ける！ ビジネス文書			
			※1546
●セ			
性愛奥義			※1801
西欧文化の条件			※549
性格			※263
性格分析			※704
成果主義と人事評価			※1574
生活優先の原理			※309
生活リズムの文化史			※647
〈税金逃れ〉の衝撃	■2324		
税金の論理			※1229
性=この不思議な原理			※72
政治家の誕生			※1206
〈政治参加〉する7つの方法			※1547
政治社会発展の理論			※136
成熟スイッチ	■2683		
青春期内科診療ノート			※862
正常と異常のはざま			※945
生殖医療の衝撃	■2383		
聖書の起源			※448
聖書の奇跡			※584
聖書のことば			※64
聖書のヒロインたち			※1728
聖書の名句・名言			※880
聖書の読み方			※266
聖書は何を語っているか			※828
聖書vs.世界史	■1321		
「聖書」名表現の常識	■1545		
精神医学とナチズム			※1363
精神医療ダークサイド			2231
精神科にできること	■1625		
精神の危機			※385
精神病理からみる現代思想			※1075
贅沢な読書			※689
性的なことば			※2034
聖典「クルアーン」の思想			※1711

新型コロナの不安に答える — ㊦2657  
新型コロナワクチン 本当の「真実」  
————— ㊦2631  
進化のなかの人体 ————— ※659  
シンガポールの日本人学校 ——— ※466  
進化論という考えかた ————— ※1598  
進化を忘れた動物たち ————— ※961  
ジンギス・カンの謎 ————— ※907  
新・自衛隊論 ————— ㊦2320  
秦・始皇帝陵の謎 ————— ※1232  
人事制度イノベーション ——— ※1845  
真実の原敬 ————— ㊦2583  
信じていいのか銀行員 ——— ㊦2346  
新 ジャズの名演・名盤 ————— ※1548  
神社とは何か ————— ㊦2646  
新宗教と巨大建築 ————— ※1580  
新宗教の神々 ————— ※905  
真珠湾攻撃隊 ————— ㊦2686  
新書アフリカ史 ————— ※1366  
新書アフリカ史 改訂新版 ——— ㊦2503  
新書 沖繩読本 ————— 2092  
新書ヨーロッパ史 中世篇 ——— ※1664  
心身症 ————— ※1159  
ジーンズ物語 ————— ※985  
人生に意味はあるか ————— ㊦1787  
人生の価値を考える ————— ※1391  
人生は苦である、でも死んではいけない  
————— ㊦2561  
人生百年の教養 ————— ㊦2656  
神聖ローマ帝国 ————— ㊦1673  
人生をどう生きるか ————— ※71  
人生を励ます言葉 ————— ※915  
真説・企業論 ————— ㊦2425  
真説 日本左翼史 ————— ㊦2620  
心臓病 ————— ※735  
人体の不思議 ————— ※825  
新・哲学入門 ————— ※148  
新・哲学入門 ————— ㊦2676  
神道の逆襲 ————— ㊦1560  
「神道」の虚像と実像 ——— ㊦2109  
新・日本の階級社会 ————— ㊦2461  
〈心配性〉の心理学 ————— ※1297

新版 うつ病をなおす ————— ㊦2415  
新版・魏志倭人伝 ————— ※835  
新版・クラシックの名曲・名盤  
————— ※1320  
新版・経済指標を読みこなす ※1154  
新版 大学生のためのレポート・論文術  
————— ※2021  
新版・卑弥呼の謎 ————— ※908  
神秘体験 ————— ※940  
シンプルな英語 ————— ㊦2635  
新聞記事が「わかる」技術 ——— ※1665  
新聞記者の現場 ————— ※775  
新文章入門 ————— ※41  
新聞をどう読むか ————— ※809  
新編 日本語誤用・慣用小辞典  
————— ㊦2033  
人民中国への道・新書東洋史⑤ ※455  
信頼学の教室 ————— ㊦2347  
親鸞入門 ————— ※251  
心理戦争 ————— ※141  
心理テスト ————— ※1228  
真理とは何か ————— ※635  
人類学的宇宙観 ————— ※390  
人類進化の700万年 ————— ㊦1805  
人類の祖先を探る ————— ㊦47

#### ●す

酔鯨 山内容堂の軌跡 ————— ㊦2639  
「水滸伝」を読む ————— ※1215  
水素エネルギー ————— ※371  
水族館狂時代 ————— ※1864  
睡眠障害 ————— ※1514  
睡眠の不思議 ————— ※887  
スウェーデンの実験 ————— ※638  
スウェーデンボルグの思想 ——— ※1235  
数学感覚をのばす ————— ※644  
数学者の眼 ————— ※46  
数学的思考法 ————— ㊦1786

シュタイナー入門	※1458	昭和二十年五月二十九日	※321
酒池肉林	※1139	昭和の怪物 七つの謎	㊦2484
出世と恋愛	㊦2709	昭和の五十年・新書日本史⑧	※430
10分で名著	㊦2659	昭和の参謀	㊦2668
首都防衛	㊦2717	昭和の戦争	㊦2376
趣味人の日曜日	※844	昭和万葉集秀歌(一)	※753
須弥山と極楽	※330	昭和万葉集秀歌(二)	※754
修羅を生きる	※1240	昭和万葉集秀歌(三)	※755
シュワイツァーの言葉と思想	※87	昭和陸軍全史1	㊦2272
手話のすすめ	※679	昭和陸軍全史2	㊦2289
純愛心中	※1825	昭和陸軍全史3	㊦2319
春秋戦国の処世術	※1658	昭和零年	※1799
純粹文化の条件	※119	「昭和」を点検する	1950
巡礼	※623	女王陛下の英語	※1197
攘夷の幕末史	※2069	職業とは何か	※1955
上級をめざす英会話	※829	食卓にあがった死の灰	※984
状況倫理ノート	※357	ジョークとトリック	706
将軍と側用人の政治・新書江戸時代①	※1257	ジョークの哲学	※857
証券会社がなくなる日	㊦2585	職場は感情で変わる	㊦2016
証言 羽生世代	㊦2599	食文化の中の日本と朝鮮	※1116
上司につける薬!	※1857	食をめぐるほんとうの話	㊦2342
上司の「いじり」が許せない	㊦2469	書齋 創造空間の設計	※850
小説——いかに読み、いかに書くか	※684	女子高生アイドルは、なぜ東大生に知 力で勝てたのか?	㊦2360
小説・倫理学講義	※1380	叙事詩の世界	※147
商店街はいま必要なのか	㊦2325	女性学ことはじめ	※563
聖徳太子の仏法	※1722	女装と日本人	㊦1960
少年法を問い直す	※1474	女帝	※252
消費税のカラクリ	※2059	女帝の古代史	※1794
消費の記号論	※764	ショパンの名曲	㊦2619
〈勝負脳〉の鍛え方	㊦1861	ショーペンハウアー	㊦2678
情報イノベーター	※1477	シーラカンス	※1095
情報学の論理	※200	調べる技術・書く技術	㊦1940
情報化社会	※187	自立が苦手な人へ	※2057
情報参謀	㊦2377	〈自立〉の心理学	※674
情報操作のトリック	※1201	シルクロードの終着駅	※555
〈情報〉帝国の興亡	㊦2386	「死霊」から「キッチン」へ	※1270
情報と国家	※1739	城を攻める 城を守る	㊦2248
情報の心理学	※247	新・学問のススめ	㊦2147
縄文時代の歴史	㊦2510	新・学問論	※936
縄文の思想	㊦2454	進化経済学のすすめ	※1613
		進化する形	㊦2517

知ってる古文の知らない魅力	電1841	社会主義の新時代	※122
室内化学汚染	※1412	社会的な身体	※1998
失敗から何を学ぶか	※768	社会保障入門	※1571
「失敗」の経済政策史	電2267	社会保障亡国論	電※2253
失敗を生かす仕事術	電1596	社会を動かした個性	※62
シティバンクとメリルリンチ	※1438	社会を変えるには	電2168
視点をずらす思考術	電※1930	弱者の居場所がない社会	電2135
死と生の記録	電※144	写真美術館へようこそ	—1287
詩とは何か	電2641	写真を撮る	※656
死ぬ力	電2357	ジャズの名演・名盤	※1029
死の国・熊野	※1103	ジャズの名盤入門	電1808
詩のこころ・美のかたち	※575	社長って何だ!	電2552
詩のたのしさ	※484	ジャーナリズムの現場から	電※2276
ジプシー	※583	ジャーニーズと日本	電2402
自分からの自由	※894	ジャパン・プロブレムの原点	※1003
じぶん・この不思議な存在	電1315	ジャポニスム	電2506
自分らしく生きる	※705	JAL再建の真実	電※2176
自分を愛する力	電※2198	シャーロック・ホームズの推理学	—
〈じぶん〉を愛するということ	—	—	※922
—	電※1456	シャーロック・ホームズの履歴書	—
自分を生かす自己催眠法	※1119	—	※944
自分をコントロールする力	電2551	ジャン・コクトー	※1274
自分をどう表現するか	—1275	ジャン=ジャック・ルソー	電2714
自閉症	※697	ジャンス・ダルク	※1337
自閉症からのメッセージ	※1177	ジャンス・ダルクの神話	※642
「自閉症」の時代	電2574	上海	※884
死別の悲しみに向き合う	電2185	上海路上探検	※1336
シベリア開発	※323	宗教改革の真実	—1712
司法は腐り人権減ぶ	※1893	宗教vs.国家	電※1874
資本主義に出口はあるか	電2536	「集合」の話	※286
市民革命の時代・新書西洋史⑥	※316	集団の心理学	※714
自民党	※747	終着駅の旅	※636
自民党と戦後	※1785	集中方	※895
自民党秘史	電2460	修道院	※1251
自民党ひとり良識派	—2375	自由とは何か	電1749
シモース・ヴェイユ	※165	十二人の芸術家	※339
社会科学の考え方	※399	自由の悲劇	※1024
社会科学のすすめ	※186	自由はどこまで可能か	—1542
社会学史	電2500	週末作家入門	※1814
社会主義	※386	16ビットパソコンを使いこなす	※807
社会主義市場経済の中国	※1227	縮小ニッポンの衝撃	電2436
社会主義の軍隊	※1012	呪術	※218

作曲家の発想術	※1731	指揮官の条件	㊦2339
作曲入門	※682	史記=司馬遷の世界	※527
佐藤優の挑戦状	㊦2533	『史記』の人間学	※1775
「さとり」と「廻向」	※711	事業再生と敗者復活	※1717
「覚り」と「空」	※1082	「しきり」の文化論	㊦1719
ザ・ネクストバンカー	㊦2534	死刑と正義	㊦2183
サバがトロより高くなる日	※1804	試験に受かる「技術」	㊦2298
サピエンスの未来	㊦2605	試験に出ない英単語	※1333
左翼の逆襲	㊦2597	自己愛とエゴイズム	※955
サラリーマン社会小事典	※1564	自己愛と献身	※1124
サラリーマン武士道	※1541	自己愛な人たち	※2160
「サルトル」入門	※70	思考停止社会	㊦1978
参勤交代	1394	思考の方法学	㊦2720
三国志と日本人	※1637	時刻表ひとり旅	㊦620
三国志の英傑	※1030	地獄めぐり	㊦2527
「三国志」の知恵	※761	「死語」コレクション	※1304
算数・数学が得意になる本	㊦1840	自己コントロール	※194
算数のできる子どもを育てる	※1522	自己弛緩法	※859
参謀本部と陸軍大学校	㊦1707	自己実現の方法	※662
		〈自己責任〉とは何か	※1403
		仕事と心の流儀	㊦2508
		仕事と人生	㊦2610
		仕事の技法	㊦2350
		仕事の未来	㊦2569
		死後の世界	※1115
		〈自己発見〉の心理学	1044
		自己表現上達法	※960
		自己不安の構造	※616
		自己分析	※166
		自己変革の心理学	※1011
		自己抑制と自己実現	※843
		思索の源泉としての鉄道	㊦2285
		自殺の心理学	1348
		志士たちの詩	※552
		史上最大の恐龍ウルトラサウルス	
			※1013
		システム工学	※237
		自然観察の方法	※557
		実存主義入門	※168
		知っておきたい薬の常識	※1530
		知ってはいけない	㊦2439
		知ってはいけない2	㊦2499

●し

C I A ————— ※774

地アタマを鍛える知的勉強法 ㊦2027

幸せに死ぬために ㊦2629

幸せのメカニズム ㊦2238

J・S・バッハ ————— 1025

シェイクスピア名言集 ————— ※57

自衛隊の闇組織 ㊦2496

自衛隊は誰のものか ————— ※1584

潮だまりの生物学 ————— ※586

塩の道 ————— ※382

詩が生まれるとき ————— ※1196

自我の哲学史 ————— ※1792

時間と人間 ————— ※439

時間の分子生物学 ㊦※1689

時間の本質をさぐる ————— ※1005

時間は実在するか ————— 1638

「時間」を哲学する ㊦1293

古都の近代百年	※381
ことば遊びコレクション	※808
言葉・狂気・エロス	※1002
ことばと人間関係	※248
言葉と脳と心	電※2085
言葉と無意識	電※871
言葉のアヴァンギャルド	※1214
ことばの生活のために	※102
ことばの未来学	※1086
ことばの力学	※534
「ことば」を生きる	※1187
ことばを失った若者たち	※787
子ども虐待	2076
子どもに教えたくなる算数	1679
〈子どもの虐待〉を考える	※1567
〈子ども〉のための哲学	電※1301
子どものトラウマ	電※1376
子どもをのばす自由教室	※681
ことわざの英語	※951
ことわざの知恵・法の知恵	※866
コナン・ドイル	※1061
子の世話にならずに死にたい	※1798
小林一茶	※591
珈琲の世界史	電※2445
コピーライターの発想	※724
コミュニケーションの英語	※1164
子守り唄の誕生	※1190
コーランと聖書の対話	※1169
ゴリラとヒトの間	※1156
ゴールキーパー論	※1539
ゴルパチョフの2500日	※1093
これが現象学だ	1635
これがニーチェだ	電※1401
これがビートルズだ	1653
これがほんまの四国遍路	※1879
これからの〈老い〉	※1077
これからの労使関係	※75
これで通じる超・慣用英会話	※1415
コロンブスは何を「発見」したか	※1100
こんにゃくの中の日本史	※1833

## ●さ

財界の正体	電※2087
西鶴の世界	※201
西行と定家	※384
最強の経営学	※1552
最強の競馬論	電※1657
最強の駒落ち	※1757
「最強のサービス」の教科書	※2066
最強のファイナンス理論	※1647
最強のプロ野球論	電※1510
最高裁判所	※842
西郷隆盛と明治維新	電※2202
西郷伝説	※262
最高に贅沢なクラシック	電※2161
最後の遣唐使	※520
最新・アメリカの軍勢力	※1594
最新・アメリカの政治地図	※1714
最新・北朝鮮データブック	※1636
最新・世界地図の読み方	※1464
最新版 大学生のためのレポート・論文術	電※2498
財政危機と社会保障	電※2068
埼玉県立浦和高校	電※2470
最適社会の経済学	※130
「在日」としてのコリアン	※1410
再入門の英語	※1318
サイバネテックスの考え方	※181
裁判員制度の正体	電※1903
裁判の話	※118
催眠のすべて	※607
坂口安吾	※421
酒の話	676
鎖国=ゆるやかな情報革命・新書江戸時代④	※1260
坐禅の精神	※464
錯覚の心理学	※1233
作家という病	電※2323
サッカーの国際政治学	※1730

現代をどうとらえるか	※219		
原発社会からの離脱	☎※2112	国語審議会	※1916
原発報道とメディア	☎※2110	国語のできる子どもを育てる	☎1468
原発労働者	☎※2321	国際共通語としての英語	☎2104
憲法「押しつけ」論の幻	※1850	国際正義の論理	1961
憲法改正のオモテとウラ	☎※2251	国際政治のキーワード	※1623
憲法という希望	☎2387	国際テロネットワーク	※1823
憲法を読む	※760	国際マネー戦争	※872
原理主義とは何か	※1669	国際メディア情報戦	☎2247
県立！再チャレンジ高校	☎2477	国税局査察部24時	☎2407
		国力とは何か	☎※2115
		語源をつきとめる	※996
		心が痛い	※700
		心とは何か	※388
		心にとって時間とは何か	☎2555
		心にひびく短詩の世界	※1331
		心のケア	※2121
		心のマルチ・ネットワーク	※1519
		心のメッセージを聴く	1241
		古事記と日本書紀	1436
		故事成語	※1074
		ゴシックとは何か	※1487
		50年前の憲法大論争	☎1888
		個性と適性の心理学	※744
		子育てで一番大切なこと	☎2491
		古代インドの神秘思想	※529
		古代オリエントの宗教	☎2159
		古代中国の虚像と実像	☎※2018
		古代東北と王権	※1559
		古代日本の都	※351
		古代文明の発見	※222
		ゴダールと女たち	☎※2118
		コーチングの技術	☎1656
		国会議員	※770
		国家・個人・宗教	※1919
		国家破産	※1010
		「国境なき医師団」になろう！	☎2540
		国境をこえるドイツ	※1107
		孤独死のリアル	☎※2264
		孤独なアメリカ人	※407
		孤独な日銀	☎※2242
		孤独を生きぬく	☎※777
●こ			
恋と革命	※329		
公会計革命	※1748		
高学歴難民	☎2722		
「高感度人間」を解説する	※822		
好奇心と日本人	※275		
交響曲の名曲・名盤	※1081		
皇軍兵士の日常生活	☎1982		
甲骨文字の読み方	※1905		
孔子	※1354		
交渉力	※1509		
交渉力の英語	※923		
高層建築物の世界史	☎※2301		
構造主義	※171		
光太郎と朔太郎	※570		
校長という仕事	2245		
行動は進化するか	※418		
幸徳秋水と片山潜	※290		
業と宿業	※244		
高度選択社会	※234		
幸福の探求	※19		
幸福の哲学	☎2406		
幸福論	※1744		
合理主義	※84		
高齢化社会	※604		
高齢社会・何がどう変わるか	※1236		
厚労省と新型インフルエンザ			

経済学は何ができるか	※574	原稿の書き方	※433
経済学のことば	※1754	言語ゲームの練習問題	■2689
経済学の墮落を撃つ	■2596	検査値で読む人体	※1036
経済学の犯罪	■※2171	現実脱出論	■※2274
経済学はむずかしくない	※1	源氏と日本国王	※1690
経済学はむずかしくない 第2版	350	源氏物語のすすめ	※97
経済学へのすすめ	※163	幻獣の話	※1188
経済危機の読み方	※1556	検証！ 暮らしの中の化学物質汚染	※1558
経済記事をどう読むか	※886	検証・山内一豊伝説	※1812
経済指標を読みこなす	※805	幻想芸術の世界	※189
経済生活を動かすもの	※112	幻想の論理	※348
経済成長神話の終わり	■2148	現代アラブの社会思想	■1588
経済成長という病	■1992	現代科学思想事典	※267
経済はなぜ変動するか	※224	現代科学をどうとらえるか	※494
経済論戦の読み方	※1760	現代家庭の年中行事	※1182
警察捜査の正体	■2352	現代建築に関する16章	—1867
刑事弁護士	■2525	現代語訳 貧乏物語	■2372
芸術とスキャンダルの間	※1854	現代思想事典	※24
軽症うつ病	■1289	現代思想入門	■2653
系統樹思考の世界	■1849	現代思想のキ・ワード	※788
競馬の快樂	※1189	現代思想を読む事典	—921
ケインズとハイエク	■2130	現代小説の世界	※188
ケインズを学ぶ	※1302	現代小説のレッスン	※1791
激動 日本左翼史	■2643	現代人のための仏教	※238
下剋上	■2624	現代人のための名著	※145
下剋上の時代	※178	現代中国「解体」新書	■※2108
化粧せずには生きられない人間の歴史	※1531	現代中国事典	※298
ケータイ世界の子どもたち	■※1944	現代中国入門	※100
「月給百円」サラリーマン	※1858	現代中国を見る眼	※600
結婚の遺伝学	※155	現代哲学事典	※225
決算書はここだけ読め！	■2036	現代哲学の考え方	※174
決算書はここだけ読め！ キャッシュ・フロー計算書編	■2064	現代ドイツ史入門	※1242
決定版 一億人の俳句入門	■2029	現代日本の問題集	※1726
決闘裁判	※1516	現代の青年像	※142
ゲーデルの哲学	■1466	現代美術コレクター	■2393
ケネディ その実像を求めて	※1203	現代物理学の考え方	※125
ゲノム編集とは何か	■2384	現代文の書き方	※54
ゲーム的リアリズムの誕生	■1883	現代米語慣用句コーパス辞典	※720
げんきな日本論	■2391	現代米語コーパス辞典	※678
健康格差	■2452	現代若者気質	※343
		現代を生きる心理学	※3

教養としての世界史	—————	※80	金融不安	—————	※1397
教養としての中国史	—————	※63			
教養としての〈まんが・アニメ〉	—————	※1553			
教養としての歴史学	—————	※1385			
「教養」とは何か	—————	☞1358			
教養の語源英単語	—————	☞2681			
恐龍はなぜ滅んだか	—————	※906	●く		
恐竜ルネサンス	—————	※1205	空海の哲学	—————	☞2567
共和党と民主党	—————	※1234	「空気」と「世間」	—————	☞2006
京童から町衆へ	—————	※379	空気を読む人 読まない人	—————	☞2637
今日を生きる	—————	※259	空洞化のウソ	—————	※2163
巨樹	—————	※801	空と無我	—————	※997
居住のソフトウェア	—————	※818	クオリアと人工意識	—————	☞2576
拒食症と過食症	—————	※1416	句会入門	—————	※2074
巨大機関投資家	—————	※999	崩れる政治を立て直す	—————	☞2493
巨大銀行の構造	—————	※1157	下り坂をそろそろと下る	—————	☞2363
ギリシア人の心	—————	※58	国の借金	—————	※1339
キリスト教英語の常識	—————	☞※1386	首なし事件の記録	—————	※332
キリスト教と日本人	—————	※1551	クラウドの未来	—————	☞※2140
キリスト教の人生論	—————	※173	クラシック音楽のすすめ	—————	※51
キリスト教は信じうるか	—————	※243	クラシックの名曲・名盤	—————	※946
キリスト教文化の常識	—————	☞※1222	暗闇から世界が変わる	—————	☞2306
キリストとイエス	—————	☞※179	グリム童話	—————	※1034
議論のウソ	—————	☞※1806	苦しい時は電話して	—————	☞2581
キング牧師とマルコム X	—————	☞1231	クール・ジャパン!?	—————	☞2309
近現代史からの警告	—————	☞2572	クレオパトラの謎	—————	※683
銀行員はどう生きるか	—————	☞2474	グレートジンバブウェ	—————	☞※1473
銀行革命・勝ち残るのは誰か	—————	※1496	黒い聖母と悪魔の謎	—————	※1411
銀行と証券	—————	※942	黒田官兵衛	—————	☞※2225
銀行問題の核心	—————	☞※2252	グローバル・ビジネスの戦略	—————	※896
禁酒法=「酒のない社会」の実験	—————	※1284	〈軍〉の中国史	—————	☞2409
近世の日本・新書日本史⑤	—————	※427			
近代スポーツの誕生	—————	※1512			
近代日本と軍部	—————	☞2564	●け		
近代日本の構造	—————	☞2479	敬語	—————	※182
近代日本の宗教	—————	※571	敬語で解く日本の平等・不平等	—————	※1550
近代の潮流・新書日本史⑦	—————	※429			
近代文学の誕生	—————	※395	敬語はこわくない	—————	※1450
金融指標を読みこなす	—————	※918	敬語を使いこなす	—————	※868
金融ビッグバン	—————	※1362			

カントの人間学	1383	魏志倭人伝	※284
カントリーライフ讃歌	※817	絆の構造	☐※2224
カンヌ映画祭	※1199	季節性うつ病	※1098
観念論ってなに？	※1758	北国農民の物語	※137
がんの常識	※1356	北朝鮮データブック	※1359
観音・地蔵・不動	※1326	北朝鮮難民	※1621
観音のきた道	※1341	北朝鮮に潜入せよ	※1836
「韓非子」の知恵	※853	北朝鮮の外交戦略	※1526
カンブリア紀の怪物たち・生命の歴史		「気」で観る人体	1126
①	※1343	「気」で読む中国思想	※1244
漢文入門	※156	気になるアメリカ雑誌	※793
ガン予防	※511	「気」の構造	※352
管理社会	※223	「気」の不思議	※1056
官僚	※12	牙を研げ	☐2421
官僚の構造	※355	〈希望〉の心理学	※1577
還暦からの底力	☐2568	基本英単語を使いこなす	※1106
がんを生きる	☐2030	機密費外交	☐2501
		金正日と日本の知識人	※1897
		金正日の正体	※1953
		きむら式 童話のつくり方	1708
		キャラ化するニッポン	※1910
		キャラクター小説の作り方	※1646
		究極の歩き方	☐2541
●き		9.11後の現代史	☐2459
樹	※708	9.11と日本外交	※1622
消えゆく森の再生学	※1479	旧約聖書の智慧	※1021
記憶力	※443	教育勅語と御真影	☐2701
記憶力をよくする	※670	教育と国家	※1742
企画力！	※1686	教育の力	☐2254
利き酒入門	※1429	教育は変えられる	☐2604
聞き上手・話し上手	※535	京医師の歴史	※521
気球の歴史	※492	行革と規制緩和の経済学	※1266
企業数字を読む	※858	強豪校の監督術	☐2481
起業戦略	※1615	「行政」を変える！	※1734
企業のなかでどう生きるか	※650	協奏曲の名曲・名盤	※1204
企業のパラダイム変革	※890	競争社会の心理学	※193
企業買収の焦点	※1816	京都異界紀行	☐2543
企業を高めるブランド戦略	1624	京都学派	☐2466
〈聞く力〉を鍛える	☐※1933	京都のおねだん	☐2419
汽車・電車の社会史	※713	教養としてのキリスト教	※34
技術大国幻想の終わり	☐2322	教養としての金融危機	☐2648
騎手の一分	☐2210	教養としての将棋	☐2515
気象で読む身体	※1047		

「カッコいい」とは何か	—————2529	為替市場の読み方	—————※1409
学校ってなんだ!	—————  2628	変わった世界 変わらない日本	—————  ※2261
学校という舞台	—————※893	変わる家族と介護	—————※2082
学校は誰のものか	—————※1909	変わる中国 変わるメディア	※1951
勝つための経営	—————  ※2151	がん医療の選び方	—————※1682
活断層=地震の謎をさぐる	—————※548	「考え方」の風土	—————※551
加藤周一を記憶する	—————2310	考える技術・書く技術	—————327
カトリックと日本人	—————※338	考える脳・考えない脳	—————※1525
カーニヴァル化する社会	—————  ※1788	環境ホルモン・何がどこまでわかったか	—————※1425
カーネギー「人の動かし方」	—————  2573	関係する女 所有する男	—————  2008
可能性の探検	—————※111	「関係の空気」「場の空気」	—————  1844
カフェと日本人	—————  2287	韓国	—————※831
歌舞伎 家と血と藝	—————  2221	韓国 行き過ぎた資本主義	—————  2549
歌舞伎の見方	—————※358	韓国人のしくみ	—————※1536
株式会社とは何か	—————※1388	韓国のグローバル人材育成力	—————  2194
株式市場	—————※904	韓国のニューリーダー	—————※1009
株入門	—————※42	韓国は一個の哲学である	—————※1430
カペー朝	—————  2005	看護婦の現場から	—————※1155
鎌倉新仏教の誕生	—————※1273	漢字	—————※497
神風と悪党の世紀	—————※1243	漢字遊び	—————※783
上方の笑い	—————※716	漢字雑談	—————  2200
神々と人間	—————※391	漢字と日本語	—————  2367
神々の花園	—————※204	漢詩のころ	—————※1824
神と女の民俗学	—————※626	漢字の字源	—————※1193
神とは何か	—————  2514	漢字の常識・非常識	—————※954
神と仏	—————698	漢字の知恵	—————※883
神と祭り日本人	—————※302	漢詩の名句・名吟	—————※1026
神なき時代	—————※431	漢字はすごい!	—————  2237
〈神〉の証明	—————※1392	感情はいかにしてつくられるか	※680
からだと心健康百科	—————※1393	感じるオープンダイアログ	—————  2614
「からだ」と「ことば」のレッスン	1027	漢詩をたのしむ	—————※1440
体の知性を取り戻す	—————  2280	漢字を楽しむ	—————※1928
からだの法則を探る	—————※18	感性の限界	—————  2153
ガラパゴス化する日本	—————  ※2038	感染症の時代	—————※1523
カラー版 東京の森を歩く	—————  2420	環太平洋関係史	—————※170
カラー版ハッブル望遠鏡 宇宙の謎に挑む	—————※2011	がんで死ぬのはもったいない	※1611
カレーライスと日本人	—————※937	感動のメカニズム	—————  2542
カレーを作れる子は算数もできる	—————※1863	がん闘病とコメディカル	—————※1894
河合塾マキノ流! 国語トレーニング	—————※1626	感動! ブラジルサッカー	—————※1835

折口信夫を読み直す	※1230	科学と人生	※83
オリーブの罠	電2288	科学と非科学	電2513
音楽のヨーロッパ史	※1499	科学の現在を問う	電1500
温泉の医学	※1423	化学のすすめ	※131
温泉をよむ	※2088	科学の目	※504
女たちのアメリカ	※1062	化学兵器犯罪	※1698
女たちの大英帝国	※1407	華僑	※980
女の眼	※50	画狂人北斎	※325
		科挙の話	※592
●か		覚悟の競馬論	電2546
海外経営の鉄則	※1902	隠された神々	※405
海外ひとり旅	※752	核時代の生存条件	※220
海外ミステリ歳時記	※1211	核時代を生きる	※699
改革と維新・新書日本史⑥	※428	学生を思う	※67
会計が変わる	※1612	核戦略ゲーム	※719
外交官	※1053	格闘する現代思想	※1040
外国語としての日本語	1200	核武装論	電1884
外国語をどう学んだか	※1090	核兵器と原発	電2458
介護ビジネスの罠	電2334	核兵器のしくみ	電1700
介護保険・何がどう変わるか	※1484	学問の世界(上)	※515
外資の流儀	電2521	学問の世界(下)	※516
会社がなくなる!	電2632	学問のヒント	※1360
会社コンプライアンス	電1877	かぐや姫の誕生	※306
会社を変える会議の力	電2240	確率のはなし	※210
会社を変える戦略	※1642	「家計破綻」に負けない経済学	※1750
会社を変える分析の力	電2218	かけがえない人間	電1936
海賊の日本史	電2483	「影の総理」と呼ばれた男	電2507
怪談の心理学	※1223	賭ける魂	※1942
回復力	電1979	数の不思議	※715
解剖男	※1828	「数」をどう読むか	※691
解放の世紀・新書東洋史⑪	※461	化石の分子生物学	電2166
外務省「失敗」の本質	※1640	画像検査で読む人体	※1165
海洋開発	※81	家族関係を考える	電590
科学vs.キリスト教	電2241	華族総覧	※2001
「科学技術大国」中国の真実	※2075	「家族」と「幸福」の戦後史	※1482
科学時代をどう生きるか	※123	家族とは何か	※367
科学者の言葉	※91	家族の文化構造	※507
科学する麻雀	電1765	家族をめぐる法の常識	※1300
		かたちの不思議	※741
		刀の日本史	電2380
		学級再生	※1561
		活劇映画と家族	電2626

- 江戸の小判ゲーム ————— ㊦2192  
江戸の災害 ————— ㊦2556  
江戸の性風俗 ————— ㊦1432  
江戸の無意識 ————— ※1079  
江戸遊里盛衰記 ————— ※1224  
NHKスペシャル取材班、「デジタル  
ハンター」になる ————— ㊦2664  
「FEN」を聴く ————— ※673  
AV空間の設計 ————— ※878  
M&A ————— ※1048  
MBA ————— ※1065  
選ばれる男たち ————— ㊦※2002  
選び取る「停年」 ————— ※1089  
エリザベス I 世 ————— 1486  
エーリッヒ・フロム ————— ㊦2687  
エレクトロニクス ————— ※109  
エレクトロニクス社会 ————— ※703  
エロイカの世紀 ————— ※1589  
エロスの人間論 ————— ※239  
演技と演出 ————— ㊦1723  
演劇入門 ————— ㊦1422  
冤罪と裁判 ————— ㊦2157  
冤罪はこうして作られる ————— ㊦1145  
エンディングノートのすすめ  
————— ㊦※2165  
円とドル ————— ※876  
エントロピーからの発想 ————— ※695  
「円」の経済学 ————— ※221  
「円」の経済学 第2版 ————— ※281
- お
- 御家騒動 ————— ※1137  
老いた家 衰えぬ街 ————— ㊦2504  
老いる家 崩れる街 ————— ㊦2397  
老いるということ ————— ㊦1865  
オイルマネー ————— ※1973  
黄金郷伝説 ————— ※1084  
黄金の五〇年代アメリカ ————— ※943  
王政復古 ————— ㊦2462  
王朝貴族物語 ————— ※1208  
王朝人のこころ ————— ※392  
近江から日本史を読み直す ————— ㊦1892  
近江商人の哲学 ————— ㊦2489  
「大きなかぶ」はなぜ抜けた? —※1848  
大蔵省 ————— ※932  
大坂堂島米市場 ————— ㊦2487  
大阪弁おもしろ草子 ————— ※786  
「お金」のダイナミズム ————— ※669  
お金の未来 ————— ㊦2662  
オカルト ————— ※832  
沖縄からの出発 ————— ※1121  
オーク・ヴィレッジだより ————— ※737  
大佛次郎の「大東亜戦争」 ————— ※2019  
教えること、裏切られること —※1663  
オスとメス=性の不思議 ————— ※1138  
オスマン帝国 ————— 1097  
「おたく」の精神史 ————— ※1703  
織田信長(天下人)の実像 ————— ㊦2278  
織田信長の城 ————— ㊦2405  
オッサンの壁 ————— ㊦2658  
男と女の法律戦略 ————— ※1768  
大人のいじめ ————— ㊦2640  
おとなの青春旅行 ————— ㊦2486  
大人のための「学問のススメ」 —※1896  
大人のための文章教室 ————— ㊦1738  
大人のひきこもり ————— ㊦2286  
おどろきの中国 ————— ㊦2182  
鬼平と出世 ————— ※1607  
オペラ歳時記 ————— ※1246  
オペラ入門 ————— ㊦2547  
思い出せない脳 ————— ㊦2704  
思い出の人々 ————— ※65  
思いやりの日本人 ————— ※1886  
親子関係学 ————— ※611  
親子という病 ————— ㊦1962  
親子不全=(キレない)子どもの育て方  
————— ※1505  
親と子の愛情と戦略 ————— ※2090  
親と子の食物アレルギー ————— ※2170  
親の介護をする前に読む本 ————— ㊦2403

宇宙時代の常識	※68
宇宙生物学で読み解く「人体」の不思議	電2226
宇宙はなぜこのような宇宙なのか	電2219
宇宙論がわかる	※1051
美しい日本の私	—180
うつ病の現在	電※2211
うつ病の時代	※622
うつ病をなおす	※1752
奪われた「三種の神器」	電※2022
奪われる日本	※1853
馬の世界史	※1562
海の世界史	※1480
海の向こうから見た倭国	電2414
産む・産まない・産めない	※1876
「右翼」の戦後史	電2485
占いと中世人	電※2089
裏道を行け	電2644
ウルトラマンが泣いている	電2215
運動神経の科学	電※1735

## ●え

AI	※920
AIの衝撃	電2307
英会話上達法	※470
英会話の常識・非常識	※1102
英会話のすすめ(上)	※39
英会話のすすめ(下)	※40
映画・快楽装置の仕掛け	※902
映画芸術への招待	※409
映画の創造	※731
映画をどう見るか	※463
英語遊び	※652
英語アナログ上達法	※1373
英語小論文の書き方	※1122
英語的思考	※990
英語と日本語のあいだ	電2086
英語——何をどう書くか	※748
英語の新しい学び方	※52
英語の語源	※480
英語の辞書を使いこなす	※810
英語の常識・非常識	※891
英語の世界・米語の世界	※1288
英語のできる子どもを育てる	※1533
英語の発想	※686
英語の名句・名言	※1402
英語の歴史	—958
英語は決まり文句が8割	電2672
英語パズル	※966
英語表現のトレーニング	※994
英語表現をみがく〈動詞編〉	※1069
英語表現をみがく〈名詞編〉	※1176
英語メディアを使いこなす	※1186
英語力を身につける	※1566
エイズの常識	※1130
エイズの生命科学	※1290
映像のトリック	※804
英単語この意味を知らればこわくない	※1492
「英文法」を疑う	※1444
易の話	※303
エコシフト	※1868
エコロジー入門	※271
SISは企業を変える	※1063
SFキイ・パーソン&キイ・ブック	※815
SFを実現する	電2265
越境者的ニッポン	※1987
エッセーの書き方	※743
AT&TとIBM	※952
江戸奥女中物語	※1565
江戸古川柳の世界	※1185
江戸語・東京語・標準語	※1216
江戸三百年(1)	※415
江戸三百年(2)	※416
江戸三百年(3)	※417
江戸時代の設計者	電※1830
江戸っ子の世界	※588
江戸の気分	電※2065

偉大な芸術家たち	※127	インテリアの近代	※1058
イタリア人	※547	インド人の「力」	☞※2354
イタリア・都市の歩き方	※1347	インド対パキスタン	※1413
イタリア・ルネサンス	※1557	インドの歴史・新書東洋史⑥	※456
異端審問	※1312	インフレとデフレ	※1016
市川新之助論	※1654		
一日一禪(上)	※473		
一日一禪(下)	※474		
1日20分! 英会話速習法	※1601		
一休	※477		
一生モノの英文法	☞※2158		
一神教の誕生	☞1609	●う	
逸脱するエロス	※1014	ヴァルター・ベンヤミン	※1071
いつだって大変な時代	☞※2114	ヴァロワ朝	☞2281
一歩すすんだ英会話	※939	ウィトゲンシュタイン	※345
偽りの大化改新	※1843	ウィトゲンシュタインはこう考えた	1675
イデオロギーとは何か	※341	ウイルスは生きている	☞2359
伊東静雄	※585	ウイルスvs.人体	※1370
移動する大陸	※373	ウィンストン・チャーチル	※43
生命あるすべてのものに	667	ウィーン・ブルジョアの時代から世紀末へ	※1276
いのちの科学	※11	「上から目線」の時代	☞※2141
eビジネスに強くなる	※1507	ヴェネツィア	1111
今こそアーレントを読み直す	☞1996	ウェブが創る新しい郷土	※1873
今こそマルクスを読み返す	☞1001	ウェブ×ソーシャル×アメリカ	☞2093
いますぐ使える実践ビジネス英語	※1463	ウェブでの〈伝わる〉文章の書き方	☞2187
今なぜ戦後補償か	※1578	浮世絵は語る	※2058
今を生きるための現代詩	☞2209	「うき世」の思想	※396
いまを生きるための思想キーワード	☞2134	「動かない」と人は病む	☞2207
イメージ体験の心理学	※1117	動きが心をつくる	☞2119
イメージを読みとる	※781	宇沢弘文	☞2682
癒しのランニング	☞2239	失われた化石記録・生命の歴史②	※1344
医療崩壊 真犯人は誰だ	☞2642	失われた大陸	※672
イルカと人間	※310	失われた都市・島・民族	※349
岩倉使節団	※487	失われた文明	※274
岩崎彌太郎	※2051	うそとパラドックス	※881
インサイダー取引	※1068	うその心理学	※36
院政	☞2523	うたと日本人	※1513
インターネット完全活用編 大学生のためのレポート・論文術	※1677	宇宙空間を開く	※214
インタビュー術!	☞1627		

アメリカ帝国の終焉 ————— ㊦2413  
 アメリカ南部 ————— ※1253  
 アメリカのグローバル化戦略 —※1676  
 アメリカの軍事戦略 ————— ※1319  
 アメリカは語る ————— ※701  
 アメリカ文学史のキーワード —※1521  
 アメリカ文学のレッスン ————— 1501  
 アメリカ・メディア・ウォーズ  
 ————— ㊦※2227  
 アメリカを動かす思想 ————— ㊦※2179  
 アメリカン・アート ————— ※580  
 アメリカン・ウーマン ————— ※537  
 アメリカン・スピリット ————— ※615  
 アメリカン・ヒーロー ————— ※1148  
 「誤り」の心理を読む ————— ※836  
 アーユルヴェーダの知恵 ————— ※1237  
 アラビアンナイトの世界 ————— ※241  
 アラブとイスラエル ————— 1085  
 アラブ・ムスリムの日常生活 ※1112  
 アルベール・カミュ ————— ※260  
 アンコール・ワット ————— ※1295  
 暗示と催眠の世界 ————— ※206  
 安楽死と尊厳死 ————— 1141

●い

「いい会社」とは何か ————— ※2061  
 良いい加減に生きる ————— ㊦2522  
 井伊直虎 ————— ㊦2394  
 イエスとその弟子 ————— ※523  
 いかに愛するか ————— ※625  
 いかに生き、いかに学ぶか —※98  
 いかに生きるか ————— ※445  
 怒らぬ若者たち ————— ※566  
 怒りを鎮める うまく謝る — ㊦2444  
 いきいきと生きよ ————— ㊦※157  
 いきいきと手紙を書く ————— ※1467  
 「生きがい」と「豊かさ」 ————— ※619  
 生き方のコモンセンス ————— ※766

生き方の人類学 ————— ※1655  
 生きづらい(私)たち ————— ㊦※1740  
 生きていることの科学 ————— ㊦※1846  
 「生きている」を見つめる医療 — ㊦1881  
 生き残った帝国ビザンティン —※1032  
 生きものの世界 ————— ※544  
 イギリス王室物語 ————— 1283  
 イギリス型(豊かさ)の真実 ㊦※1976  
 イギリス貴族 ————— ※1078  
 イギリス近代史講義 ————— ㊦2070  
 イギリス紳士のユーモア ————— ※1023  
 イギリス人と日本人 ————— ※496  
 イギリス名宰相物語 ————— ※1452  
 生きる希望を忘れた若者たち  
 ————— ㊦※2142  
 生きることと愛すること ————— ※503  
 生きることと考えること ————— 240  
 生きることと読むことと ————— ※1192  
 生きるための幸福論 ————— ※593  
 生きるということ ————— ※299  
 池田屋事件の研究 ————— ※2131  
 居酒屋の世界史 ————— ㊦※2120  
 石川啄木 ————— ※578  
 意識革命 ————— ※31  
 意識と存在の謎 ————— ※1317  
 〈意識〉とは何だろうか ————— ㊦1439  
 意思決定の統計学 ————— ※268  
 いじめの構造 ————— ㊦1984  
 異常とは何か ————— ※2049  
 異常の構造 ————— ※331  
 異常の心理学 ————— ※184  
 イースター島の謎 ————— ※481  
 出雲神話 ————— 444  
 イスラムからの発想 ————— ※629  
 「イスラム国」と「恐怖の輸出」  
 ————— ㊦※2327  
 イスラム聖者 ————— ※1291  
 イスラムとは何か ————— 1210  
 イスラムの世界 ————— ※246  
 「イスラムvs.西欧」の近代 ————— ※1832  
 イスラム復興はなるか・新書イスラ  
 ムの世界史③ ————— ※1175

# 書目索引

数字は書目番号です。

※は品切れの書目で、解説文は掲載しておりません。

☑マークがついている作品は、電子版配信中です(2023年10月現在)。

## ●あ

ああアメリカ ————— ※305  
愛 ————— ☑2537  
愛国者は信用できるか ————— ☑※1842  
愛する家族を喪うとき ————— ※1368  
愛すること信ずること ————— ※279  
アイデアを形にして伝える技術  
————— ☑※2103  
相手に「伝わる」話し方 ————— ☑1620  
アイデンティティの心理学 ————— 1020  
愛と狂瀾のメリークリスマス ☑2401  
愛と暴力の戦後とその後 ————— ☑2246  
愛と欲望の三国志 ————— ☑2535  
愛に生きる ————— ☑86  
愛について ————— ※272  
アイヌ学入門 ————— ☑2304  
アインシュタイン相対性理論の誕生  
————— ※1704  
アインシュタインの発想 ————— ※618  
アガペーの愛・エロスの愛 ————— ※1272  
明るく乗りきる男と女の更年期  
————— ※1591  
赤ん坊から見た世界 ————— ※1202  
悪女入門 ————— 1667  
アクティブラーニング ————— ☑2471  
悪の対話術 ————— ※1517  
悪の読書術 ————— ※1684  
悪の恋愛術 ————— ※1563  
悪魔の話 ————— ※1039  
曙 ————— ※191  
アサーション入門 ————— ☑2143

アジアからの直言 ————— ※377  
アジア菜食紀行 ————— ※1421  
アジアの歩き方 ————— ☑※1576  
アジアのビッグビジネス ————— ※948  
アジアの見方 ————— ※69  
アジア文化探検 ————— ※139  
明日、機械がヒトになる ————— ☑※2370  
明日のプランニング ————— ☑2302  
味と文化 ————— ※486  
アステカ文明の謎 ————— ※533  
「遊び」の文化人類学 ————— ※476  
あたたかい家族 ————— ※800  
頭が良くなる議論の技術 ————— ☑2206  
新しい「教育格差」 ————— ☑※1993  
新しい左翼入門 ————— ☑2167  
新しい世界 ————— ☑2601  
新しい世界史の見方 ————— ※288  
新しいソ連経済 ————— ※158  
新しい福沢諭吉 ————— ※1382  
新しい仏教のころ ————— ☑※117  
新しいヘーゲル ————— ☑1357  
新しいリハビリテーション ————— 1706  
アトランティス大陸の謎 ————— ※328  
あなたの会社の評判を守る法 ————— ※1913  
「あなた」の哲学 ————— ※2032  
兄小林秀雄との対話 ————— ※215  
アーバン・アウトドア・ライフ ※736  
アフター・リベラル ————— ☑2588  
あぶない法哲学 ————— ☑2571  
安倍官邸の正体 ————— ☑2294  
アボトーシスとは何か ————— ※1308  
「天降り」とは何か ————— ☑※2028  
アメリカ・インディアン ————— ※543  
アメリカ外交 ————— ☑※1774  
アメリカ合衆国大統領 ————— ※900  
アメリカ経済は甦るか ————— ※931  
アメリカ経済を読む ————— ※976  
アメリカ現代史 ————— ※232  
アメリカ情報コレクション ————— ※727  
アメリカ人 ————— ※115  
アメリカ人と日本人 ————— ※573  
アメリカ大統領の嘘 ————— ※1725